

町田市子ども・子育て支援事業計画策定 のためのアンケート調査報告書

2014年（平成26年）3月

町 田 市

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査の設計	3
4. 調査内容	4
5. 回収結果	4
6. 報告書を利用するにあたって	4
第2章 調査結果の詳細	5
1. 回答者の基本属性	7
(1) 居住地区	7
(2) 調査対象者の年齢・学年	7
(3) 子どもの数	8
(4) 調査票の記入者	8
(5) 子育てを主に行っている人（就学前児童）	9
(6) 子育てを協力してくれる人（小学生）	10
2. 子どもの育ちをめぐる環境について（就学前児童）	11
(1) 子育てに日常的に関わっている人・場所	11
(2) 子どもをみてもらえる人	11
(3) 子育てについて気軽に相談できる人・場所	13
3. 保護者の就労状況について	14
(1) 母親の就労状況	14
(2) 父親の就労状況	19
(3) 母親の就労希望	22
(4) 父親の就労希望	24
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）	25
(1) 利用状況	25
(2) 利用したい教育・保育事業	35
5. 子育て支援事業の利用状況等について（就学前児童）	39
(1) 子育て広場事業の利用状況等	39
(2) 子育て支援事業の利用状況等	41
(3) 市のホームページや市の発行する冊子・チラシの活用状況	44
6. 土曜・日曜等の定期的な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）	45
(1) 土曜日	45
(2) 日曜日	46
(3) 年末（12/29～12/31）	48
(4) 年始（1/1～1/3）	49
(5) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業	50
7. 病気時の対応について（就学前児童）	52
(1) 子どもが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかったことの有無	52
(2) 対処方法と対処日数	52
(3) 病児・病後児保育の利用希望	53
(4) 看病するための休暇の取得について	55
8. 不定期の教育・保育事業、一時預かり等について（就学前児童）	57
(1) 利用事業と日数	57
(2) 一時預かりの利用希望と日数	58

(3) 家族以外に一時的に預けたこと	60
9. 放課後の過ごし方について	62
(1) 放課後の居場所と日数（低学年）	62
(2) 放課後の居場所と日数（高学年）	64
(3) 学童保育クラブの利用意向・状況	65
(4) 学童保育クラブを利用しない理由（小学生）	70
10. 学童保育クラブについて（小学生）	75
(1) 学童保育クラブの認知度	75
(2) 学童保育クラブの必要性	76
(3) 子どもを学童保育クラブに預ける際に大切なこと	77
(4) 開所日数	78
(5) 平日の開所時間と終了時間	78
(6) 学校休業日の開所時間と終了時間	79
(7) 育成料（利用料金）について	80
(8) 入会要件について	81
(9) 指導員数	85
(10) 指導員に大切なこと	85
(11) 子どもが学童保育クラブで快適に過ごすために必要なこと	86
(12) 学区外にある学童保育クラブについて	86
(13) 学童保育クラブの入会要件について	87
(14) 学童保育クラブの日数制限について	87
(15) 学童保育クラブの入会受付期間等について	88
(16) 学童保育クラブに希望するサービス	89
11. 職場の両立支援制度について	90
(1) 育児休業の取得状況	90
(2) 育児休業給付、保険料免除の仕組みの認知度	93
(3) 育児休業取得後の職場への復帰について	93
(4) 1歳になった際に必ず認可保育園等に預けられる制度がある場合の育児休業取得・復帰について	98

第3章 自由回答のまとめ 99

1. 就学前児童の保護者調査	101
2. 小学生の保護者調査	111

資料 使用した調査票 117

第1章

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の保育サービスや子育て支援、子どもの日常生活に関する実態や要望・意見等を把握し、子ども・子育て支援法第61条に基づく『町田市子ども・子育て支援事業計画』策定の基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の種類

本調査は、以下の2種類の調査を実施した。

- ① 就学前児童（0～5歳）の保護者調査
- ② 小学生（小学1年生～3年生）の保護者調査

3. 調査の設計

2種類の調査は以下のように設計した。

■ 調査の設計

調査種別	項目	内容
① 就学前児童の保護者調査	対象者数	市内在住の就学前児童（0～5歳）の保護者
	抽出方法	2,745人
	調査地域	住民基本台帳から無作為抽出
	調査方法	郵送配布・郵送回収（礼状形式の督促1回実施）
	調査時期	2014年1月10日～1月28日
② 小学生の保護者調査	対象者数	市内在住の小学1年生～3年生の保護者
	抽出方法	2,000人
	調査地域	住民基本台帳から無作為抽出
	調査方法	郵送配布・郵送回収（礼状形式の督促1回実施）
	調査時期	2014年1月10日～1月28日

4. 調査内容

調査種別ごとの調査内容は以下のとおりである。

■ 調査内容

調査種別	調査内容
① 就学前児童の保護者調査	<ul style="list-style-type: none">・基本属性・子どもの育ちをめぐる環境について・保護者の就労状況について・平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について・子育て支援事業の利用状況等について・土曜・日曜等の教育・保育事業の利用希望について・病気時の対応について・不定期の教育・保育事業、一時預かり等について・小学校入学後の放課後の過ごし方について・職場の両立支援制度について
② 小学生の保護者調査	<ul style="list-style-type: none">・基本属性・保護者の就労状況等について・放課後の過ごし方について・学童保育クラブについて・職場の両立支援制度について

5. 回収結果

回収結果は以下のとおりである。

■ 回収結果

調査種別	配布数	有効回収数	回収率
①就学前児童の保護者調査	2,745	1,673	60.9%
②小学生の保護者調査	2,000	1,146	57.3%

6. 報告書を利用するにあたって

- (1) 図・表中のn、件数とは、基数となる実数のことである。
- (2) 回答はn、件数を100%として百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- (3) 図・表中の「-」は回答者が皆無のものである。
- (4) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- (5) 子どもの年齢別や学年別、世帯の就労パターン別など調査対象者の基本属性にかかわる図・表については、基本属性に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。
- (6) 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

第2章

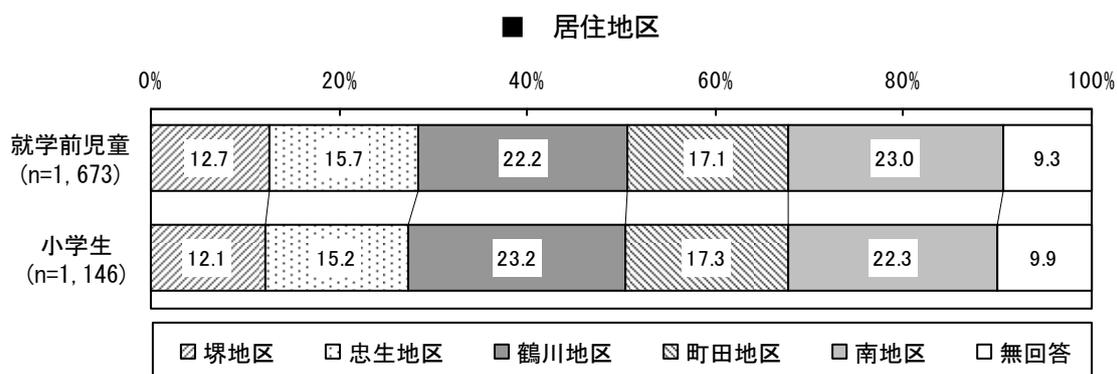
調査結果の詳細

1. 回答者の基本属性

(1) 居住地区

居住地区をみると、就学前児童の保護者では、「堺地区」が12.7%、「忠生地区」が15.7%、「鶴川地区」が22.2%、「町田地区」が17.1%、「南地区」が23.0%となっている。

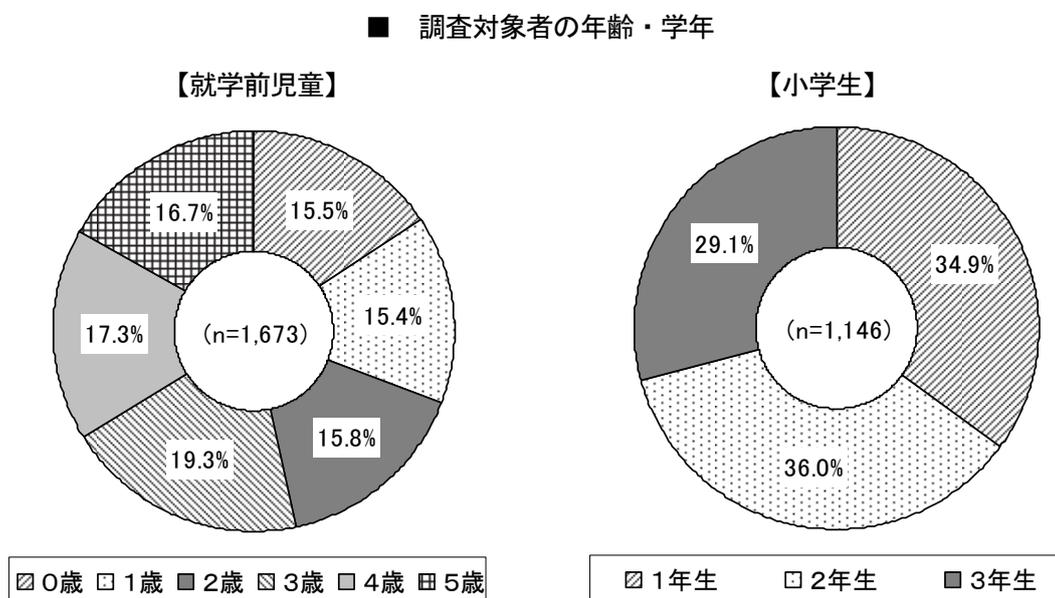
小学生の保護者では、「堺地区」が12.1%、「忠生地区」が15.2%、「鶴川地区」が23.2%、「町田地区」が17.3%、「南地区」が22.3%となっている。



(2) 調査対象者の年齢・学年

就学前児童の年齢は、「0歳」が15.5%、「1歳」が15.4%、「2歳」が15.8%、「3歳」が19.3%、「4歳」が17.3%、「5歳」が16.7%となっている。

小学生の学年は、「1年生」が34.9%、「2年生」が36.0%、「3年生」が29.1%となっている。

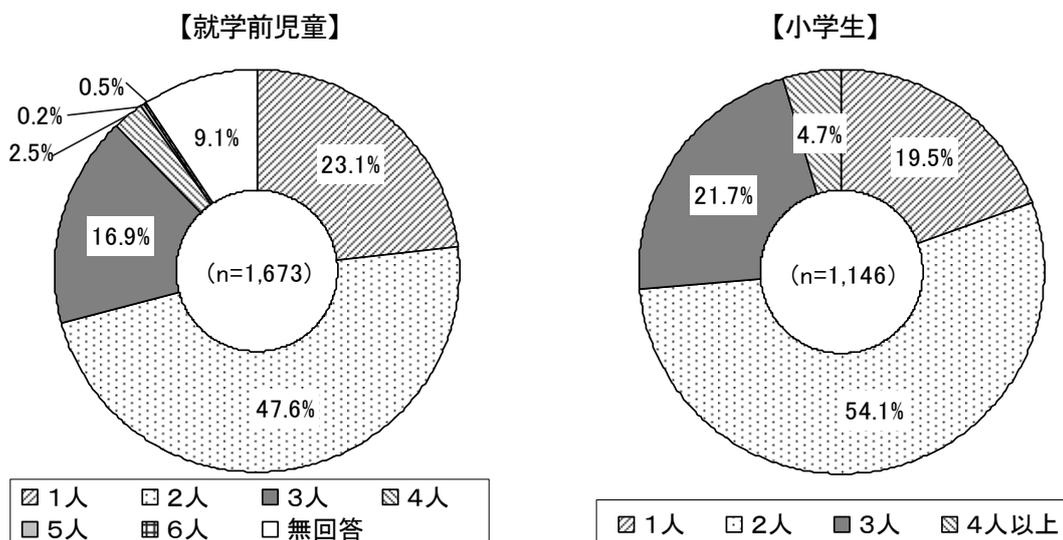


(3) 子どもの数

子どもの数について、就学前児童の保護者では「2人」が最も多く47.6%、次いで「1人」が23.1%、「3人」が16.9%、「4人以上」が3.2%となっている。

小学生の保護者では「2人」が最も多く54.1%、次いで「3人」が21.7%、「1人」が19.5%、「4人以上」が4.7%となっている。

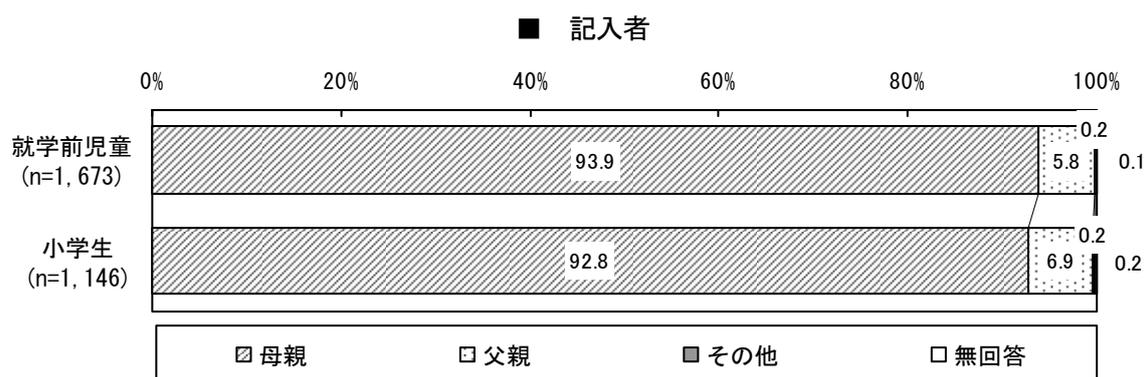
■ 子どもの数



(4) 調査票の記入者

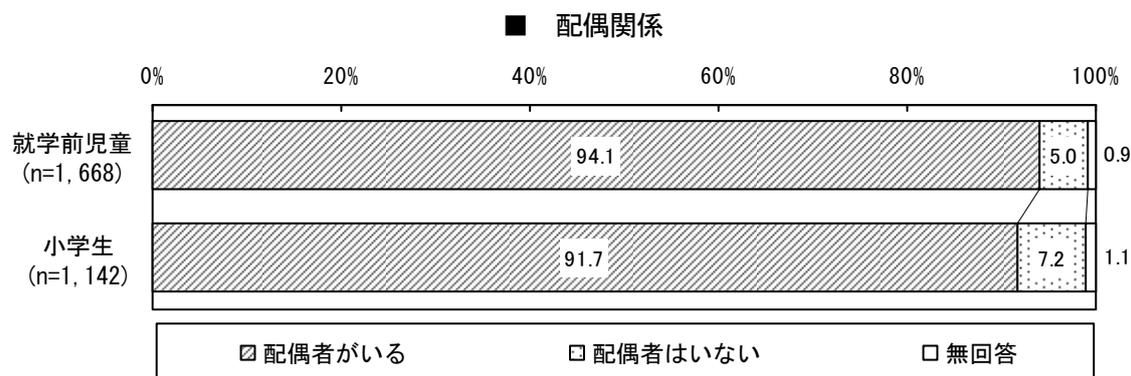
① 記入者

調査票の記入者は、就学前児童の保護者、小学生の保護者とも「母親」が多くそれぞれ93.9%、92.8%となっている。



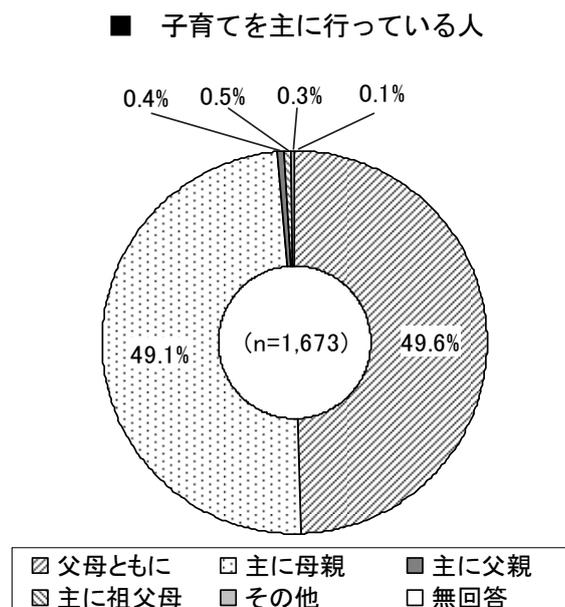
② 配偶関係

調査票の記入者について「母親」「父親」と回答した人の配偶関係をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者とも「配偶者がいる」が多くそれぞれ94.1%、91.7%となっている。



(5) 子育てを主に行っている人 (就学前児童)

子育てを主に行っている人をみると、就学前児童の保護者では、「父母ともに」が最も多く49.6%、次いでほぼ同じ割合で「主に母親」が49.1%となっている。

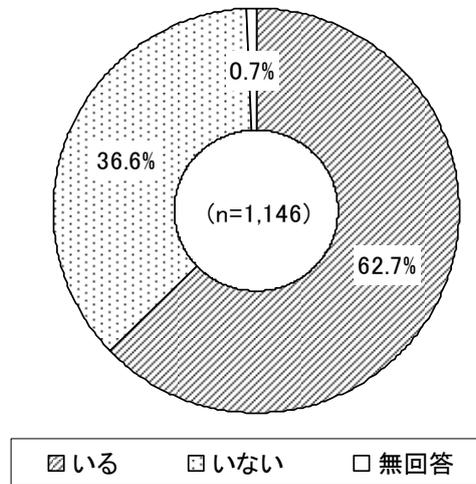


(6) 子育てを協力してくれる人（小学生）

① 子育てを協力してくれる人

子育てを協力してくれる人の有無について、小学生の保護者では「いる」が62.7%となっている。

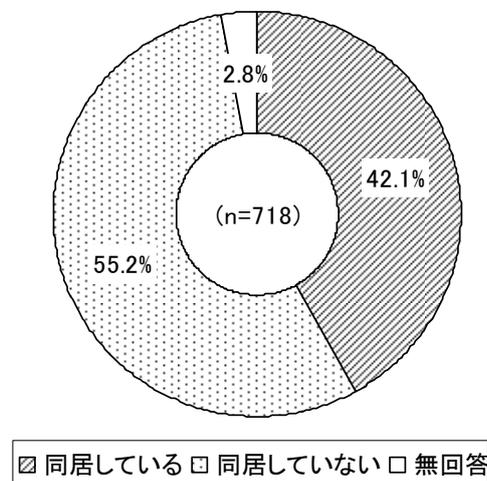
■ 子育てを協力してくれる人



② 同居の状況

子育てを協力してくれる人が「いる」と回答した人の同居の状況を見ると、「同居している」が42.1%、「同居していない」が55.2%となっている。

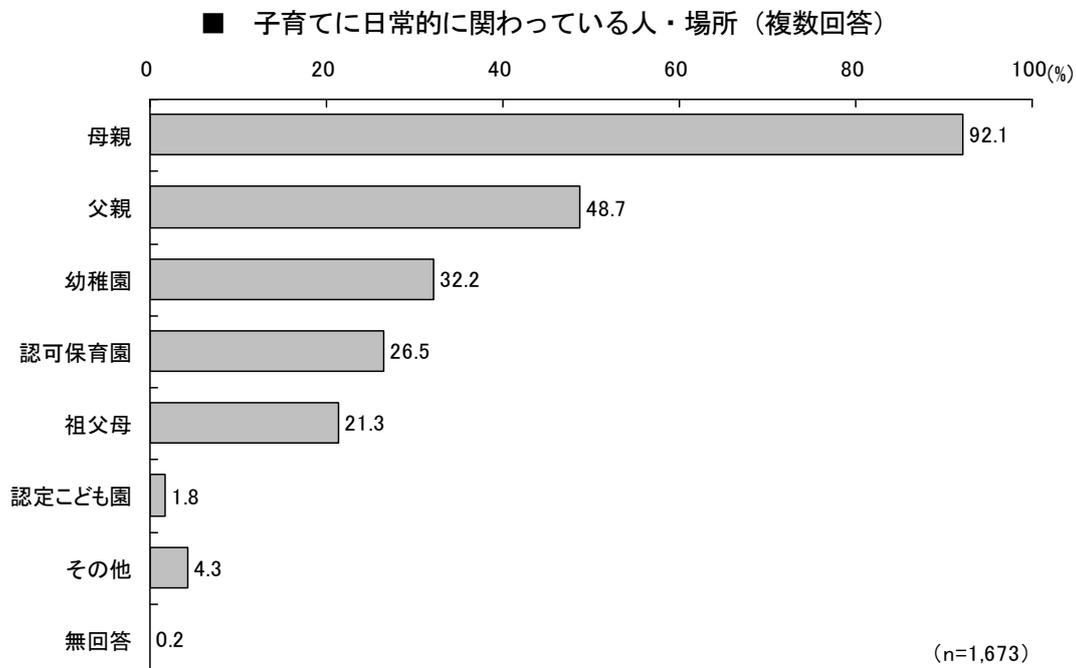
■ 同居の状況



2. 子どもの育ちをめぐる環境について（就学前児童）

（1）子育てに日常的に関わっている人・場所

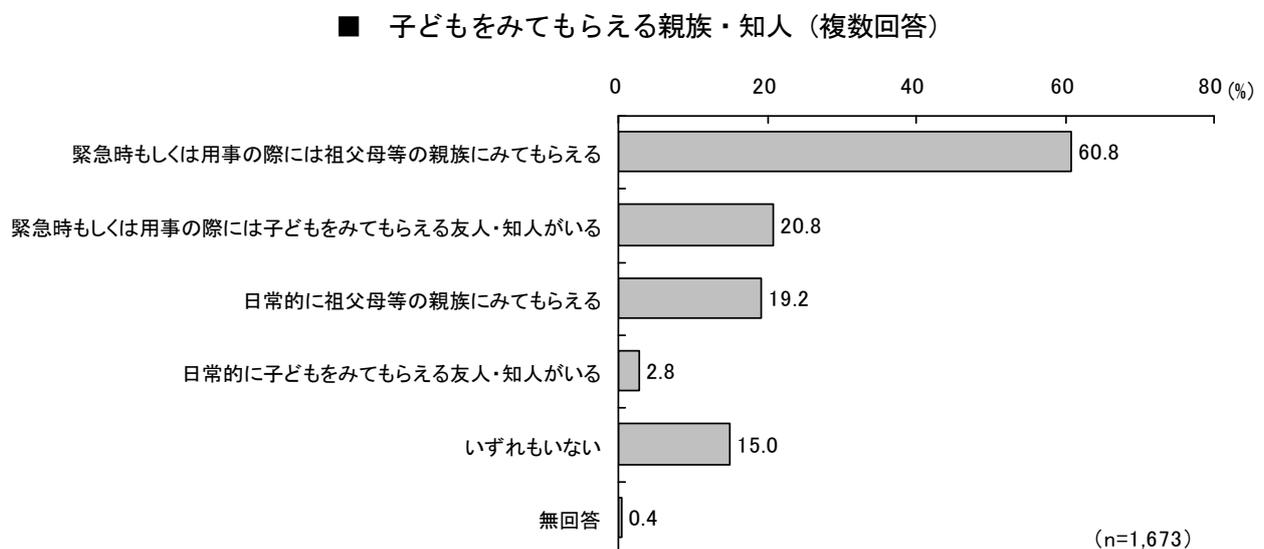
子育てに日常的に関わっている人は、「母親」が最も多く 92.1%、次いで「父親」が 48.7%、「幼稚園」が 32.2%、「認可保育園」が 26.5%、「祖父母」が 21.3%となっている。



（2）子どもをみてもらえる人

① 子どもをみてもらえる親族・知人

子どもをみてもらえる親族・知人をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く 60.8%、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 20.8%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 19.2%と続き、「いずれもない」が 15.0%となっている。

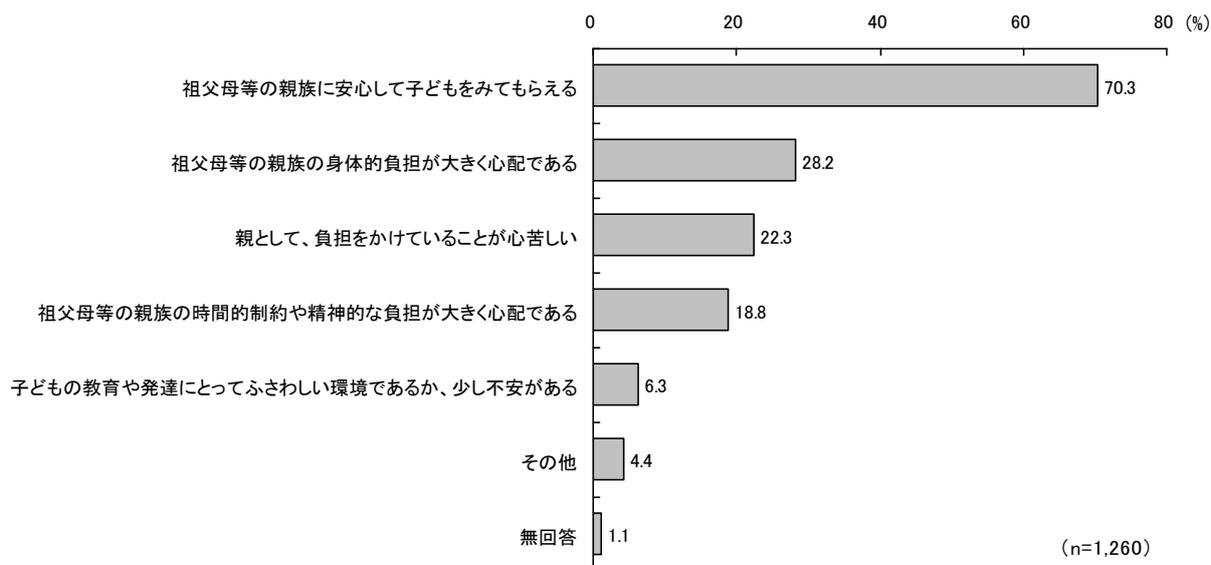


② 祖父母や友人・知人にみてもらっていることへの感じ方

ア. 祖父母にみてもらっていることへの感じ方

子どもをみてもらえる人の有無で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した人の祖父母にみてもらっていることへの感じ方は、「祖父母等の親族に安心して子どもをみてもらえる」が最も多く70.3%となっているが、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(28.2%)、「親として、負担をかけていることが心苦しい」(22.3%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(18.8%)もそれぞれ約2割～約3割を占めている。

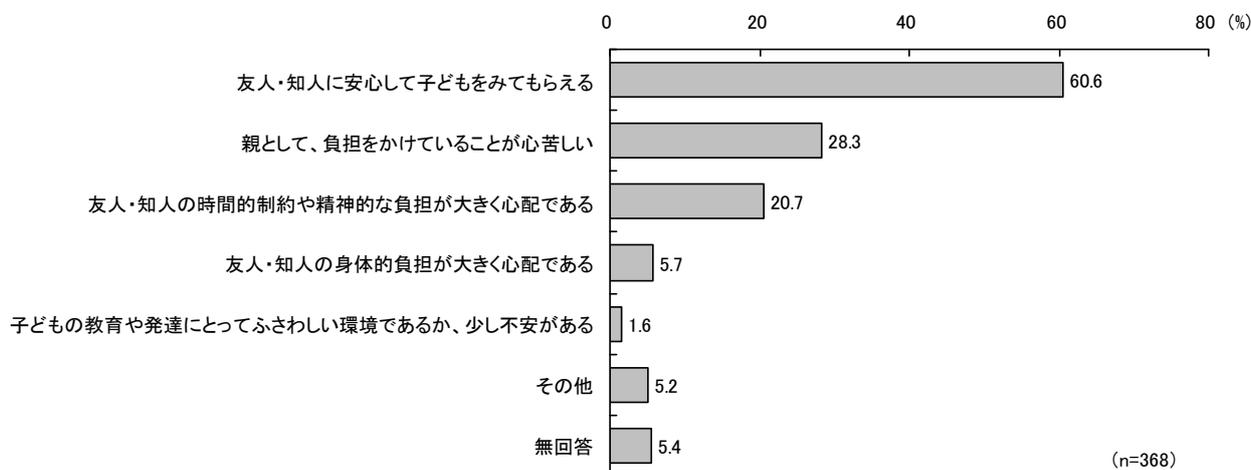
■ 祖父母にみてもらっていることへの感じ方（複数回答）



イ. 友人や知人にみてもらっていることへの感じ方

子どもをみてもらえる親族・知人の有無で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した人の友人や知人にみてもらっていることへの感じ方は、「友人・知人に安心して子どもをみてもらえる」が最も多く60.6%となっているが、「親として、負担をかけていることが心苦しい」(28.3%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(20.7%)も2割～約3割を占めている。

■ 友人や知人にみてもらっていることへの感じ方（複数回答）

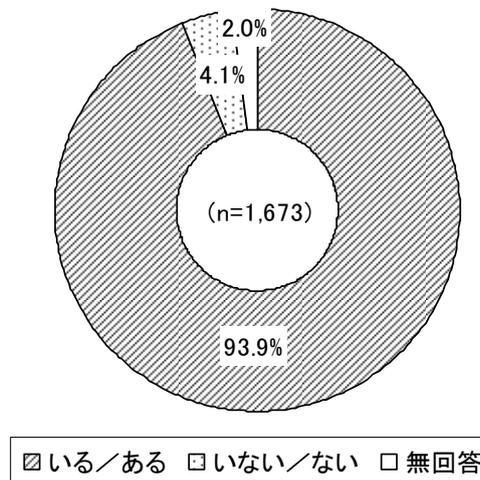


(3) 子育てについて気軽に相談できる人・場所

① 子育てについて気軽に相談できる人・場所

子育てについて気軽に相談できる人・場所が「いる/ある」と回答した人は 93.9%、「いない/ない」と回答した人は 4.1%となっている。

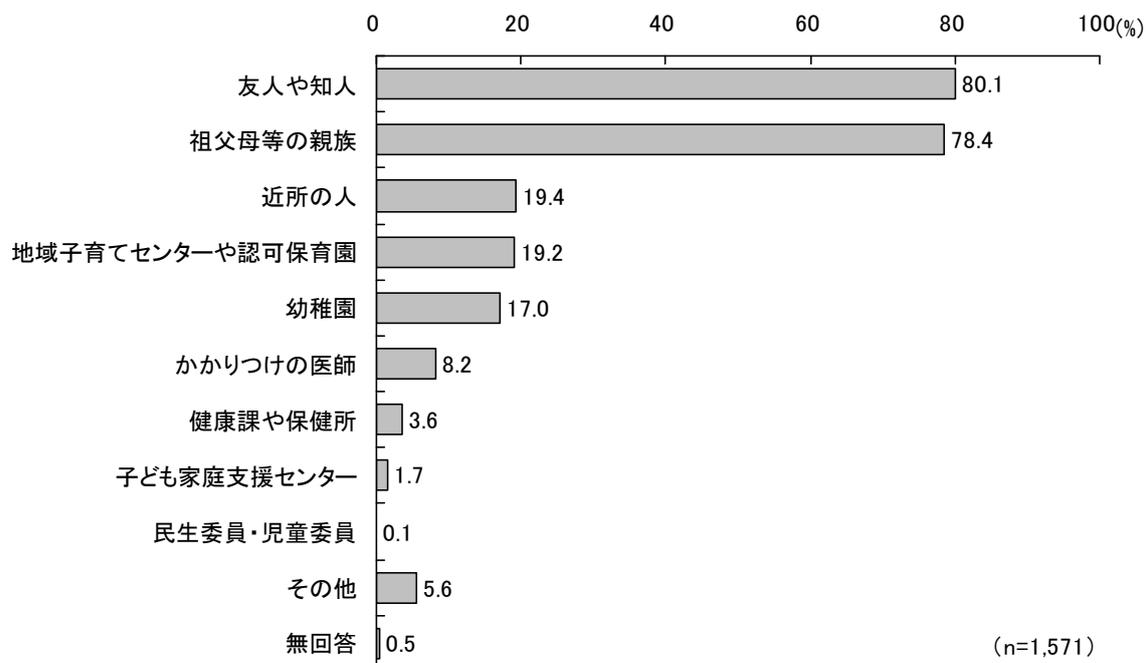
■ 子育てについて気軽に相談できる人・場所



② 子育てについての相談先

子育てについて気軽に相談できる人・場所が「いる/ある」と回答した人の相談先は、「友人や知人」が最も多く 80.1%、「祖父母等の親族」(78.4%)もほぼ同じ割合を示している。次いで「近所の人」が 19.4%、「地域子育てセンターや認可保育園」が 19.2%、「幼稚園」が 17.0%と続いている。

■ 子育てについての相談先 (複数回答)



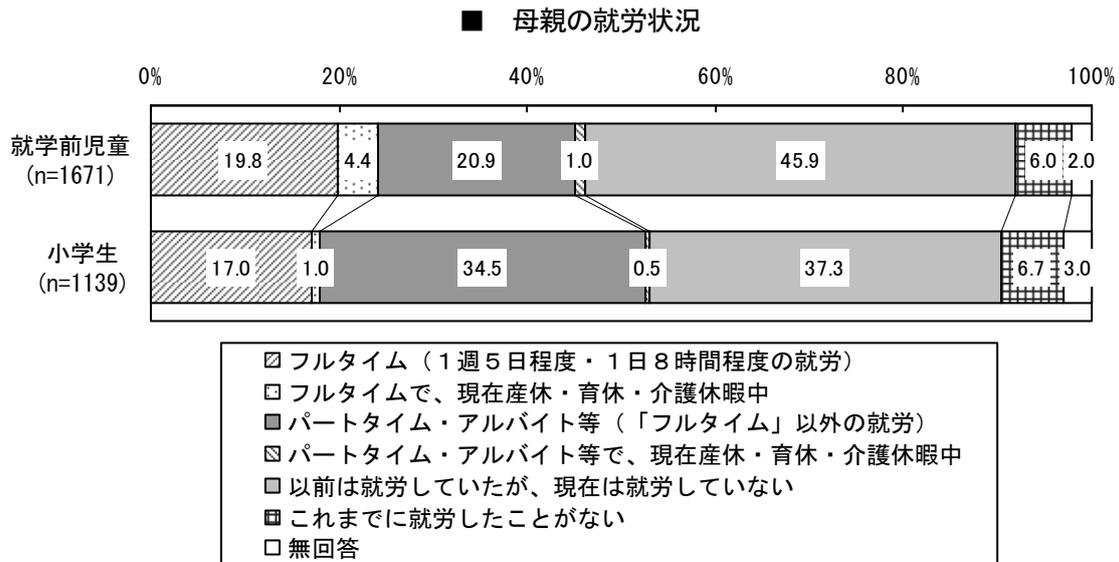
3. 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況

① 就労状況

母親の就労状況を見ると、就学前児童の保護者では「フルタイム」「フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中」「パートタイム・アルバイト等」「パートタイム・アルバイト等で、現在産休・育休・介護休暇中」を合わせた“就労している”が46.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまでに就労したことがない」を合わせた“就労していない”が51.9%となっている。

小学生の保護者では、“就労している”が53.0%、“就労していない”が44.0%となっている。



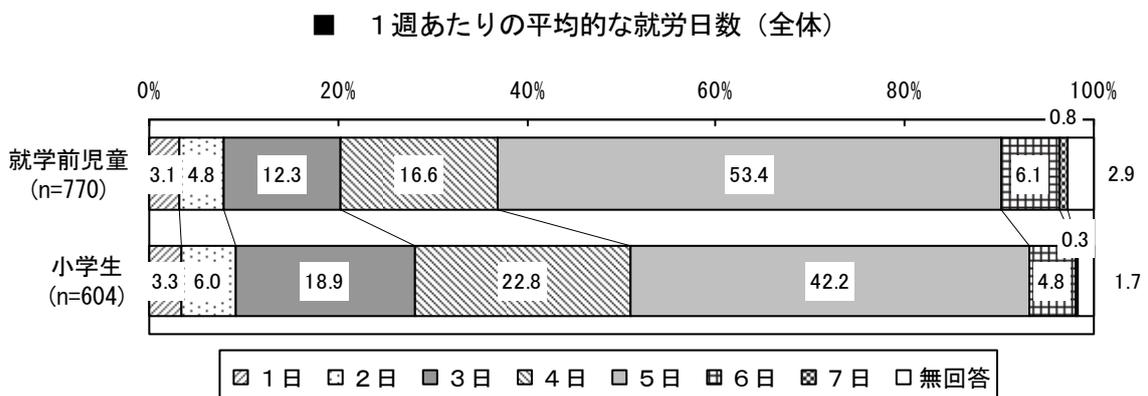
② 就労日数・帰宅時間等

ア. 1週あたりの平均的な就労日数

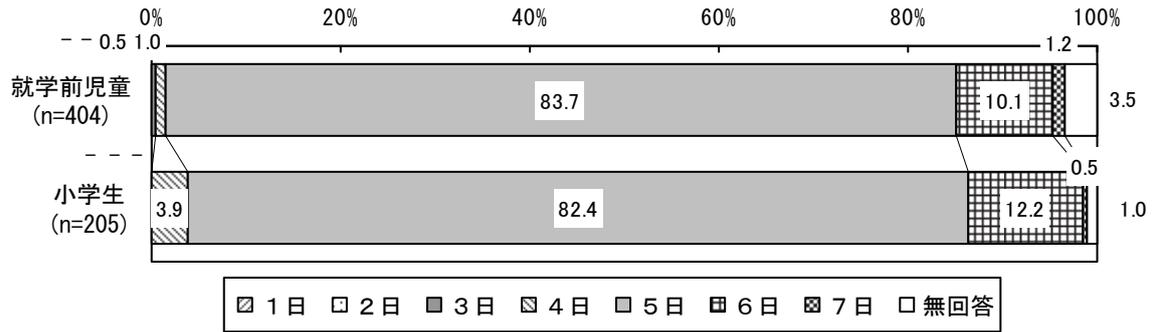
就労状況で“就労している”と回答した人の1週あたりの平均的な就労日数を見ると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「5日」が最も多く（それぞれ53.4%、42.2%）、次いで「4日」（それぞれ16.6%、22.8%）、「3日」（それぞれ12.3%、18.9%）と続いている。

フルタイムでは、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「5日」が最も多く（それぞれ83.7%、82.4%）、次いで「6日」（それぞれ10.1%、12.2%）と続いている。

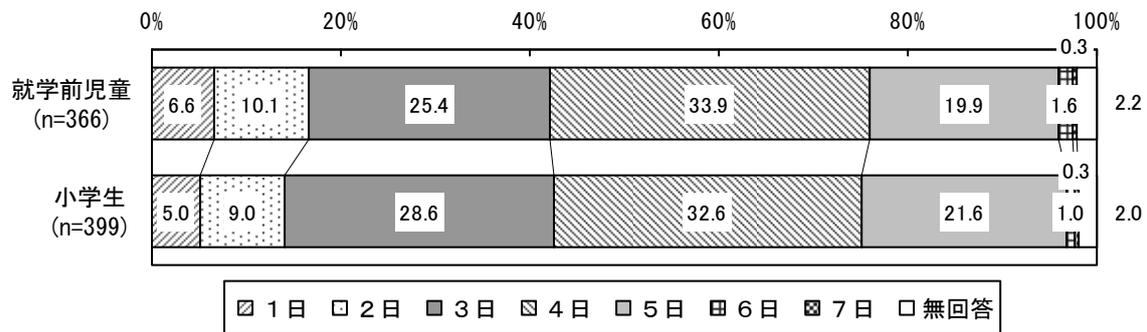
パートタイム・アルバイト等では、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「4日」が最も多く（それぞれ33.9%、32.6%）、次いで「3日」（それぞれ25.4%、28.6%）、「5日」（それぞれ19.9%、21.6%）と続いている。



■ 1週あたりの平均的な就労日数（フルタイム）



■ 1週あたりの平均的な就労日数（パートタイム・アルバイト等）



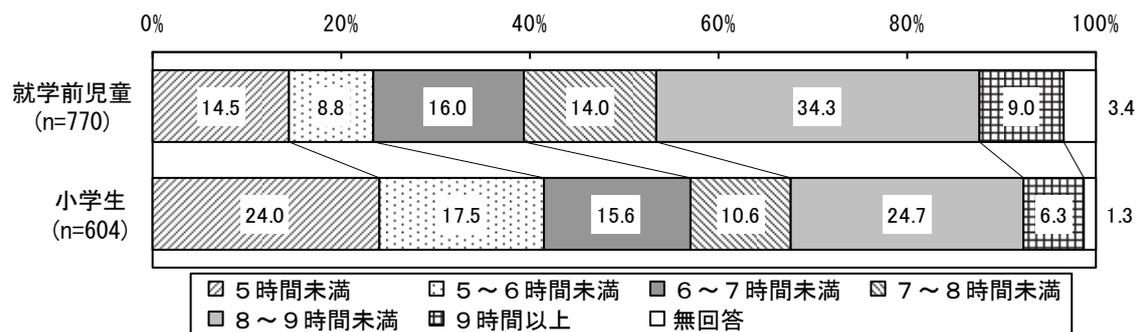
イ. 1日あたりの平均的な就労時間

就労状況で「就労している」と回答した人の1日あたりの平均的な就労時間をみると、就学前児童の保護者では「8～9時間未満」が最も多く34.3%、次いで「6～7時間未満」が16.0%、「5時間未満」が14.5%と続いている。小学生の保護者では、「8～9時間未満」「5時間未満」がほぼ同じ割合で最も多く（それぞれ24.7%、24.0%）、次いで「5～6時間未満」が17.5%と続いている。

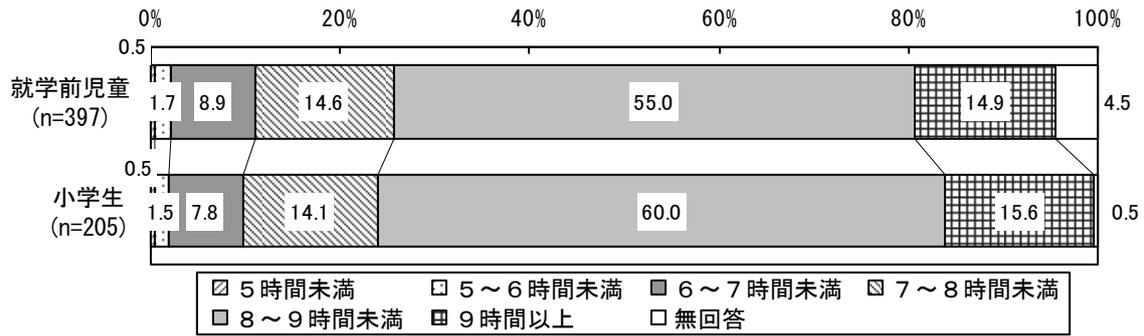
フルタイムでは、就学前児童の保護者では「8～9時間未満」が最も多く55.0%、次いで「9時間以上」「7～8時間未満」がほぼ同じ割合（それぞれ14.9%、14.6%）、「6～7時間未満」が8.9%と続いている。小学生の保護者でも「8～9時間」が最も多く60.0%、次いで「9時間以上」が15.6%、「7～8時間未満」が14.1%と続いている。

パートタイム・アルバイト等では、就学前児童の保護者では「5時間未満」が最も多く30.1%、次いで「6～7時間未満」が23.8%、「5～6時間未満」が16.7%と続いている。小学生の保護者でも「5時間未満」が最も多く36.1%、次いで「5～6時間未満」が25.8%、「6～7時間未満」が19.5%と続いている。

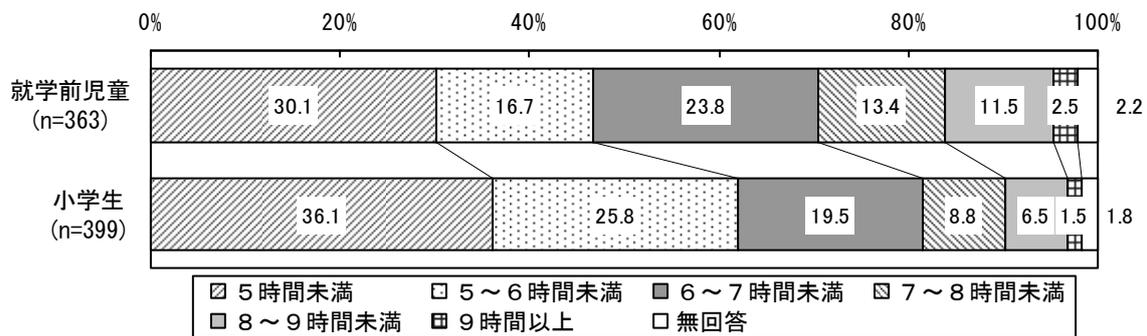
■ 1日あたりの平均的な就労時間（全体）



■ 1日あたりの平均的な就労時間（フルタイム）



■ 1日あたりの平均的な就労時間（パートタイム・アルバイト等）



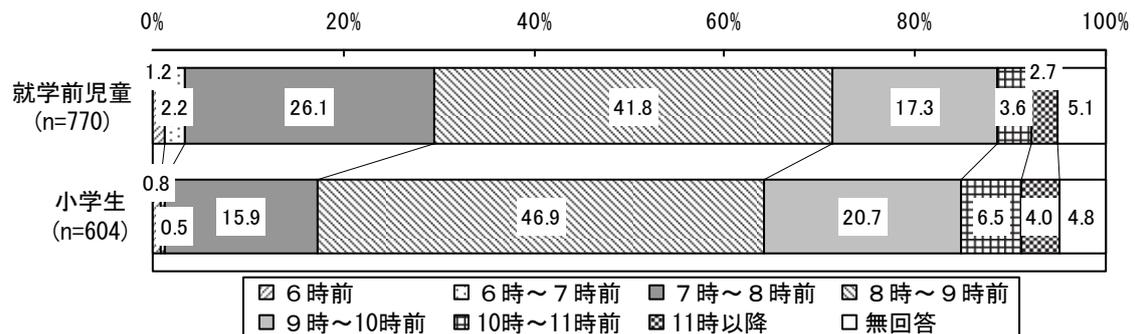
ウ. 家を出る時間・帰宅時間

就労状況で“就労している”と回答した人の家を出る時間をみると、就学前児童の保護者では「8時～9時前」が最も多く41.8%、次いで「7時～8時前」が26.1%、「9時～10時前」が17.3%と続いている。小学生の保護者では、「8時～9時前」が最も多く46.9%、次いで「9時～10時前」が20.7%、「7時～8時前」が15.9%と続いている。

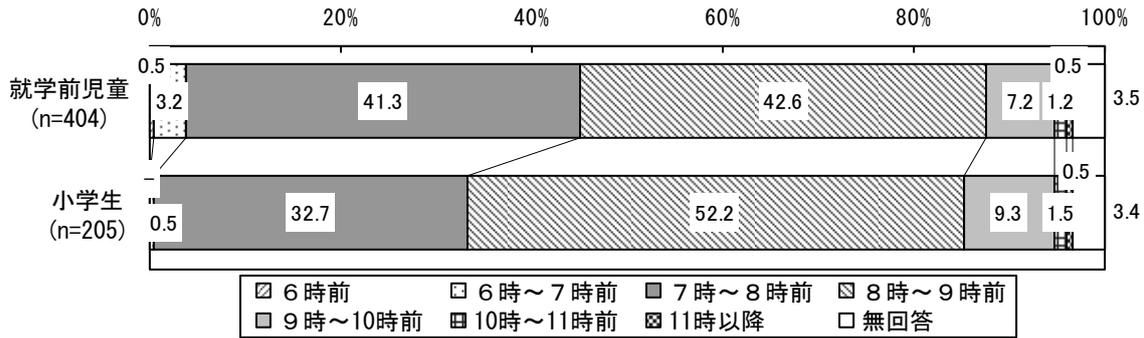
フルタイムでは、就学前児童の保護者では「8時～9時前」「7時～8時前」がほぼ同じ割合で最も多く（それぞれ42.6%、41.3%）、次いで「9時～10時前」が7.2%と続いている。小学生の保護者では「8時～9時前」が最も多く52.2%、次いで「7時～8時前」が32.7%、「9時～10時前」が9.3%と続いている。

パートタイム・アルバイト等では、就学前児童の保護者では「8時～9時前」が最も多く41.0%、次いで「9時～10時前」が28.4%、「7時～8時前」が9.3%と続いている。小学生の保護者では「8時～9時前」が最も多く44.1%、次いで「9時～10時前」が26.6%、「10時～11時前」が9.0%と続いている。

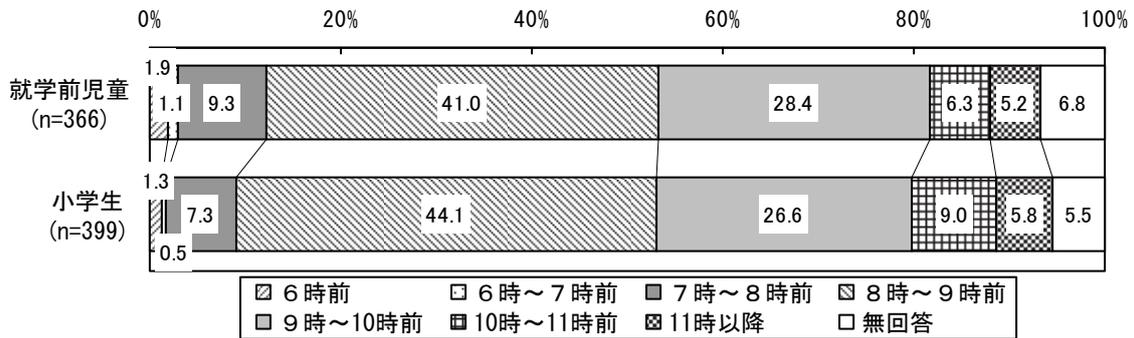
■ 家を出る時間（全体）



■ 家を出る時間（フルタイム）



■ 家を出る時間（パートタイム・アルバイト等）

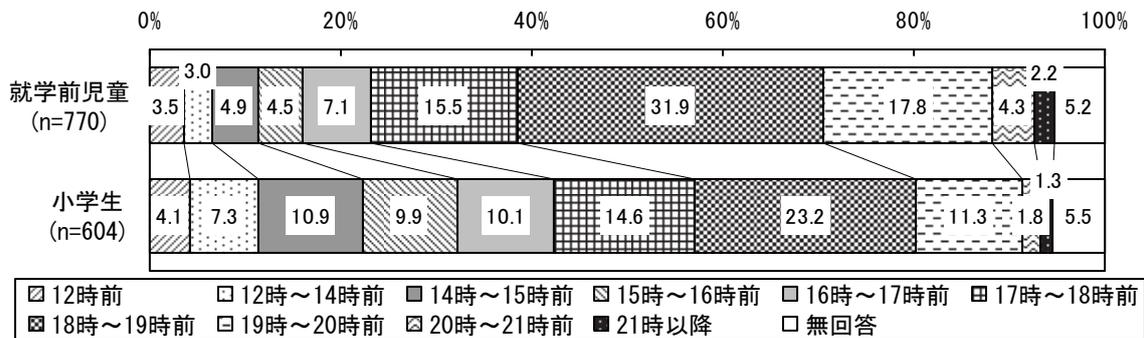


帰宅時間をみると、就学前児童の保護者では「18時～19時前」が最も多く31.9%、次いで「19時～20時前」が17.8%、「17時～18時前」が15.5%と続いている。小学生の保護者では、「18時～19時前」が最も多く23.2%、次いで「17時～18時前」が14.6%、「19時～20時前」が11.3%と続いている。

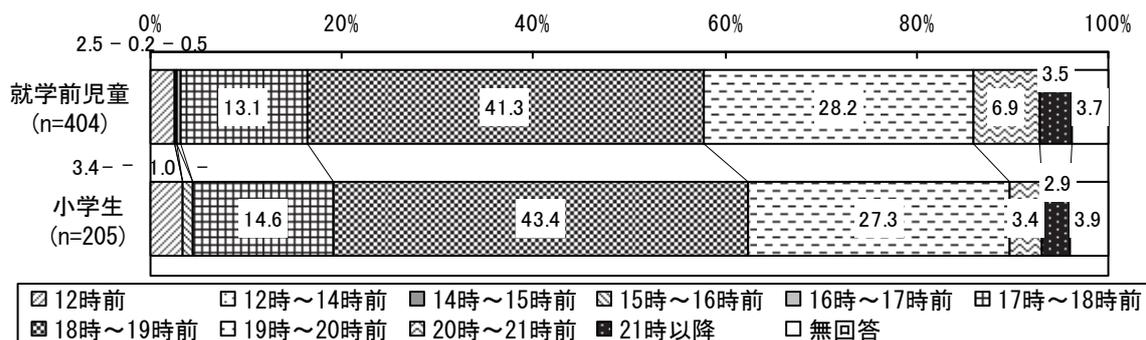
フルタイムでは、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「18時～19時前」が最も多く（それぞれ41.3%、43.4%）、次いで「19時～20時前」（それぞれ28.2%、27.3%）、「17時～18時前」（それぞれ13.1%、14.6%）と続いている。

パートタイム・アルバイト等では、就学前児童の保護者では「18時～19時前」が最も多く21.6%、次いで「17時～18時前」が18.0%、「16時～17時前」が14.5%と続いている。小学生の保護者では「14時～15時前」が最も多く16.5%、次いで「16時～17時前」が15.3%、「15時～16時前」「17時～18時前」がともに14.5%と続いている。

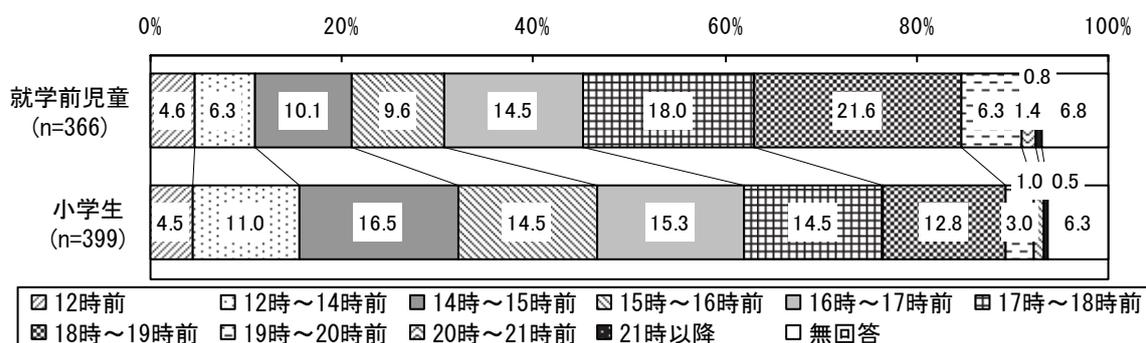
■ 帰宅時間（全体）



■ 帰宅時間（フルタイム）



■ 帰宅時間（パートタイム・アルバイト等）



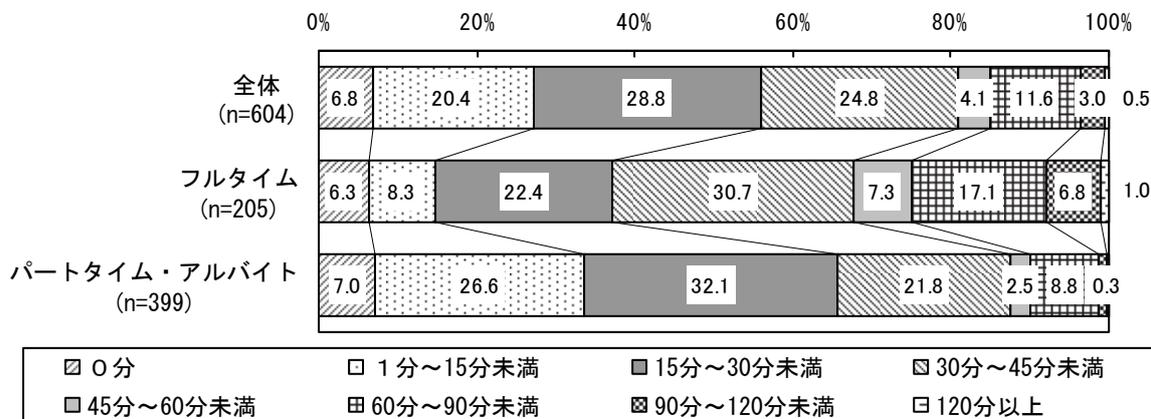
エ. 通勤時間（小学生）

小学生の保護者の通勤時間をみると、「15分～30分未満」が最も多く28.8%、次いで「30分～45分未満」が24.8%、「1分～15分未満」が20.4%と続いている。

フルタイムでは、「30分～45分未満」が最も多く30.7%、次いで「15分～30分未満」が22.4%、「60分～90分未満」が7.3%と続いている。

パートタイム・アルバイト等では、「15分～30分未満」が最も多く32.1%、次いで「1分～15分未満」が26.6%、「30分～45分未満」が21.8%と続いている。

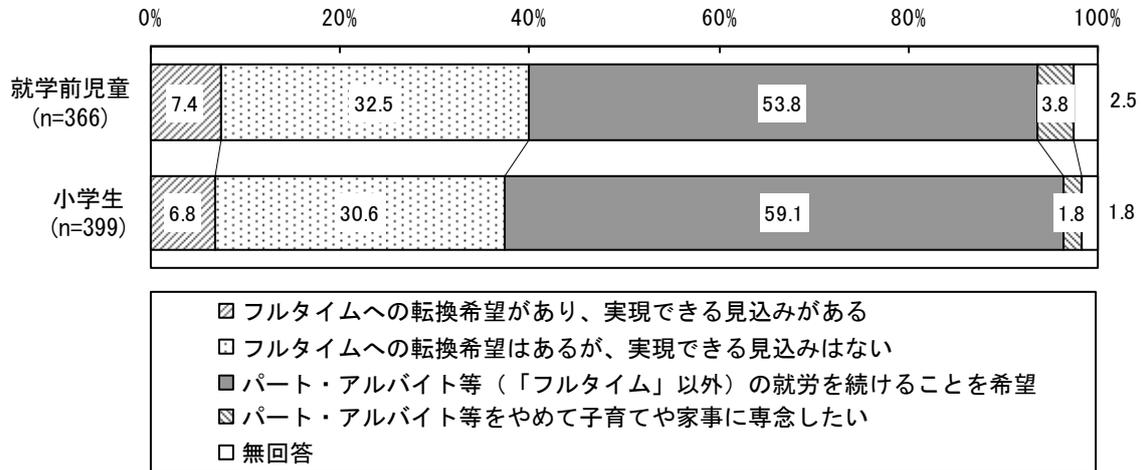
■ 通勤時間



オ. フルタイムへの転換希望

「パートタイム・アルバイト等」と回答した人のフルタイムへの転換希望をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「パートタイム・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く、それぞれ53.8%、59.1%となっており、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（それぞれ32.5%、30.6%）となっている。

■ フルタイムへの転換希望

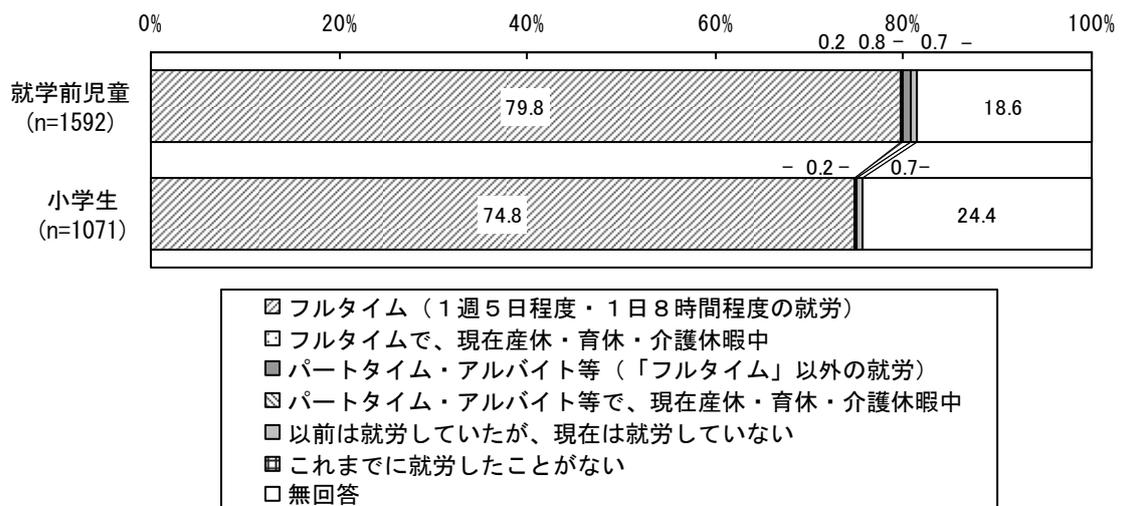


(2) 父親の就労状況

① 就労状況

父親の就労状況をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「フルタイム」が最も多く、それぞれ79.8%、74.8%となっている。

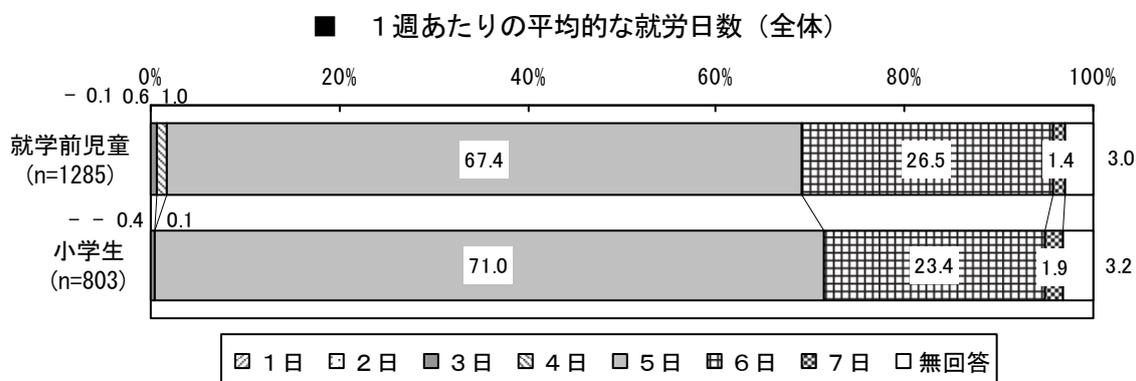
■ 父親の就労状況



② 就労日数・帰宅時間等

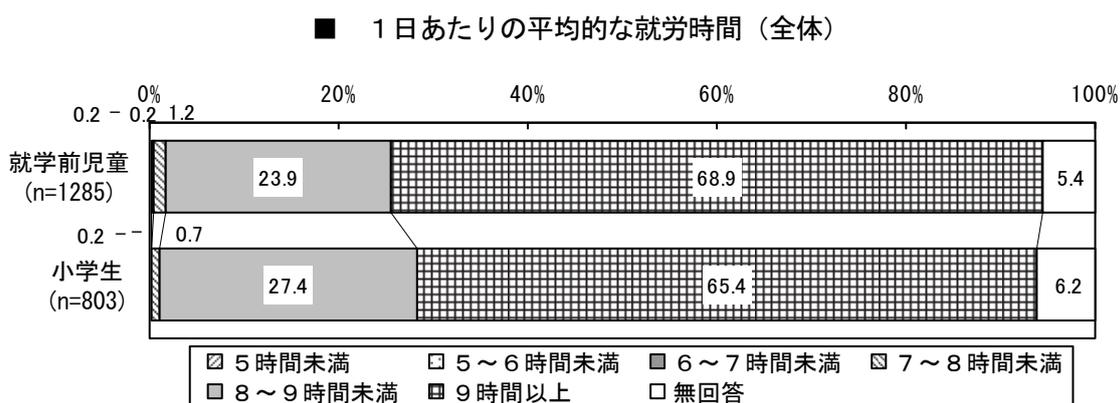
ア. 1週あたりの平均的な就労日数

就労状況で“就労している”と回答した人の1週あたりの平均的な就労日数をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「5日」が最も多く（それぞれ67.4%、71.0%）、次いで「6日」（それぞれ26.5%、23.4%）と続いている。



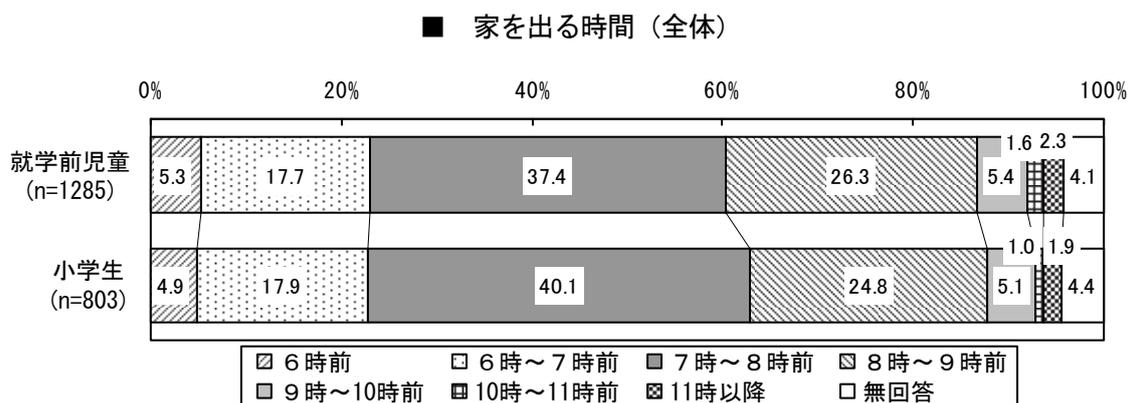
イ. 1日あたりの平均的な就労時間

就労状況で“就労している”と回答した人の1日あたりの平均的な就労時間をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「9時間以上」が最も多く（それぞれ68.9%、65.4%）、次いで「8～9時間」（それぞれ23.9%、27.4%）と続いている。

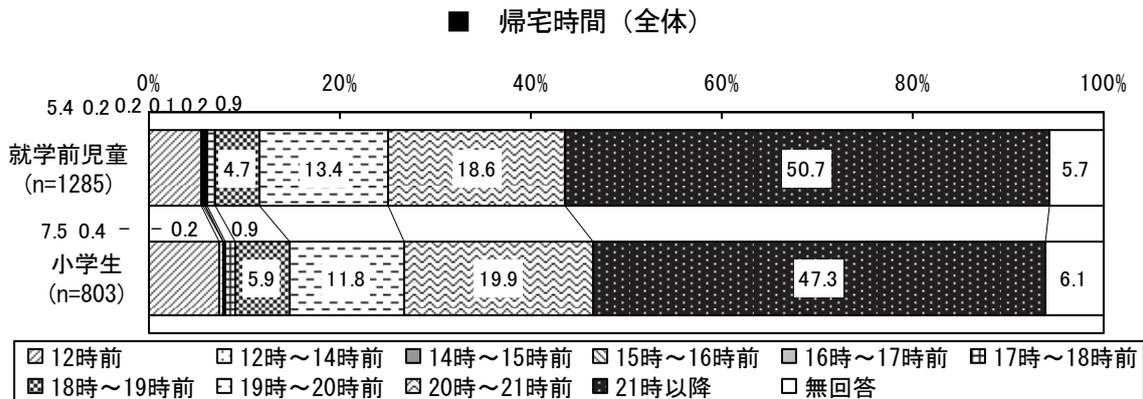


ウ. 家を出る時間・帰宅時間

就労状況で“就労している”と回答した人の家を出る時間をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「7時～8時前」が最も多く（それぞれ37.4%、40.1%）、次いで「8時～9時前」（それぞれ26.3%、24.8%）、「6時～7時前」（それぞれ17.7%、17.9%）と続いている。

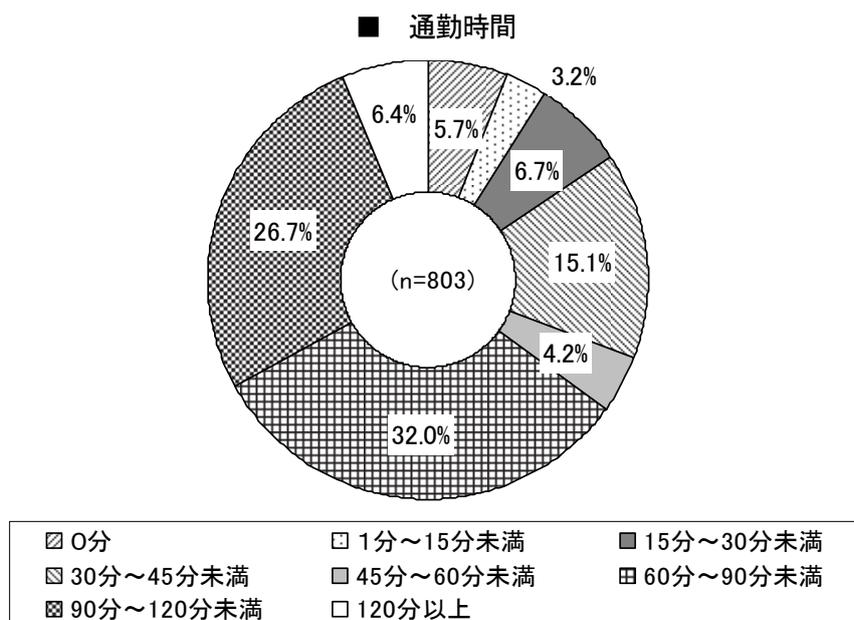


帰宅時間をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「21時以降」が最も多く（それぞれ50.7%、47.3%）、次いで「20時～21時前」（それぞれ18.6%、19.9%）「19時～20時前」（それぞれ13.4%、11.8%）と続いている。



エ. 通勤時間（小学生）

小学生の保護者の通勤時間をみると、「60分～90分未満」が最も多く32.0%、次いで「90分～120分未満」が26.7%、「30分～45分未満」が15.1%と続いている。

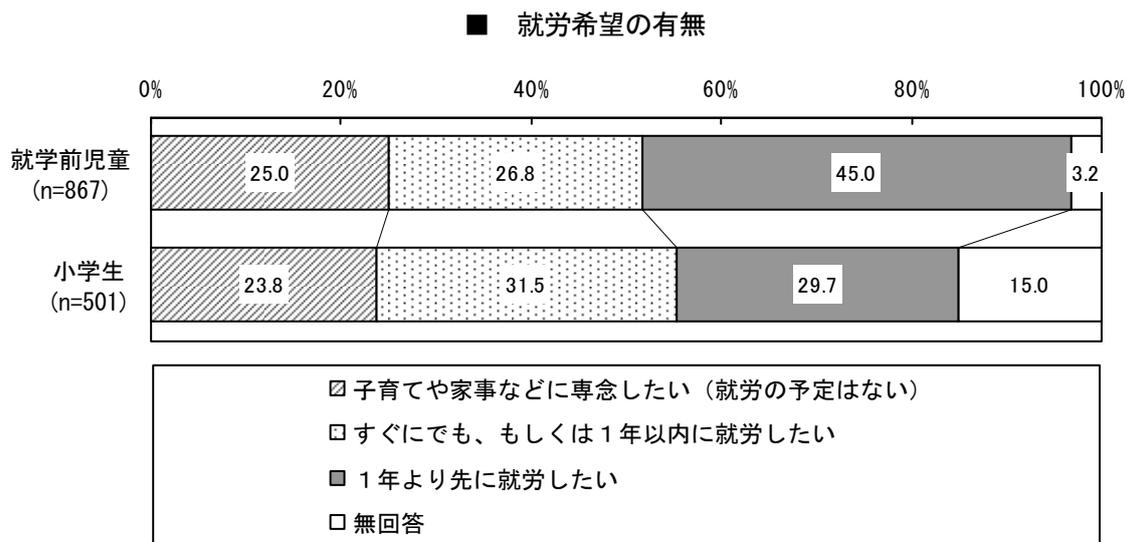


(3) 母親の就労希望

① 就労希望の有無

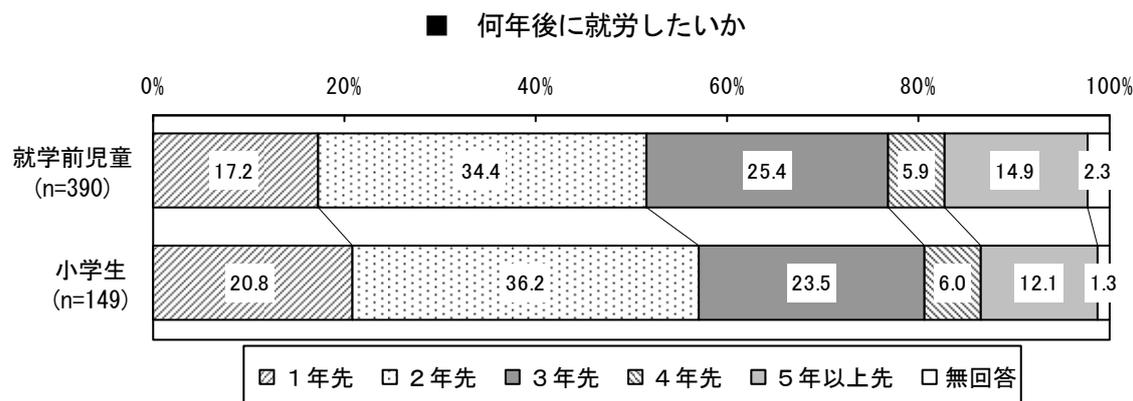
母親の就労状況で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した人の就労希望の有無をみると、就学前児童の保護者では、「1年より先に就労したい」が最も多く45.0%、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が26.8%、「子育てや家事などに専念したい」が25.0%となっている。

小学生の保護者では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く31.5%、次いで「1年より先に就労したい」(29.7%)もほぼ同じ割合、「子育てや家事などに専念したい」が23.8%となっている。



② 何年後に就労したいか

就労希望の有無で「1年より先に就労したい」と回答した人の希望する何年後は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「2年先」が最も多く(それぞれ34.4%、36.2%)、次いで「3年先」(25.4%、23.5%)、「1年先」(17.2%、20.8%)と続いている。

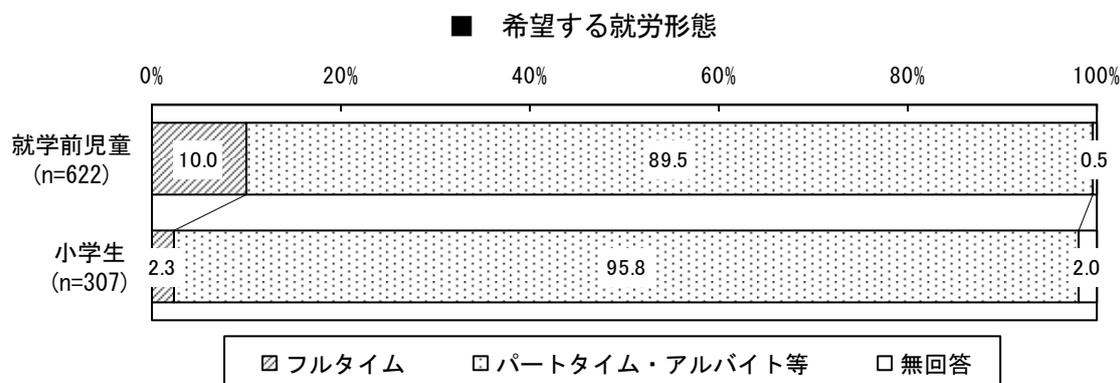


③ 希望する就労形態

ア. 希望する就労形態

就労希望の有無で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」「1年より先に就労したい」と回答した人の希望する就労形態をみると、就学前児童の保護者では「パートタイム・アルバイト等」が89.5%、「フルタイム」が10.0%となっている。

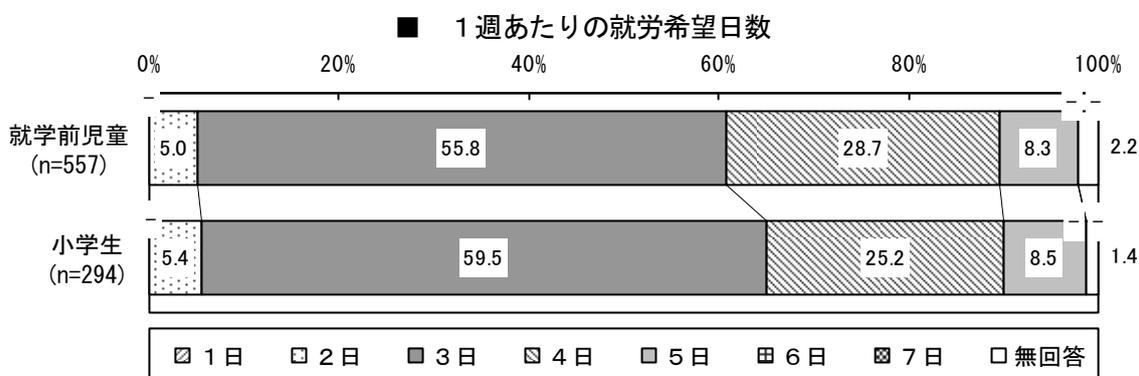
小学生の保護者でも同じ傾向となっており、「パートタイム・アルバイト等」が95.8%、「フルタイム」が2.3%となっている。



イ. パートタイム・アルバイト等の就労希望日数と勤務希望時間

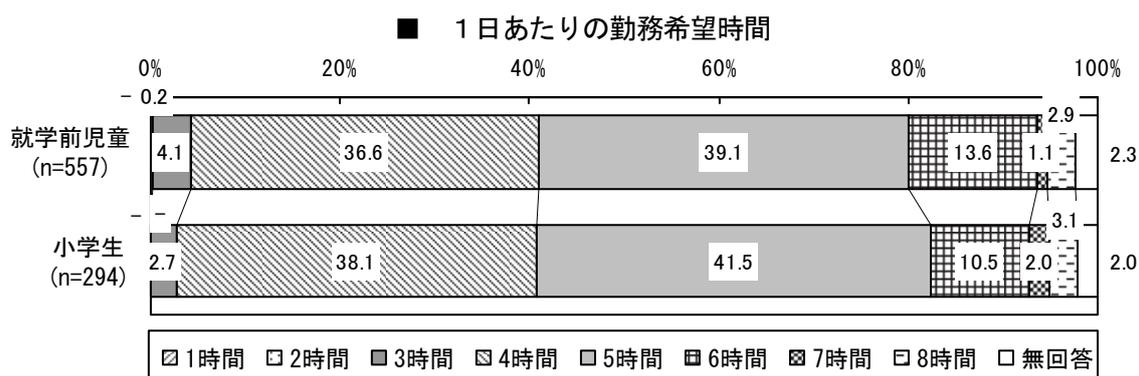
a. 1週あたりの就労希望日数

希望する就労形態で「パートタイム・アルバイト等」と回答した人の1週あたりの就労希望日数をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者とも「3日」が最も多く（それぞれ55.8%、59.5%）、次いで「4日」（それぞれ28.7%、25.2%）、「5日」（それぞれ8.3%、8.5%）と続いている。



b. 1日あたりの勤務希望時間

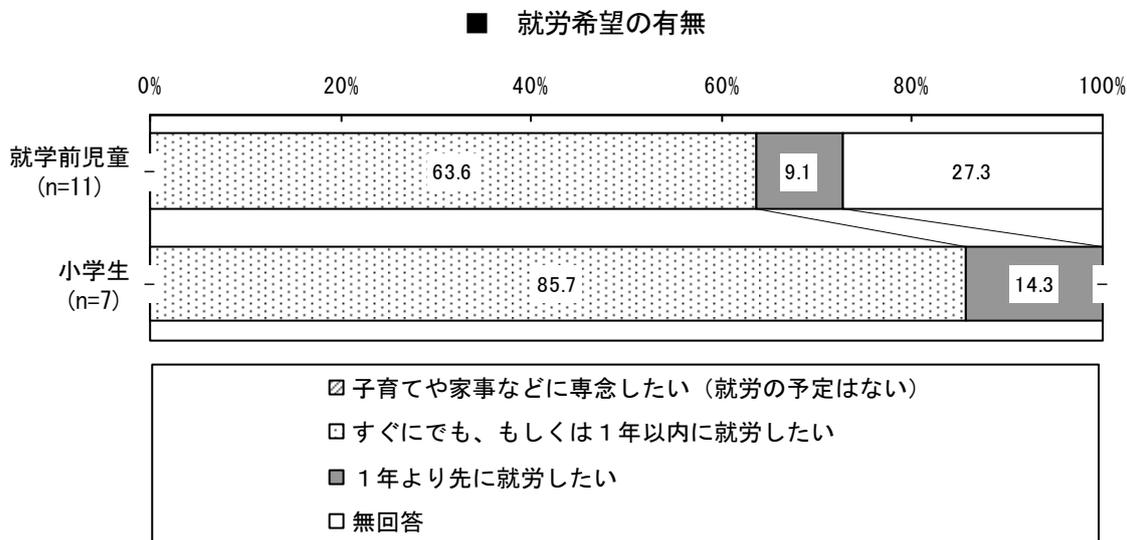
1日あたりの勤務希望時間をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者とも「5時間」が最も多く（それぞれ39.1%、41.5%）、次いで「4時間」（それぞれ36.6%、38.1%）、「6時間」（それぞれ13.6%、10.5%）と続いている。



(4) 父親の就労希望

① 就労希望の有無

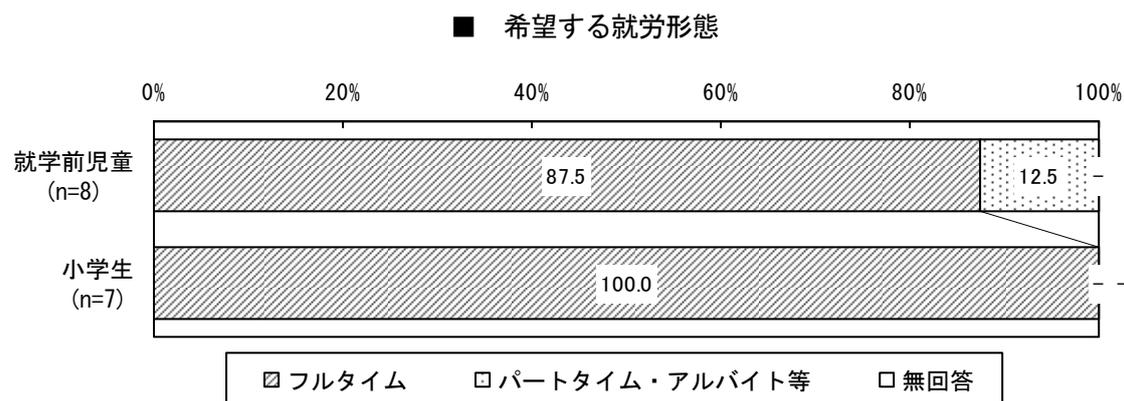
父親の就労状況で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した人の就労希望の有無をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が多く、それぞれ63.6%、85.7%となっている。



② 希望する就労形態

就労希望の有無で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」「1年より先に就労したい」と回答した人の希望する就労形態をみると、就学前児童の保護者では「フルタイム」が87.5%となっている。

小学生の保護者では回答者全員が「フルタイム」としている。



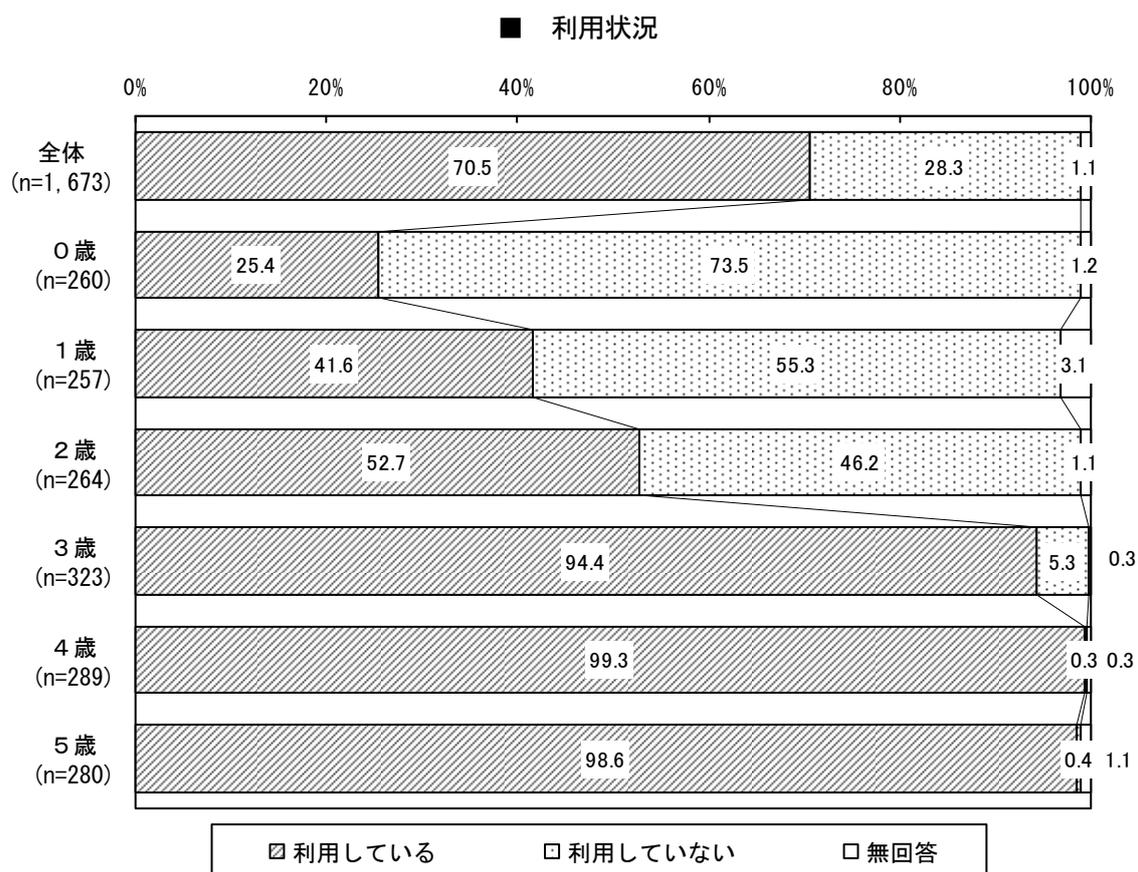
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

（1）利用状況

① 利用状況

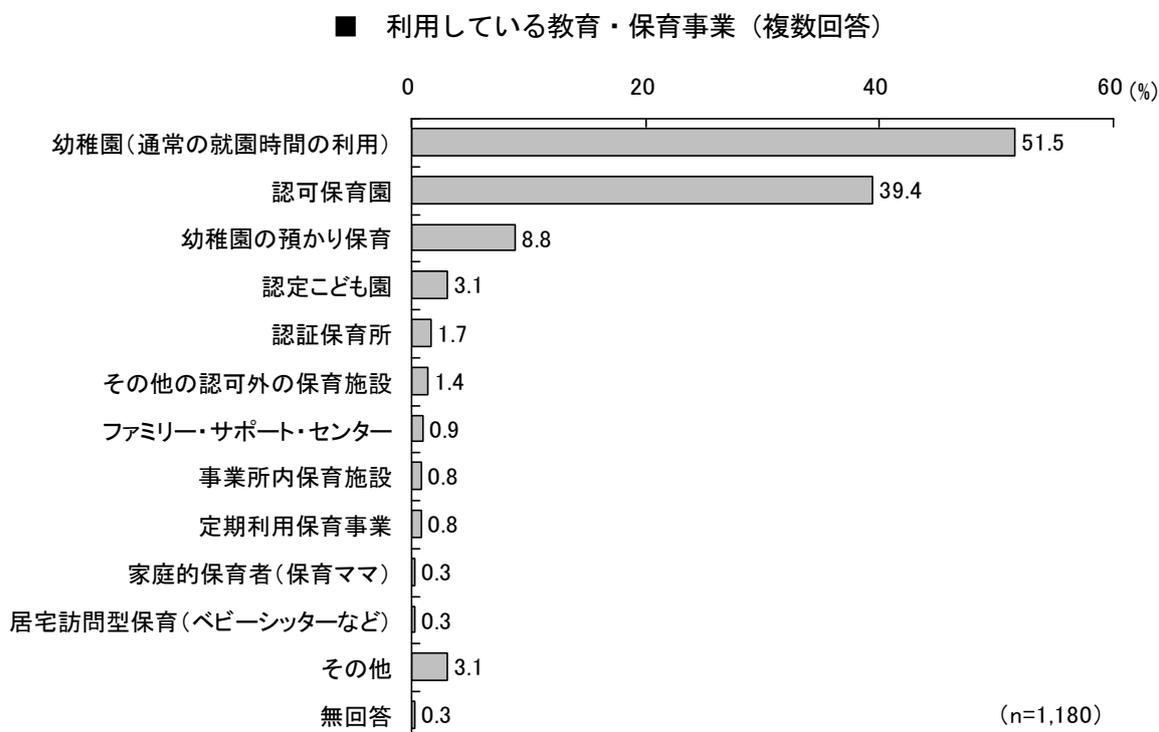
平日の教育・保育事業の利用状況を見ると、「利用している」が70.5%、「利用していない」が28.3%となっている。

子どもの年齢別にみると、「利用している」は、0歳児が25.4%、1歳児が41.6%、2歳児が52.7%、3歳児が94.4%、4歳児が99.3%、5歳児が98.6%となっている。



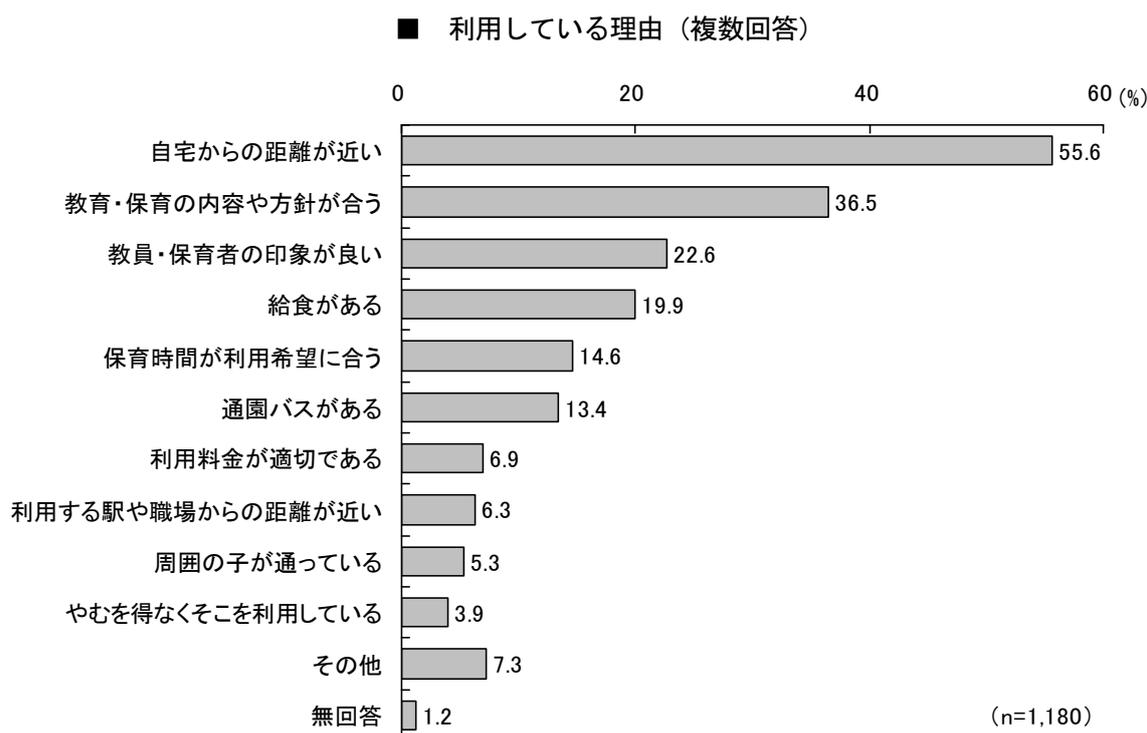
② 利用している教育・保育事業

平日の教育・保育事業を「利用している」と回答した人の利用している事業をみると、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が最も多く51.5%、次いで「認可保育園」が39.4%、「幼稚園の預かり保育」が8.8%と続いている。



③ 利用している理由

平日の教育・保育事業を「利用している」と回答した人の利用している理由をみると、「自宅からの距離が近い」が最も多く55.6%、次いで「教育・保育の内容や方針が合う」が36.5%、「教員・保育者の印象が良い」が22.6%と続いている。



教育・保育事業別に利用している理由をみると、概ね全体と同じ傾向を示している。

■ 教育・保育事業別の利用している理由（複数回答）

（単位：人、％）

区分	件数	自宅からの距離が近い	教育・保育の内容や方針が合う	教員・保育者の印象が良い	給食がある	保育時間が利用希望に合う	通園バスがある	利用料金が適切である	利用する駅や職場からの距離が近い	周囲の子が通っている	やむを得なくそこを利用している	その他	無回答
全体	1,180	55.6	36.5	22.6	19.9	14.6	13.4	6.9	6.3	5.3	3.9	7.3	1.2
幼稚園（通常の就園時間の利用）	608	49.8	47.2	25.3	29.9	6.6	25.0	6.1	0.2	9.2	1.2	4.6	1.0
幼稚園の預かり保育	104	52.9	32.7	24.0	29.8	23.1	24.0	15.4	1.0	9.6	2.9	4.8	-
認可保育園	465	65.6	26.5	21.1	8.4	23.9	0.4	7.5	12.9	0.6	4.5	8.4	1.1
認定こども園	36	36.1	41.7	16.7	36.1	38.9	19.4	5.6	-	5.6	5.6	8.3	-
家庭的保育者（保育ママ）	3	100.0	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
事業所内保育施設	10	-	-	-	-	-	-	10.0	30.0	-	20.0	50.0	10.0
認証保育所	20	60.0	15.0	10.0	5.0	35.0	-	10.0	30.0	-	45.0	5.0	-
定期利用保育事業	10	50.0	10.0	30.0	20.0	20.0	-	40.0	10.0	-	-	-	-
その他の認可外の保育施設	16	68.8	12.5	6.3	6.3	43.8	-	12.5	6.3	-	31.3	12.5	-
居宅訪問型保育	3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	66.7	66.7	-
ファミリー・サポート・センター	11	72.7	27.3	9.1	-	27.3	9.1	-	18.2	-	36.4	9.1	-
その他	36	50.0	27.8	27.8	8.3	8.3	5.6	8.3	8.3	8.3	8.3	25.0	-

④ 利用状況・利用希望

ア. 1週あたりの利用（希望）日数

1週あたりの利用日数（現在）をみると、『幼稚園』『幼稚園の預かり保育』『認可保育園』『認定こども園』では「5日」が多く8割以上となっている。

1週あたりの利用希望日数（今後）も同様に『幼稚園』『幼稚園の預かり保育』『認可保育園』『認定こども園』では「5日」が多くなっている。

■ 1週あたりの利用日数（現在）

（単位：人、％）

区 分	件 数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	1,180	3.5	1.4	1.4	3.1	83.6	5.4	-	1.7
幼稚園(通常の就園時間の利用)	608	1.6	0.5	0.7	0.3	94.7	0.2	-	2.0
幼稚園の預かり保育	104	3.8	1.0	1.9	-	90.4	-	-	2.9
認可保育園	465	1.9	0.6	1.1	4.7	78.7	12.3	-	0.6
認定こども園	36	-	2.8	-	11.1	83.3	-	-	2.8
家庭的保育者(保育ママ)	3	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-
事業所内保育施設	10	-	10.0	-	40.0	50.0	-	-	-
認証保育所	20	-	-	-	5.0	70.0	20.0	-	5.0
定期利用保育事業	10	40.0	40.0	10.0	10.0	-	-	-	-
その他の認可外の保育施設	16	12.5	-	6.3	6.3	56.3	12.5	-	6.3
居宅訪問型保育	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-
ファミリー・サポート・センター	11	9.1	-	-	-	72.7	18.2	-	-
その他	36	41.7	16.7	13.9	2.8	13.9	2.8	-	8.3

■ 1週あたりの利用希望日数（今後）

（単位：人、％）

区 分	件 数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全 体	1,180	1.0	0.6	1.1	2.5	73.5	6.5	0.3	14.6
幼稚園(通常の就園時間の利用)	608	0.5	0.5	0.7	0.2	80.1	2.3	-	15.8
幼稚園の預かり保育	104	-	1.9	2.9	-	75.0	7.7	-	12.5
認可保育園	465	0.6	0.4	0.9	3.9	70.3	12.3	0.4	11.2
認定こども園	36	-	2.8	-	8.3	69.4	8.3	-	11.1
家庭的保育者(保育ママ)	3	-	-	-	-	100.0	-	-	-
事業所内保育施設	10	-	-	-	30.0	60.0	-	-	10.0
認証保育所	20	-	-	5.0	-	60.0	20.0	5.0	10.0
定期利用保育事業	10	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	-	-	30.0
その他の認可外の保育施設	16	12.5	-	6.3	6.3	56.3	6.3	-	12.5
居宅訪問型保育	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3
ファミリー・サポート・センター	11	9.1	-	-	-	63.6	18.2	-	9.1
その他	36	5.6	2.8	11.1	5.6	41.7	2.8	-	30.6

イ. 1日あたりの利用（希望）時間

1日あたりの利用時間（現在）をみると、『幼稚園』『幼稚園の預かり保育』では「4～6時間未満」、『認可保育園』では「8～10時間未満」が最も多くなっている。

1日あたりの利用希望時間（今後）をみると、『幼稚園』『幼稚園の預かり保育』の「6～8時間未満」と回答する割合が1日あたりの利用時間（現在）よりも2割以上増加している。

■ 1日あたりの利用時間（現在）

（単位：人、％）

区 分	件 数	2時間 未満	2～4時 間未満	4～6時 間未満	6～8時 間未満	8～10時 間未満	10～12 時間未満	12時間 以上	無回答
全 体	1,180	2.1	7.5	42.4	14.7	24.0	7.3	0.3	1.9
幼稚園（通常の就園時間の利用）	608	1.5	13.2	77.8	3.5	2.0	-	-	2.1
幼稚園の預かり保育	104	1.9	12.5	62.5	9.6	11.5	-	-	1.9
認可保育園	465	-	-	2.8	26.2	51.8	17.4	0.6	1.1
認定こども園	36	2.8	11.1	33.3	19.4	27.8	-	-	5.6
家庭的保育者（保育ママ）	3	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-
事業所内保育施設	10	-	-	20.0	40.0	30.0	-	-	10.0
認証保育所	20	-	-	-	30.0	50.0	15.0	-	5.0
定期利用保育事業	10	-	-	10.0	80.0	10.0	-	-	-
その他の認可外の保育施設	16	-	12.5	18.8	6.3	43.8	12.5	-	6.3
居宅訪問型保育（ベビーシッターなど）	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	11	-	9.1	9.1	-	72.7	9.1	-	-
その他	36	41.7	8.3	19.4	19.4	5.6	-	2.8	2.8

■ 1日あたりの利用希望時間（今後）

（単位：人、％）

区 分	件 数	2時間 未満	2～4時 間未満	4～6時 間未満	6～8時 間未満	8～10時 間未満	10～12 時間未満	12時間 以上	無回答
全 体	1,180	0.4	3.0	27.0	21.4	23.4	8.9	0.7	0.2
幼稚園（通常の就園時間の利用）	608	0.7	4.8	48.5	25.2	4.1	0.3	-	-
幼稚園の預かり保育	104	1.0	3.8	34.6	32.7	13.5	1.0	1.0	-
認可保育園	465	-	-	1.5	17.2	47.5	21.1	1.3	0.2
認定こども園	36	2.8	2.8	27.8	22.2	27.8	2.8	-	-
家庭的保育者（保育ママ）	3	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-
事業所内保育施設	10	-	-	20.0	20.0	40.0	-	-	-
認証保育所	20	-	-	-	25.0	45.0	-	5.0	5.0
定期利用保育事業	10	-	-	-	50.0	20.0	-	-	-
その他の認可外の保育施設	16	-	6.3	18.8	12.5	31.3	12.5	-	-
居宅訪問型保育（ベビーシッターなど）	3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	11	-	9.1	-	9.1	54.5	18.2	-	-
その他	36	2.8	11.1	22.2	16.7	13.9	-	2.8	-

ウ. 利用（希望）開始時間と利用（希望）終了時間

a. 利用（希望）開始時間

利用開始時間（現在）をみると、『幼稚園』『幼稚園の預かり保育』では「9時」、『認可保育園』では「8時」が最も多くなっている。

利用希望開始時間（今後）も、利用開始時間（現在）とほぼ同じ傾向となっている。

■ 利用開始時間（現在）

（単位：人、％）

区 分	件 数	7時前	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時以降	無回答
全 体	1,180	0.1	8.1	28.3	52.6	7.8	0.3	0.2	-	0.7	1.9
幼稚園(通常の就園時間の利用)	608	0.2	-	12.8	71.1	12.3	0.2	-	-	1.3	2.1
幼稚園の預かり保育	104	1.0	1.0	26.0	56.7	7.7	-	-	-	5.8	1.9
認可保育園	465	-	19.8	46.9	31.2	1.1	-	-	-	-	1.1
認定こども園	36	-	-	25.0	61.1	8.3	-	-	-	2.8	2.8
家庭的保育者(保育ママ)	3	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	10	-	-	70.0	30.0	-	-	-	-	-	-
認証保育所	20	-	10.0	55.0	30.0	-	-	-	-	-	5.0
定期利用保育事業	10	-	10.0	10.0	60.0	20.0	-	-	-	-	-
その他の認可外の保育施設	16	-	-	50.0	37.5	-	-	-	-	-	12.5
居宅訪問型保育	3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	11	-	-	36.4	63.6	-	-	-	-	-	-
その他	36	-	2.8	5.6	55.6	19.4	8.3	5.6	-	-	2.8

■ 利用希望開始時間（今後）

（単位：人、％）

区 分	件 数	7時前	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時以降	無回答
全 体	1,180	0.1	9.1	28.6	42.7	4.2	0.1	-	-	0.4	14.8
幼稚園(通常の就園時間の利用)	608	0.2	-	17.3	58.7	6.7	-	-	-	0.8	16.3
幼稚園の預かり保育	104	1.0	1.9	31.7	47.1	2.9	-	-	-	2.9	12.5
認可保育園	465	-	21.3	43.0	23.7	0.6	0.2	-	-	-	11.2
認定こども園	36	-	2.8	19.4	52.8	8.3	-	-	-	2.8	13.9
家庭的保育者(保育ママ)	3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	10	-	-	70.0	20.0	-	-	-	-	-	10.0
認証保育所	20	-	10.0	50.0	30.0	-	-	-	-	-	10.0
定期利用保育事業	10	-	10.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-	30.0
その他の認可外の保育施設	16	-	-	43.8	31.3	6.3	-	-	-	-	18.8
居宅訪問型保育	3	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-	33.3
ファミリー・サポート・センター	11	-	-	27.3	63.6	-	-	-	-	-	9.1
その他	36	-	5.6	8.3	47.2	8.3	-	-	-	-	30.6

b. 利用（希望）終了時間

利用終了時間（現在）をみると、『幼稚園』『幼稚園の預かり保育』では「14時」、『認可保育園』では「18時」が最も多くなっている。

利用希望終了時間（今後）をみると、『幼稚園』『幼稚園の預かり保育』で「15時」「16時」と回答する割合が利用終了時間（現在）よりも増加している。

■ 利用終了時間（現在）

（単位：人、％）

区 分	件 数	13時前	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	無回答
全 体	1,180	4.2	1.6	36.2	9.7	6.3	16.3	17.5	5.8	0.4	1.9
幼稚園(通常の就園時間の利用)	608	3.9	2.3	68.4	16.9	2.6	2.1	1.3	-	-	2.3
幼稚園の預かり保育	104	2.9	1.0	55.8	10.6	9.6	10.6	7.7	-	-	1.9
認可保育園	465	1.1	0.4	0.6	0.9	11.0	31.2	38.7	14.0	1.1	1.1
認定こども園	36	5.6	5.6	22.2	16.7	8.3	25.0	13.9	-	-	2.8
家庭的保育者(保育ママ)	3	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-
事業所内保育施設	10	-	-	-	20.0	30.0	30.0	20.0	-	-	-
認証保育所	20	-	-	-	-	5.0	40.0	40.0	10.0	-	5.0
定期利用保育事業	10	10.0	-	-	-	10.0	80.0	-	-	-	-
その他の認可外の保育施設	16	-	-	18.8	6.3	-	25.0	25.0	12.5	-	12.5
居宅訪問型保育	3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	11	9.1	-	-	9.1	-	-	45.5	36.4	-	-
その他	36	44.4	8.3	13.9	5.6	2.8	16.7	2.8	-	2.8	2.8

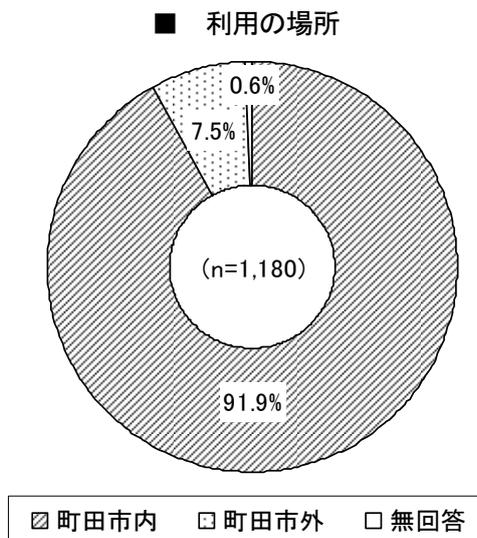
■ 利用希望終了時間（今後）

（単位：人、％）

区 分	件 数	13時前	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	無回答
全 体	1,180	2.5	0.5	14.5	14.3	11.9	14.2	17.9	7.0	2.0	0.2
幼稚園(通常の就園時間の利用)	608	2.6	0.8	26.8	26.0	18.6	5.4	2.6	0.7	0.2	-
幼稚園の預かり保育	104	1.9	-	16.3	18.3	25.0	15.4	8.7	1.9	1.0	-
認可保育園	465	1.1	0.2	0.2	0.4	5.4	24.5	36.3	15.7	4.5	0.4
認定こども園	36	5.6	-	8.3	13.9	13.9	25.0	13.9	5.6	-	-
家庭的保育者(保育ママ)	3	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-
事業所内保育施設	10	-	-	-	20.0	10.0	20.0	40.0	-	-	-
認証保育所	20	-	-	-	-	5.0	15.0	45.0	15.0	5.0	-
定期利用保育事業	10	10.0	-	-	-	-	50.0	10.0	-	-	-
その他の認可外の保育施設	16	-	-	-	12.5	12.5	12.5	18.8	25.0	-	-
居宅訪問型保育	3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	11	9.1	-	-	-	9.1	-	27.3	27.3	18.2	-
その他	36	13.9	-	16.7	8.3	5.6	13.9	8.3	-	2.8	-

⑤ 利用の場所

平日の教育・保育事業を「利用している」と回答した人の利用の場所をみると、「町田市内」が91.9%、「町田市外」が7.5%となっている。

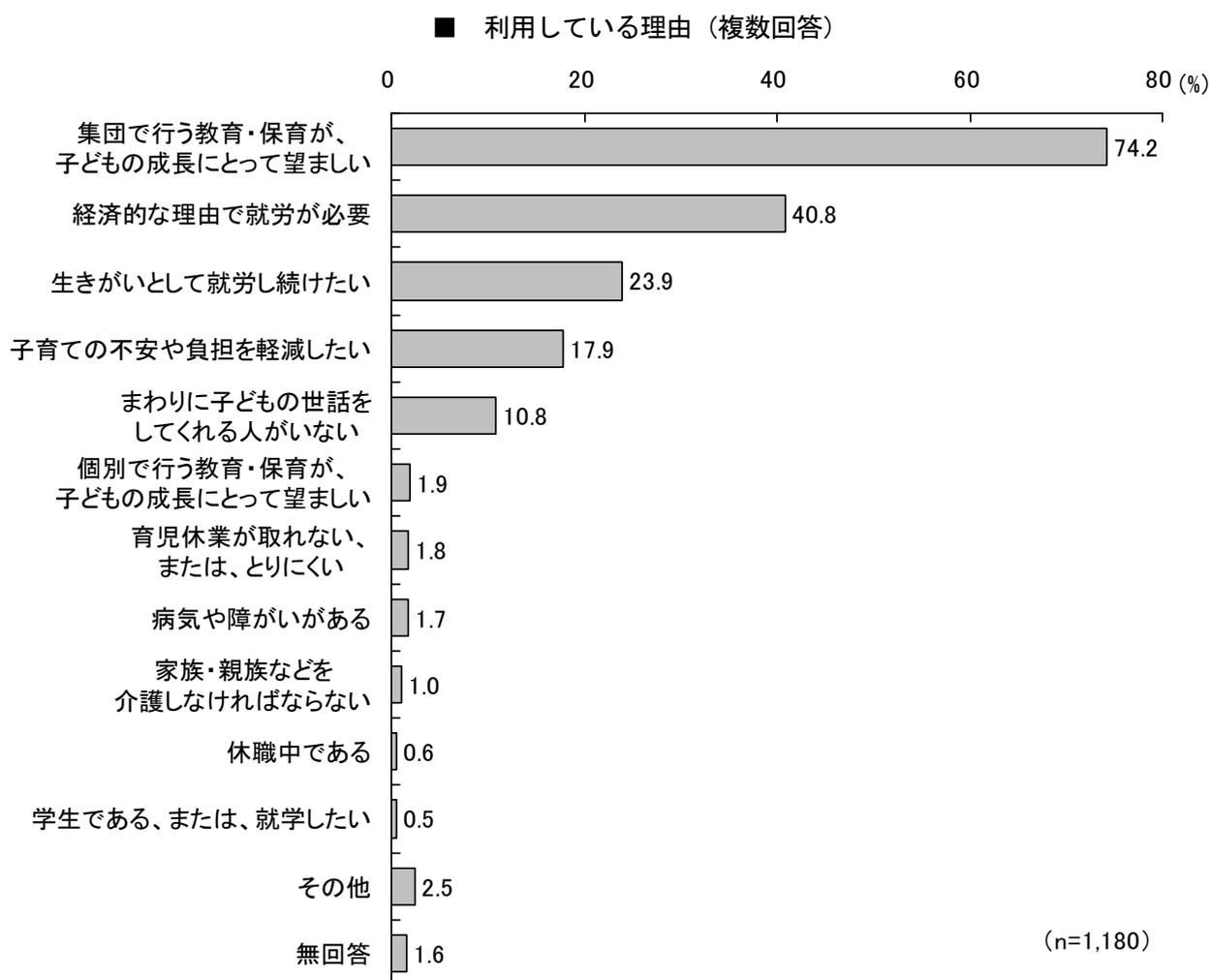


(単位:人、%)

区 分	件 数	町田市内	町田市外	無回答
全 体	1,180	91.9	7.5	0.6
幼稚園(通常の就園時間の利用)	608	89.5	10.0	0.5
幼稚園の預かり保育	104	95.2	4.8	-
認可保育園	465	97.2	2.6	0.2
認定こども園	36	86.1	8.3	5.6
家庭的保育者(保育ママ)	3	100.0	-	-
事業所内保育施設	10	20.0	80.0	-
認証保育所	20	95.0	5.0	-
定期利用保育事業	10	100.0	-	-
その他の認可外の保育施設	16	81.3	18.8	-
居宅訪問型保育	3	100.0	-	-
ファミリー・サポート・センター	11	81.8	18.2	-
その他	36	86.1	11.1	2.8

⑥ 利用している理由

平日の教育・保育事業を「利用している」と回答した人の利用している理由は、「集団で行う教育・保育が、子どもの成長にとって望ましい」が最も多く74.2%、次いで「経済的な理由で就労が必要」が40.8%、「生きがいとして就労し続けたい」が23.9%と続いている。

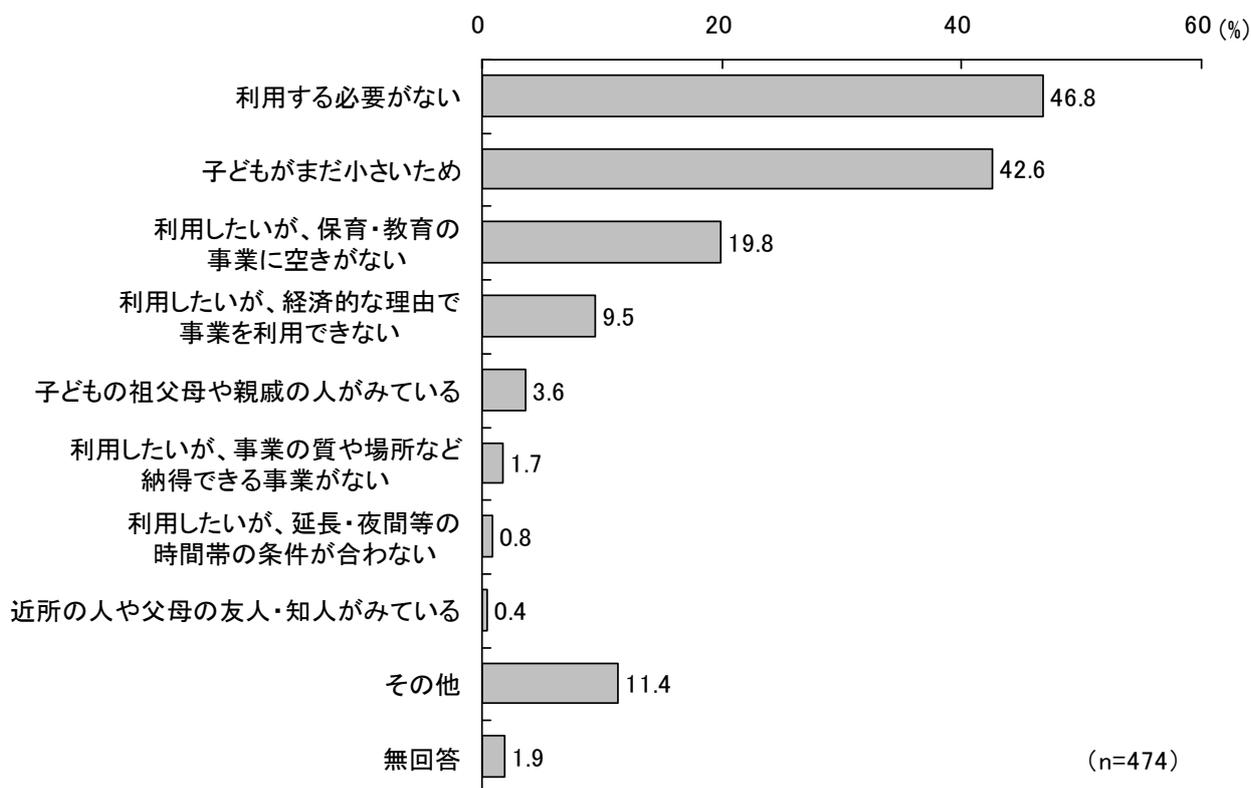


⑦ 利用していない理由

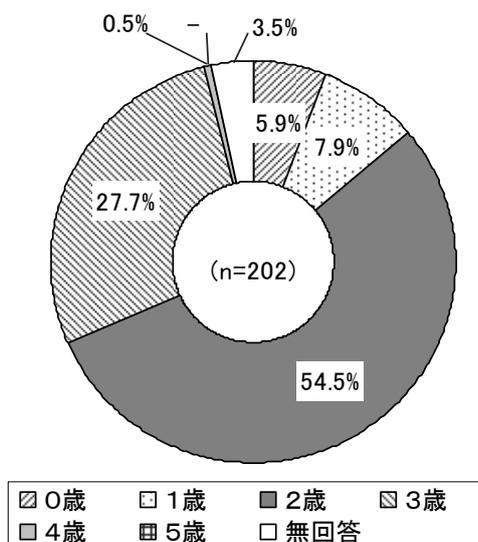
平日の教育・保育事業を「利用していない」と回答した人の利用していない理由をみると、「利用する必要がない」が最も多く 46.8%、次いで「子どもがまだ小さいため」が 42.6%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 19.8%と続いている。

また「子どもがまだ小さいため」と回答した人の利用開始年齢（予定）は「2歳」が最も多く 54.5%、次いで「3歳」が 27.7%、「1歳」が 7.9%と続いている。

■ 利用していない理由（複数回答）



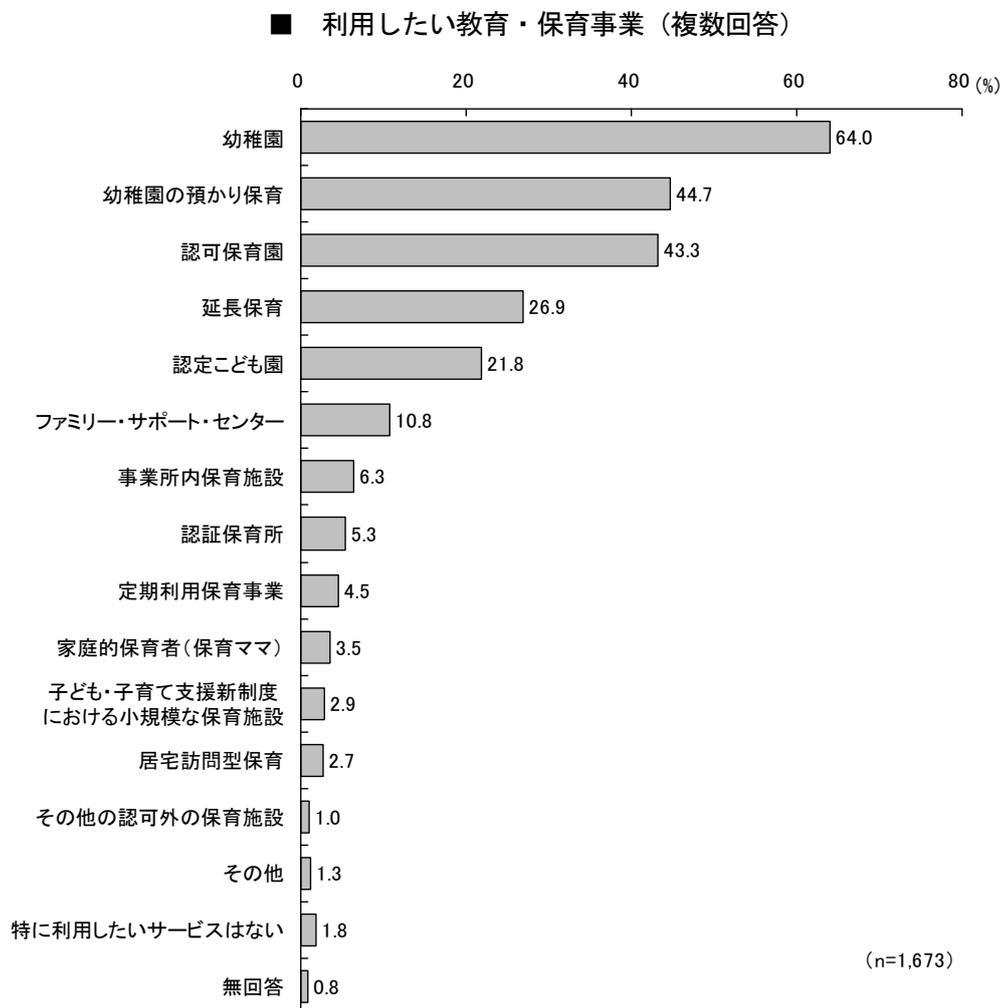
■ 利用開始年齢（予定）



(2) 利用したい教育・保育事業

① 利用したい教育・保育事業

利用したい教育・保育事業をみると、「幼稚園」が最も多く 64.0%、次いで「幼稚園の預かり保育」が 44.7%、「認可保育園」が 43.3%と続いている。

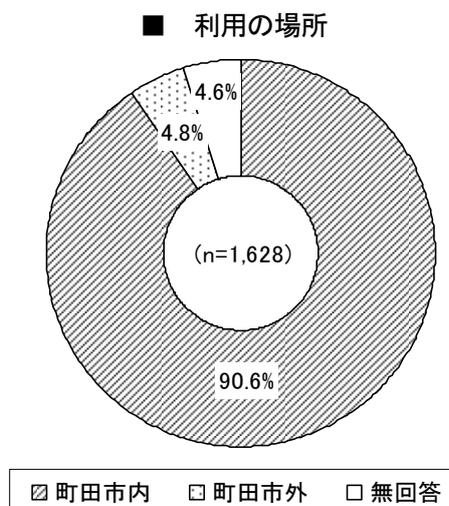


(単位:人、%)

区 分	件 数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
全 体	1,673	260	257	264	323	289	280
幼稚園	64.0	52.7	60.3	67.0	66.6	71.6	63.9
幼稚園の預かり保育	44.7	36.2	34.6	47.7	49.2	53.6	44.3
認可保育園	43.3	62.7	56.0	42.4	37.8	27.7	36.8
延長保育	26.9	32.3	29.2	27.7	24.8	22.8	25.7
認定こども園	21.8	30.8	25.7	20.8	20.1	18.3	16.4
ファミリー・サポート・センター	10.8	13.5	10.5	8.3	10.2	9.7	12.9
事業所内保育施設	6.3	8.5	7.0	6.1	5.3	4.2	7.5
認証保育所	5.3	13.5	6.6	4.9	3.1	1.7	3.2
定期利用保育事業	4.5	6.5	5.8	6.4	2.5	2.1	4.6
家庭的保育者(保育ママ)	3.5	9.6	3.1	2.3	2.2	1.7	2.9
子ども・子育て支援新制度における小規模な保育施設	2.9	5.8	3.1	2.7	1.5	1.7	2.9
居宅訪問型保育	2.7	3.5	3.9	3.0	2.5	2.1	1.8
その他の認可外の保育施設	1.0	1.9	1.2	1.1	0.9	0.7	0.4
その他	1.3	1.2	1.2	1.5	0.6	1.7	1.4
特に利用したいサービスはない	1.8	3.1	1.6	0.4	0.6	1.7	3.6
無回答	0.8	1.2	0.8	0.8	0.3	1.0	0.7

② 利用したい事業の場所

平日の教育・保育事業を利用し続けたい・利用したいと回答した人の利用場所をみると、「町田市内」が90.6%、「町田市外」が4.8%となっている。



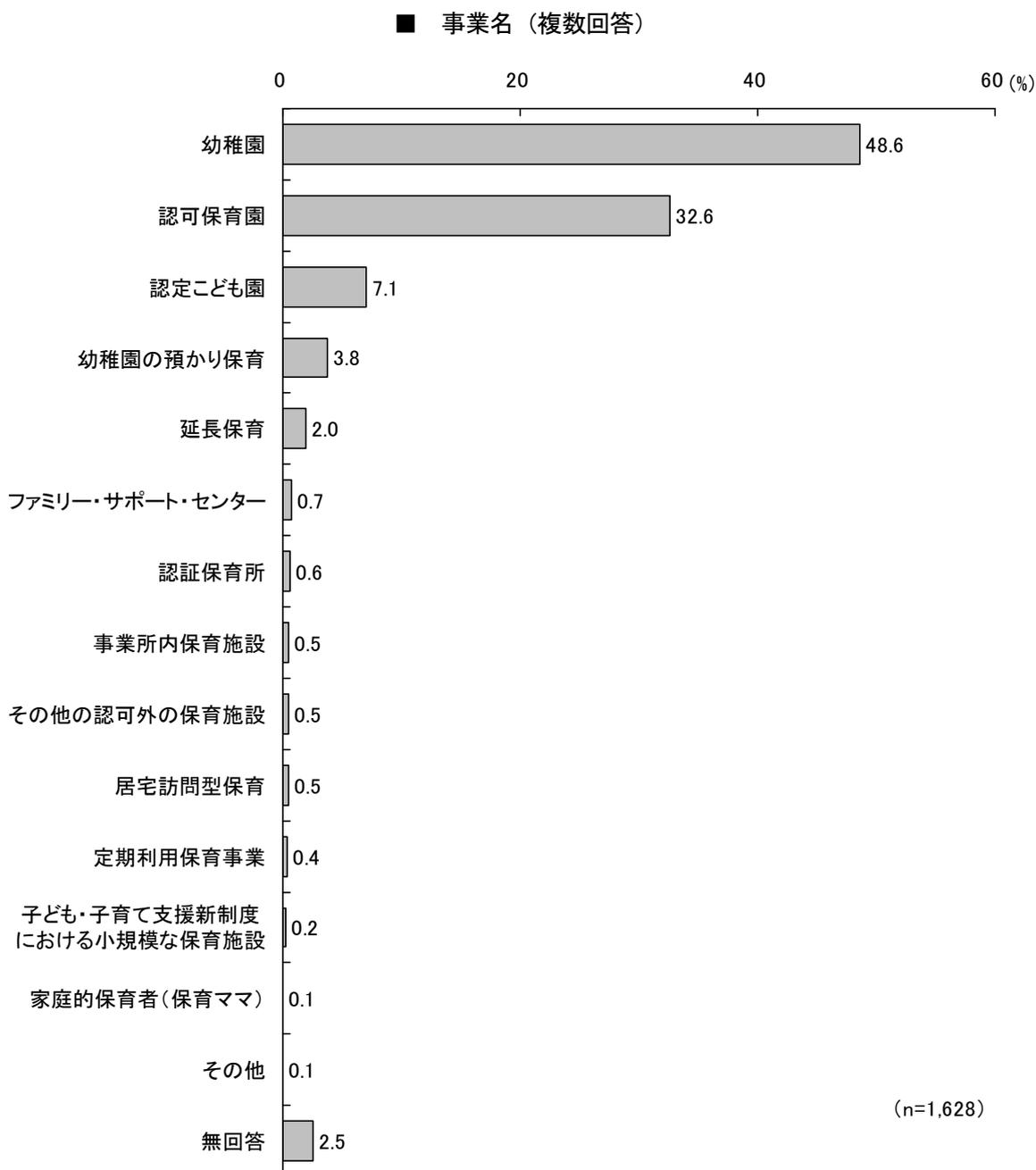
(単位:人、%)

区 分	件 数	町田市内	町田市外	無回答
全 体	1,628	90.6	4.8	4.6
幼稚園	1,070	89.7	6.0	4.3
幼稚園の預かり保育	747	90.5	4.6	5.0
認可保育園	724	92.3	2.3	5.4
認定こども園	365	92.6	1.9	5.5
延長保育	450	93.1	1.6	5.3
子ども・子育て支援新制度における小規模な保育施設	48	95.8	-	4.2
家庭的保育者(保育ママ)	59	88.1	-	11.9
事業所内保育施設	106	90.6	4.7	4.7
認証保育所	89	93.3	1.1	5.6
その他の認可外の保育施設	17	82.4	17.6	-
居宅訪問型保育	46	82.6	2.2	15.2
ファミリー・サポート・センター	181	91.2	2.2	6.6

③ 一番利用したい事業

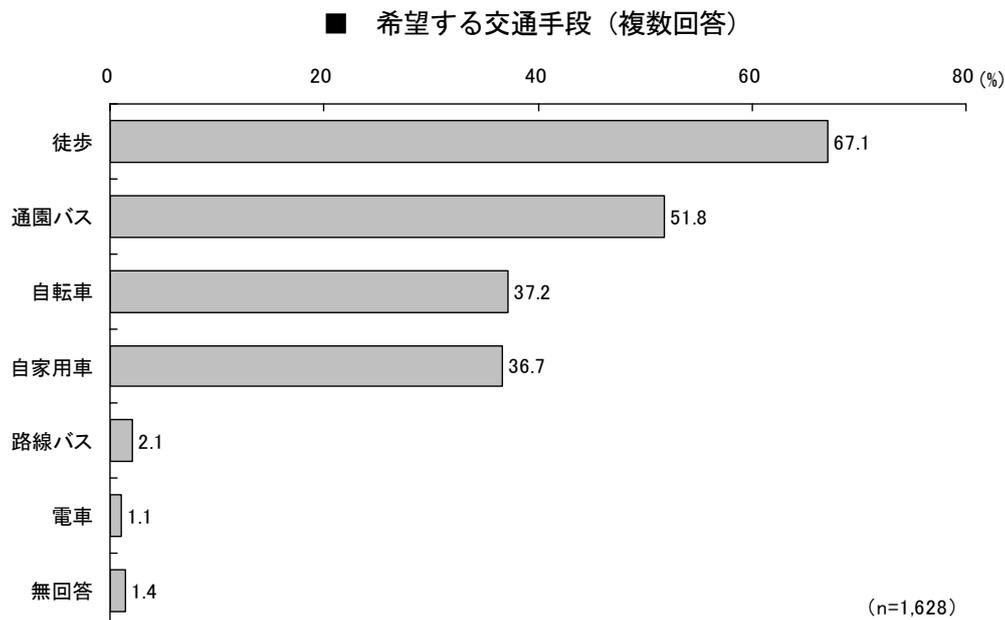
ア. 事業名

利用したい教育・保育事業の中で一番利用したい事業は、「幼稚園」が最も多く48.6%、次いで「認可保育園」が32.6%、「認定こども園」が7.1%と続いている。



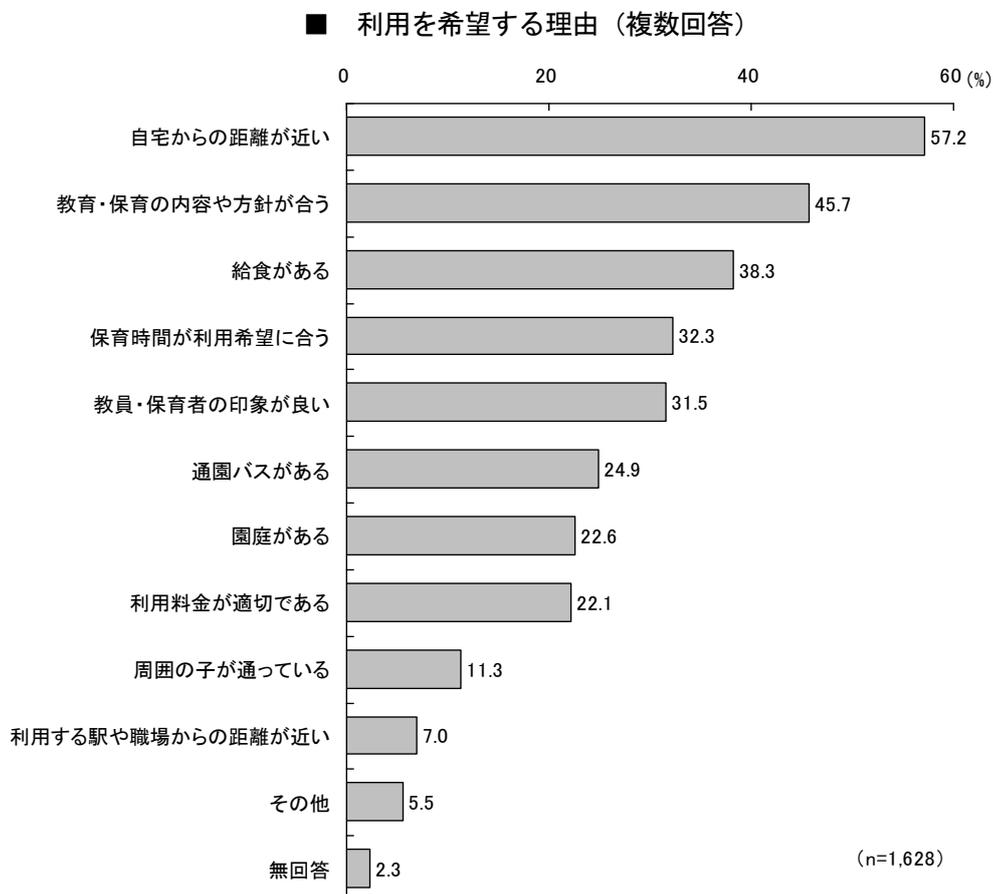
イ. 希望する交通手段

一番利用したい教育・保育事業を利用する際の希望する交通手段は、「徒歩」が最も多く 67.1%、次いで「通園バス」が 51.8%、「自転車」が 37.2%と続いている。



ウ. 利用を希望する理由

一番利用したい教育・保育事業について、選んだ理由をみると、「自宅からの距離が近い」が最も多く 57.2%、次いで「教育・保育の内容や方針が合う」が 45.7%、「給食がある」が 38.3%と続いている。

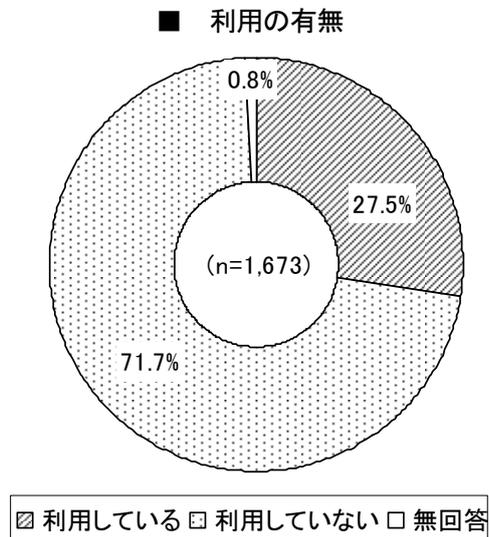


5. 子育て支援事業の利用状況等について（就学前児童）

（1）子育て広場事業の利用状況等

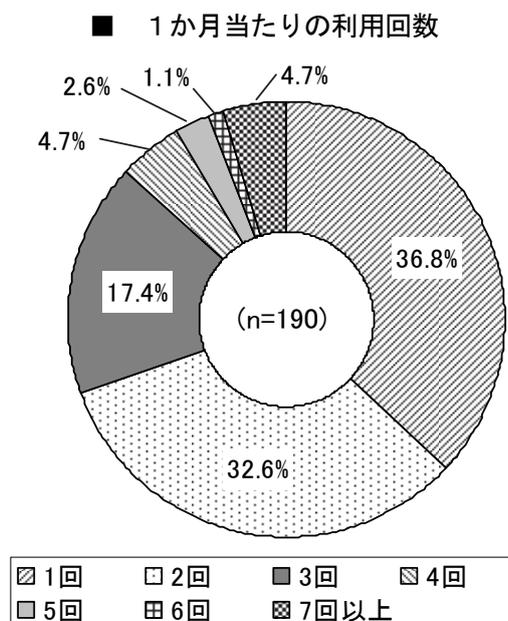
① 利用の有無

子育て広場の利用状況を見ると、「利用している」が27.5%、「利用していない」が71.7%となっている。



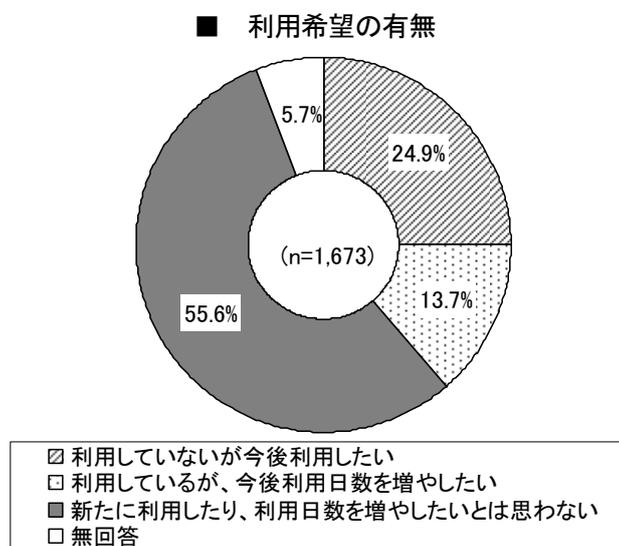
② 1か月当たりの利用回数

子育て広場の利用状況で「利用している」と回答した人の1か月当たりの利用回数をみると、「1回」が最も多く36.8%、次いで「2回」が32.6%、「3回」が17.4%と続いている。



③ 利用希望の有無

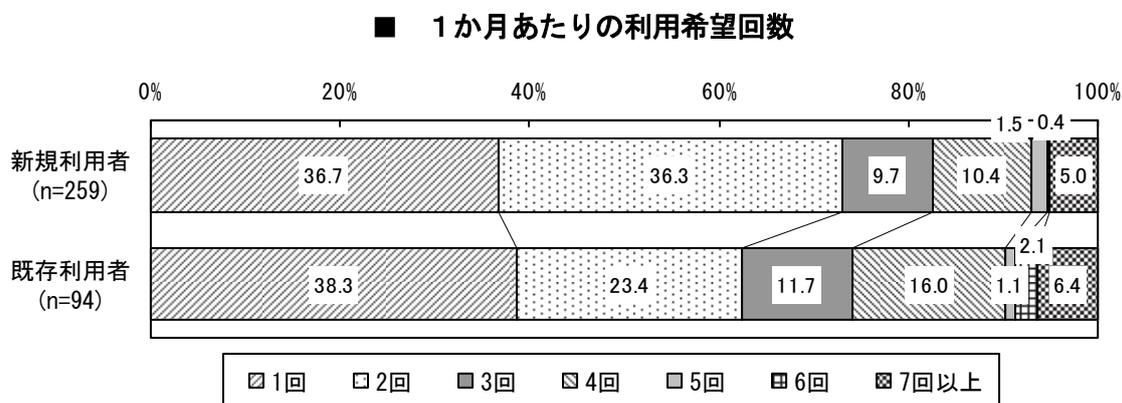
子育て広場事業の利用希望をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も多く 55.6%、次いで「利用していないが今後利用したい」が 24.9%、「利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 13.7%となっている。



④ 1か月あたりの利用希望回数

「利用していないが今後利用したい」と回答した人（新規利用者）の1か月あたりの利用希望回数をみると、「1回」「2回」が多く、それぞれ 36.7%、36.3%となっている。

「利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人（既存利用者）も「1回」が最も多く 38.3%、次いで「2回」が 23.4%となっている。

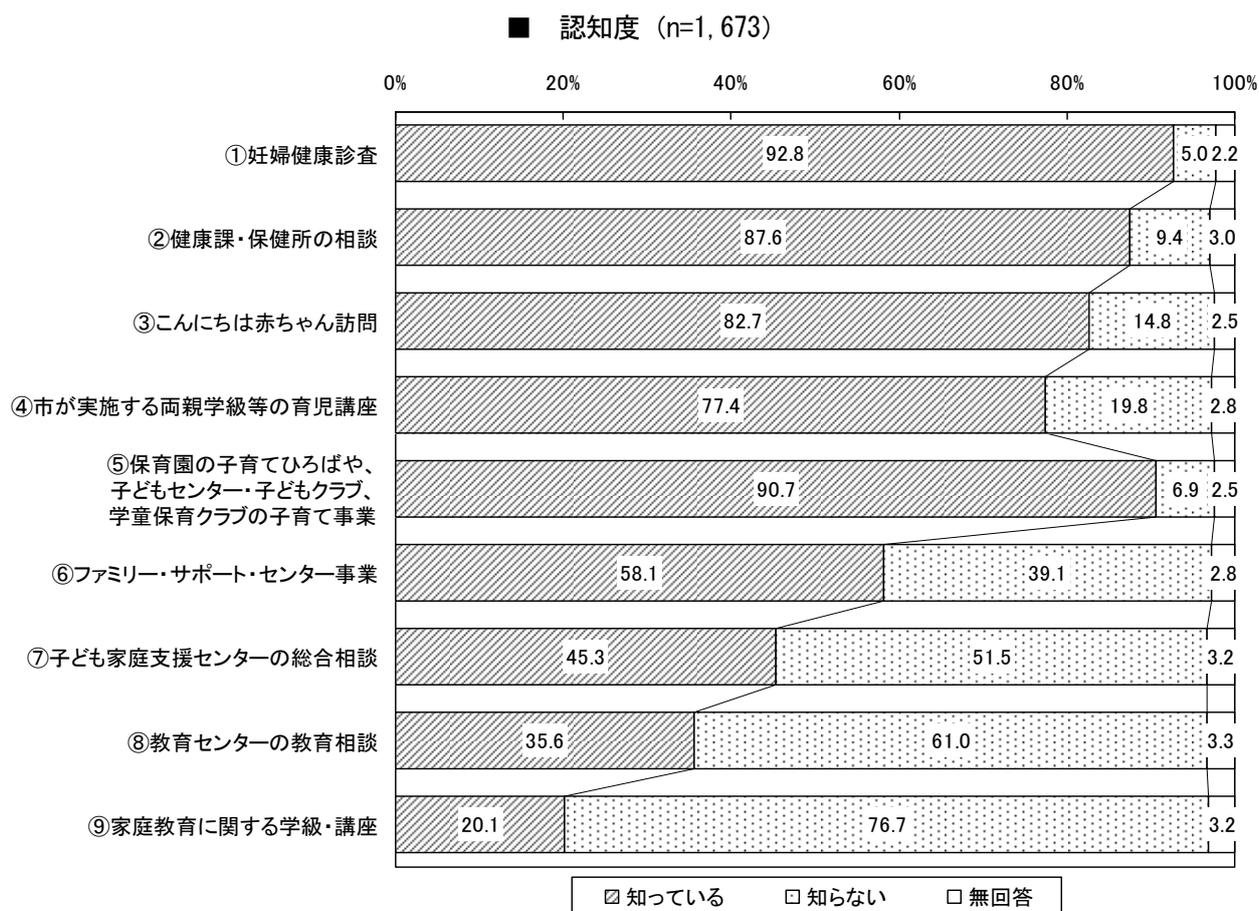


(2) 子育て支援事業の利用状況等

① 認知度

子育て支援事業の認知度をみると、「①妊婦健康診査」「⑤保育園の子育てひろばや、子どもセンター・子どもクラブ、学童保育クラブの子育て事業」が9割以上、「②健康課・保健所の相談」「③こんにちは赤ちゃん訪問」が8割以上、「④市が実施する両親学級等の育児講座」が7割以上、「⑥ファミリー・サポート・センター事業」が5割以上となっている。その一方で「⑦子ども家庭支援センターの総合相談」「⑧教育センターの教育相談」「⑨家庭教育に関する学級・講座」は5割未満となっている。

年齢別にみても、ほぼ全体と同じ傾向を示しているが、「③こんにちは赤ちゃん訪問」「④市が実施する両親学級等の育児講座」は年齢が上がるにつれて認知度が低くなる傾向に、一方「⑧教育センターの教育相談」は年齢が上がるにつれて、認知度が高くなる傾向を示している。



■ 年齢別認知度（「知っている」と回答した人の割合）

(単位:人、%)

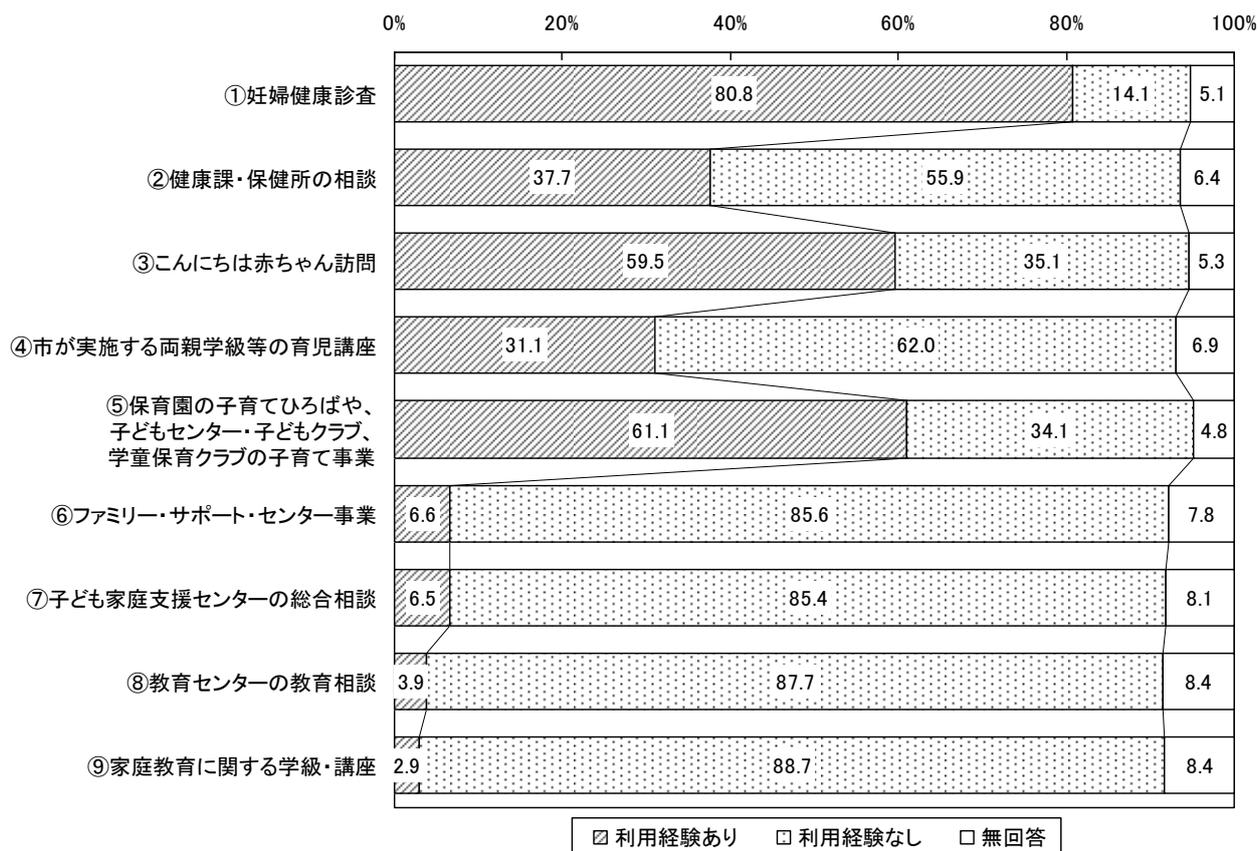
区分	全体	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
件数	1,673	260	257	264	323	289	280
①妊婦健康診査	92.8	93.8	93.8	90.2	93.2	92.7	92.9
②健康課・保健所の相談	87.6	86.9	89.1	87.9	87.6	86.5	87.5
③こんにちは赤ちゃん訪問	82.7	91.9	89.1	90.2	82.0	73.7	71.1
④市が実施する両親学級等の育児講座	77.4	85.0	75.1	75.0	77.4	76.1	76.1
⑤保育園の子育てひろばや、子どもセンター・子どもクラブ、学童保育クラブの子育て事業	90.7	91.5	89.5	92.0	90.1	89.6	91.4
⑥ファミリー・サポート・センター事業	58.1	53.8	58.0	61.7	55.1	60.2	60.0
⑦子ども家庭支援センターの総合相談	45.3	45.4	40.9	44.3	47.4	48.8	44.3
⑧教育センターの教育相談	35.6	28.8	25.3	29.9	39.3	40.5	47.5
⑨家庭教育に関する学級・講座	20.1	16.9	17.9	18.9	20.7	23.5	21.8

② 利用経験の有無

子育て支援事業の利用経験をみると、「①妊婦健康診査」が最も多く80.8%、次いで「⑤保育園の子育てひろばや、子どもセンター・子どもクラブ、学童保育クラブの子育て事業」「③こんには赤ちゃん訪問」がほぼ同じ割合（それぞれ61.1%、59.5%）、「②健康課・保健所の相談」が37.7%、「④市が実施する両親学級等の育児講座」が31.1%と続いている。その一方で「⑥ファミリー・サポート・センター事業」「⑦子ども家庭支援センターの総合相談」「⑧教育センターの教育相談」「⑨家庭教育に関する学級・講座」は1割未満となっている。

年齢別にみても、ほぼ全体と同じ傾向を示しているが、「③こんには赤ちゃん訪問」は年齢が上がるにつれて「利用経験あり」が減少傾向を示している。

■ 利用経験の有無 (n=1,673)



■ 年齢別利用経験の有無（「利用経験あり」と回答した人の割合）

(単位:人、%)

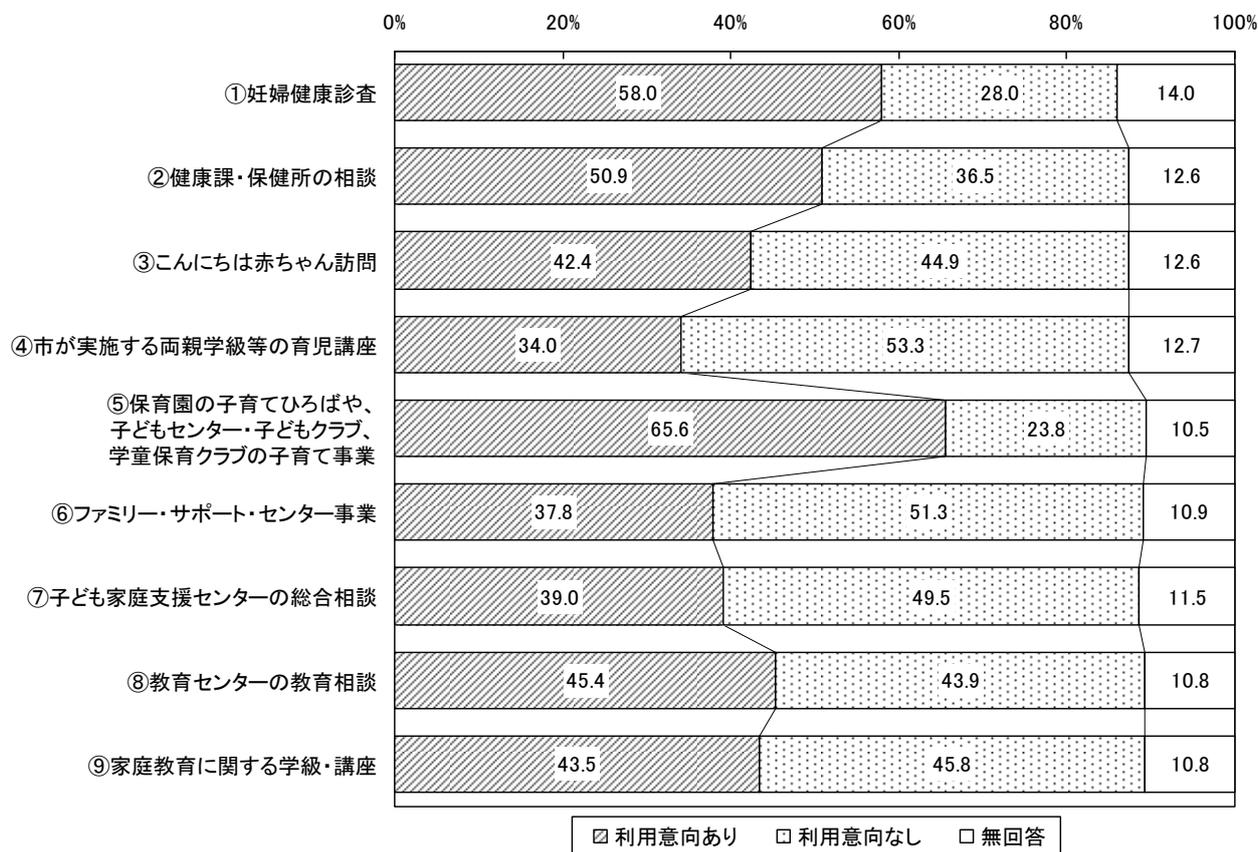
区分	全体	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
件数	1,673	260	257	264	323	289	280
①妊婦健康診査	80.8	82.3	83.3	79.9	82.4	78.2	78.6
②健康課・保健所の相談	37.7	40.0	39.3	37.5	38.7	35.6	35.0
③こんには赤ちゃん訪問	59.5	77.3	72.0	66.7	58.8	43.3	42.5
④市が実施する両親学級等の育児講座	31.1	33.1	31.5	29.5	33.4	31.8	26.8
⑤保育園の子育てひろばや、子どもセンター・子どもクラブ、学童保育クラブの子育て事業	61.1	62.3	60.7	64.4	61.6	58.1	59.6
⑥ファミリー・サポート・センター事業	6.6	6.9	4.7	7.6	8.0	4.8	7.5
⑦子ども家庭支援センターの総合相談	6.5	5.4	6.6	6.1	5.0	6.9	9.3
⑧教育センターの教育相談	3.9	3.8	1.6	2.3	5.0	3.5	6.8
⑨家庭教育に関する学級・講座	2.9	2.7	1.9	2.7	4.3	3.5	2.1

③ 今後の利用意向の有無

子育て支援事業の今後の利用意向をみると、「⑤保育園の子育てひろばや、子どもセンター・子どもクラブ、学童保育クラブの子育て事業」が最も多く65.6%、次いで「①妊婦健康診査」が58.0%、「②健康課・保健所の相談」が50.9%と続いている。

年齢別にみても、ほぼ全体と同じ傾向を示しているが、「⑧教育センターの教育相談」を除き、年齢が上がるにつれて、利用意向が低くなる傾向を示している。

■ 今後の利用意向の有無 (n=1,673)



■ 年齢別利用意向の有無（「利用意向あり」と回答した人の割合）

(単位:人、%)

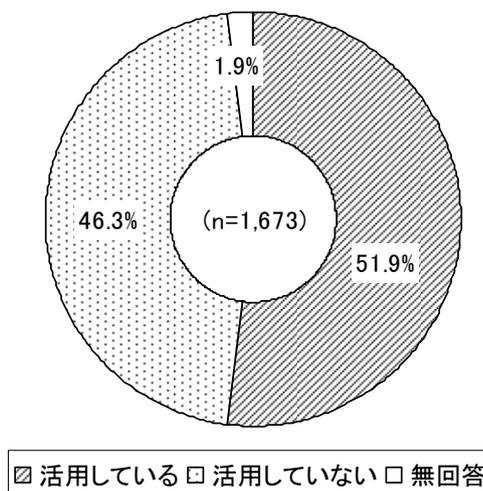
区分	全体	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
件数	1,673	260	257	264	323	289	280
①妊婦健康診査	58.0	70.0	69.6	55.7	57.6	48.4	48.9
②健康課・保健所の相談	50.9	61.5	58.8	47.7	50.8	46.0	41.8
③こんにちは赤ちゃん訪問	42.4	63.1	52.1	42.4	41.8	28.7	29.3
④市が実施する両親学級等の育児講座	34.0	46.2	40.9	33.0	32.2	28.0	25.7
⑤保育園の子育てひろばや、子どもセンター・子どもクラブ、学童保育クラブの子育て事業	65.6	75.4	74.3	63.6	62.8	59.2	60.4
⑥ファミリー・サポート・センター事業	37.8	47.7	41.6	38.6	35.3	33.6	31.8
⑦子ども家庭支援センターの総合相談	39.0	48.5	44.7	37.1	38.1	32.5	34.6
⑧教育センターの教育相談	45.4	49.6	51.4	41.7	48.0	38.8	43.2
⑨家庭教育に関する学級・講座	43.5	46.9	49.8	45.5	42.7	40.8	36.1

(3) 市のホームページや市の発行する冊子・チラシの活用状況

① 市のホームページや冊子・チラシの活用状況

市のホームページや市の発行する冊子・チラシの活用状況をみると、「活用している」が51.9%、「活用していない」が46.3%となっている。

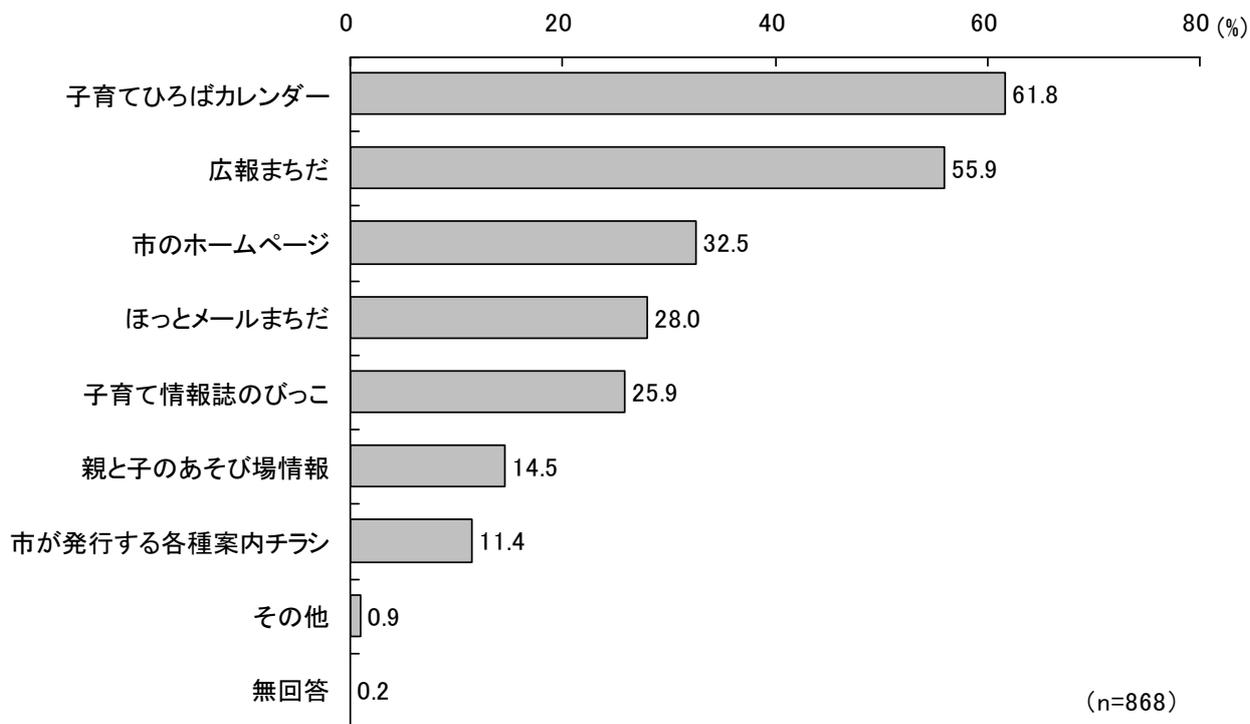
■ 市のホームページや冊子・チラシの活用状況



② 情報の入手先

市のホームページや市の発行する冊子・チラシを「活用している」と回答した人の具体的な情報の入手先は、「子育てひろばカレンダー」が最も多く61.8%、次いで「広報まちだ」が55.9%、「市のホームページ」が32.5%と続いている。

■ 情報の入手先（複数回答）

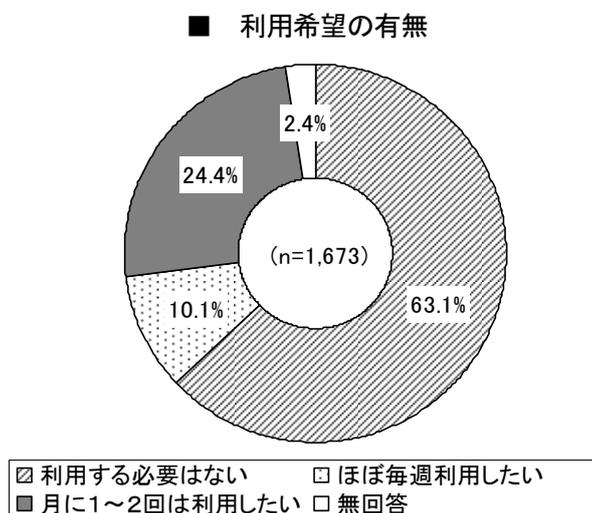


6. 土曜・日曜等の定期的な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

(1) 土曜日

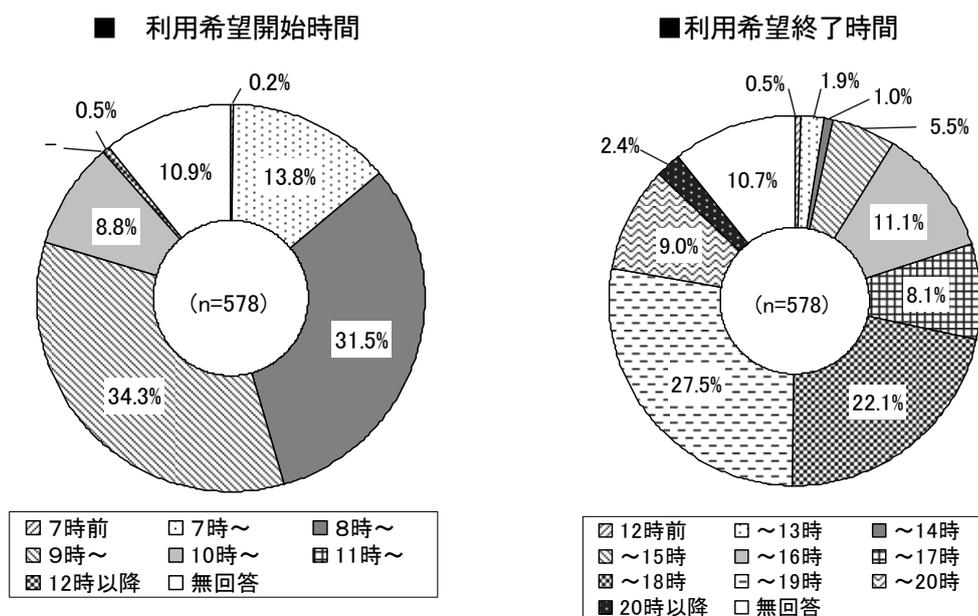
① 利用希望の有無

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」が最も多く 63.1%、「ほぼ毎週利用したい」が 10.1%、「月に1～2回は利用したい」が 24.4%となっている。



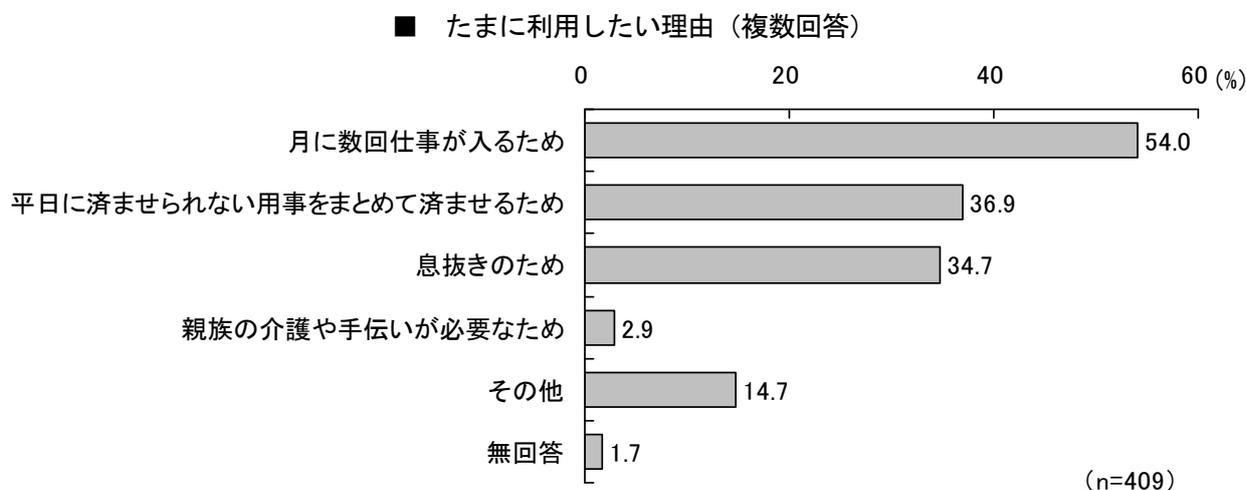
② 利用希望開始時間と利用希望終了時間

土曜日に「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した人に利用希望開始時間をたずねたところ、「9時～」が最も多く 34.3%、次いで「8時～」が 31.5%、「7時～」が 13.8%と続いている。利用希望終了時間は「～19時」が最も多く 27.5%、次いで「～18時」が 22.1%、「～16時」が 11.1%と続いている。



③ たまに利用したい理由

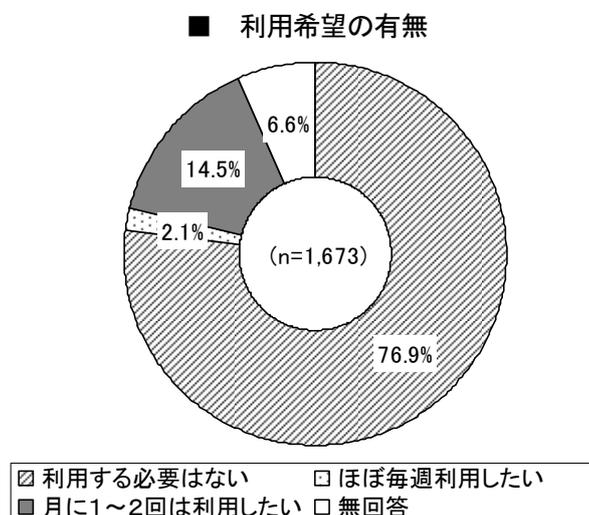
「月に1～2回は利用したい」と回答した人のたまに利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」が最も多く54.0%、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が36.9%、「息抜きのため」が34.7%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が2.9%となっている。



(2) 日曜日

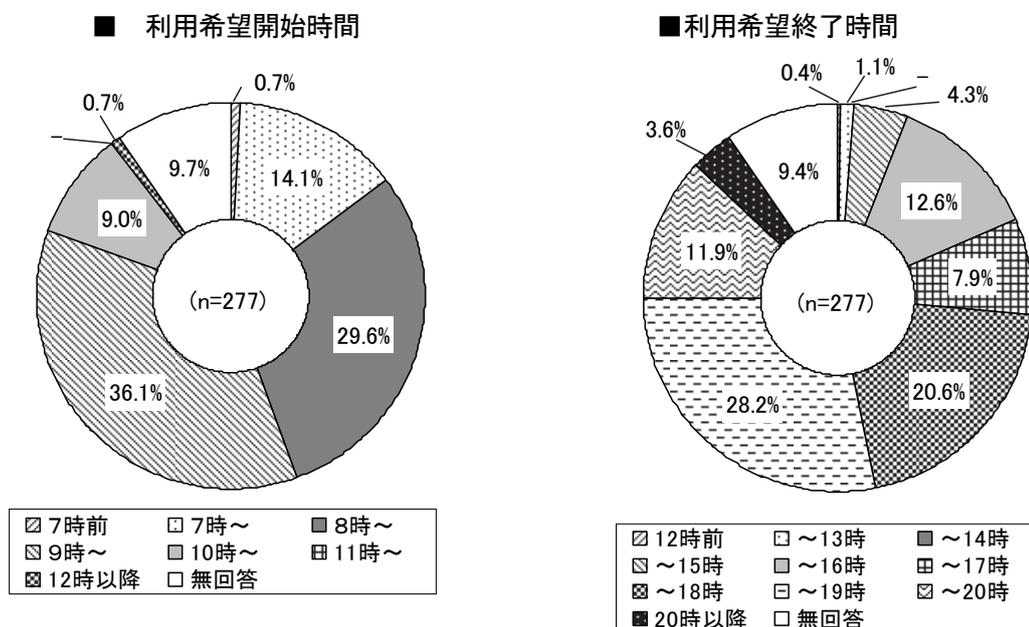
① 利用希望の有無

日曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」が最も多く76.9%、「ほぼ毎週利用したい」が2.1%、「月に1～2回は利用したい」が14.5%となっている。



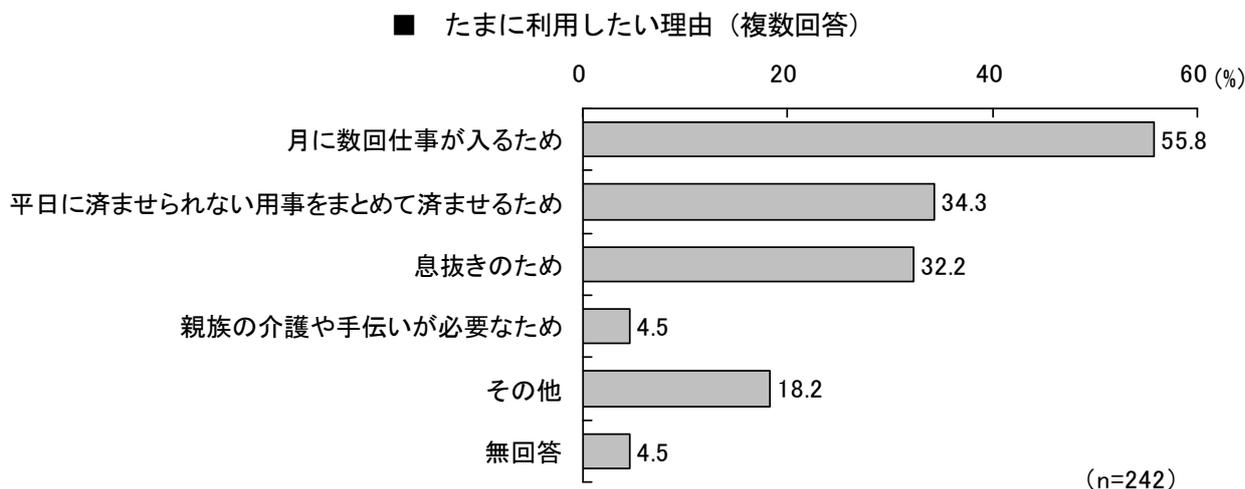
② 利用希望開始時間と利用希望終了時間

日曜日に「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した人に利用希望開始時間をたずねたところ、「9時～」が最も多く36.1%、次いで「8時～」が29.6%、「7時～」が14.1%と続いている。利用希望終了時間は「～19時」が最も多く28.2%、次いで「～18時」が20.6%、「～16時」が12.6%と続いている。



③ たまに利用したい理由

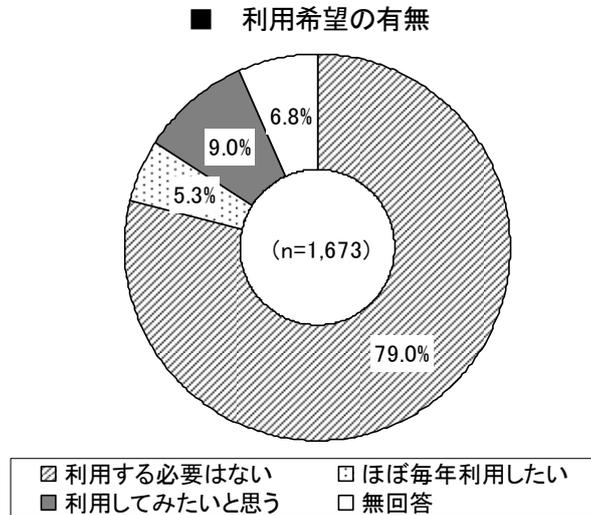
「月に1～2回は利用したい」と回答した人のたまに利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」が最も多く55.8%、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が34.3%、「息抜きのため」が32.2%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が4.5%となっている。



(3) 年末 (12/29~12/31)

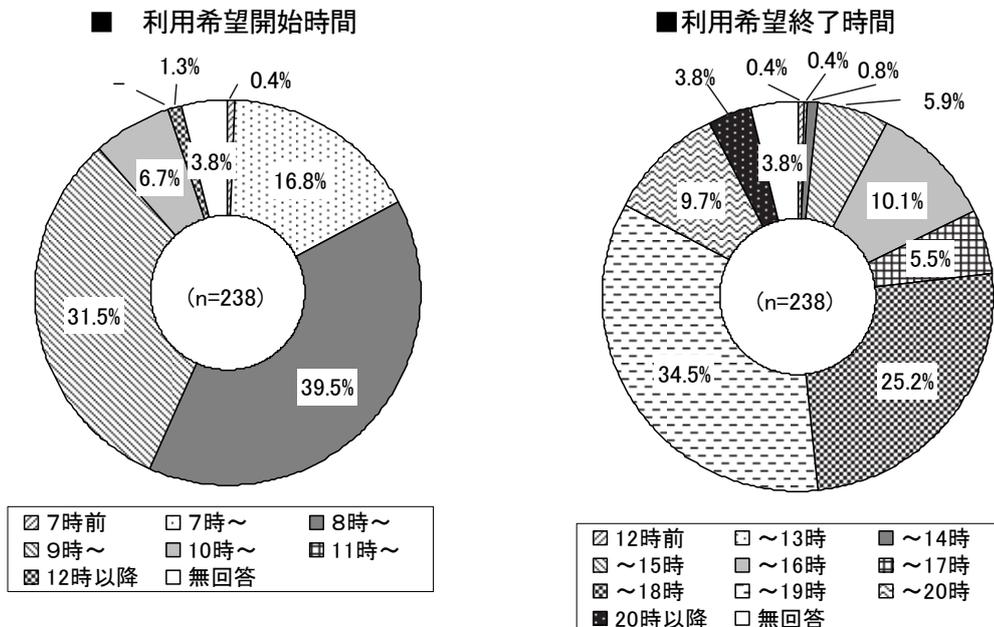
① 利用希望の有無

年末の定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」が最も多く79.0%、「ほぼ毎年利用したい」が5.3%、「利用してみたいと思う」が9.0%となっている。



② 利用希望開始時間と利用希望終了時間

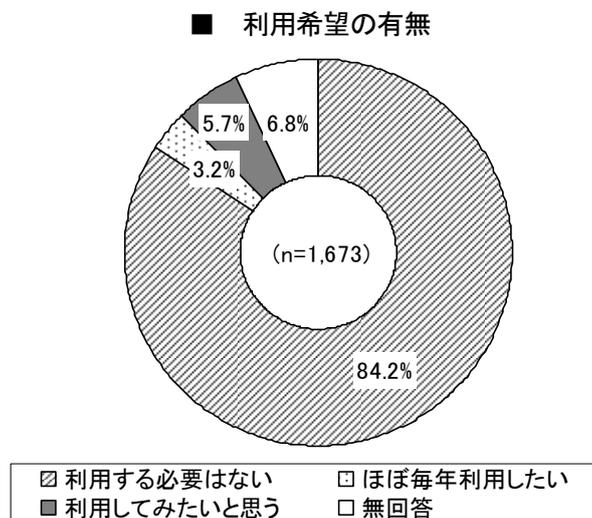
年末に「ほぼ毎年利用したい」「利用してみたいと思う」と回答した人に利用希望開始時間をたずねたところ、「8時～」が最も多く39.5%、次いで「9時～」が31.5%、「7時～」が16.8%と続いている。利用希望終了時間は「～19時」が最も多く34.5%、次いで「～18時」が25.2%、「～16時」が10.1%と続いている。



(4) 年始 (1/1~1/3)

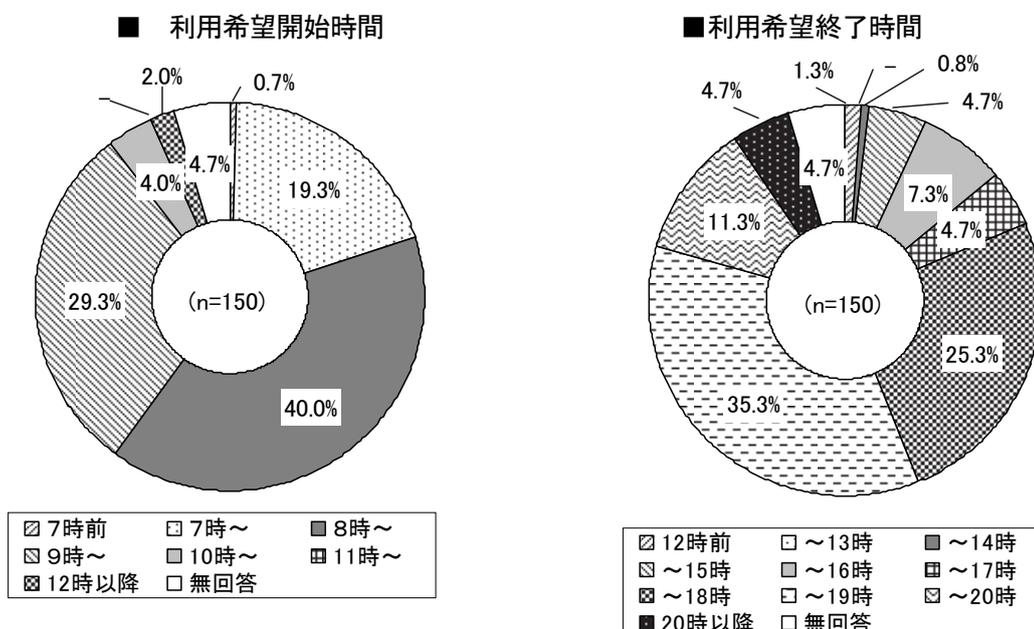
① 利用希望の有無

年始の定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」が最も多く 84.2%、「ほぼ毎年利用したい」が 3.2%、「利用してみたいと思う」が 5.7%となっている。



② 利用希望開始時間と利用希望終了時間

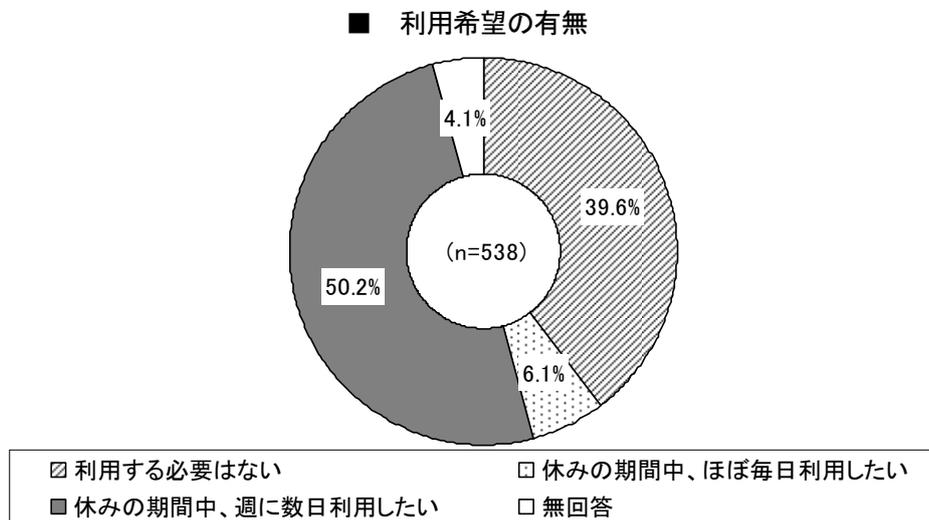
年始に「ほぼ毎年利用したい」「利用してみたいと思う」と回答した人に利用希望開始時間をたずねたところ、「8時～」が最も多く 40.0%、次いで「9時～」が 29.3%、「7時～」が 19.3%と続いている。利用希望終了時間は「～19時」が最も多く 35.3%、次いで「～18時」が 25.3%、「～20時」が 11.3%と続いている。



(5) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業

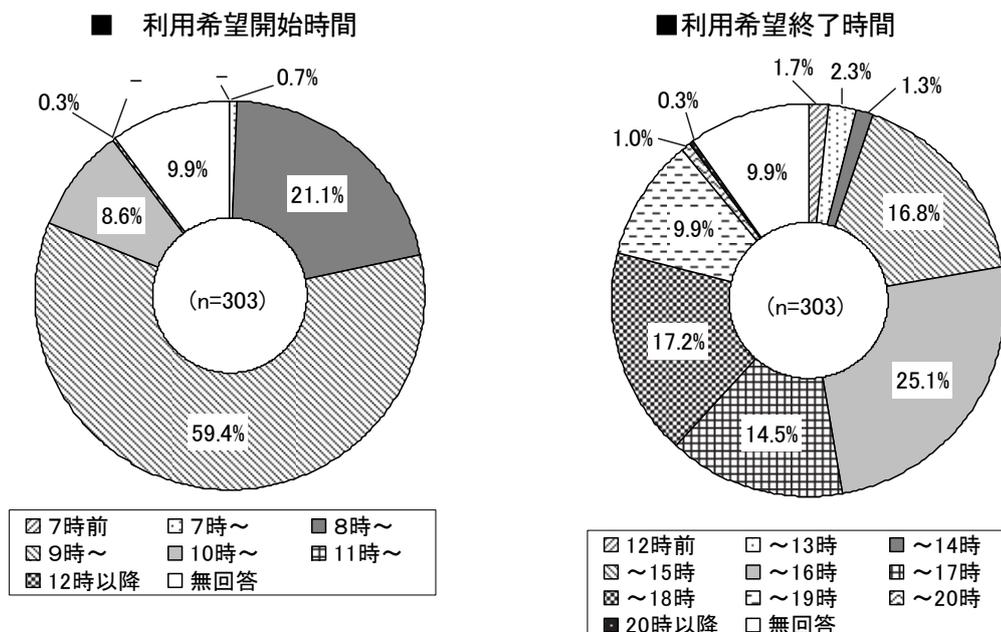
① 利用希望の有無

幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望をみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が最も多く50.2%、「利用する必要はない」が39.6%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が6.1%となっている。



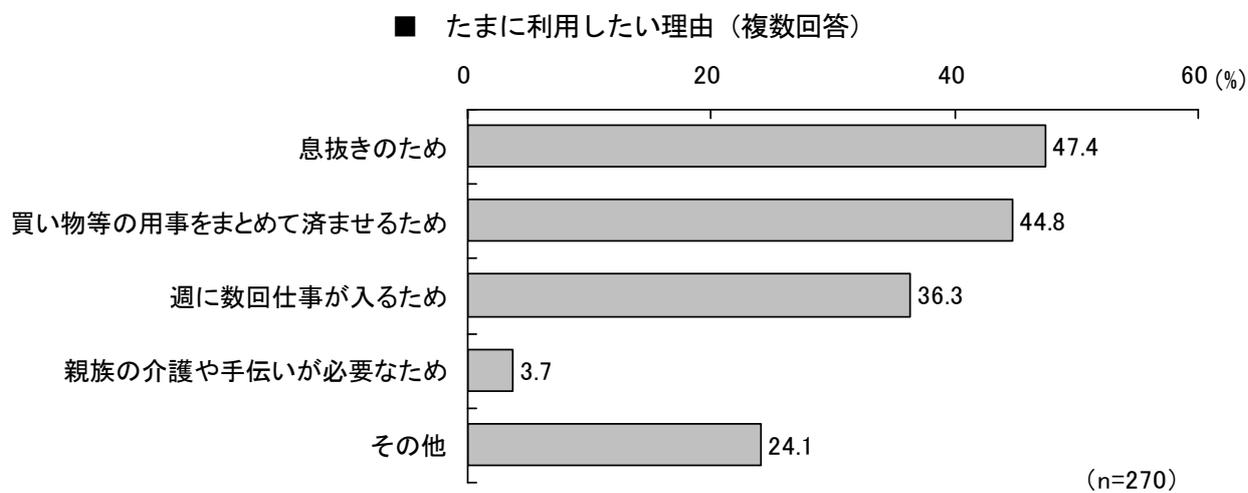
② 利用希望開始時間と利用希望終了時間

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人に利用希望開始時間をたずねたところ、「9時～」が最も多く59.4%、次いで「8時～」が21.1%、「10時～」が8.6%と続いている。利用希望終了時間は「～16時」が最も多く25.1%、次いで「～18時」が17.2%、「～15時」が16.8%と続いている。



③ たまに利用したい理由

「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人のたまに利用したい理由をみると、「息抜きのため」が最も多く 47.4%、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 44.8%、「週に数回仕事が入るため」が 36.3%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が 3.7%となっている。

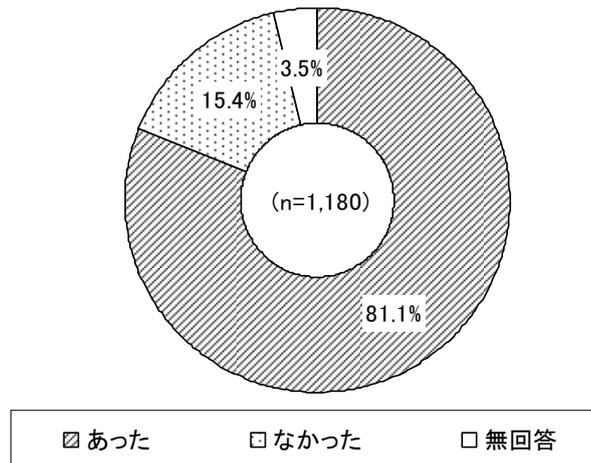


7. 病気時の対応について（就学前児童）

（1）子どもが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかったことの有無

子どもが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかったことの有無をみると、「あった」が 81.1%、「なかった」が 15.4%となっている。

■ 子どもが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかったことの有無

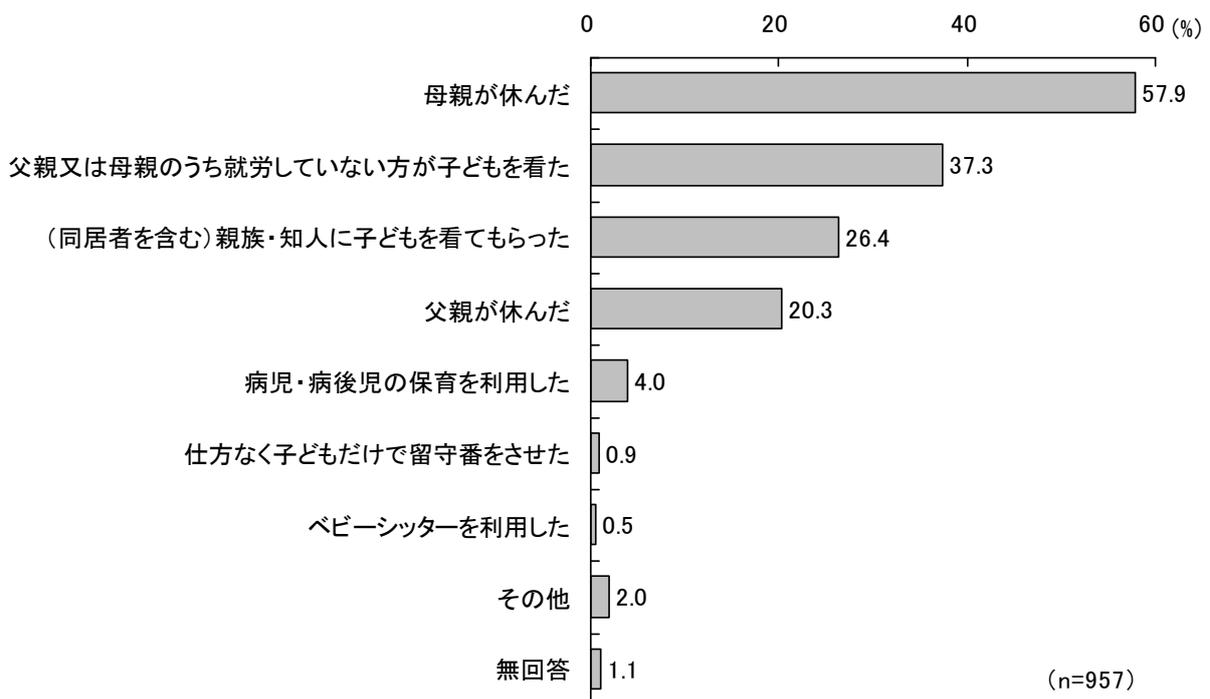


（2）対処方法と対処日数

① 対処方法

子どもが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかったことの有無で「あった」と回答した人の対処方法をみると、「母親が休んだ」が最も多く 57.9%、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」が 37.3%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」26.4%と続いている。

■ 対処方法（複数回答）



② 対処日数（年間）

子どもが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかったことの有無で「あった」と回答した人の1年間の対処日数をみると、「母親が休んだ」「父親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」は『1～4日』、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」は『1～4日』（『5～9日』『10～14日』もほぼ同じ割合）が最も多くなっている。

■ 1年間の対処日数（複数回答）

（単位：人、％）

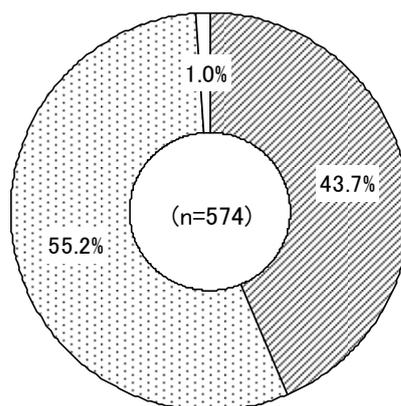
区 分	件 数	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20日以上	無回答
母親が休んだ	554	31.2	26.5	19.0	4.9	12.1	6.3
父親が休んだ	194	54.1	28.9	9.3	1.5	1.5	4.6
（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	253	38.3	30.8	11.9	2.8	7.1	9.1
父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	357	28.0	26.3	25.8	3.4	9.0	7.6
病児・病後児の保育を利用した	38	60.5	28.9	10.5	-	-	-
ベビーシッターを利用した	5	60.0	-	20.0	-	-	20.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9	88.9	-	11.1	-	-	-
その他	19	21.1	26.3	5.3	10.5	-	36.8

（3）病児・病後児保育の利用希望

① 利用希望の有無

子どもが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかったことの有無で「母親が休んだ」「父親が休んだ」と回答した人の病児・病後児保育の利用希望の有無をみると、「できれば利用したかった」が43.7%、「利用したいとは思わなかった」が55.2%となっている。

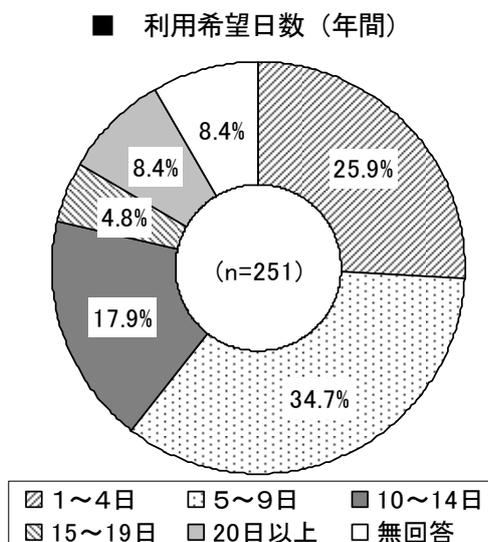
■ 利用希望の有無



- ▣ できれば利用したかった
- ▣ 利用したいとは思わなかった
- 無回答

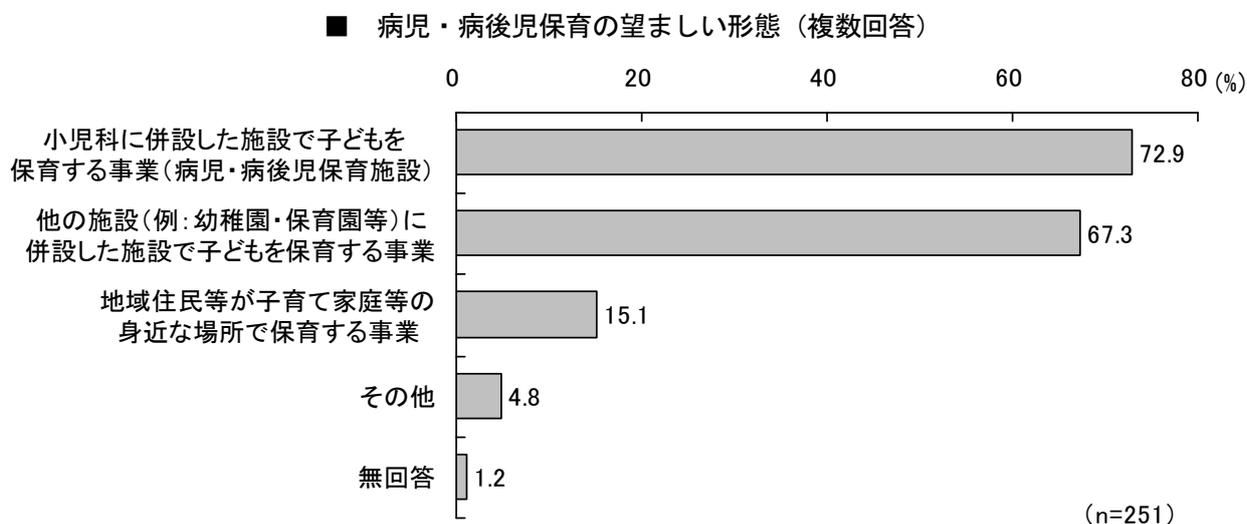
② 利用希望日数（年間）

病児・病後児保育を「できれば利用したかった」と回答した人の利用希望日数をみると、「5～9日」が最も多く34.7%、次いで「1～4日」が25.9%、「10～14日」が17.9%と続いている。



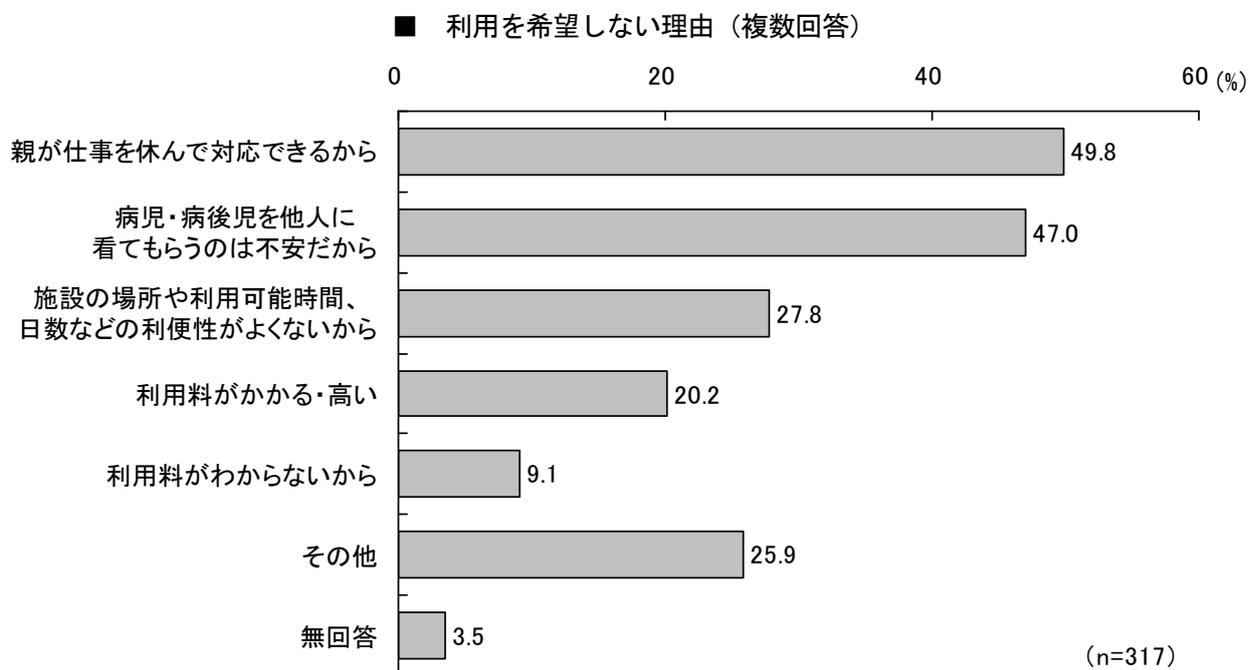
③ 病児・病後児保育の望ましい形態

病児・病後児保育を「できれば利用したかった」と回答した人に、病児・病後児保育の望ましい形態をたずねたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業（病児・病後児保育施設）」が最も多く72.9%、「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が67.3%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が15.1%となっている。



④ 利用を希望しない理由

病児・病後児保育を「利用したいとは思わなかった」と回答した人の利用を希望しない理由をみると、「親が仕事を休んで対応できるから」が最も多く49.8%、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安だから」が47.0%、「施設の場所や利用可能時間、日数などの利便性がよくないから」が27.8%と続いている。

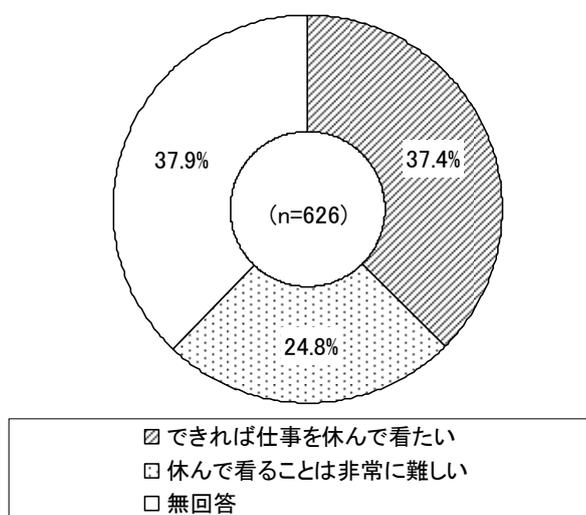


(4) 看病するための休暇の取得について

① 父母が仕事を休んで看たいと思ったこと

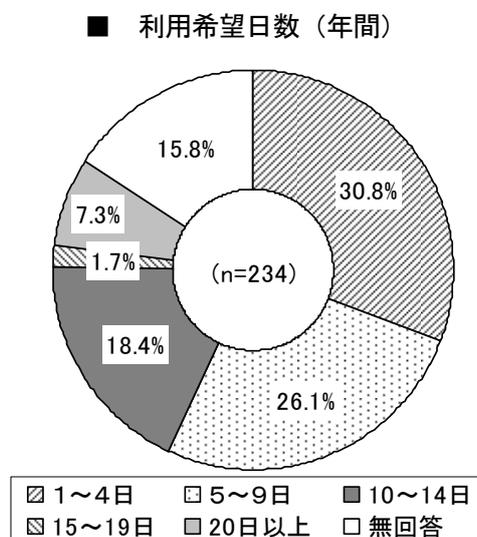
子どもが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかった時に、「できれば仕事を休んで看たい」と思った人は37.4%、「休んで看ることは非常に難しい」と思った人は24.8%となっている。

■ 父母が仕事を休んで看たいと思ったこと



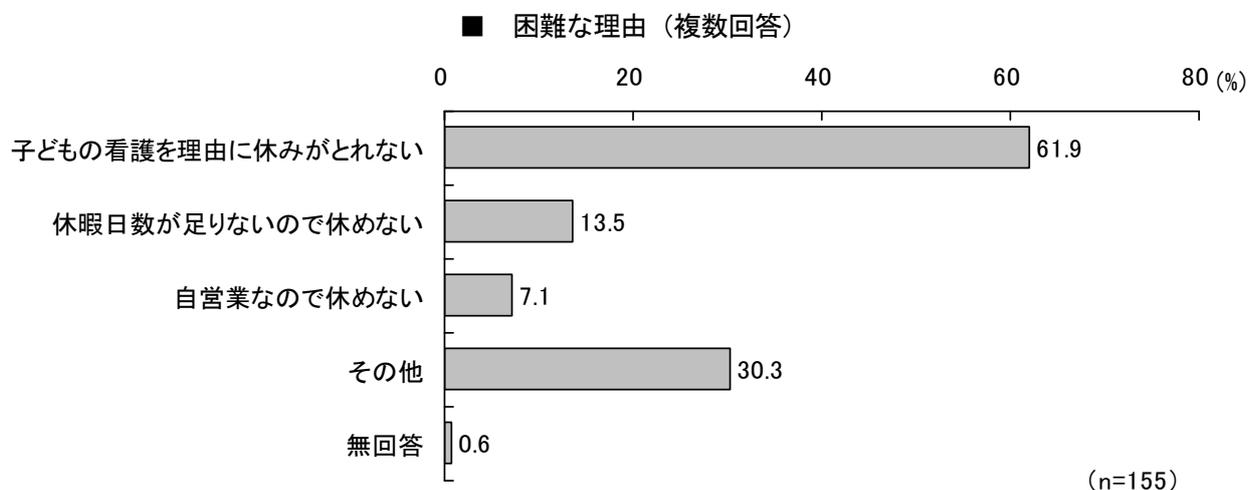
② 利用希望日数（年間）

子どもが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかった時に、「できれば仕事を休んで看たい」と回答した人の利用希望日数をみると、「1～4日」が最も多く30.8%、次いで「5～9日」が26.1%、「10～14日」が18.4%と続いている。



③ 困難な理由

子どもが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかった時に、「休んで看することは非常に難しい」と回答した人の理由をみると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多く61.9%、「休暇日数が足りないので休めない」が13.5%、「自営業なので休めない」が7.1%となっている。

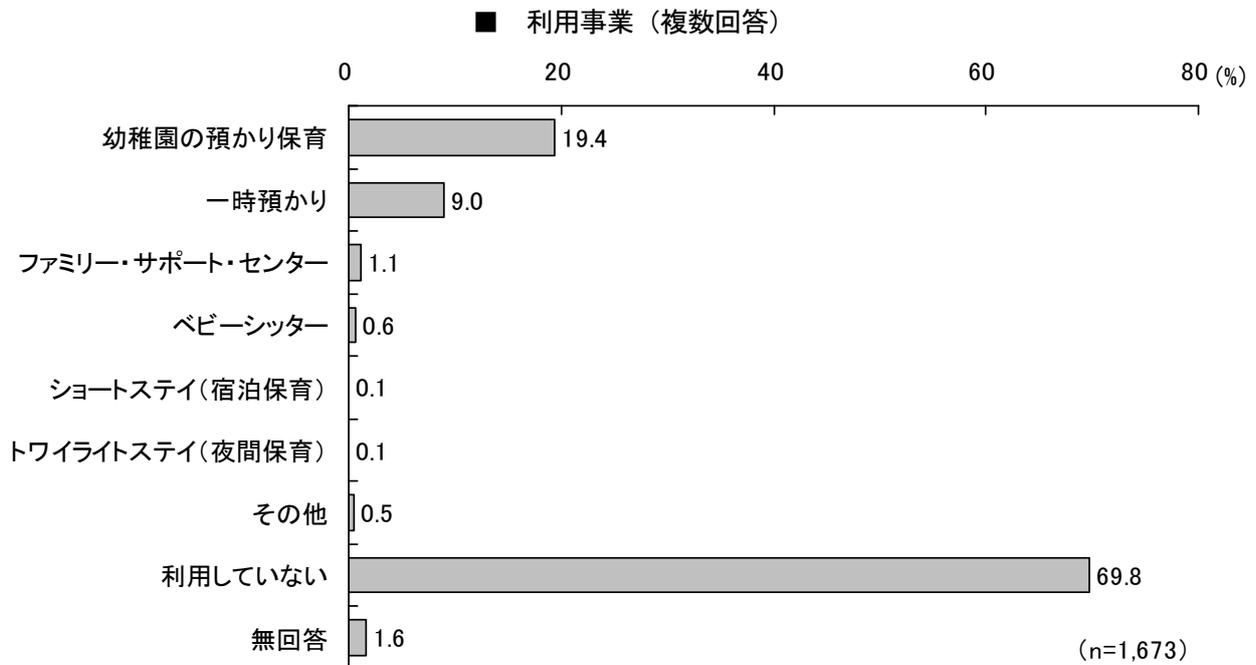


8. 不定期の教育・保育事業、一時預かり等について（就学前児童）

（1）利用事業と日数

① 利用事業

親の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュ等の目的で不定期的に利用している事業をみると、「利用していない」が69.8%となっている。利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」が最も多く19.4%、次いで「一時預かり」が9.0%と続いている。



② 利用日数（年間）

利用日数をみると、「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」では『20日以上』が最も多くなっている。

■ 利用日数（年間）

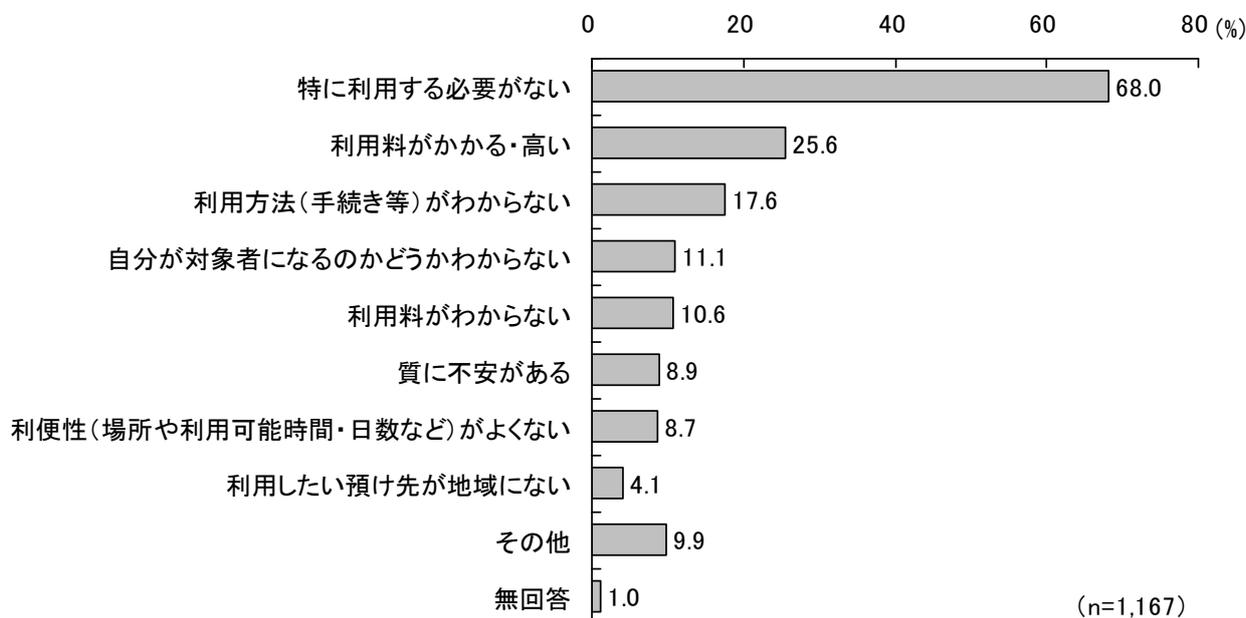
(単位:人、%)

区分	件数	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20日以上	無回答
一時預かり	150	24.7	12.0	21.3	3.3	34.0	4.7
幼稚園の預かり保育	325	24.0	19.4	23.4	3.1	25.8	4.3
ファミリー・サポート・センター	19	36.8	10.5	21.1	-	31.6	-
ショートステイ(宿泊保育)	2	50.0	50.0	-	-	-	-
トワイライトステイ(夜間保育)	2	50.0	-	-	-	50.0	-
ベビーシッター	10	30.0	-	10.0	-	40.0	20.0
その他	9	11.1	-	11.1	-	66.7	11.1

③ 利用していない理由

親の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュ等の目的で不定期に事業を「利用していない」と回答した人の理由をみると、「特に利用する必要がない」が最も多く 68.0%、次いで「利用料がかかる・高い」が 25.6%、「利用方法（手続き等）がわからない」が 17.6%と続いている。

■ 利用していない理由（複数回答）

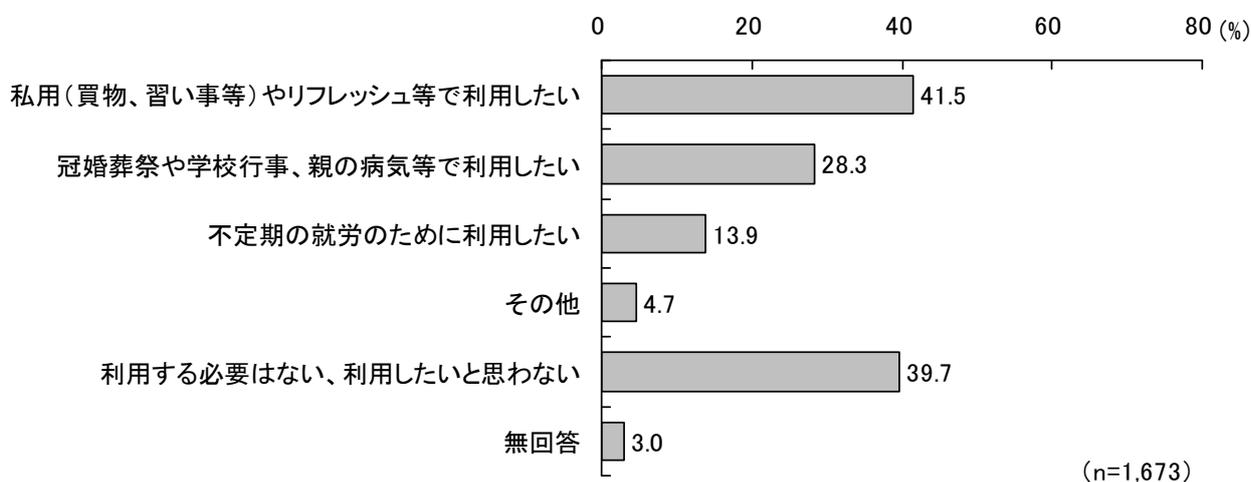


(2) 一時預かりの利用希望と日数

① 利用を希望する事業

一時預かりで利用を希望する事業をみると、「私用（買物、習い事等）やリフレッシュ等で利用したい」が最も多く 41.5%、次いで「冠婚葬祭や学校行事、親の病気等で利用したい」が 28.3%、「不定期の就労のために利用したい」が 13.9%となっている。「利用する必要はない、利用したいと思わない」は 39.7%となっている。

■ 利用を希望する事業（複数回答）



② 利用したい日数（年間）

利用したい日数をみると、「私用（買物、習い事等）やリフレッシュ等で利用したい」では『10～14日』、「冠婚葬祭や学校行事、親の病気等で利用したい」では『5～9日』、「不特定の就労のために利用したい」では『20日以上』が最も多くなっている。

■ 利用したい日数（年間）

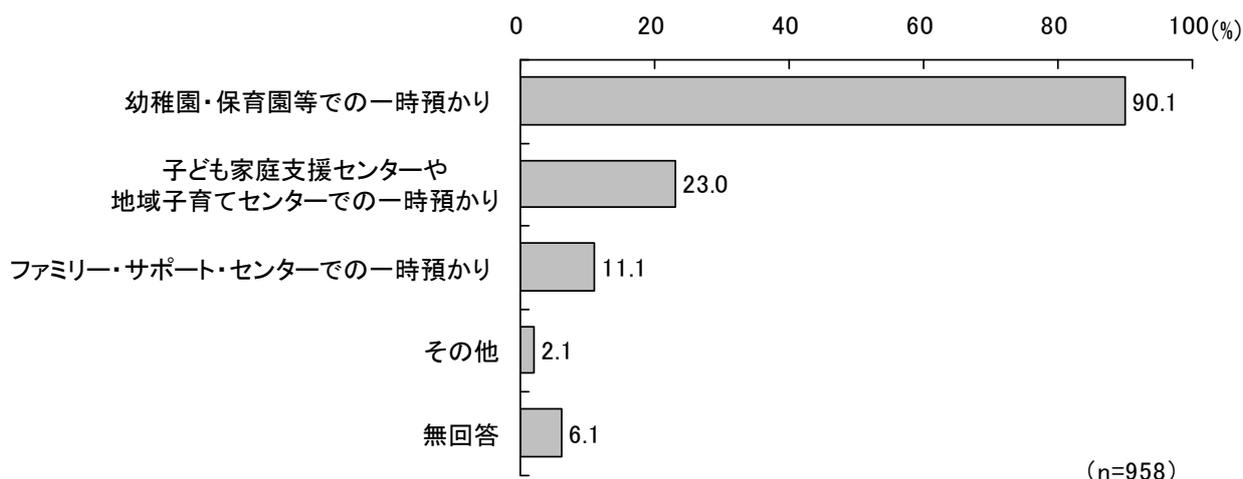
（単位：人、％）

区 分	件 数	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20日以上	無回答
私用（買物、習い事等）やリフレッシュ等で利用したい	695	17.1	17.6	40.4	0.7	19.1	5.0
冠婚葬祭や学校行事、親の病気等で利用したい	473	30.7	32.3	21.8	1.7	4.9	8.7
不特定の就労のために利用したい	233	6.9	10.3	17.2	2.1	49.4	14.2
その他	79	16.5	22.8	20.3	-	21.5	19.0

③ 一時預かりの望ましい形態

不特定の一時預かりを利用したいと回答した人に、一時預かりの望ましい形態をたずねたところ、「幼稚園・保育園等での一時預かり」が最も多く 90.1%、次いで「子ども家庭支援センターや地域子育てセンターでの一時預かり」が 23.0%、「ファミリー・サポート・センターでの一時預かり」が 11.1%となっている。

■ 一時預かりの望ましい形態（複数回答）

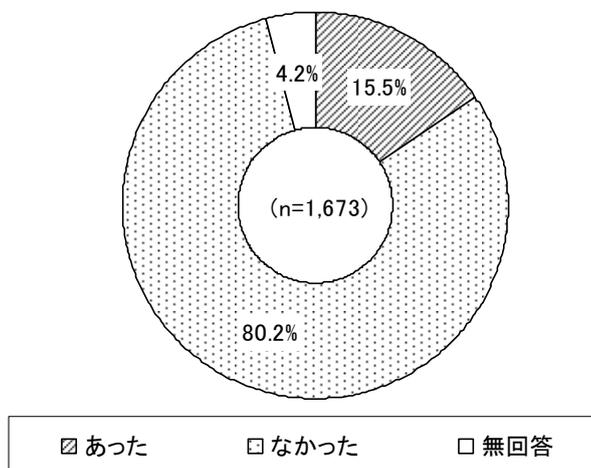


(3) 家族以外に一時的に預けたこと

① 家族以外に一時的に預けたことの有無

保護者の用事により、泊りがけで家族以外に一時的に預けたことの有無をみると、「あった」が15.5%、「なかった」が80.2%となっている。

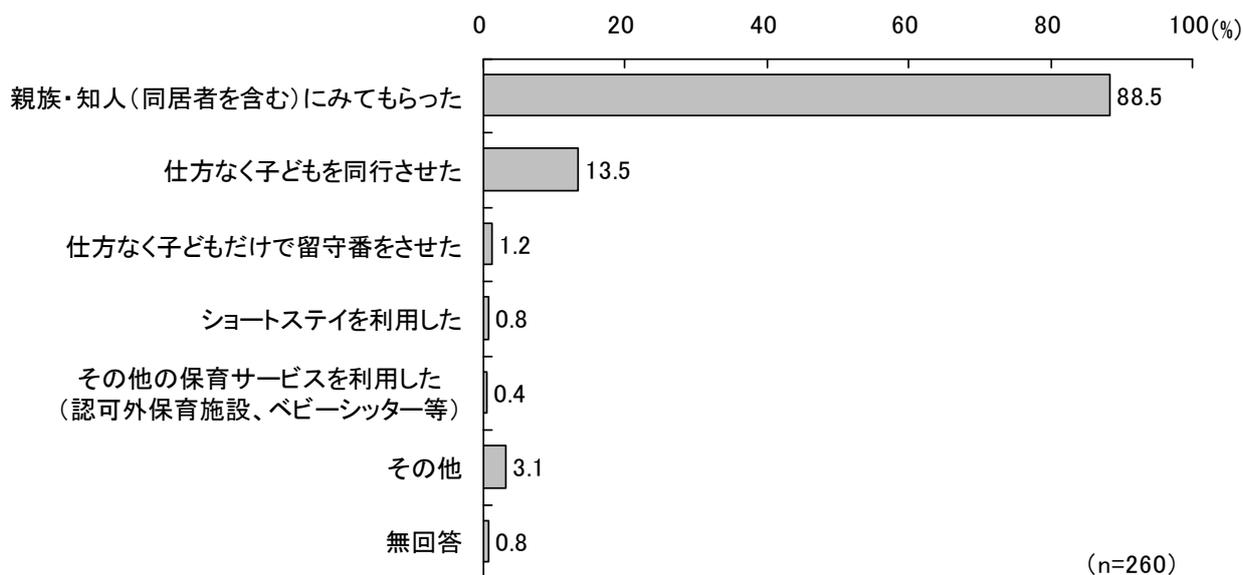
■ 家族以外に一時的に預けたことの有無



② 対処方法

保護者の用事により、泊りがけで家族以外に一時的に預けたことが「あった」と回答した人の対処方法をみると、「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」が最も多く88.5%、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が13.5%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が1.2%と続いている。

■ 対処方法（複数回答）



③ 利用日数（年間）

利用日数をみると、「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」「仕方なく子どもを同行させた」ともに、『1～4日』が最も多くなっている。

■ 利用日数（年間）

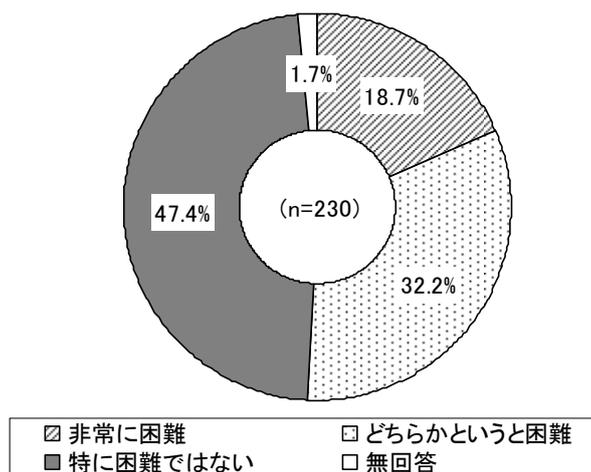
（単位：人、％）

区 分	件 数	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20日以上	無回答
親族・知人（同居者を含む）にみてもらった	230	50.0	16.5	14.3	2.6	10.4	6.1
ショートステイを利用した	2	50.0	50.0	-	-	-	-
その他の保育サービスを利用した（認可外保育施設、ベビーシッター等）	1	100.0	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	35	65.7	14.3	2.9	-	-	17.1
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	66.7	33.3	-	-	-	-
その他	8	37.5	12.5	-	-	-	50.0

④ 親族・知人にみてもらうことの困難度

「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」と回答した人の親族・知人にみてもらうことの困難度をみると、「特に困難でない」が最も多く 47.4%、次いで「どちらかという困難」が 32.2%、「非常に困難」が 18.7%、「無回答」が 1.7%となっている。

■ 親族・知人にみてもらうことの困難度



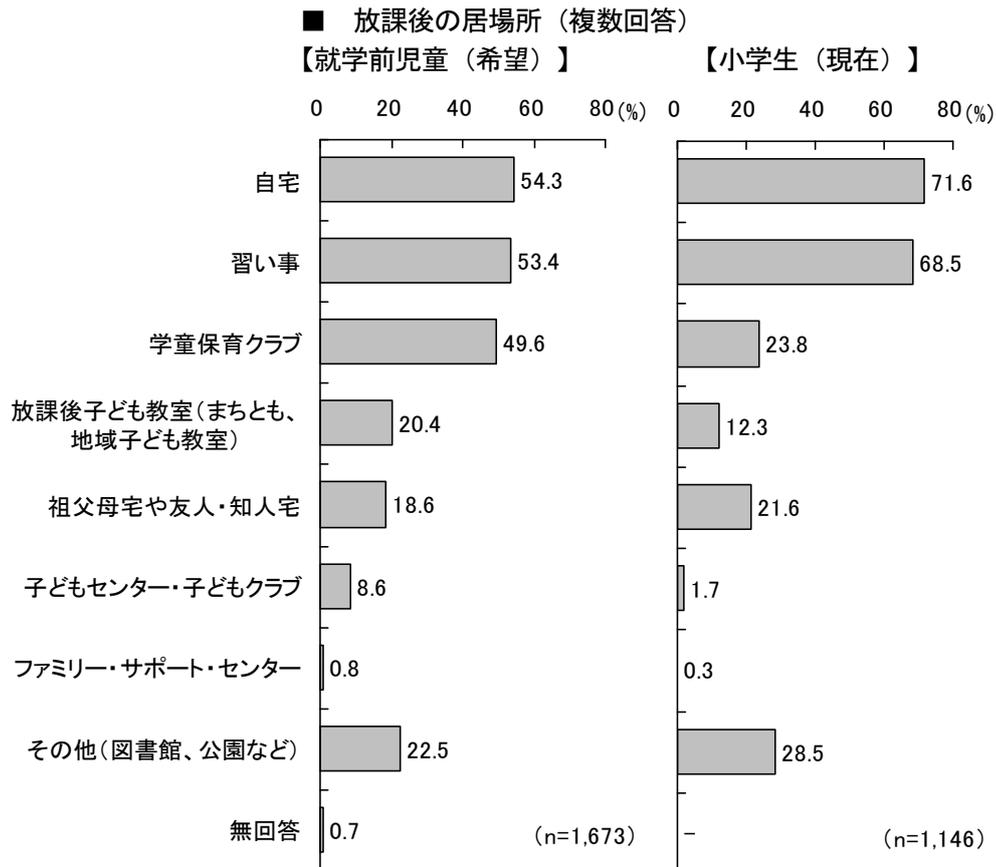
9. 放課後の過ごし方について

(1) 放課後の居場所と日数（低学年）

① 放課後の居場所

就学前児童の保護者が希望する低学年時の放課後の居場所をみると、「自宅」「習い事」がほぼ同じ割合で最も多く（それぞれ 54.3%、53.4%）、次いで「学童保育クラブ」が 49.6%と続いている。

小学生の放課後の居場所をみると（小学生の保護者調査）、「自宅」「習い事」がほぼ同じ割合で最も多く（それぞれ 71.6%、68.5%）、次いで「学童保育クラブ」「祖父母宅や友人・知人宅」（それぞれ 23.8%、21.6%）と続いている。



② 1週あたりの利用（希望）日数

1週あたりの利用（希望）日数をみると、『学童保育クラブ』は就学前児童の保護者では「5日」（50.8%）「3日」（18.6%）、小学生では「5日」（48.7%）、4日（24.2%）が多くなっている。

『学童保育クラブ』以外については、概ね「1日」「2日」の利用（希望）が多くなっている。

■ 1週あたりの利用（希望）日数

（単位：人、%）

区 分		件数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	就学前(希望)	908	17.5	23.1	16.4	9.4	18.6	1.3	1.0	12.7
	小学生(現在)	821	23.5	24.2	18.9	12.4	17.8	1.1	1.2	0.9
祖父母宅や友人・知人宅	就学前(希望)	312	50.3	24.0	8.7	1.0	4.8	0.6	-	10.6
	小学生(現在)	247	57.1	26.3	8.9	1.6	4.0	-	-	2.0
習い事	就学前(希望)	893	37.6	46.8	9.3	1.2	0.7	-	-	4.4
	小学生(現在)	785	34.4	34.5	18.9	9.3	2.2	0.5	-	0.3
子どもセンター・子どもクラブ	就学前(希望)	144	45.1	14.6	9.7	5.6	9.0	0.7	-	15.3
	小学生(現在)	20	70.0	30.0	-	-	-	-	-	-
放課後子ども教室 (まちとも、地域子ども教室)	就学前(希望)	341	33.4	27.3	15.2	5.3	8.8	0.3	-	9.7
	小学生(現在)	141	58.9	29.8	7.1	1.4	0.7	-	-	2.1
学童保育クラブ	就学前(希望)	830	1.3	7.0	18.6	13.3	50.8	7.0	0.1	1.9
	小学生(現在)	273	-	2.6	17.6	24.2	48.7	3.7	-	3.3
ファミリー・サポート・センター	就学前(希望)	13	61.5	7.7	7.7	-	7.7	-	-	15.4
	小学生(現在)	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-
その他(図書館・公園など)	就学前(希望)	376	30.1	26.6	20.5	5.6	8.2	-	0.3	8.8
	小学生(現在)	327	38.8	28.4	19.0	7.3	4.3	0.3	-	1.8

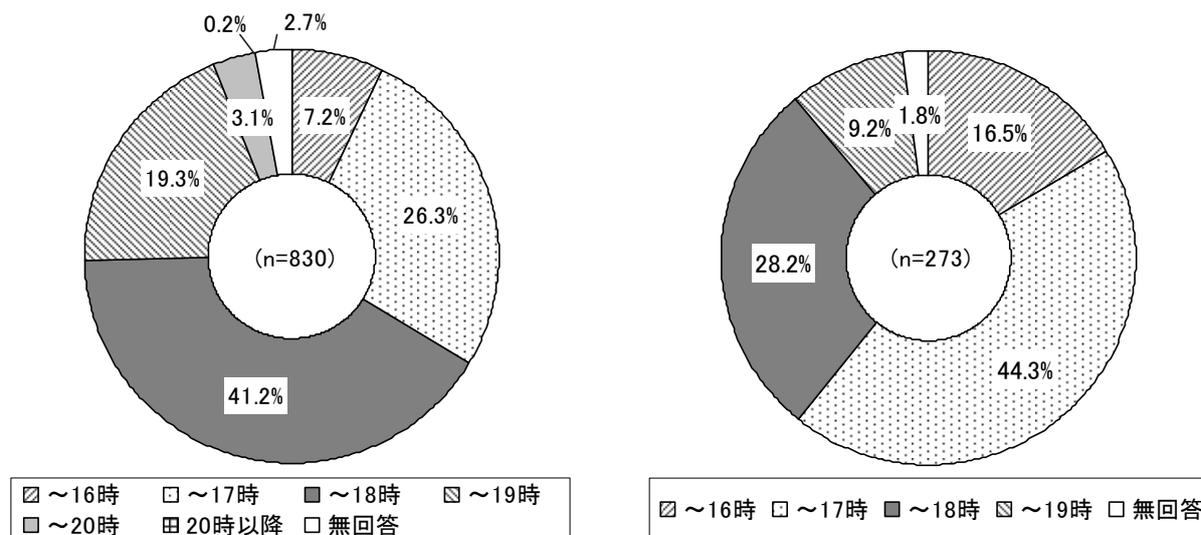
③ 学童保育クラブの利用（希望）終了時間

放課後の居場所として『学童保育クラブ』と回答した人の利用（希望）終了時間をみると、就学前児童の保護者では「～18時」が最も多く41.2%、次いで「～17時」が26.3%、「～19時」が19.3%と続いている。小学生の保護者では、「～17時」が最も多く44.3%、次いで「～18時」が28.2%、「～16時」が16.5%と続いている。

■ 学童保育クラブの利用（希望）終了時間

【就学前児童（希望）】

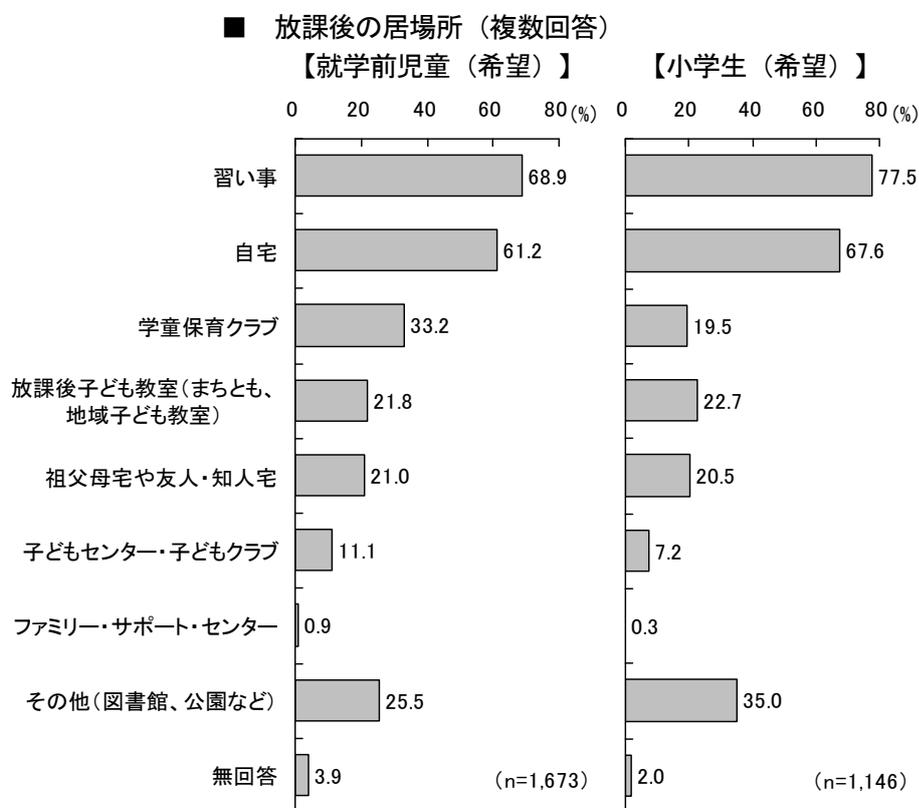
【小学生（現在）】



(2) 放課後の居場所と日数 (高学年)

① 放課後の居場所

高学年時に希望する放課後の居場所をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「習い事」が最も多く（それぞれ68.9%、77.5%）、次いで「自宅」（それぞれ61.2%、67.6%）と続いている。



② 1週あたりの利用希望日数

1週あたりの利用希望日数をみると、『学童保育クラブ』は就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「5日」（それぞれ38.7%、32.1%）と「3日」（それぞれ25.2%、31.7%）が多くなっている。

『学童保育クラブ』以外については、概ね「1日」「2日」の利用希望が多くなっている。

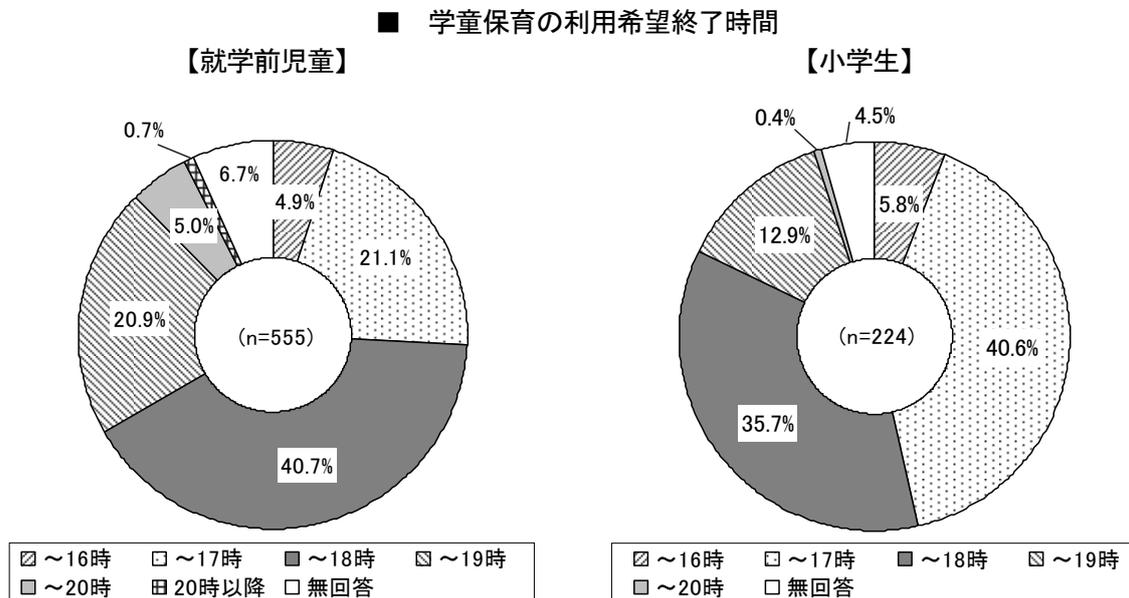
■ 1週あたりの利用希望日数

(単位:人、%)

区分		件数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	就学前(希望)	1,024	19.9	23.5	16.9	6.4	17.8	1.9	0.7	12.9
	小学生(現在)	775	29.4	26.6	17.9	5.3	16.1	0.5	1.0	3.1
祖父母宅や友人・知人宅	就学前(希望)	352	45.2	26.1	10.2	1.4	5.4	0.3	-	11.4
	小学生(現在)	235	59.1	23.8	8.1	1.7	4.7	-	-	2.6
習い事	就学前(希望)	1,152	21.6	44.3	23.5	3.0	0.9	-	-	21.6
	小学生(現在)	888	21.8	42.0	24.7	7.4	2.3	0.3	-	21.8
子どもセンター・子どもクラブ	就学前(希望)	186	43.5	21.5	9.1	4.3	8.1	1.6	-	43.5
	小学生(現在)	83	51.8	22.9	10.8	3.6	4.8	-	-	51.8
放課後子ども教室（まちとも、地域子ども教室）	就学前(希望)	365	34.5	26.6	15.3	4.9	7.4	0.3	-	34.5
	小学生(現在)	260	46.9	34.2	9.2	1.9	2.7	-	-	46.9
学童保育クラブ	就学前(希望)	555	3.8	11.9	25.2	10.3	38.7	5.9	0.4	3.8
	小学生(現在)	224	2.2	17.0	31.7	12.9	32.1	1.3	-	2.2
ファミリー・サポート・センター	就学前(希望)	15	46.7	20.0	-	-	20.0	-	-	46.7
	小学生(現在)	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0
その他（図書館・公園など）	就学前(希望)	427	29.5	31.1	17.6	4.4	8.2	0.2	-	29.5
	小学生(現在)	401	35.4	39.2	16.5	3.7	3.5	0.2	-	35.4

③ 学童保育の利用希望終了時間

放課後の居場所として『学童保育クラブ』と回答した人の利用希望終了時間をみると、就学前児童の保護者では、「～18時」が最も多く40.7%、次いで「～17時」「～19時」がほぼ同じ割合（それぞれ21.1%、20.9%）と続いている。小学生の保護者では「～17時」が最も多く40.6%、次いで「～18時」が35.7%、「～19時」が12.9%と続いている。



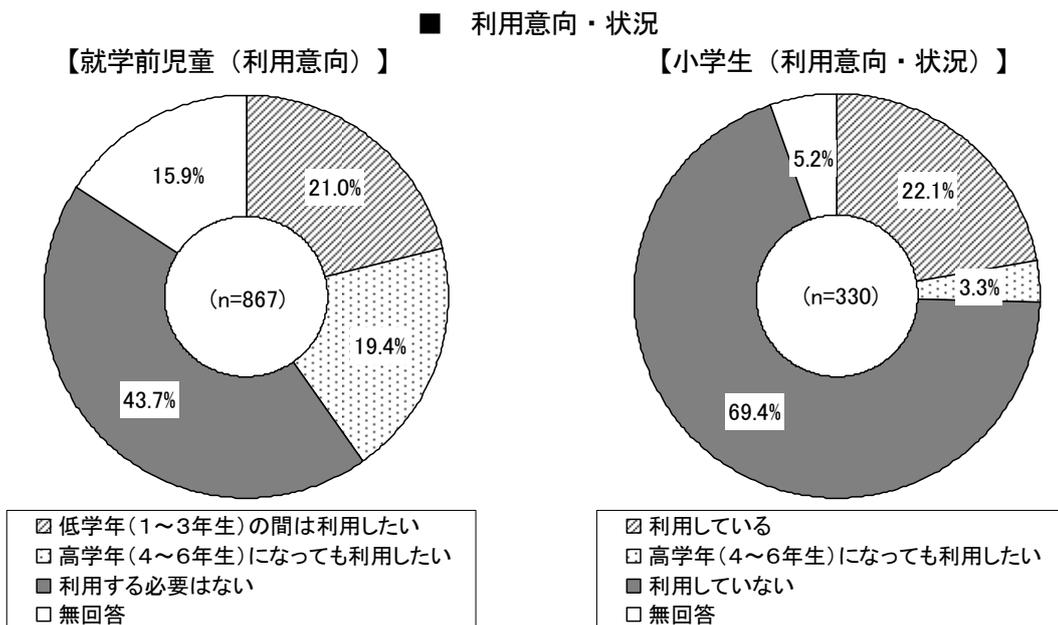
(3) 学童保育クラブの利用意向・状況

① 土曜日

ア. 利用意向・状況

就学前児童の保護者では「利用する必要はない」が最も多く43.7%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が21.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が19.4%となっている。

小学生の保護者では「利用していない」が最も多く69.4%、「利用している」が22.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が3.3%となっている。

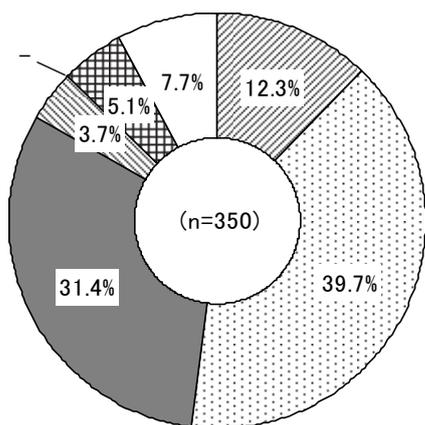


イ. 利用（希望）開始時間と利用（希望）終了時間

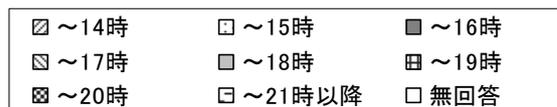
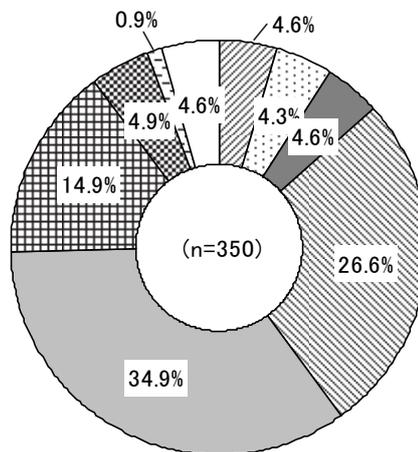
就学前児童の保護者で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」と回答した人の利用したい時間帯をみると、利用（希望）開始時間は「8時～」が最も多く39.7%、次いで「9時～」が31.4%、「7時～」が12.3%と続いている。利用（希望）終了時間は「～18時」が最も多く34.9%、次いで「～17時」が26.6%、「～19時」が14.9%と続いている。

■ 就学前児童

【利用（希望）開始時間】



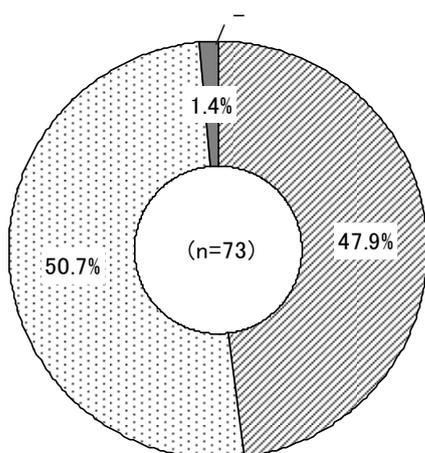
【利用（希望）終了時間】



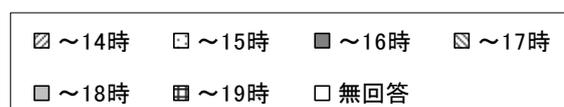
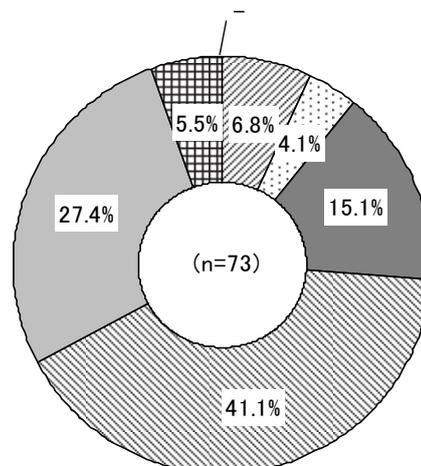
小学生の保護者で「利用している」と回答した人の利用している時間帯をみると、利用開始時間は「8時～」が47.9%、「9時～」が50.7%、「10時～」が1.4%となっている。利用終了時間は「～17時」が最も多く41.1%、次いで「～18時」が27.4%、「～16時」が15.1%と続いている。

■ 小学生（利用している）

【利用開始時間】



【利用終了時間】



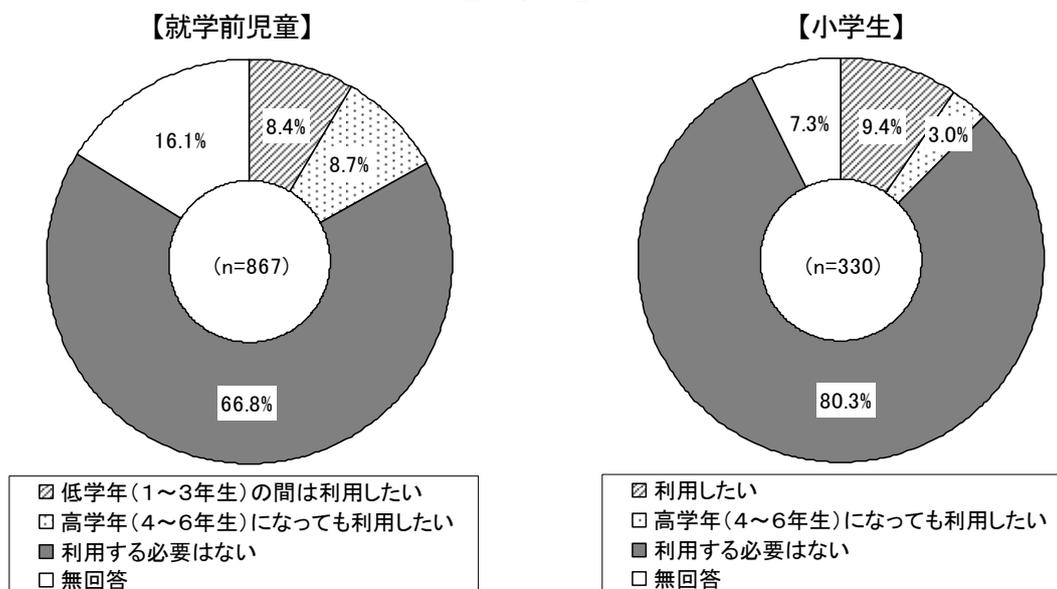
② 日曜・祝日

ア. 利用意向

就学前児童の保護者では、「利用する必要はない」が最も多く66.8%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」がほぼ同じくらいの割合（それぞれ8.4%、8.7%）となっている。

小学生の保護者でも「利用する必要はない」が最も多く80.3%、「利用したい」が9.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が3.0%となっている。

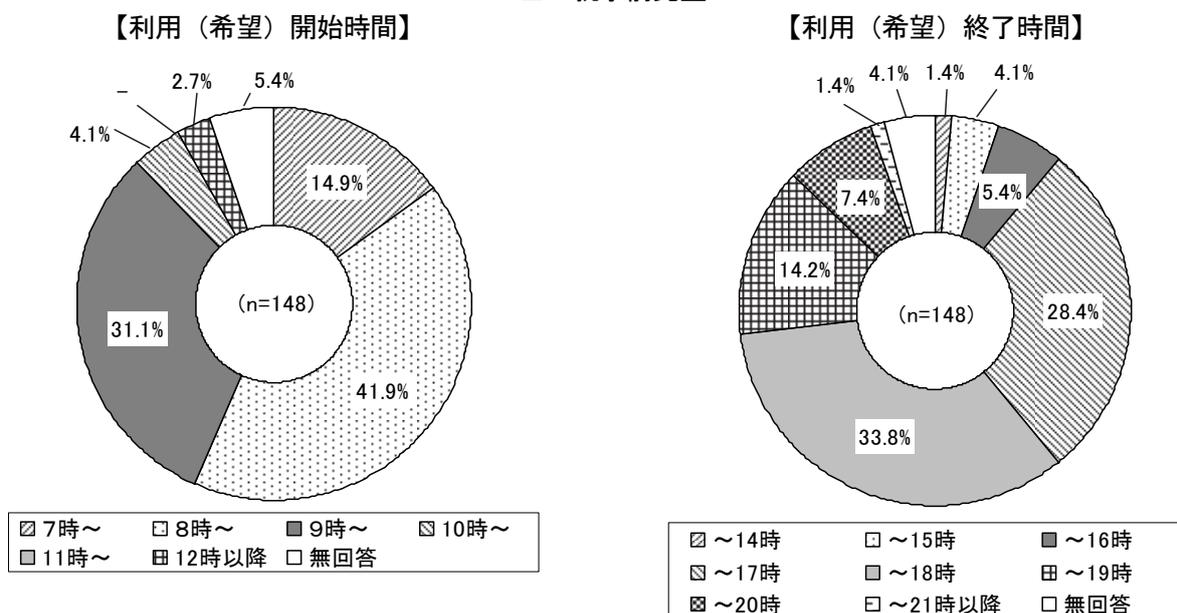
■ 利用意向



イ. 利用（希望）開始時間と利用（希望）終了時間

就学前児童の保護者で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」と回答した人の利用したい時間帯をみると、利用（希望）開始時間は「8時～」が最も多く41.9%、次いで「9時～」が31.1%、「7時～」が14.9%と続いている。利用（希望）終了時間は「～18時」が最も多く33.8%、次いで「～17時」が28.4%、「～19時」が14.2%と続いている。

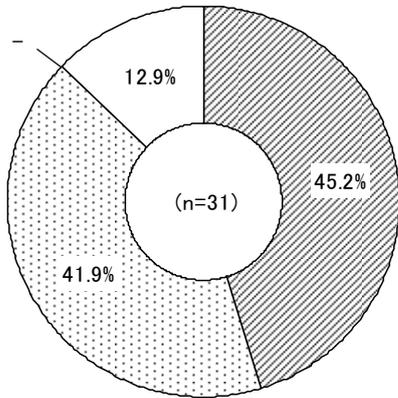
■ 就学前児童



小学生の保護者で「利用したい」と回答した人の利用したい時間帯をみると、利用（希望）開始時間は「8時～」が45.2%、「9時～」が41.9%となっている。利用（希望）終了時間は「～18時」が最も多く41.9%、次いで「～17時」が29.0%、「～15時」「～16時」がともに6.5%と続いている。

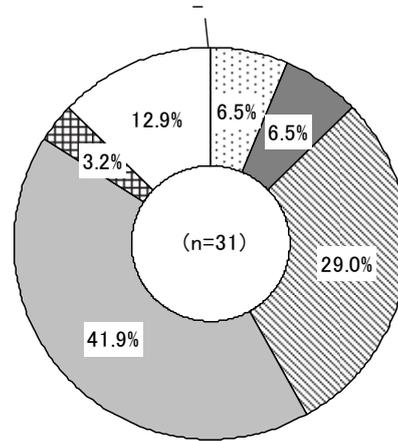
■ 小学生（利用したい）

【利用（希望）開始時間】



■ 8時～ □ 9時～ ■ 10時～ □ 無回答

【利用（希望）終了時間】



■ ～14時 □ ～15時 ■ ～16時 ▨ ～17時
▩ ～18時 田 ～19時 □ 無回答

③ 夏休み・冬休み

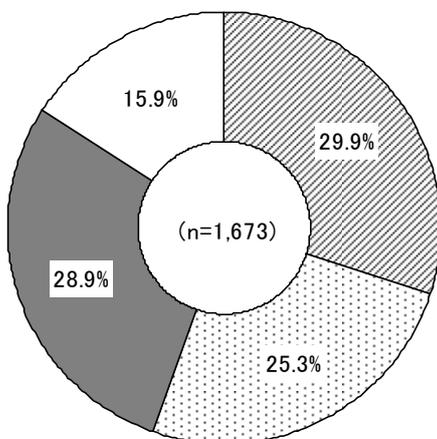
ア. 利用意向・状況

就学前児童の保護者では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「利用する必要はない」がほぼ同じくらいの割合で最も多く（それぞれ29.9%、28.9%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が25.3%となっている。

小学生の保護者では、「利用している」が最も多く64.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が20.9%、「利用していない」が10.3%となっている。

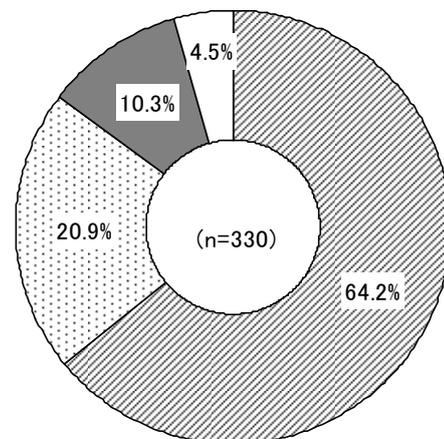
■ 利用意向・状況

【就学前児童（利用意向）】



▨ 低学年（1～3年生）の間は利用したい
▩ 高学年（4～6年生）になっても利用したい
■ 利用する必要はない
□ 無回答

【小学生（利用意向・状況）】

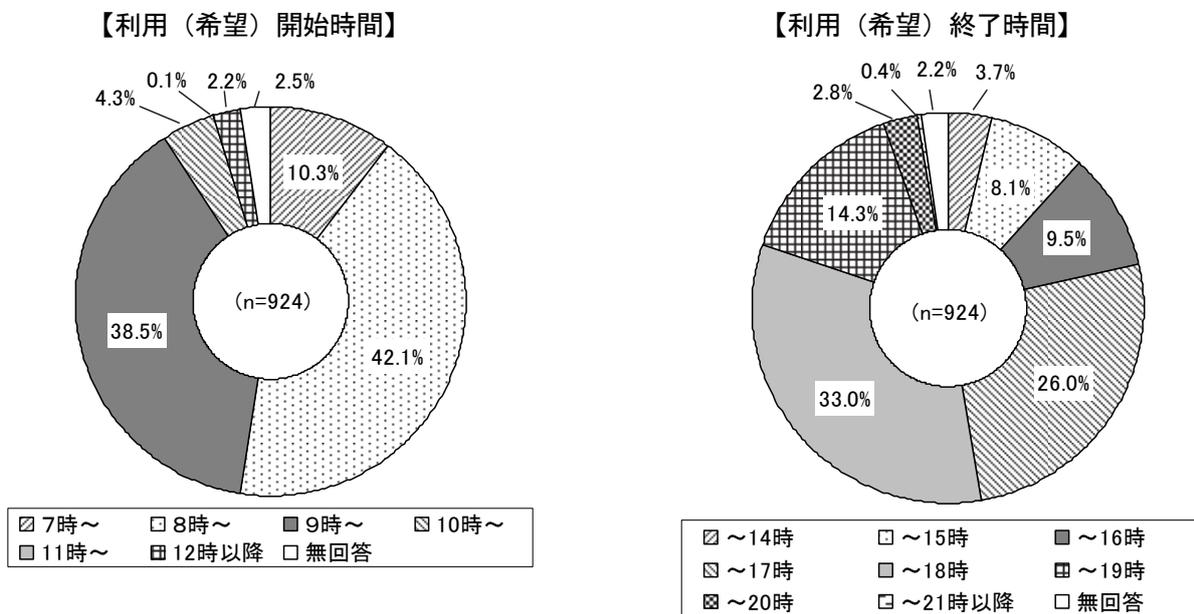


▨ 利用している
▩ 高学年（4～6年生）になっても利用したい
■ 利用していない
□ 無回答

イ. 利用（希望）開始時間と利用（希望）終了時間

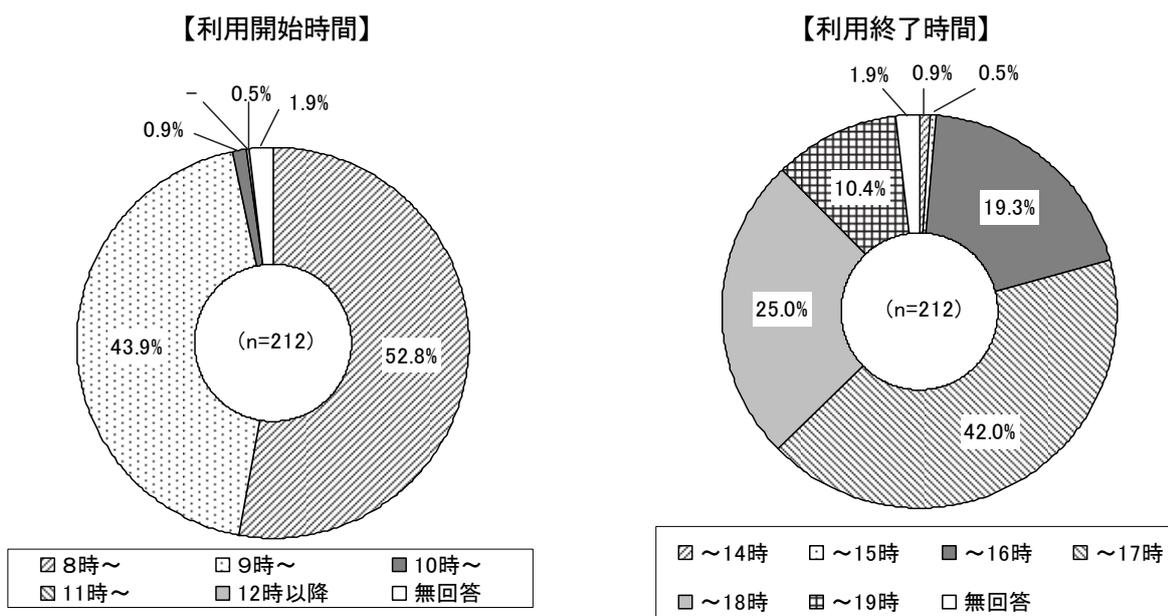
就学前児童の保護者で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」と回答した人の利用したい時間帯をみると、利用（希望）開始時間は「8時～」が最も多く42.1%、次いで「9時～」が38.5%、「7時～」が10.3%と続いている。利用（希望）終了時間は「～18時」が最も多く33.0%、次いで「～17時」が26.0%、「～19時」が14.3%と続いている。

■ 就学前児童

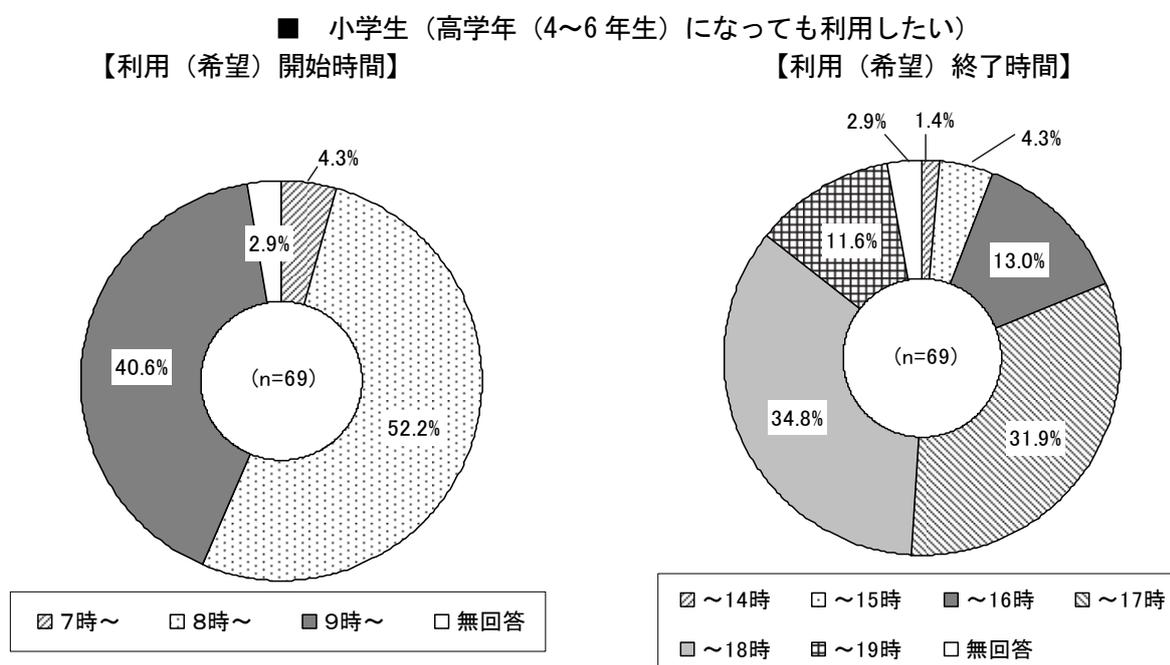


小学生の保護者で「利用している」と回答した人の利用している時間帯をみると、利用開始時間は「8時～」が52.8%、「9時～」が43.9%、「10時～」が0.9%となっている。利用終了時間は「～17時」が最も多く42.0%、次いで「～18時」が25.0%、「～16時」が19.3%と続いている。

■ 小学生（利用している）



小学生の保護者で「高学年（4～6年生）になっても利用したい」と回答した人の利用したい時間帯をみると、利用（希望）開始時間は「8時～」が最も多く 52.2%、次いで「9時～」が 40.6%、「7時～」が 4.3%となっている。利用（希望）終了時間は「～18時」が最も多く 34.8%、次いで「～17時」が 31.9%、「～16時」が 13.0%と続いている。

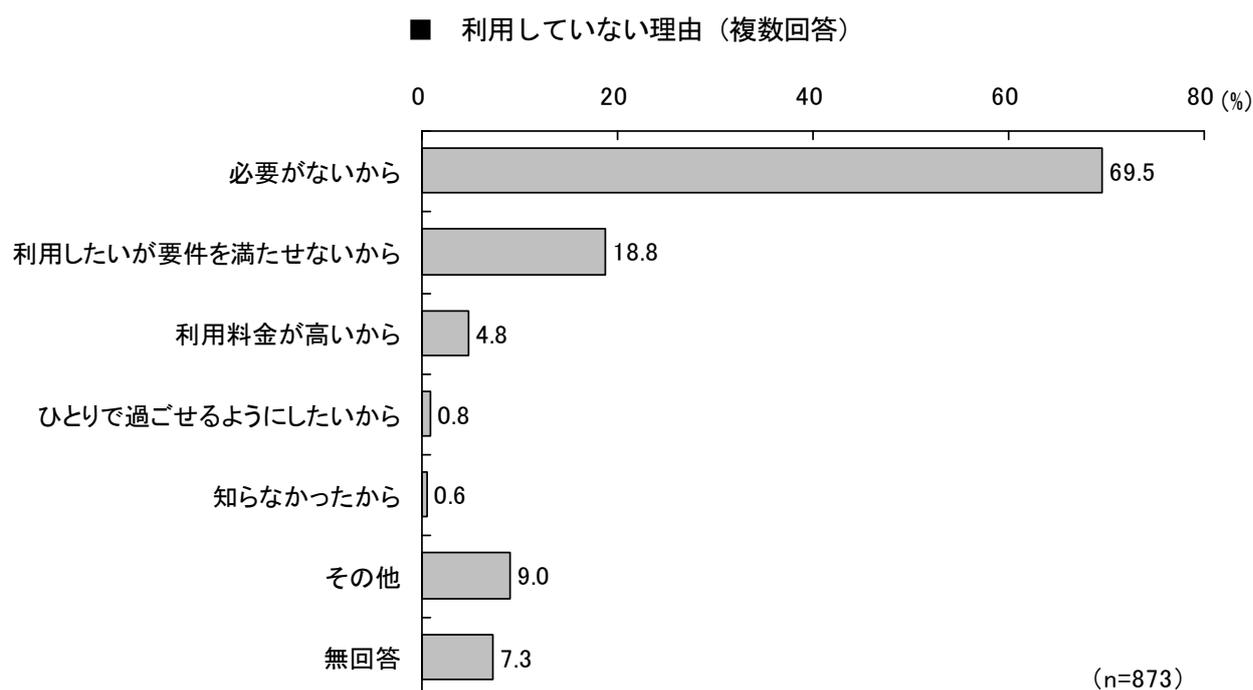


（４）学童保育クラブを利用しない理由（小学生）

① 学童保育クラブ未利用者

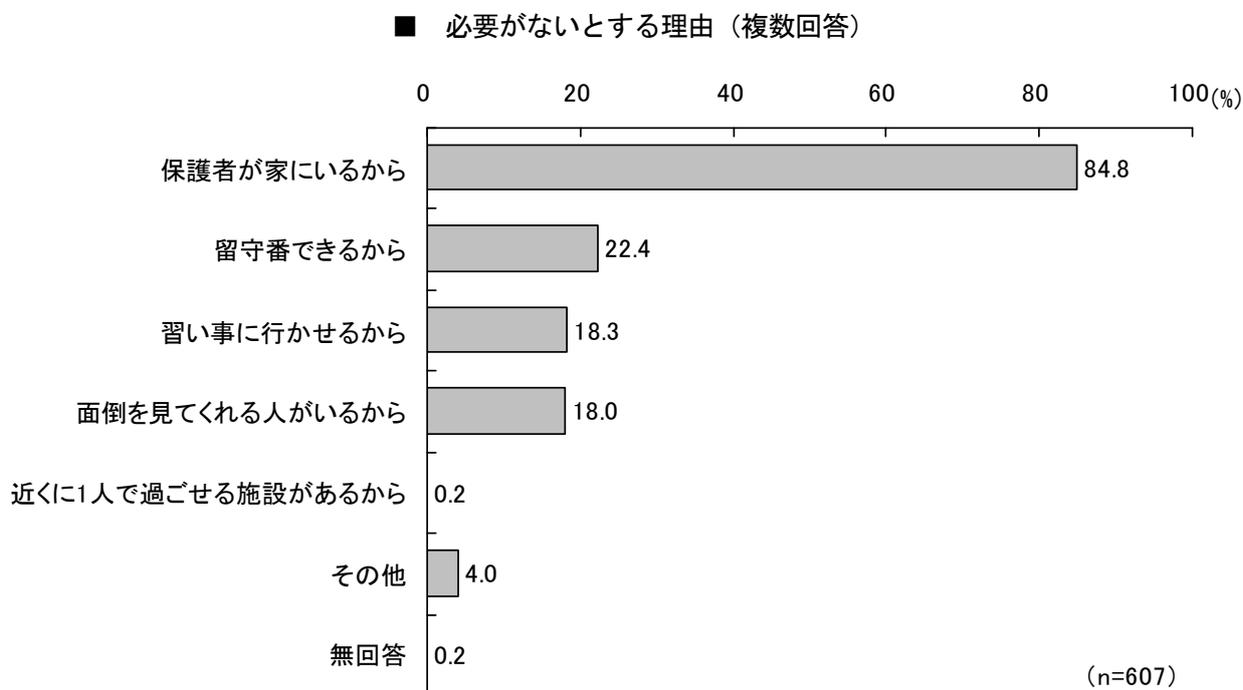
ア. 利用していない理由

学童保育クラブを利用していない理由をみると、「必要がないから」が最も多く 69.5%、次いで「利用したいが要件を満たせないから」が 18.8%、「利用料金が高いから」が 4.8%と続いている。



イ. 必要がないとする理由

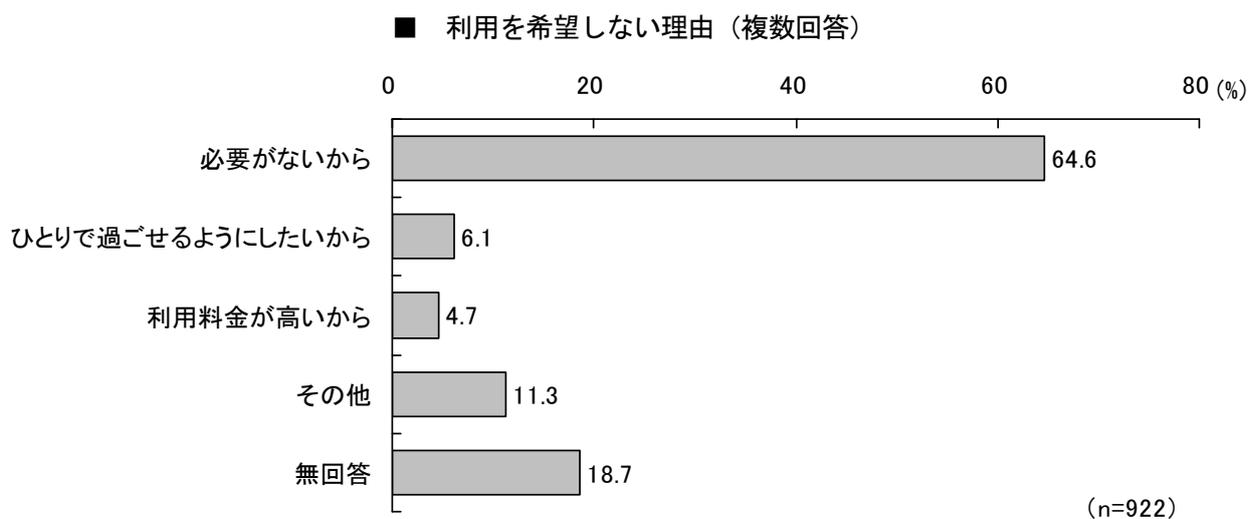
学童保育クラブを利用していない理由で「必要がないから」と回答した人の詳細理由をたずねたところ、「保護者が家にいるから」が最も多く 84.8%、次いで「留守番できるから」が 22.4%、「習い事に行かせるから」「面倒を見てくれる人がいるから」がほぼ同じくらいの割合（それぞれ 18.3%、18.0%）で続いている。



② 高学年時に利用を希望しない理由

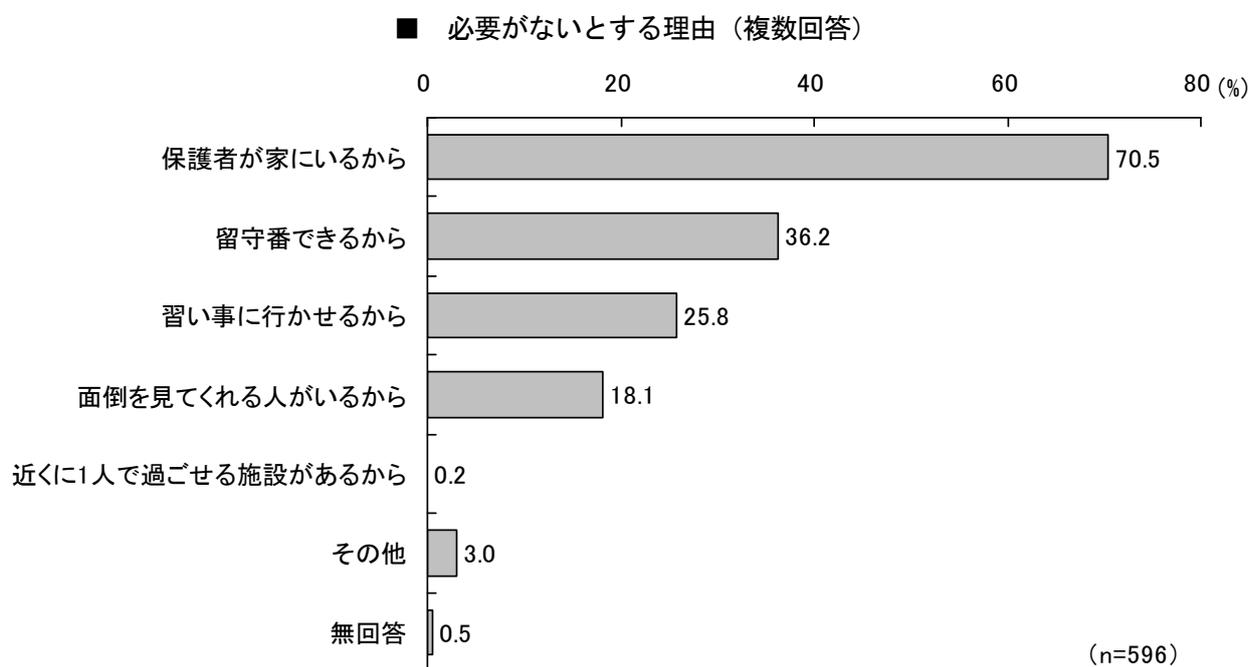
ア. 利用を希望しない理由

高学年時に学童保育クラブの利用を希望しない理由をみると、「必要がないから」が最も多く 64.6%、次いで「ひとりで過ごせるようにしたいから」が 6.1%、「利用料金が高いから」が 4.7%となっている。



イ. 必要がないとする理由

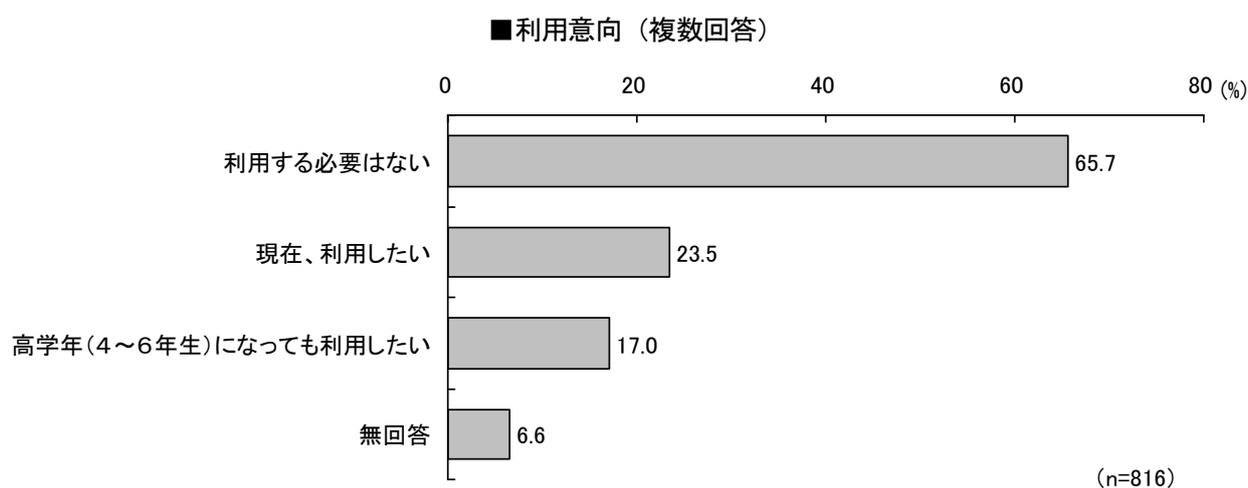
高学年時に学童保育クラブの利用を希望しない理由で「必要がないから」と回答した人の詳細理由をたずねたところ、「保護者が家にいるから」が最も多く70.5%、次いで「留守番できるから」が36.2%、「習い事に行かせるから」が25.8%と続いている。



③ 夏休み・冬休み

ア. 利用意向

「利用する必要はない」が最も多く65.7%、次いで「現在、利用したい」が23.5%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が17.0%となっている。

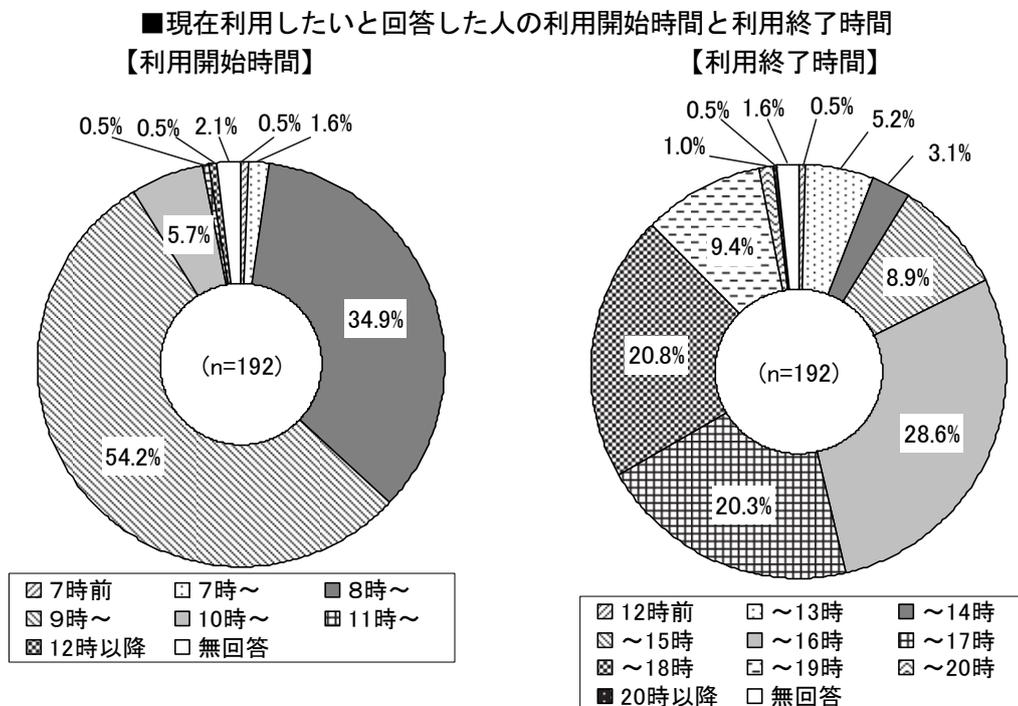


イ. 利用開始時間と利用終了時間

i) 現在、利用したい

「現在、利用したい」と回答した人の利用開始時間をみると、「9時～」が最も多く54.2%、次いで「8時～」が34.9%、「10時～」が5.7%と続いている。

利用終了時間をみると、「～16時」が最も多く28.6%、次いで「～18時」「～17時」がほぼ同じ割合（それぞれ20.8%、20.3%）、「～19時」が9.4%と続いている。



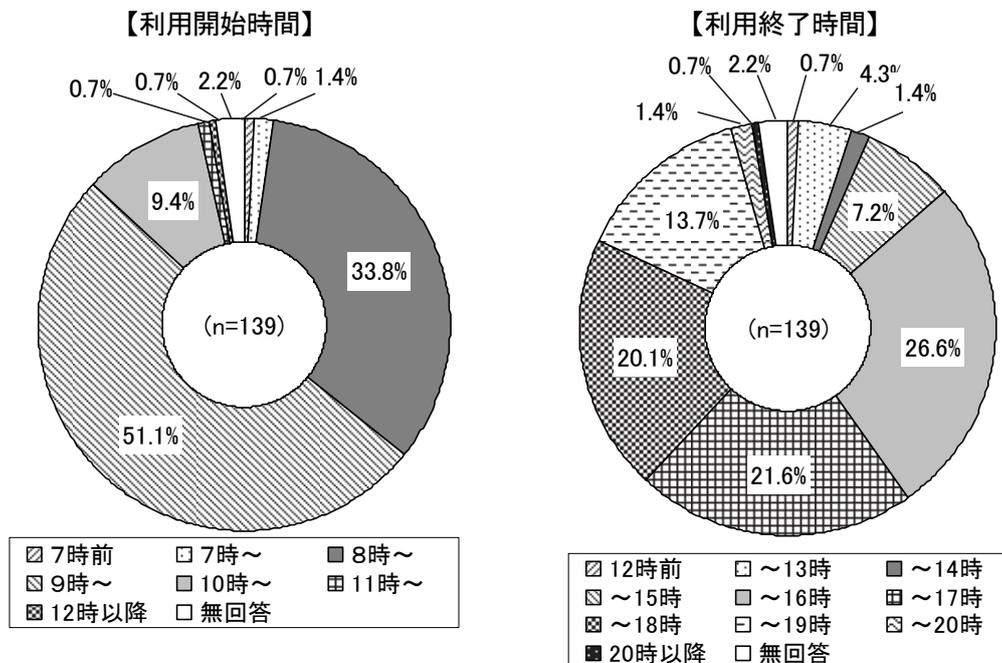
ii) 高学年になっても利用したい

「高学年になっても利用したい」と回答した人の利用開始時間をみると、「9時～」が最も多く51.1%、次いで「8時～」が33.8%、「10時～」が9.4%と続いている。

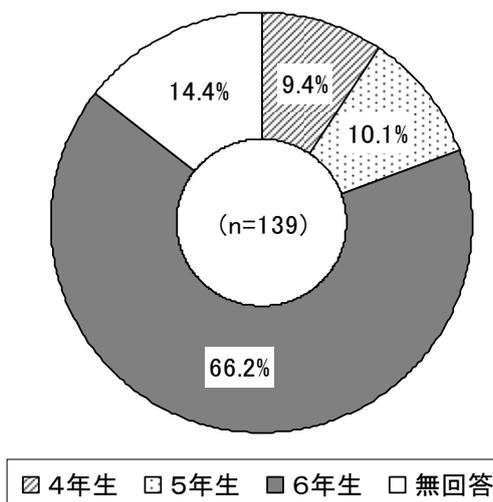
利用終了時間をみると、「～16時」が最も多く26.6%、次いで「～17時」「～18時」がほぼ同じ割合（それぞれ21.6%、20.1%）、「～19時」が13.7%と続いている。

また、利用を希望する学年は、「6年生」までが最も多く66.2%、次いで「5年生」までが10.1%、「4年生」までが9.4%となっている。

■ 高学年になっても利用したいと回答した人の利用開始時間と利用終了時間



■ 利用希望学年

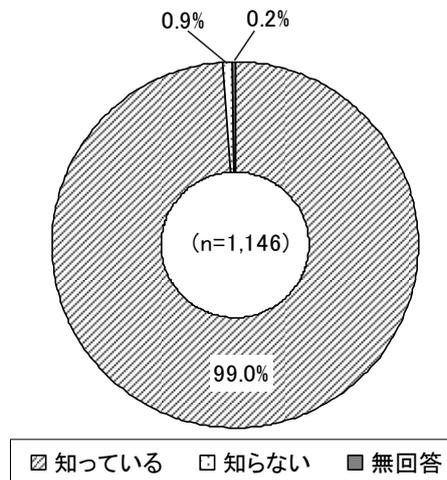


10. 学童保育クラブについて（小学生）

（1）学童保育クラブの認知度

学童保育クラブの認知度をみると、「知っている」が99.0%、「知らない」が0.9%となっている。

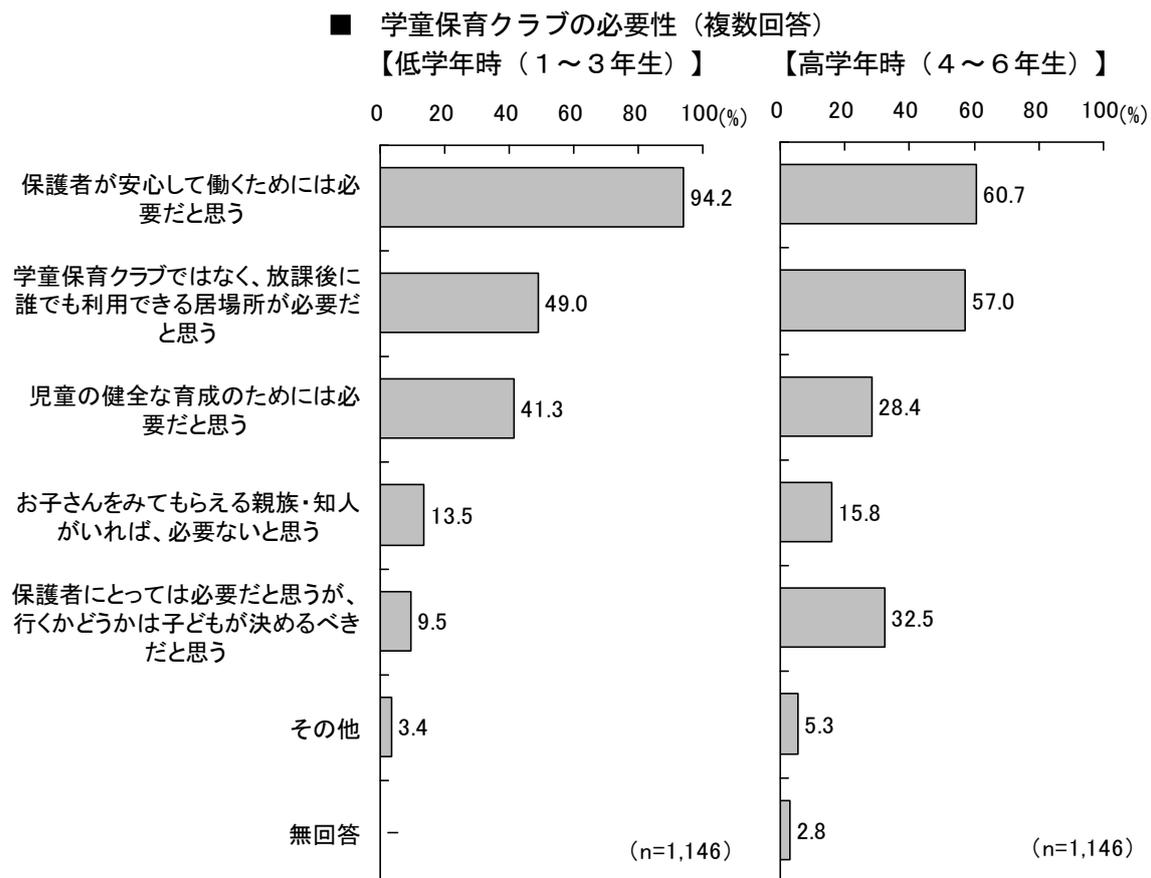
■ 学童保育クラブの認知度



(2) 学童保育クラブの必要性

低学年時（1～3年生）における学童保育クラブの必要性をみると、「保護者が安心して働くためには必要だと思う」が最も多く 94.2%、次いで「学童保育クラブではなく、放課後に誰でも利用できる居場所が必要だと思う」が 49.0%、「児童の健全な育成のためには必要だと思う」が 41.3%と続いている。

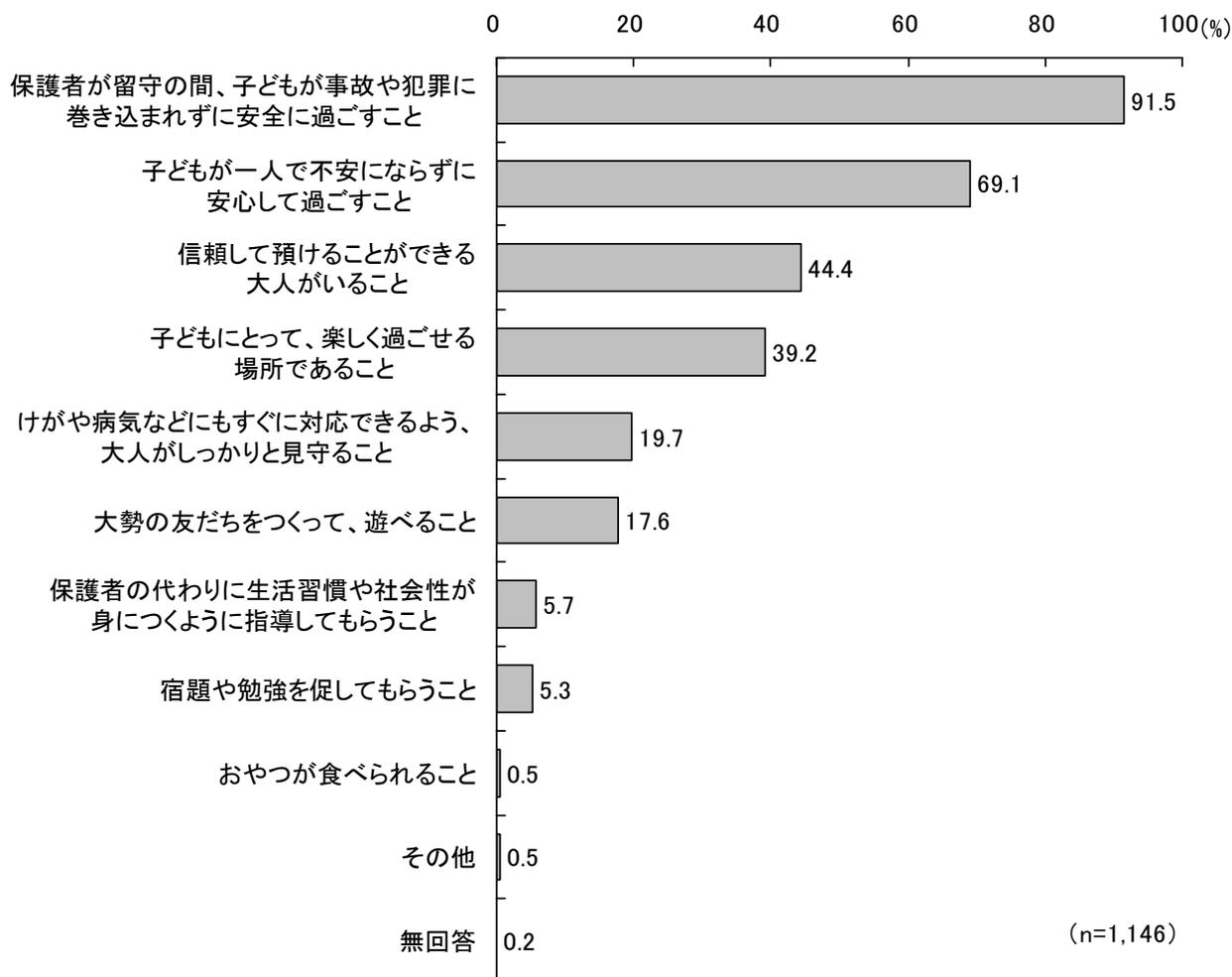
高学年時（4～6年生）における学童保育クラブの必要性をみると、「保護者が安心して働くためには必要だと思う」が最も多く 60.7%、次いで「学童保育クラブではなく、放課後に誰でも利用できる居場所が必要だと思う」が 57.0%、「保護者にとっては必要だと思うが、行くかどうかは子どもが決めるべきだと思う」が 32.5%と続いている。



(3) 子どもを学童保育クラブに預ける際に大切なこと

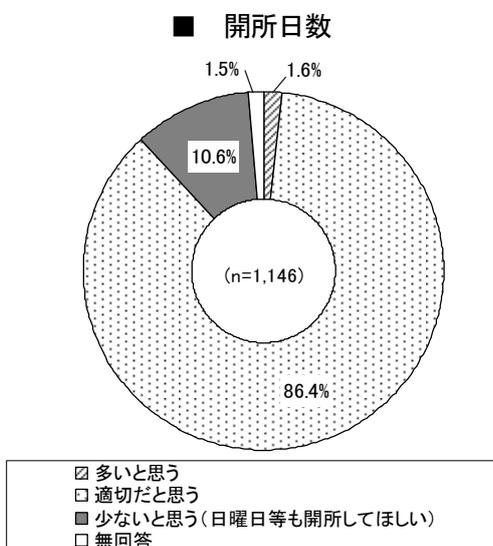
子どもを学童保育クラブに預ける際に大切なことをみると、「保護者が留守の間、子どもが事故や犯罪に巻き込まれずに安全に過ごすこと」が最も多く 91.5%、次いで「子どもが一人で不安にならずに安心して過ごすこと」が 69.1%、「信頼して預けることができる大人がいること」が 44.4%と続いている。

■ 子どもを学童保育クラブに預ける際に大切なこと（複数回答）



(4) 開所日数

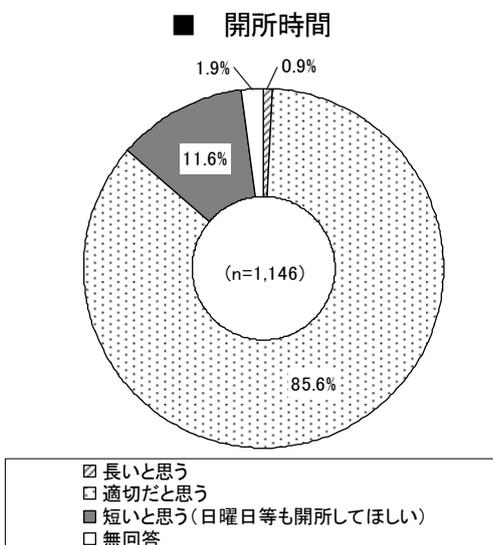
学童保育クラブの開所日数について、「適切だと思う」が最も多く 86.4%、次いで「少ないと思う(日曜日等も開所してほしい)」が 10.6%、「多いと思う」が 1.6%となっている。



(5) 平日の開所時間と終了時間

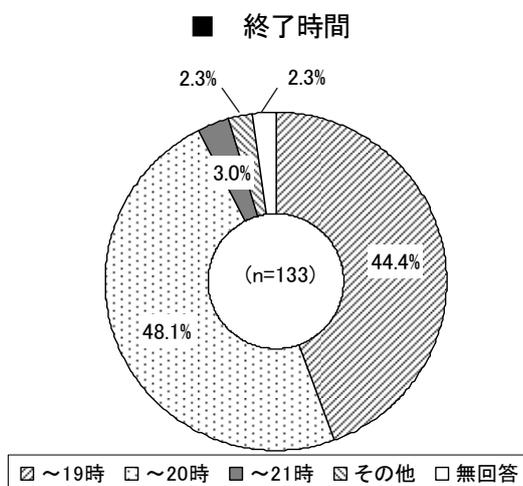
① 開所時間

学童保育クラブの開所時間について、「適切だと思う」が最も多く 85.6%、次いで「短いと思う(日曜日等も開所してほしい)」が 11.6%、「長いと思う」が 0.9%となっている。



② 終了時間（短いと思う場合）

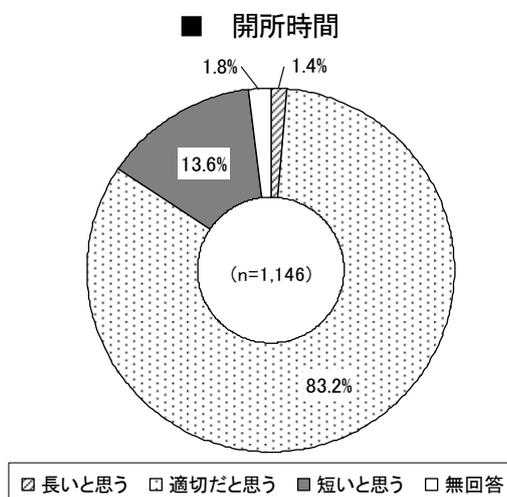
学童保育クラブの開所時間について、「短いと思う（日曜日等も開所してほしい）」と回答した人の適切な終了時間をみると、「～20時」が最も多く48.1%、次いで「～19時」が44.4%、「～21時」が3.0%となっている。



(6) 学校休業日の開所時間と終了時間

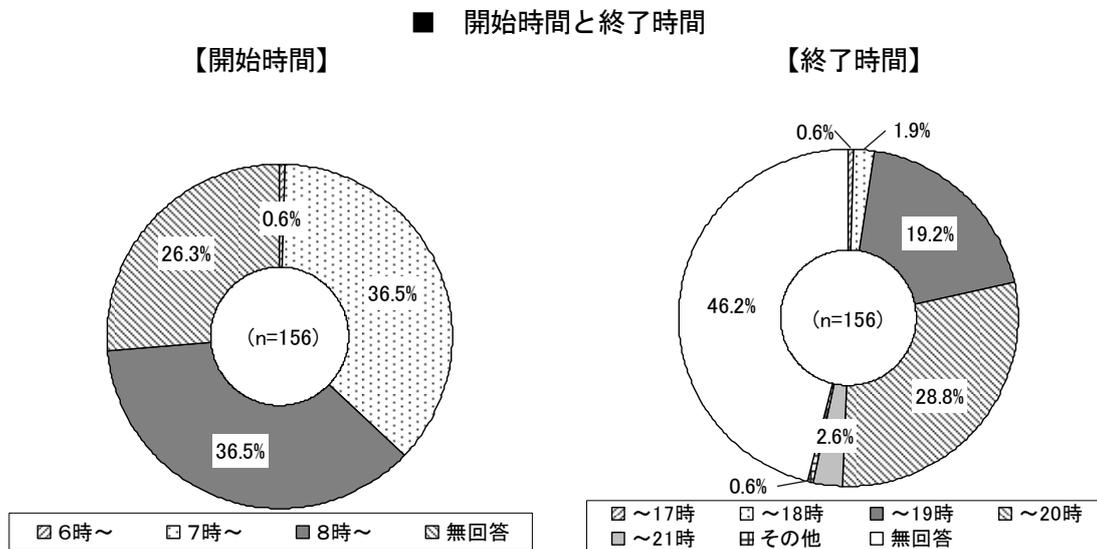
① 開所時間

学校休業日の学童保育クラブの開所時間について、「適切だと思う」が最も多く83.2%、次いで「短いと思う」が13.6%、「長いと思う」が1.4%となっている。



② 開始時間と終了時間

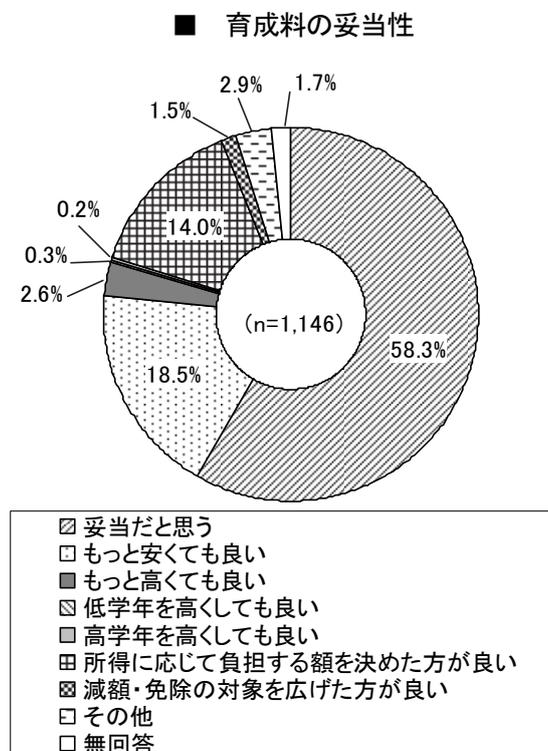
学校休業日の学童保育クラブの開所時間について、「短いと思う」と回答した人の開始時間をみると、「7時～」「8時～」がともに多く 36.5%となっている。終了時間は「～20時」が最も多く 28.8%、次いで「～19時」が 19.2%、「～21時」が 2.6%となっている。



(7) 育成料（利用料金）について

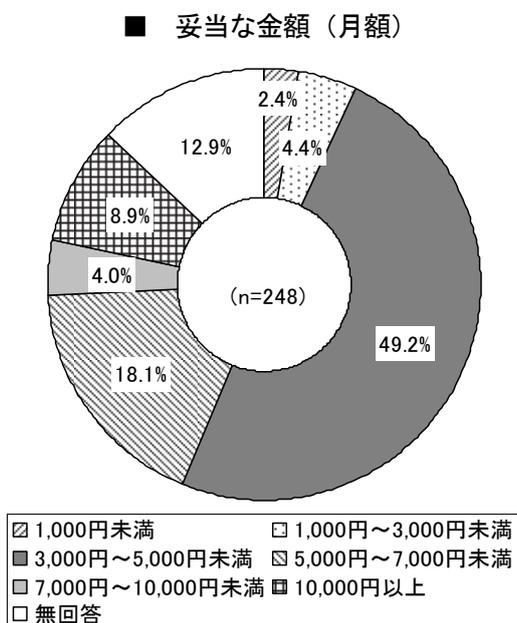
① 育成料の妥当性

育成料の妥当性をみると、「妥当だと思う」が最も多く 58.3%、次いで「もっと安くても良い」が 18.5%、「所得に応じて負担する額を決めた方が良い」が 14.0%と続いている。



② 妥当な金額（月額）

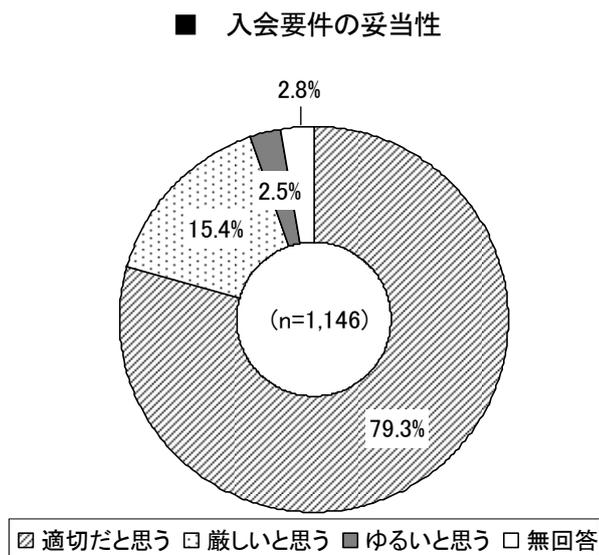
育成料について「もっと安くても良い」「もっと高くても良い」「低学年を高くしても良い」「高学年を高くしても良い」と回答した人に月額の妥当な金額をたずねたところ、「3,000円～5,000円未満」が最も多く49.2%、次いで「5,000円～7,000円未満」が18.1%、「10,000円以上」が8.9%と続いている。なお、平均金額は4,926円であった。



(8) 入会要件について

① 入会要件の妥当性

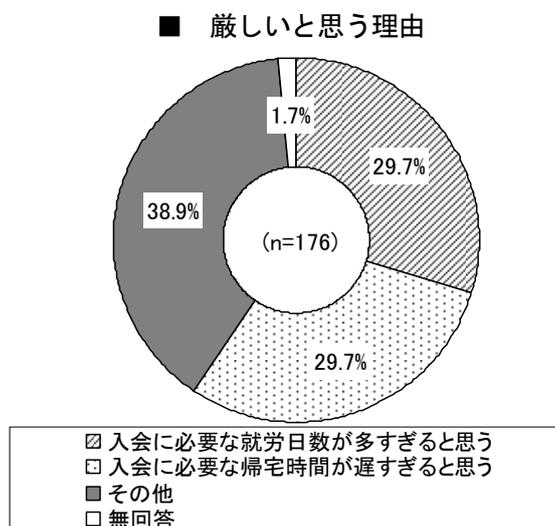
本市の学童クラブに入会するための要件について、「適切だと思う」が最も多く79.3%、「厳しいと思う」が15.4%、「ゆるいと思う」が2.5%となっている。



② 厳しいと思う理由等

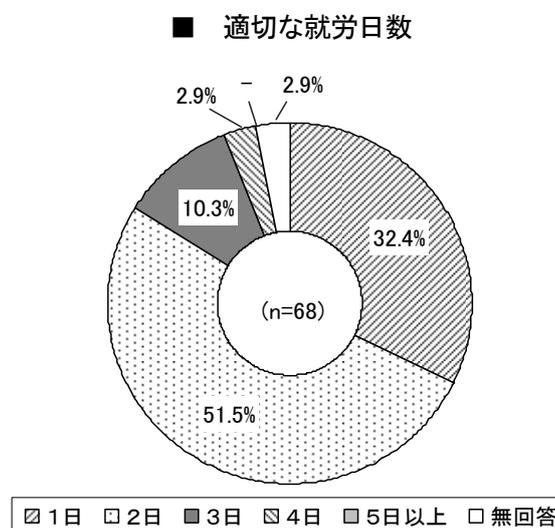
ア. 厳しいと思う理由

学童クラブに入会するための要件について、「厳しいと思う」と回答した人の理由をみると、「入会に必要な就労日数が多すぎると思う」「入会に必要な帰宅時間が遅すぎると思う」がともに29.7%となっている。



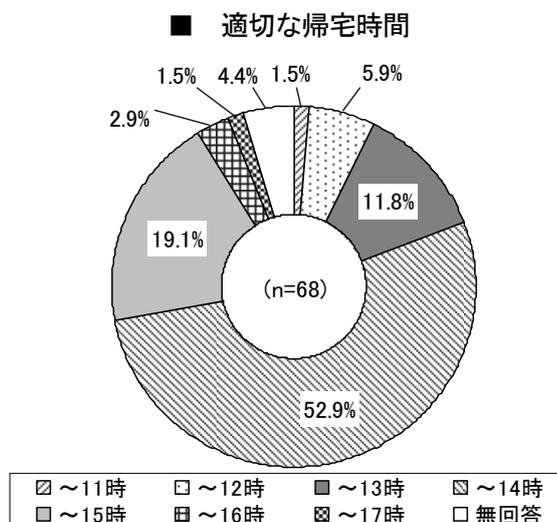
イ. 適切な就労日数

「入会に必要な就労日数が多すぎると思う」と回答した人の適切な就労日数をみると、「2日」が最も多く51.5%、次いで「1日」が32.4%、「3日」が10.3%と続いている。



ウ. 適切な帰宅時間

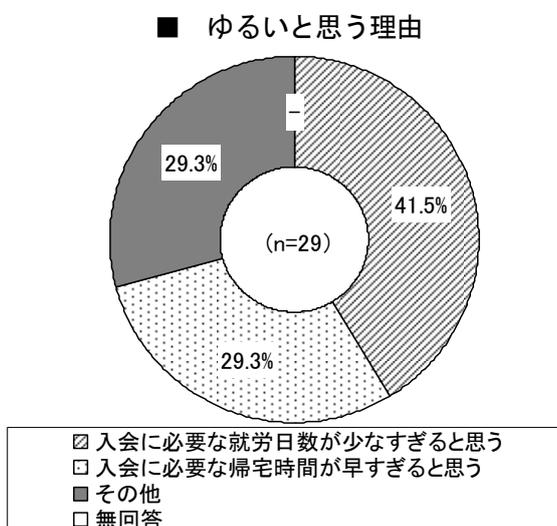
「入会に必要な帰宅時間が遅すぎると思う」と回答した人の適切な帰宅時間をみると、「～14時」が最も多く52.9%、次いで「～15時」が19.1%、「～13時」が11.8%と続いている。



③ ゆるいと思う理由等

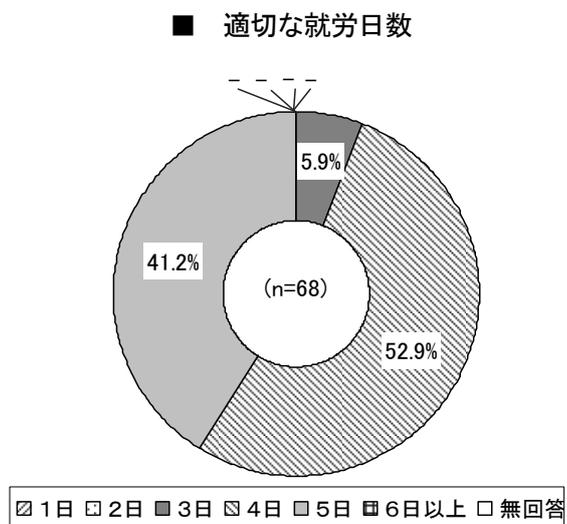
ア. ゆるいと思う理由

学童保育クラブに入会するための要件について、「ゆるいと思う」と回答した人の理由をみると、「入会に必要な就労日数が少なすぎると思う」が41.5%、「入会に必要な帰宅時間が早すぎると思う」が29.3%となっている。



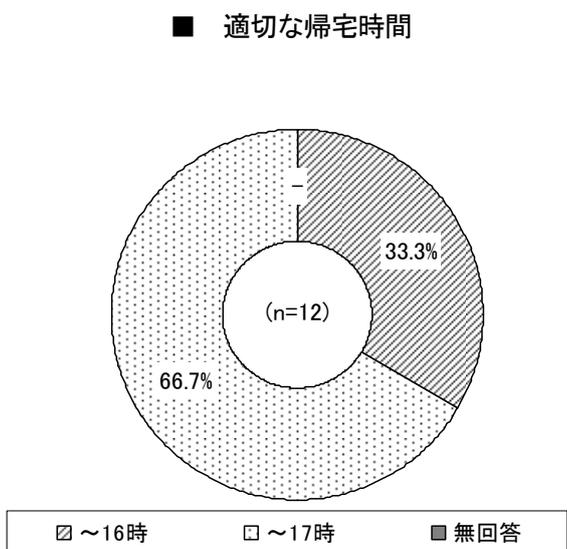
イ. 適切な就労日数

「入会に必要な就労日数が少なすぎると思う」と回答した人の適切な就労日数をみると、「4日」が最も多く52.9%、次いで「5日」が41.2%、「3日」が5.9%となっている。



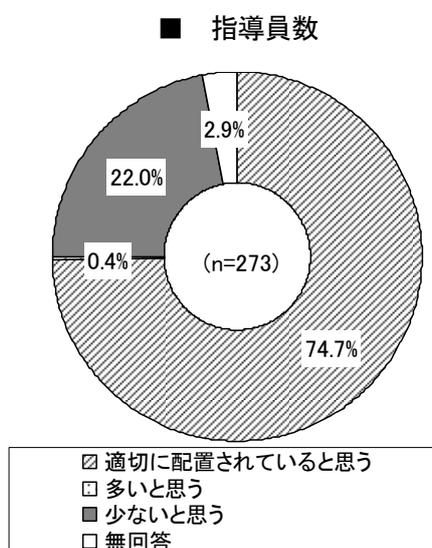
ウ. 適切な帰宅時間

「入会に必要な帰宅時間が早すぎると思う」と回答した人の適切な帰宅時間をみると、「～17時」が66.7%、「～16時」が33.3%となっている。



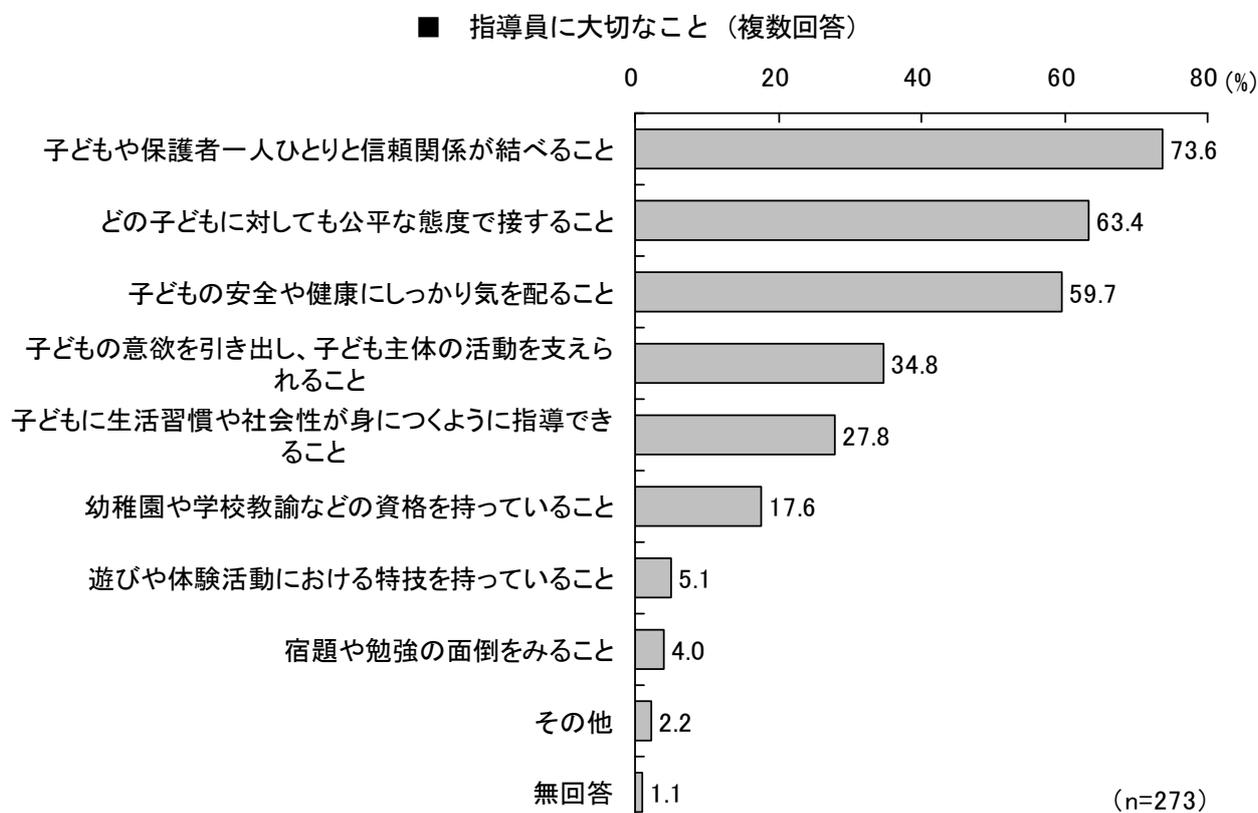
(9) 指導員数

学童クラブに配置されている指導員の数について、「適切に配置されていると思う」が最も多く 74.7%、次いで「少ないと思う」が 22.0%、「多いと思う」が 0.4%となっている。



(10) 指導員に大切なこと

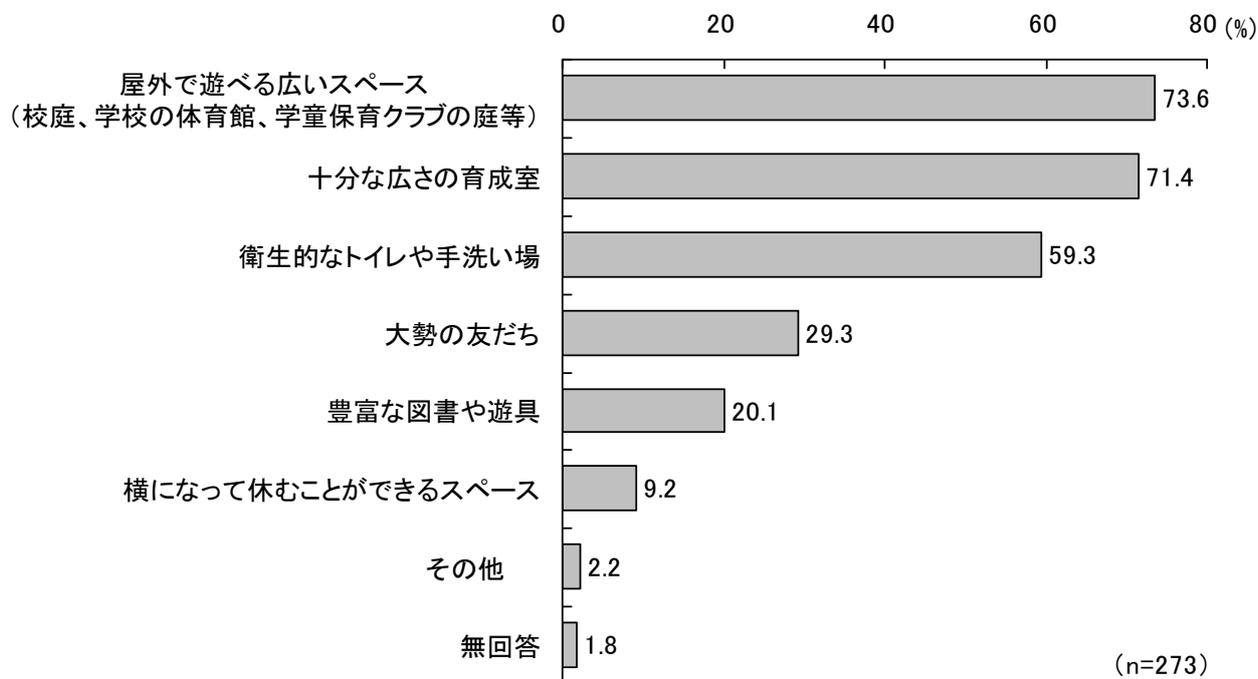
指導員に大切なことをみると、「子どもや保護者一人ひとりと信頼関係が結べること」が最も多く 73.6%、次いで「どの子どもに対しても公平な態度で接すること」が 63.4%、「子どもの安全や健康にしっかり気を配ること」が 59.7%と続いている。



(11) 子どもが学童保育クラブで快適に過ごすために必要なこと

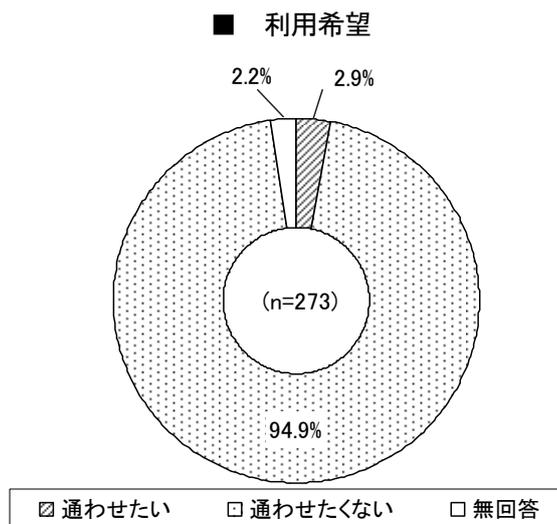
子どもが学童保育クラブで快適に過ごすために必要なことをみると、「屋外で遊べる広いスペース」が最も多く73.6%、「十分な広さの育成室」が71.4%、「衛生的なトイレや手洗い場」が59.3%となっている。

■ 子どもが学童保育クラブで快適に過ごすために必要なこと（複数回答）



(12) 学区外にある学童保育クラブについて

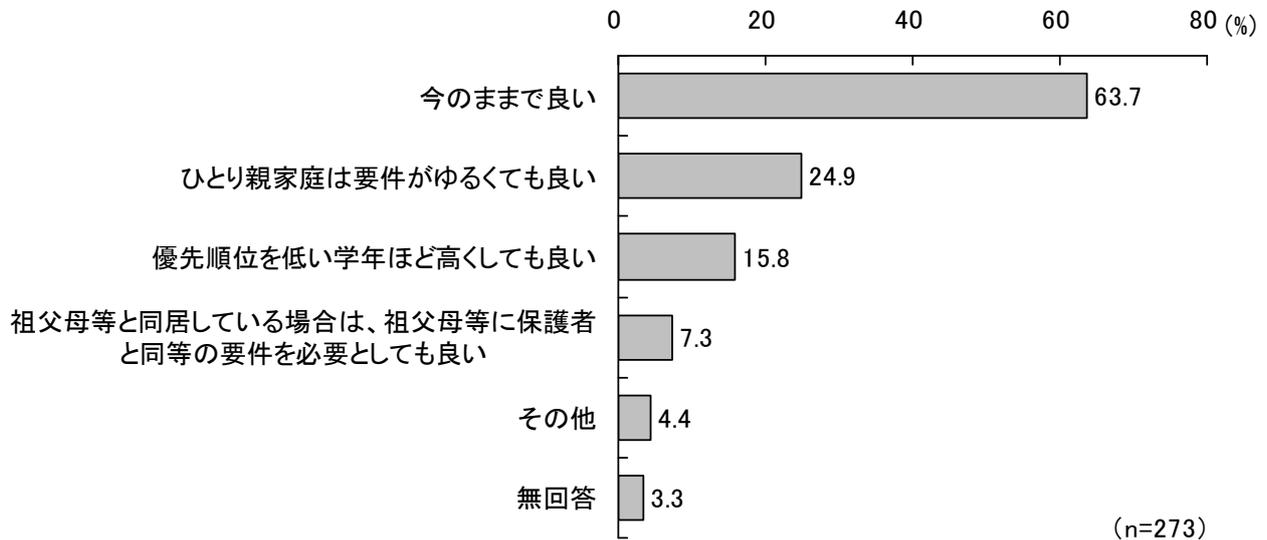
学区外にある学童保育クラブへの利用希望をみると、「通わせたくない」が94.9%、「通わせたい」が2.9%となっている。



(13) 学童保育クラブの入会要件について

学童保育クラブの入会要件についてみると、「今のままで良い」が最も多く 63.7%、次いで「ひとり親家庭は要件がゆるくても良い」が 24.9%、「優先順位を低い学年ほど高くしても良い」が 15.8%と続いている。

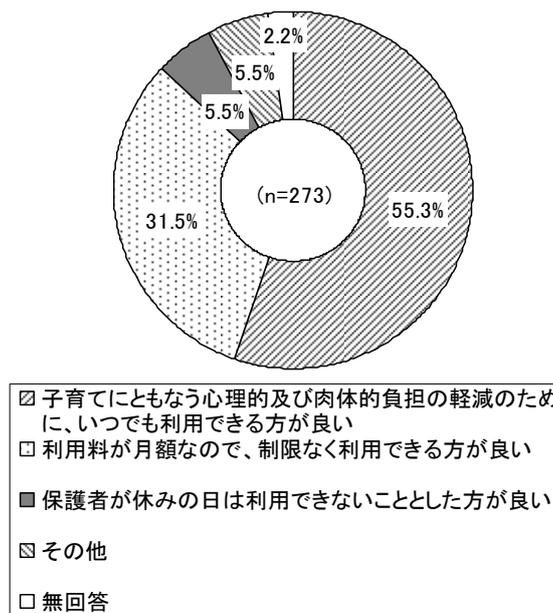
■ 学童保育クラブの入会要件について（複数回答）



(14) 学童保育クラブの日数制限について

学童保育クラブの日数制限についてみると、「子育てにともなう心理的及び肉体的負担の軽減のために、いつでも利用できる方が良い」が最も多く 55.3%、次いで「利用料が月額なので、制限なく利用できる方が良い」が 31.5%、「保護者が休みの日は利用できないこととした方が良い」が 5.5%となっている。

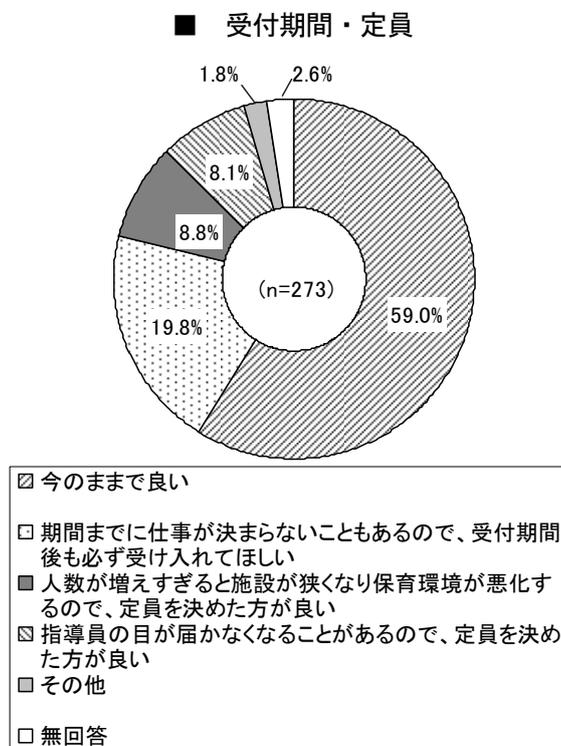
■ 学童保育クラブの日数制限について



(15) 学童保育クラブの入会受付期間等について

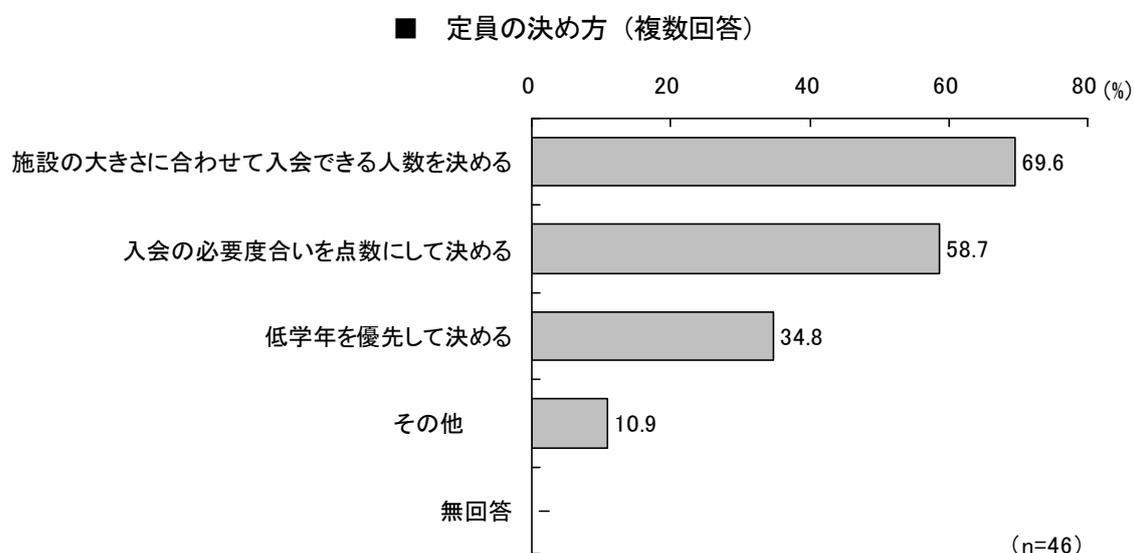
① 受付期間・定員

学童保育クラブの入会受付期間・定員をみると、「今のままで良い」が最も多く59.0%、次いで「期間までに仕事が決まらないこともあるので、受付期間後も必ず受け入れてほしい」が19.8%、「人数が増えすぎると施設が狭くなり保育環境が悪化するので、定員を決めた方がよい」が8.8%と続いている。



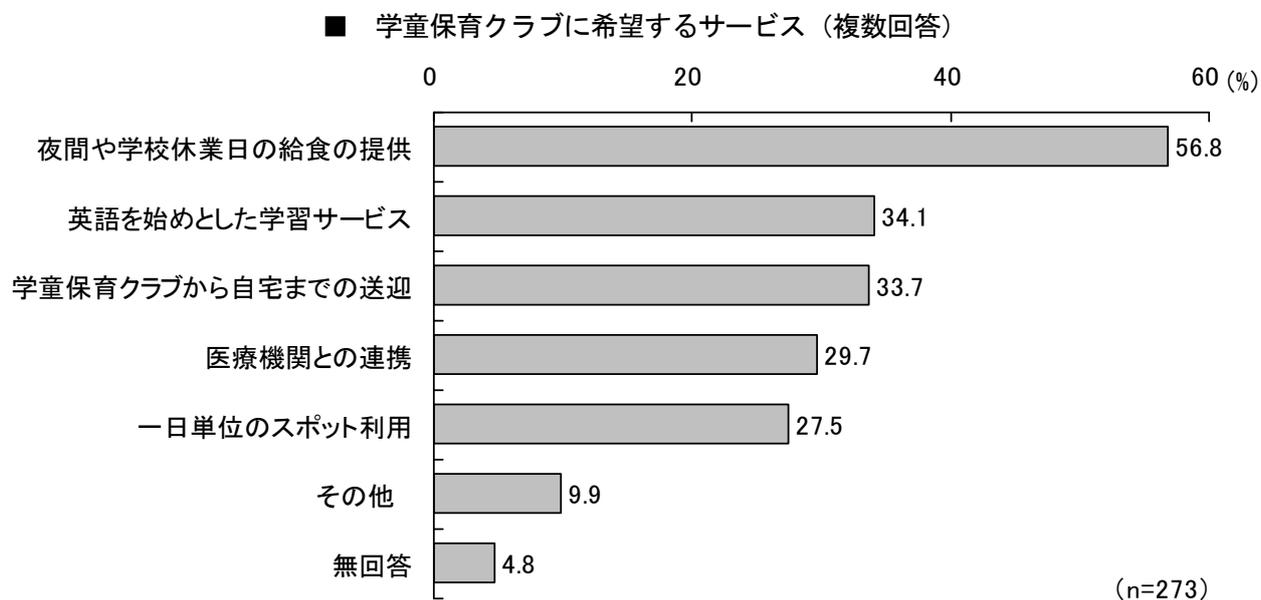
② 定員の決め方

学童保育クラブの入会受付期間・定員について、「人数が増えすぎると施設が狭くなり保育環境が悪化するので、定員を決めた方がよい」「指導員の目が届かなくなることがあるので、定員を決めた方がよい」と回答した人の定員の決め方をみると、「施設の大きさに合わせて入会できる人数を決める」が最も多く69.6%、次いで「入会の必要度合いを点数にして決める」が58.7%、「低学年を優先して決める」が34.8%となっている。



(16) 学童保育クラブに希望するサービス

学童保育クラブに希望するサービスをみると、「夜間や学校休業日の給食の提供」が最も多く 56.8%、次いで「英語を始めとした学習サービス」が 34.1%、「学童保育クラブから自宅までの送迎」が 33.7%と続いている。



11. 職場の両立支援制度について

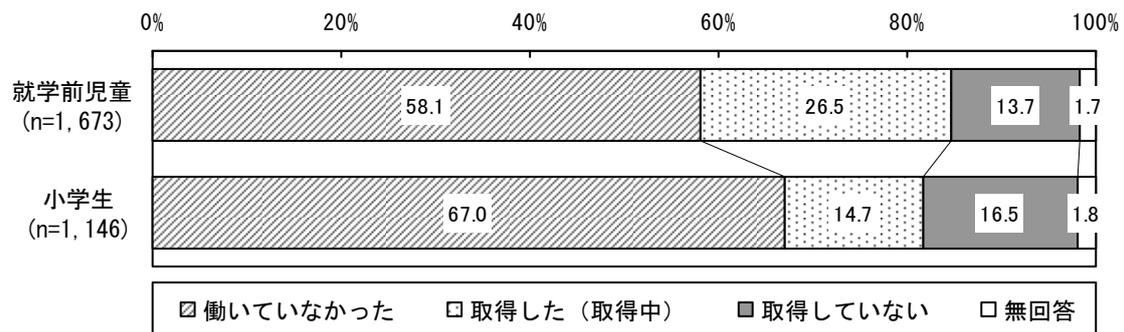
(1) 育児休業の取得状況

① 育児休業の取得状況

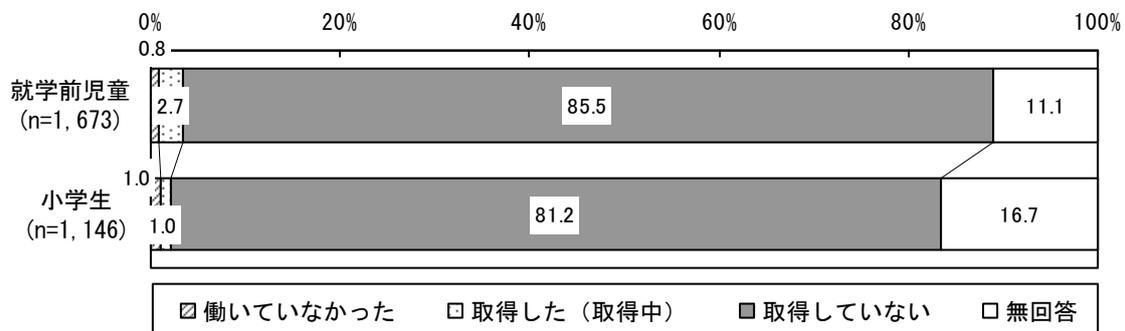
母親の育児休業の取得状況をみると、就学前児童の保護者では「働いていなかった」が最も多く 58.1%、「取得した」が 26.5%、「取得していない」が 13.7%となっている。小学生の保護者でも「働いていなかった」が最も多く 67.0%、「取得した」が 14.7%、「取得していない」が 16.5%となっている。

父親の育児休業取得状況をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「取得していない」が最も多く、それぞれ 85.5%、81.2%となっている。

■ 母親の育児休業取得状況



■ 父親の育児休業取得状況

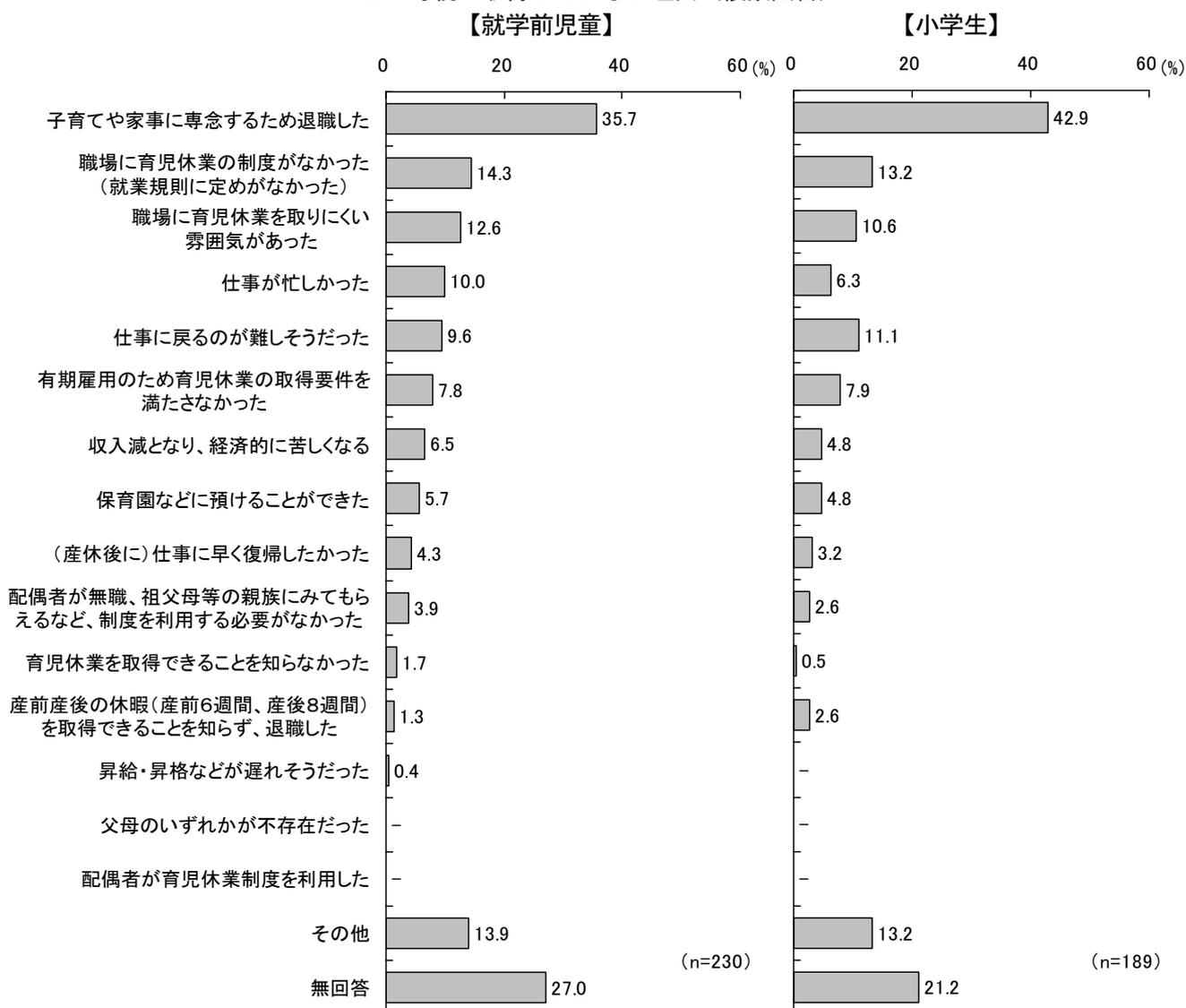


② 取得していない理由

母親の育児休業の取得状況で「取得していない」と回答した人の理由をみると、就学前児童の保護者では、「子育てや家事に専念するため退職した」が最も多く35.7%、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が14.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が12.6%と続いている。

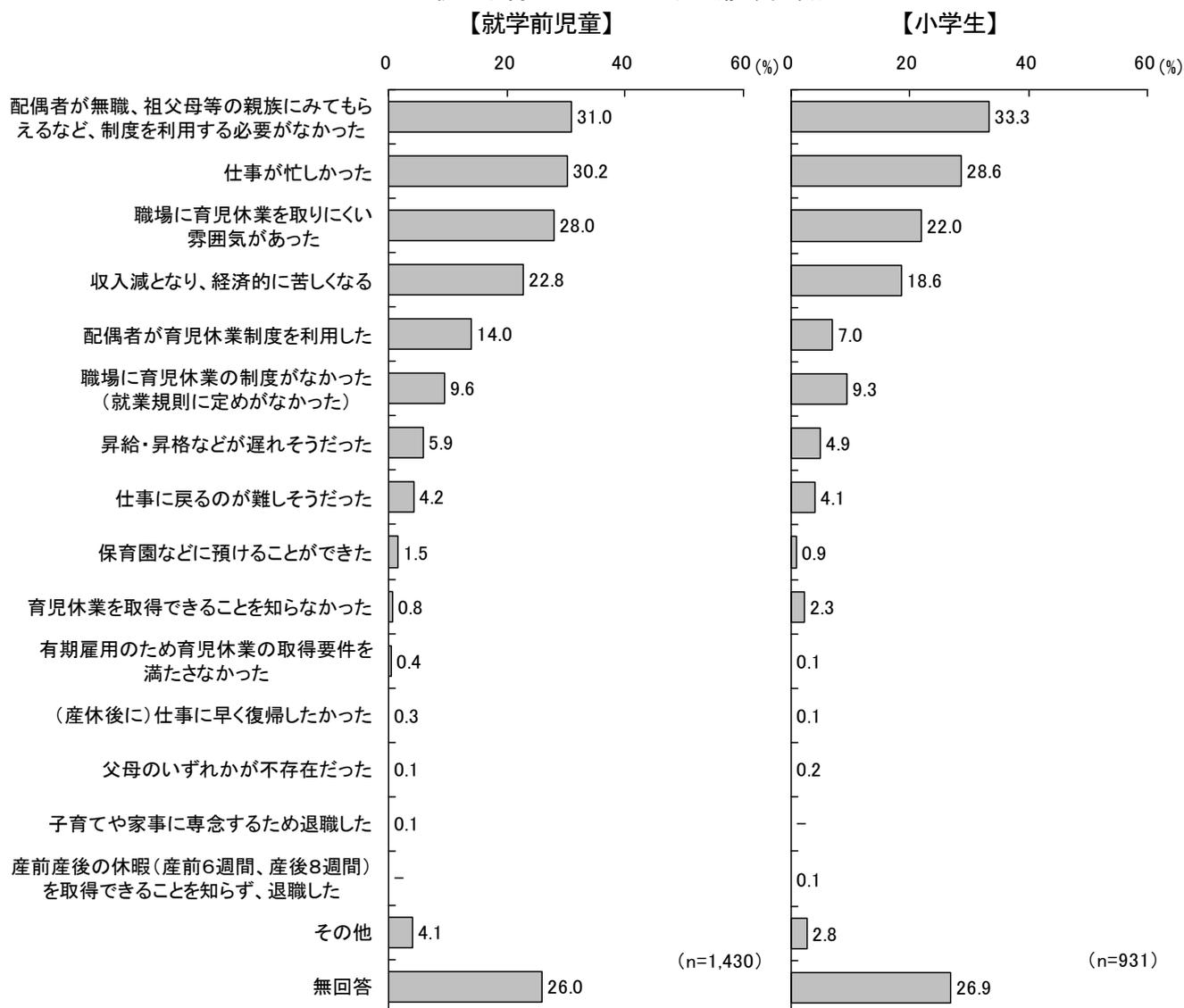
小学生の保護者でも「子育てや家事に専念するため退職した」が最も多く42.9%、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が13.2%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が11.1%と続いている。

■ 母親の取得していない理由（複数回答）



父親の育児休業の取得状況で「取得していない」と回答した人の理由をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が最も多く（それぞれ31.0%、33.3%）、次いで「仕事が忙しかった」（それぞれ30.2%、28.6%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（それぞれ28.0%、22.0%）と続いている。

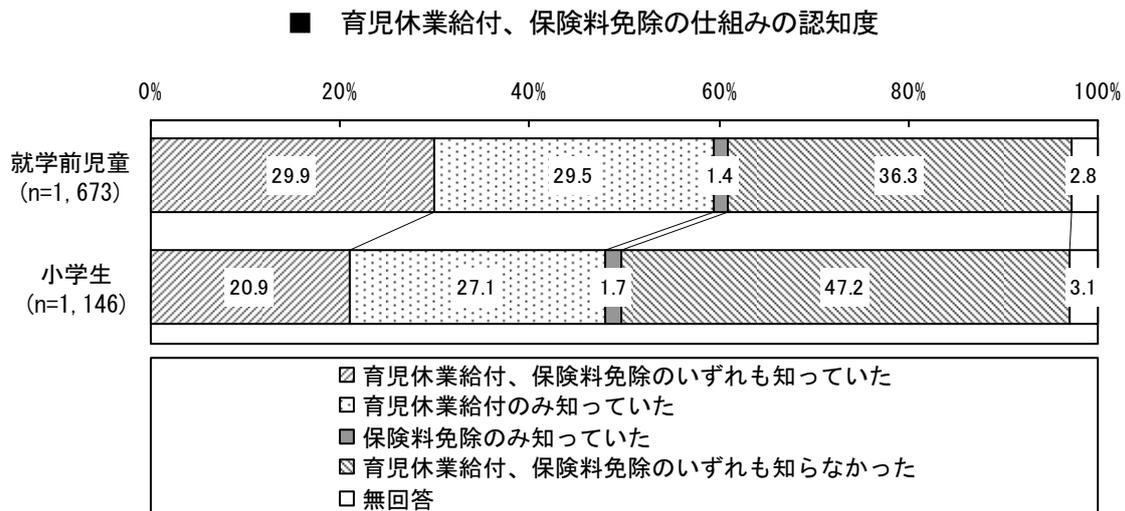
■ 父親の取得していない理由（複数回答）



(2) 育児休業給付、保険料免除の仕組みの認知度

育児休業給付、保険料免除の仕組みの認知度をみると、就学前児童の保護者では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が最も多く 36.3%、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」「育児休業給付のみ知っていた」がほぼ同じ割合（それぞれ 29.9%、29.5%）、「保険料免除のみ知っていた」が 1.4%となっている。

小学生の保護者でも「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が最も多く 47.2%、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が 27.1%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 20.9%、「保険料免除のみ知っていた」が 1.7%となっている。

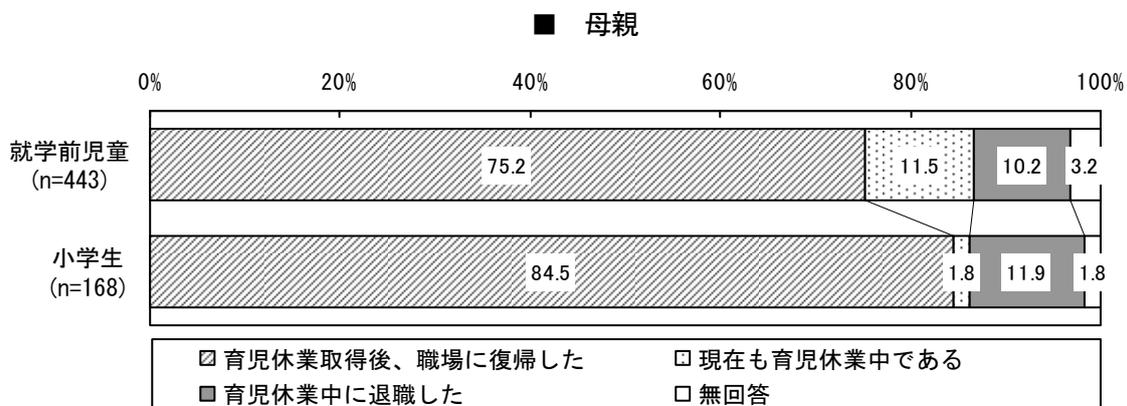


(3) 育児休業取得後の職場への復帰について

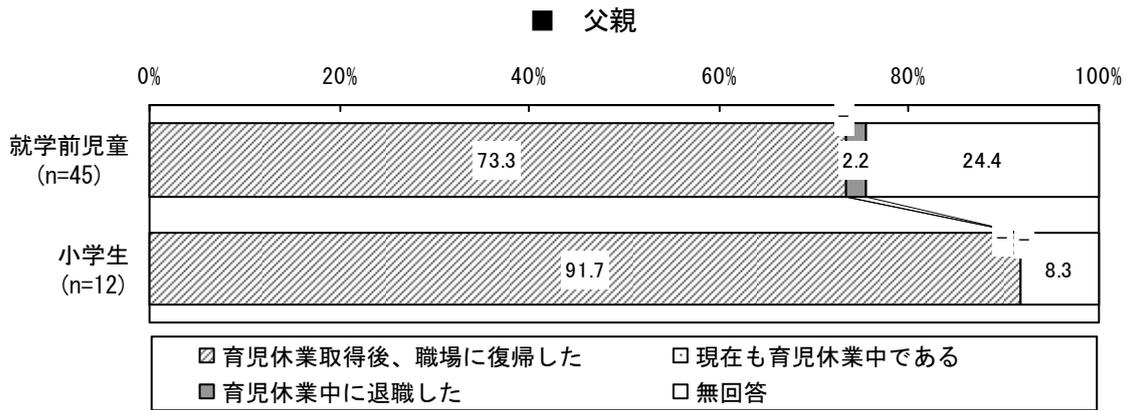
① 職場への復帰状況

母親の育児休業取得後の職場への復帰状況をみると、就学前児童の保護者では「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く 75.2%、「現在も育児休業中である」が 11.5%、「育児休業中に退職した」が 10.2%となっている。

小学生の保護者でも「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く 84.5%、「育児休業中に退職した」が 11.9%、「現在も育児休業中である」が 1.8%となっている。

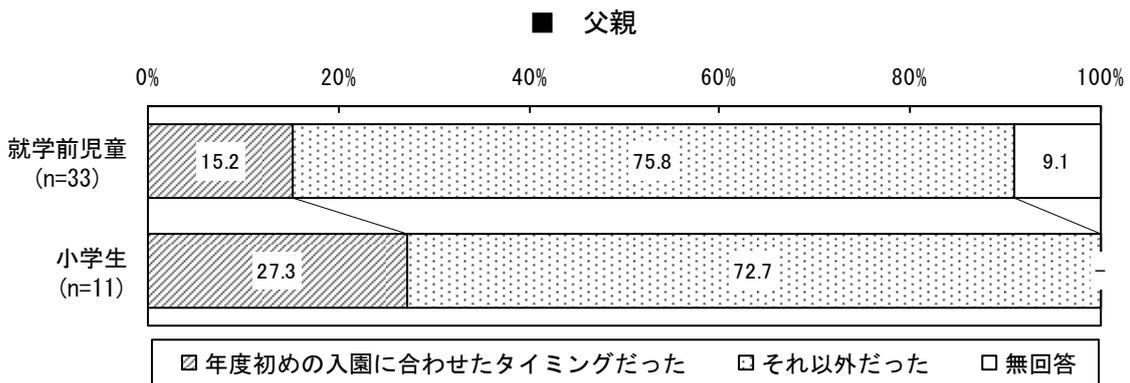
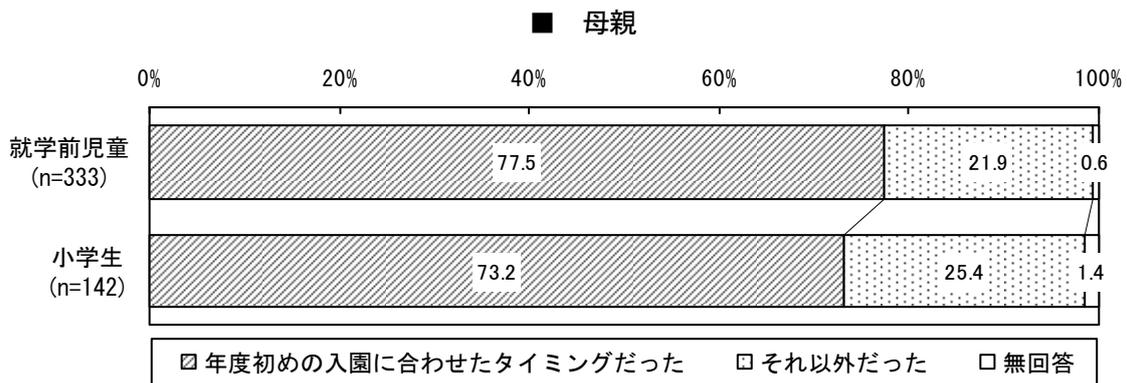


父親の育児休業取得後の職場への復帰状況をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く、それぞれ73.3%、91.7%となっている。



② 復帰のタイミング

育児休業取得後の職場への復帰のタイミングをみると、母親では「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が多く（就学前児童 77.5%、小学生 73.2%）、父親では「それ以外だった」（就学前児童 75.8%、小学生 72.7%）が多くなっている。



■ 「それ以外だった」場合の復帰時期

(単位:人、%)

区分	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	無回答	
母親	就学前	73	12.3	5.5	4.1	1.4	6.8	6.8	6.8	5.5	6.8	15.1	13.7	8.2	6.8
	小学生	36	11.1	2.8	13.9	5.6	2.8	11.1	2.8	5.6	5.6	11.1	2.8	8.3	16.7
父親	就学前	25	4.0	4.0	8.0	8.0	4.0	4.0	-	-	4.0	4.0	12.0	-	48.0
	小学生	8	-	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5	12.5	37.5

③ 復帰の時期等について（平均値）

復帰の時期等についてみると、制度上の最大取得可能期間は、就学前児童の保護者では母親が 14.30 か月、父親が 6.13 か月、小学生の保護者では母親が 18.88 か月、父親が 6.45 か月となっている。

その一方で実際の取得期間は、就学前児童の保護者では母親が 8.86 か月、父親が 1.07 か月、小学生の保護者では母親が 11.25 か月、父親が 1.91 か月となっている。

■ 復帰時期等（平均値）

（単位：か月）

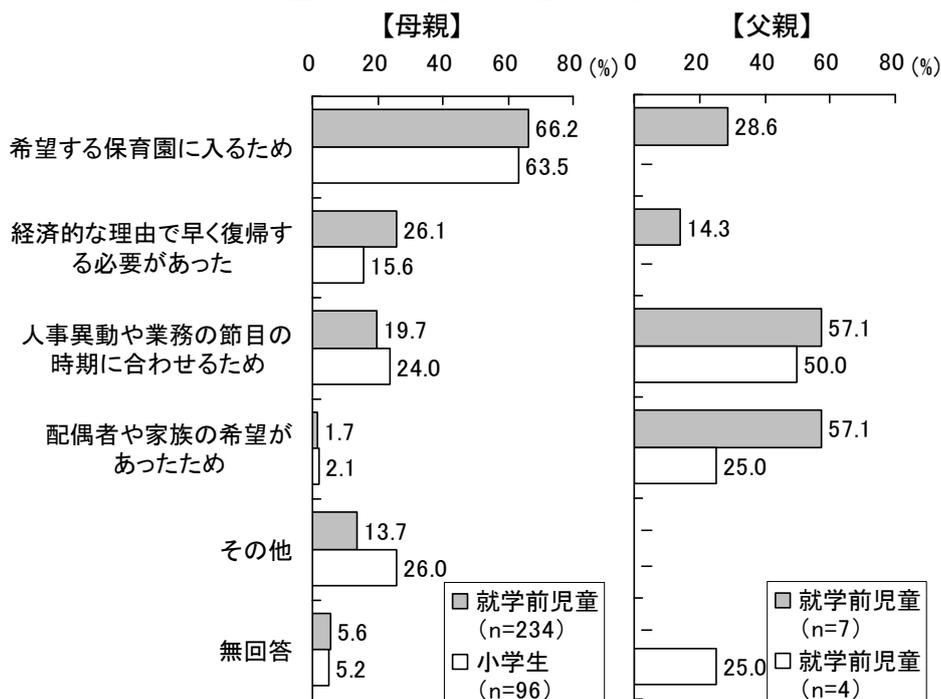
区分	制度上の最大取得可能期間	実際の取得期間	希望期間	会社の制度が3歳まであった場合の希望
母親	就学前	8.86	14.44	15.55
	小学生	11.25	18.83	17.87
父親	就学前	1.07	3.27	3.71
	小学生	1.91	7.45	8.82

④ 希望の時期に復帰しなかった理由

ア. 希望より早く復帰した理由

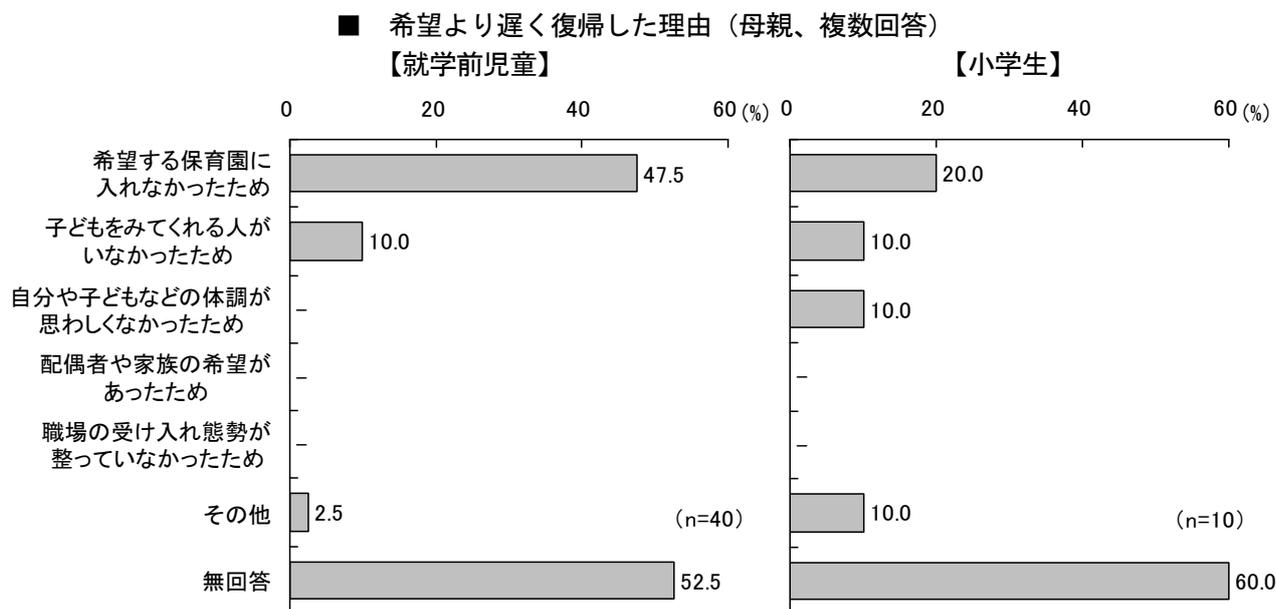
希望より早く復帰した理由をみると、母親では就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「希望する保育園に入るため」が最も多く、それぞれ 66.2%、63.5%となっている。

■ 希望より早く復帰した理由（複数回答）



イ. 希望より遅く復帰した理由（母親）

希望より遅く復帰した理由をみると、「希望する保育園に入れなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」などが挙げられている。

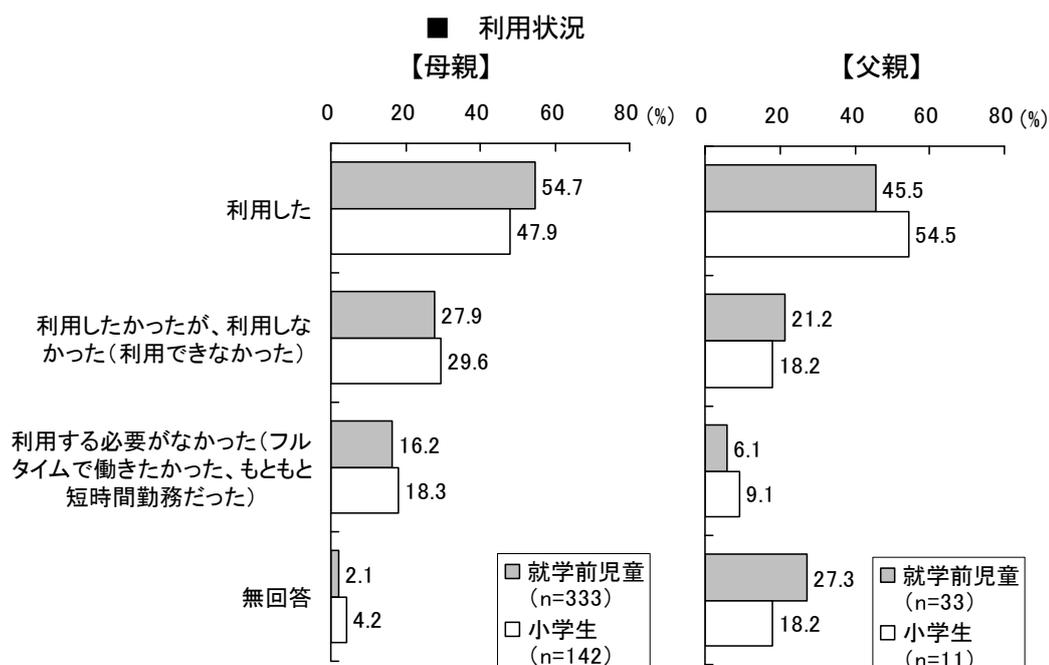


⑤ 復帰時における短時間勤務制度の利用状況について

ア. 利用状況

復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると、母親では就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「利用した」が最も多く、それぞれ54.7%、47.9%となっている。

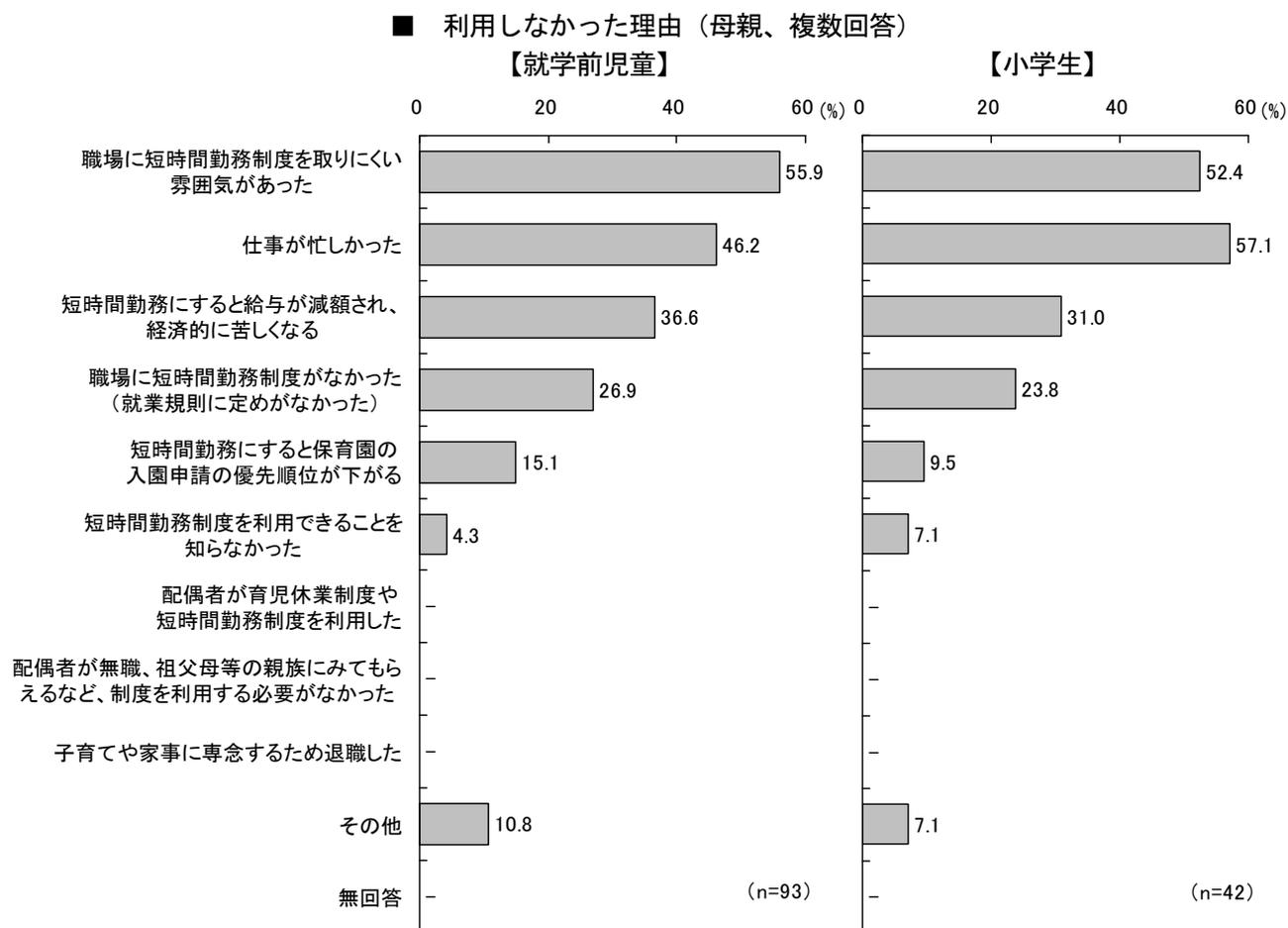
父親も同様で就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「利用した」が最も多く、それぞれ45.5%、54.5%となっている。



イ. 利用しなかった理由（母親）

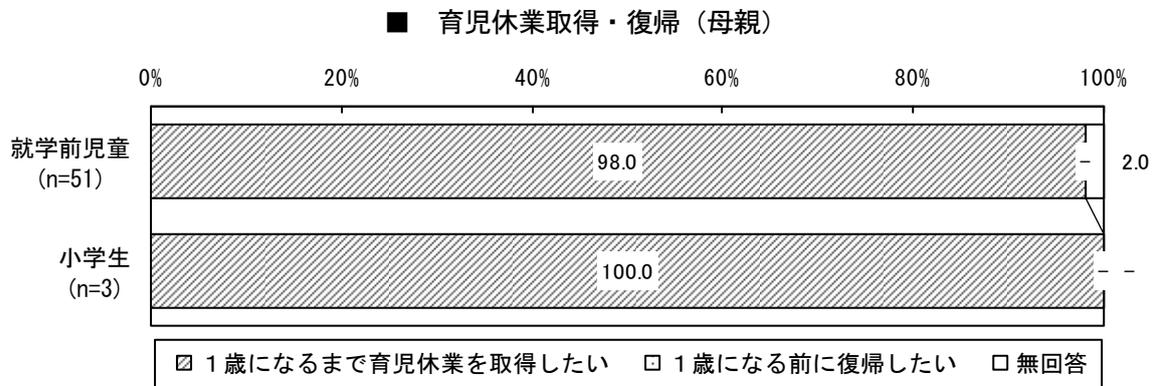
復帰時における短時間勤務制度を利用しなかった理由をみると、就学前児童の保護者では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も多く55.9%、次いで「仕事が忙しかった」が46.2%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が36.6%と続いている。

小学生の保護者では、「仕事が忙しかった」が最も多く57.1%、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が52.4%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が31.0%と続いている。



(4) 1歳になった際に必ず認可保育園等に預けられる制度がある場合の育児休業取得・復帰について

1歳になった際に必ず認可保育園等に預けられる制度がある場合の育児休業取得をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「1歳になるまで育児休業を取得したい」が多く、それぞれ98.0%、100.0%となっている。



第3章

自由回答のまとめ

本調査では、子育てをする上での周囲から必要なサポート、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援について、さまざまな意見を自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

1. 就学前児童の保護者調査

【子育てをする上での周囲から必要なサポート】

■預けられる場

- ・夫婦とも仕事で帰りが遅いので、夜10時まで子どもをみてもらえる施設がほしい。
- ・安心して、子どもを預かってもらえる環境が常にあると良いと感じる。
- ・学校の説明会など、子どもを連れて行けない場へ出席する時に安心して預けられる場があること。
- ・緊急時や保護者の急病時に、一時預かりの保育所などでなく、身近なところでみてもらえること。
- ・日常的に家事等している時に子どもをみてもらえること。
- ・親が体調をくずした時にみてもらえること。
- ・迎えの時間が遅くなった時や仕事を休めない時に、安心して預けられるサポートがあると良い。
- ・父母会等で下の子を連れていけない時に、自宅で子どもをみてもらえるサポート。
- ・病院や幼稚園、市役所で一時的にその場で子どもをみてもらえる場所。
- ・急な用事でも小さな子どもを連れて行けるよう、病院、警察署、デパート、スーパー等にキッズルームや一時保育施設などがあると助かる。
- ・駅の近くなどに当日でも利用できる預け先があれば助かる。
- ・早朝から自宅に来て子どもの世話（朝食、幼稚園送りなど）をしてくれる人がいると良い。泊まりで預けられる施設があると良い。
- ・市役所や地域センター等、公的な場所に子どもを預けられるような施設を設置してほしい。
- ・当日でも頼みやすいベビーシッター制度。

■保育園、幼稚園等

- ・病児保育が少ない上に時間が短く勤務実態と合っていない。
- ・病児保育を通っている保育園や小児科でお願いしたい。
- ・保育園への入りやすさ（空き、定員数等）を改善してほしい。出産が決まったタイミングで、保育園への事前予約をできるようにしてほしい。
- ・日曜日でも利用できる保育施設。
- ・母親が孤立しない環境にする（保育をもっと気軽に利用できるようにする）。
- ・年末年始もみてもらえる保育園、体調が悪い時もみてもらえる保育園。
- ・18～19時を延長保育ではなく通常保育にしてほしい。
- ・1歳児でも保育園に入りやすいようにしてほしい。
- ・幼稚園での園庭開放や急な預かり保育のしやすい環境。
- ・幼稚園で保健師や病院の先生方の相談会があると行きやすい。
- ・土日祝日と関係のない仕事なので、カレンダーどおり保育園が休みなのは不便と感じる。
- ・保育園では親同士の時間が合わないので話す機会がない。同じ年の子を持つ親同士の交流できる機会があれば良い。
- ・町田ママほっとタイムや保育園のイベントで、子どもを保育士にみてもらっている間に母親が他のことができるような機会をもっと作ってほしい。
- ・延長保育の時間が園によって違うので、統一してもらえると残業もできるのでありがたい。
- ・幼稚園の後に、小学校の学童のような場所があれば良いと思う。
- ・19時以降も預かってもらえる場所があると良い。
- ・子どもの預かり先をまず決定した上で、就職活動にも専念できるようなサポートがあると助かる。
- ・通勤時間、移動時間の都合もあるので、何時～何時までなどと決めるのではなく、利用者が時間を指定できると助かる。

- ・保育園、地域子育てセンターは、子どもが遊べるスペースが狭いので、もっと広いスペースで、相談ももっと気軽にできる環境があれば良いと思う。
- ・子育て支援事業の保育園によく遊びに行くが、給食サービス・弁当サービスのようなものがあるとありがたい。

■話を聞いてくれる場

- ・精神的に辛い時に子育ての悩み等を聞いてくれたり、アドバイスをしてくれたりするサポート。
- ・心配事や悩みを聞いたり、話したりすることができることも大切だと思う。
- ・話を聞いてくれる場、思いを吐き出す場、助言などではなく、ただ共感してくれる、労をねぎらう場もあっても良いのではないかな。
- ・いつでも気軽に話ができる電話やメールがあると良い。

■ファミリー・サポート・センター

- ・ファミリー・サポート・センターのような支援がもっと広がっていけばよい。
- ・ファミリーサポートの窓口を増やしてほしい。気軽に利用できるようにしてほしい。月に何時間か、無料もしくは低料金で一時預かりをしてもらい、親のリフレッシュ時間をつくってもらえたら嬉しい。
- ・町田のファミサポのHPを作してほしい。住所と電話情報がなく不安で利用しづらい。
- ・ファミリーサポートなど、もう少し安く利用できれば働きやすくなると思う。

■ひとり親家庭への支援

- ・父子家庭の場合、相談する相手がいらない。母親としての立場に立って子どもと接することはできても女性ではないため、ママ友などができず育児の情報が入らない。

■障がい児支援

- ・発達支援の必要な子どもへのサポートを充実してほしい。
- ・発達に遅れがある子どもに対する理解。
- ・子どもは色々なタイプがいるので、マニュアルどおりにはいかない。それは発達障がいの子どものにも言えることなので、決めつけてアドバイスをするのではなく、子どもの様子を見て関わってくれるよう、センター、保健所、保育園にお願いしたい。
- ・支援級を各学校に設けてもらいたい。
- ・障がいのある子どもも、安心してみてもらえる施設（一時預りを含む）がほしい。
- ・発達の遅れなどを指摘された時に、定期的に相談できたり、共に成長を見守ってもらえるサポートがあると良い。何かをして改善していくのは良いことだが、“治る”というものではないので、長期的にアドバイスや継続的な教室が受けられると助かる。

■地域子育てセンター、子育てひろば、子育てサロン

- ・町田市には地域子育てセンターがあるが、イベント等がない時は行きづらいイメージがある。もっと気軽に遊びに行ける雰囲気があると嬉しい。
- ・気軽に相談できたり、アドバイスをもらえること。
- ・認可保育園での子育てひろばや支援センター事業をもっと頻繁にやってもらいたい。
- ・地域子育てセンターが近くにあれば、もっと遊びに行ったり、相談しに行けて良いと思う。
- ・子どもが楽しめる（特に小さいうち）子育てひろばや参加できる行事が多いと良い。
- ・子育てサロンが駅近くにあると良い。
- ・平日の朝～夕方まで自由に出入りのできるキッズスペースがほしい。
- ・0～2歳ぐらいの子どもが気軽に遊べる場所を増やしてほしい。
- ・情報交換や日々の話を共感し合える人との出会いの場がほしい。
- ・365日、気軽に集まれる場所（子育てひろばのような）がほしい。そこに専門の相談ができる人（育児・病気等）がいてくれたら良い。
- ・地域子育てセンターがもっと利用しやすい場所に沢山できると良いと思う。

- ・外で遊んでいても、同年代の子との接触がないので、未就学児だけでなく、年代ごとで集まれる場があれば良い。
- ・子育てセンターなどは土日も開いていると、休日の子どもの遊ぶ場所が増えるのでありがたい。

■地域における子育て支援

- ・子どもと一緒に遊んだり、話しかけてほしい。
- ・育児が辛いというより、話し相手がほしかったり、自由に出かけたいという気持ちの方が強いので精神的なサポートがあると助かる。
- ・子ども同士が交流できる場があると良い。徒歩圏に無料のプレイルームのような施設があれば。
- ・親同士のネットワーク。
- ・元気のいい、頼みやすい40～60代の方。習い事も連れて行ってもらえると助かる。
- ・子育てを経験してきた人のアドバイスや話を聞くことで、勉強になったり、実践してみようと思う。
- ・育児や子どもについての知識が市民全員に必要だと思う。その知識があれば自然にサポートできるし、しやすいと思う。
- ・街を歩いて子どもに気軽に話しかけてくれたり、手を振ってくれる人がいると、とても心強く「また頑張ろう」という気持ちになる。
- ・子どもの成長をみてくれて、会えば声かけをしてくれるような親身な近所さんがほしい。
- ・自治会館や近くのセンターで、気軽に集まれる場所があったらいいと思う。少子化で、近所に子どもの集まるような場所はなく、公園に行っても誰一人いなくて、毎日自分の子と二人で遊ぶという感じで非常に孤独であった。近所の子と知り合う機会をつくってもらえたら良いと思う。
- ・小学校の横に住んでいるが、下校時間などの大人の目が少ないことに不安を感じる。
- ・子どもの自立を促す地域との関わり。
- ・近所等で、子ども用品（服、風呂、哺乳びん…）等のお古をもらえる環境があると嬉しい。
- ・親や友人だけでなく、町内会などの組織を通じて、広く近所との付き合いができると思う。災害時や不審者が出現した時など、「〇〇さんちの□□くん」という認識が近所に浸透していると、大変心強く感じる。
- ・近隣に親族のいない家庭にはサポーターがいて、依頼の度に違う人なのではなく同じ人物で、子どもを預けても「知人」として子どもに認識してもらえ人がいると助かる。
- ・放課後、近所の自治会館等を開放して子どもが集まれる場所があるといい。
- ・農業体験やアウトドアなど昔の遊びを今の子ども達に伝承してほしい。そして子ども達から、高齢者に新しいことを教えて発見・感じてもらい、生活に生かしてもらえたらと思う。

■ママ友

- ・1人目を育てる時、初めての子育てで不安と孤独をととても感じたので、同じ育児をしているママ友ができるようなサポートがあれば嬉しい。
- ・仲間ができれば心強いが、子育てセンターなどに足を運ぶのも勇気がいる人もいる。
- ・近所に遊ばせる所があっても、気軽に話せる人がいないので、話せる人がいるといい。
- ・土日でママと子が集まれる場所があったら、他のママとも知り合う機会になる。
- ・ママ友とゆっくりと食事や話ができるレストランやカフェ（子どもも一緒に）。

■子どもセンター、児童館

- ・つるっこ等、安心して遊べる場所が近くにあると助かる。
- ・息抜きができる場や近所に児童館や無料で使える施設があると良い。
- ・町田駅に安全安心に遊べる施設。
- ・気軽に遊びに行ける児童館などが近くにあると良いと思う。
- ・子どもセンターでも気軽に子どもをみてもらえるような、保育士がいたら気が楽である。
- ・子どもセンターのような慣れた場所で一時預かりをやってくれると嬉しい。
- ・子どもセンターなどで、相談等の催しの案内状を近辺の子どものいる家庭に送る。

■遊び場

- ・幼稚園後に遊びに行ける室内。土日に遊べる充実した公園。
- ・子どもが安心して遊べる場所。雨の日・暑い日・寒い日に体を動かせる施設があれば嬉しい。
- ・子どもの遊び場が少ないので、増やしてほしい（屋内）。
- ・子どもが安全に外や公園で遊べる環境にしてほしい。
- ・車で行くことのできる遊び場がもっとあると良い。

■母子保健

- ・新生児訪問のように、定期的に保健師や保育士が訪問して、子どもの発達や育児の相談にのってくれるとありがたい。
- ・定期的に保健師が訪ねてもらえると安心する。
- ・検診等の際、気軽にサポートしてもらえる方がいると助かる。
- ・保育付きの集団健診等があれば良いと思う。
- ・健診、予防接種などを昼間に限らず、夕方以降でも実施してほしい。
- ・定期的に電話などで専門スタッフなどから連絡があると良い。
- ・健診や歯科健診は、土曜日にも行ってもらえると助かる。
- ・予防接種を無料にしてほしい。
- ・3、4か月健診のように、地域で集団健診する回数が増えれば良い。
- ・学校へ保健師、助産師が来てくれると保護者も行きやすい。
- ・無料の母乳マッサージの回数を増やしてほしい。
- ・月齢ごとに毎月近くのセンター等で母親教室があればよいと思う。
- ・健診の日に合わせてグループをつくって近所の人を集めてもらえると、近くに住んでいる人も知る機会になると思う。同じ年の子どもを持つ親を同じ地域で知ることが大切だと思う。
- ・初産の方だけでなく、経産婦の方も離乳食講習会に出席できるといいなと思う。

■イベント

- ・市の事業でスイミングや絵、音楽などの習い事や休み期間のキャンプなどがあればよいと感じる。
- ・公園などで同じくらいの月齢の子を対象とした集まりが増えると良いと思う。
- ・福祉会館だけでなく、他の場所でも色々なことをしてほしい。
- ・同じ年齢や同じ月齢の保護者との交流会を学区など近所でできれば良いと思う。
- ・子どもが体をいっぱい動かして遊べるイベントや場所。
- ・経験や知恵を気軽に、気さくに聞けるような場。
- ・土日仕事をしている家庭もあるので、イベントなどは複数回（平日・土日）だとありがたい。
- ・国際結婚をした母親たちの交流会があると嬉しい。
- ・育休中は子どもセンターのイベントや子育て支援カフェなどをよく利用していた。しかし、平日しかやっていないものが多いので、土・日にもイベントがたくさんあればいいのと思う。

■医療体制

- ・土日、祝日、年末年始、お盆などの救急以外の病院の整備。
- ・準夜救急の時間延長。
- ・当番制で市民病院などに診てもらえると助かる。
- ・設備が整っている小児科、夜間診療してくれる医療機関。
- ・病院で薬を出してくれない場合、具合の悪い子を連れて薬局に行くのが大変。配達してほしい。
- ・親の病気の時、少しの間でも子どもをみてもらえる医療機関があれば嬉しい。
- ・救急のメディカルセンター等があると助かる（電話案内以外で）。又は、医師が家までかけつけてくれる等（土日休等に）。
- ・かかりつけの病院に、授乳室やキッズルームがあると助かる。
- ・小児科の夜間救急。
- ・22時以降も、すぐ診てもらえる病院（小児科）があれば良い。
- ・保育ルームがある医療機関が増えると良い。

■情報提供

- ・町田での子育てに関する全ての情報を簡単に1つの所で見れるウェブサイトがあれば便利だと思う。
- ・どのような子育て施設があるのか、サービスがあるのかなどの一覧表があると良い。
- ・1年に1度位はチラシ的なものを配布するなど、すべて本人に任せない方がいい。
- ・4月から入園予定だが、おむつ外れがまだできず不安。町田市からこの年代の子を持つ家族などに、ワンポイントアドバイスのような小冊子のようなものを送って頂けると嬉しい。
- ・図書館のおはなし会などを含む子育てサロンの開催予定などがどこに表示されているのかわかりにくく、口コミで伝わっている状態。もう少し一覧表などで伝わると良いと思う。
- ・情報は多いが、その入手が忙しいとなかなかできないので、定期的に子どもの成長段階にあった情報を郵送してくれると助かる。

■子ども連れで外出できる環境づくり

- ・ベビーカーや子ども連れでも移動しやすい環境をサポートしてほしい（バスやタクシーなど）。
- ・タクシーの無料化（子育て応援的）。
- ・子育てひろばは、歩いて行ける場所には無く、また駐車場が少ない（ない）所が多いのが残念。図書館も駐車場が不便である。階段、エスカレーターなどベビーカーでは入れない所があり、子ども連れで出歩きやすいまちになってほしい。
- ・バスや電車に乗るのはかなり大変なので、ベビーカーをたたまないでも乗れるバス等があると助かる。
- ・タクシー券がほしい。
- ・町田市内の巡回バスに、子連れ専用があると助かる。
- ・病院では、院内が狭いのでベビーカーを持ち歩くことが困難。ベビーカーをおいても良い場所などの情報を提供していただけると助かる。
- ・おむつを変えられるトイレが少ない。
- ・駅にエレベーターがないことも多いので、もっとエレベーターが増えてほしい。
- ・歩道などでほんの1～2cm位の段差でもバギーやベビーカーがひっかかり、歩道に上がれない時があるので、スロープ状にしてほしい。

■学童保育クラブ

- ・勤務日数・時間制限のない学童が必要。
- ・学童を希望すれば入れるようにしてほしい。

■経済的支援

- ・認可保育園に入れず、やむなく一時保育に預けているので、助成があると助かる。
- ・親子で参加できる子育てサークル、ファミリーサポートはとても良い制度だが利用料が高いため、市から助成があると利用しやすい。
- ・子ども手当が増額すると助かる。
- ・子育てするのに幼稚園と保育園の金銭的差がありすぎる。
- ・一時保育の料金をもっとリーズナブルにしてほしい。
- ・幼稚園の延長保育で充分だが、金額を安くしてほしい。
- ・医療費助成（所得制限なし、長期的に）や所得制限なしの手当。
- ・保育料の免除。母子なので減額してもらっているが高い。
- ・幼児教育の完全な無償化。
- ・小学生の一時預かり（1年生～6年生）と保育園の一時預かりの助成。

■父親の育児参加

- ・うわべだけでなく、精神的な面で夫の協力が得られればと常に思う。父親学級のなものをもっと行ってもらえたら少しは違う。
- ・父親が子育てに協力的になるような何か（父子イベント、冊子）があれば良い。
- ・休みの日には子連れで外食する、1～2時間でも子どもを公園に連れて行くなどして、夫が妻の育児の時間を少しでも減らしてくれたらよいと思う。

- ・父親の育児講座があったり、父親はママ友みたいな父友ができると良いなと思う。
- ・父親ももっと子育てに参加するため、世間の空気を盛り上げるようなうねり。

■子育てしやすい職場環境づくり

- ・小さい子どものいる労働者に長時間労働をさせない、家へ早く帰るよう促す。
- ・職場での育休取得を男女問わず、もっと取得しやすくすること。
- ・仕事をしているので、子どもの体調不良など緊急時の職場の理解。
- ・職場の育児世代への理解と協力と制度の利用の実現化（小学6年生までは短時間労働や残業なし、夜勤の免除、夫婦共働き又はシングルの場合の休日出勤の免除など）。
- ・子どもが幼稚園や小学校に行っている間だけ働きたいが、なかなか条件の合う仕事が見つからないので、そういう条件でも働ける職場を増やしてほしい。
- ・看護休暇の充実や使いやすい職場環境。
- ・父親も育児休業や時短を取れるよう、会社（管理職）がもっと理解を示してほしい。
- ・仕事場でも、子どもを預けられるような所があれば送迎の時間が不要で、何かあってもすぐ対応できる。

■放課後の居場所

- ・（小学生の）必要な時にだけ自由に預けられる施設がほしい。
- ・夏休みなどにも一時的に預かってくれる学童や施設があればとても助かる。

■相談支援

- ・相談内容が何であれ、ここに電話をすれば窓口になるという電話番号を一本作ってほしい。
- ・助産師や栄養士等に気軽に相談ができると良い。
- ・病気や緊急時、相談できる場所があると安心。
- ・自ら出向かないと相談等ができないので、定期的に訪問や電話等していただけるとありがたい。
- ・子育てについて相談できる人がいる環境。他人にはあまり気軽に相談できないのが実情。
- ・友人はいるが全て話せない。どこに相談すれば良いのか、一歩踏み出せば楽になるのかもしれないとも思うが、その一歩が踏み出せず、そして相談することによって、どう思われるのかどうなってしまうのかという不安も少しある。
- ・気軽に行けて、自宅からも近い場所に子育てや他の悩み等、相談できる場があるといい。
- ・駅前連絡所に子育て関連の広場や、相談コーナー等を常設してほしい。
- ・携帯電話からでも、フリーダイヤルで無料相談ができるような場所、機関があったら助かる。
- ・仕事で帰宅時間が遅いので、公的なサポート（育児相談会など）は、休日や深夜などにも相談にのって頂けると助かる。
- ・相談を受けてくれる場所・日時等、予防接種の案内の中に一緒に入っていたら、その月齢にあった相談をしやすと思う。

【教育・保育環境の充実など子育て環境や支援】

■保育園、幼稚園、認定こども園

- ・フルタイムの仕事をしていないと認可保育園に預けられず、一時預かりも順番待ちなど、受け入れ施設が少なすぎる。仕事をしたいが受け入れ先がないから仕事ができないのが現状である。
- ・保育園のような機能をもった幼稚園が増えると良い。
- ・年度初めでなくても保育園に入れる環境にしてもらいたい。
- ・認可外保育所は質が低く預けたいと思わなかったが、認可外にも助成を多くして、全体的に質を上げ、数を増やしてもらいたい。
- ・保育園の保育料は、利用料がとても高く働きたくても働けない。
- ・病児保育・病後児保育が少ない。
- ・駅周辺に認可保育園をつくってほしい。
- ・認定こども園の数を増やし、希望者が入りやすいようにしてもらいたい。
- ・幼稚園・保育園で働く職員の待遇等を改善してほしい。
- ・園庭がない保育園が多いので、園庭がほしい。
- ・高齢者の施設と保育施設の併設や交流があるとよい。

■特別保育

- ・一時保育の受け入れ枠を拡大してほしい。
- ・夜間預けるところがなく、勤務がある場合などには子どもだけで不安である。
- ・一時保育の利用料が高すぎる。就労証明等があれば一時保育でも減免制度があっても良いのではと感じる。
- ・保育園はどこも19時までなので、せめて20時までやっていただけると助かる。
- ・日曜・祝日、年末年始も父・母ともに仕事があるので、保育園で子どもを預かってもらえれば助かる。
- ・病院、美容室などで預かってくれる場所が多くなれば良いと思う。

■学童児童クラブ、放課後の居場所

- ・学童保育を充実してほしい。仕事をしていると、急な残業は避けられないので、夕方までの保育や土曜日の保育をお願いできるととても助かる。
- ・学童・学校内での習い事など小学生の放課後の活動場所を増やしてほしい。
- ・学童に入れる条件が厳しく、学童の許可がおりまでの日数が長く就労できないなど、フルタイムや正規雇用でないパート・アルバイトの主婦のことも考慮してほしい。
- ・親が安心して働くことができるよう、学童の年齢制限をなくして頂きたい。
- ・帰宅が遅いので、小学4年生～、長期休暇が心配。預かってもらえるところがあると助かる。
- ・放課後に安心して預けられる施設（時間、サービス）を充実してもらえたらと思う。
- ・学童にも給食があれば助かる。
- ・小学4～6年生になっても学童保育クラブは必要だと思っている。認可保育園は7時から預けられるが、学童も7時から預けられるようにしてほしい。
- ・学童保育の内容を充実してほしい。民間サービスと比較するともっとできることがあるのではないかと感じる。
- ・学童保育のみに頼るのではなく、小学校の課外活動（部活動）などが小学校低学年にもあって、曜日ごとに好きな内容、興味のある内容の勉強や遊びができるようであれば、子どもも楽しく過ごせるし、所定の時間まで親も安心して子どもを預けられる。
- ・保育園は認可外の民間施設も情報集約されているが、学童保育クラブは民間事業者が実施している情報を得る手段がない。勤務時間の都合で選択肢に入れることもあるので、のびっこ等で民間の学童の情報も知ることができるとありがたい。

■ファミリー・サポート・センター

- ・ファミリー・サポート・センターを利用したいが、兄弟で利用するとかなりの高額になるので、利

用しづらい。

- ・保健師からファミリー・サポート・センターを薦められたが、どんな相手に預けるのか、心配で利用できない。
- ・ファミリー・サポート・センターは、病気の子どもを預けることができないので、使い勝手が悪い。
- ・利用したいと思った時に、事前に登録が必要なおおおく、なかなか不便だと思う。

■ひとり親家庭

- ・母子家庭で収入が少なくても安心して子育てができるような支援があると助かる。
- ・日曜日や祝日も保育園に預けて仕事に行きたい。シングルなので金銭的に厳しく、短時間でもみてもらえると助かる。
- ・この数年間で何度か市役所で相談しているが、もう少し「ひとり親」で子育て、仕事をしている女性への支援をしていただけたら楽になるのになと思う。

■障がい児支援

- ・障がい児のデイサービスも利用時間が少なく、1回の料金も高い。定員枠も少ないので、預けたい時に預けることができない。
- ・障がいのある子どものサポートが少ない。すみれ教室にも、障がいがあっても誰もが通えるわけではないのが現状。
- ・町田市は療育センターが少ない。
- ・全ての小学校に支援級を設置してほしい。
- ・小学生に対する、療育などのサポートが市内になさすぎる。幼児まではすみれ教室があるが、その後の受け皿がない、教育センターでは不十分（軽度の発達障がいの場合）。

■まちとも、地域子ども教室

- ・長期休みの時だけ預けられる施設をぜひ作っていただきたい。
- ・今は、夫や自分の親に家に来てもらい、上の子が帰ってくるのを待ってもらい、預かってもらっているが、毎回だと厳しかったりするので、どの学校にも「まちとも」がほしい。
- ・地域子ども教室をどの学校でも取り入れてほしい。

■子どもセンター、子育てひろば

- ・子どもセンターで悩みを相談したくても誰に話したらいいかがわからない。
- ・商業施設にも子育て広場や遊べる場所を設置してもらえると、お母さん達はもっと立ち寄る機会が増えるのではないかな。
- ・子どもセンターの備品（おもちゃ等）が壊れて使えないなど、古すぎることもある。
- ・子育てひろばを利用してみたいとは思いますが、駐車場が少なかったり自宅から遠かったりあまり利用していない。
- ・子どもセンターには、子どもと一緒に遊んでくれたり、その中で気軽に育児について相談できるスタッフが常駐してほしい。

■遊び場

- ・子どもが遊べる屋内施設が少なすぎる。
- ・子ども達が思いっきり走ったり、ボール遊びをしたりできる場がほしい。
- ・町田市中心部に幼児を安全に遊ばせる空間・施設があまりにも少なすぎる。
- ・町田市は充実した遊具のある無料の公園が少ない気がする。
- ・公園などの遊具の安全性をもっと重要視していただきたい。
- ・市内の小さな公園MAP（どんな遊具があるかの案内）を作ってはどうか。

■医療体制

- ・病院に何時間もかかると親子ともにぐったりするので、小児科の充実も子育て支援として考えてほしい。

- ・相模原市や多摩市などの病院と連携がとれておらず、近場の医療が受けられないことに疑問を覚える。
- ・町田市医師会準夜急患こどもクリニックが遠いのでとても不便。
- ・夜間救急が遠すぎる。準夜急患こどもクリニックは時間が短くてそれ以外の時間だと車で1時間かかる所まで行くしかない。
- ・土・日受診できる病院があれば助かる。
- ・市内に24時間体制の病院があれば嬉しい。

■母子保健

- ・予防接種は全て無料にしてほしい。
- ・歯科健診の場所が遠くて大変なので、もっと近くでやってもらえると助かる。時間帯も昼寝の時間と重なるので午前中にしてほしい。
- ・乳幼児健診等、日程などのお知らせの送付をもっと早い段階で行ってほしい。就労しているので、休み等の調整が難しいことがあり、参加できないと不安になる。
- ・不妊治療等への支援も増やしていただきたい。

■情報提供

- ・小児科やスーパーなどに、情報提供の場（ポスターや冊子）などがあると良い。
- ・一時保育の利用料、手続きなどをわかりやすくインターネットに載せてほしい。
- ・育児情報をもっと発信してほしい。自分で調べに行かないと何もわからないので、定期的に自宅に届くようにしてほしい。
- ・預ける場所や利用料など知らないこともあるし、なかなか調べられないところもあるので、もう少しわかりやすく利用しやすくしてほしい。
- ・市のサポート等も「何のためにそういうものがある」という明確になっているものがあると大変ありがたい。
- ・普段、時間がなく、何か急ぎがないとHPなどを見ることがないので、市のサービスやサポートが良く理解できていない。小さい子どもがいる家だけでもいいので、利用できるサービスのガイドブックがほしい。
- ・地域の保育イベント情報をLINEやTwitter等で流してもらえると、チラシ等貰いそびれた時や知らなかったときに助かる。
- ・子育て広場事業を知らない人もいるので、年何回か家庭にカレンダーを配布すると良い。

■相談支援

- ・もっと子どものことを気軽に相談できる環境が近くにあればいいと思う。保育園の先生は忙しいのであまり相談することができないでいる。

■経済的支援

- ・医療費免除（子医療証）の所得制限の撤廃。
- ・任意の予防接種の助成があると良い。不妊治療で子どもができたが、人工授精や注射程度では助成してくれず、やや金銭的に苦しい。
- ・予防接種は、全て無料にしてほしい。
- ・幼稚園の無償化。
- ・オムツの無料配布や半分ミルク配布など、経済的な子育て支援をしてほしい。
- ・児童手当は、0歳～就学前まで同額にしてほしい。
- ・乳幼児医療証の期限を小学校6年生まで延長してほしい。
- ・子どもは平等であるので、収入に関係なく医療費は無料にすべきである。
- ・子育て施設を利用する際の交通費を助成してほしい。
- ・2人目、3人目の子どもの授業料の負担を減らす制度を設けてほしい。

■学校教育

- ・自宅から小学校に通うのに徒歩で40分かかる。低学年のうちはバスなどを使い、無料で送迎してもらえると良い。
- ・学校設備の老朽化、トイレ等の改善にもう少し力を入れていただきたい。
- ・現在使われていない教室が多く、それを児童館のようなものにしてもらいたい。とくに放課後や土曜日など朝9時から18時くらいまで開いているという室内であってほしい。

■子どもの安全確保

- ・スクールゾーンの車通行の取り締まりを毎週続けてほしい。
- ・事件や事故に巻き込まれないためにも、家庭での教育もしっかり行いたいですが、防犯対策を強化してほしい。
- ・大人の都合ばかりを優先せず、子ども達が安心して安全に暮せるまちづくり（時間帯に応じてスクールゾーンをもうける等）も考えてもらいたい。
- ・子どもたちが安心して生活できるよう、公園や広場、道路等安全のための取り組みを強化してほしい。
- ・子どもの通学路の歩道がとても狭く、危ないので整備を進めてほしい。

■子育てしやすいまちづくり

- ・町田駅周辺のビルには授乳室がないので整備してほしい。
- ・町田駅周辺にキッズスペースがほしい。
- ・JR横浜線（町田駅）にエレベーター・エスカレーターを設置してほしい。
- ・子ども専用の図書館があるとよい（こども図書館とこどもセンターが一緒になったような施設）。
- ・乳幼児を連れての外出サポート、コミュニティバスの充実。
- ・子ども向けの施設や子ども用のトイレ、オムツを替える場所が少ない。道なども段差があり、足元が不安な場所も多い。

■子育てしやすい職場環境づくり

- ・もっと父親が産休をとれる環境づくりをしてほしい。
- ・託児施設が付いた職場が増えるととても助かる。
- ・経済的に働かざるを得ないが、企業には子育てについての理解や母親であることを尊重する姿勢を持ってもらいたい。
- ・育児休業を増やすより、短時間勤務制度の期間を6歳まで伸ばしてほしい。
- ・時短制度だけでなく、一時的にパートタイマーになり、将来的に正社員に戻れるような制度があると嬉しい。
- ・有期雇用者でも育児休業がとれるといいと思う。
- ・業種によって育児休業を取得するのが難しい業種もあるが、企業（経営者）の意識を改めないと、制度が変わっても利用はない。
- ・就学前までじっくり子育てに取り組み、その後、女性が社会へ戻れるような仕組みになると良い。
- ・父親の育児休業中も給料がもらえるか、相応額を市が助成してくれるような支援があるといいと思う。
- ・子育て支援の充実も大事だが、なるべく母親が家にいられることと、子どもの体調不良時に休みやすい職場環境づくりもとても大事だと思う。
- ・パート、アルバイトでも産休、育休が取れるようにしてほしい。

2. 小学生の保護者調査

【教育・保育環境の充実など子育て環境や支援】

■遊び場の整備、居場所づくり

- ・近所に公園が無く、外で安心して子どもを遊ばせることができない。
- ・遊び場の少ない地域なので、走りまわることができるグラウンドや、体を動かすことができる施設がほしい。
- ・たぬき山のような場所が子どもにとって必要だと思う（火が使えて、子ども達のがびのび遊び、プレーリーダーがいる）。
- ・遊具の充実した公園が無い。
- ・遊具が壊れたままになっている公園もある。老朽化した遊具も多いので、何とかしてほしい。
- ・最近では施設の充実ばかりに力を入れていて、自然が失われていくことには問題を感じる。何も自然の中で五感を使い、自ら工夫して遊ぶことが生きる力につながると思う。子育てひろばや学童も必要だと思うが、自然をそのままの姿で残し、そこで子ども達が安心して遊べる環境づくりにも取り組んでほしい。
- ・小学校高学年～中・高生が安心して集える居場所が必要と思う。
- ・まちとも以外に雨の日でも子どもが安心して遊ぶことのできる大人の目のとどく場所がほしい。
- ・公園に子どもが時間を気にして遊べるよう時計を設置してほしい。
- ・雨の日でも体を使って遊べる、横浜市のログハウスのような施設を町田市にも作ってほしい。
- ・広場があっても、「ボールをけて遊ばない」「野球をしてはいけない」等決められていたりして、子どもたちも思いっきり遊ばず、家の外でもゲームをやっている子どもを見かける。
- ・公園など本来子ども達の遊び場が年々老人に利用され、地域の中で育てていく環境が少なくなっている。
- ・子ども同士のコミュニケーションの機会が昔に比べて少ないことが気になる。安全で監視の目がある公園等があればよい。

■体験機会の確保

- ・子どもにはいろいろ見せたり経験させたりしたいので、今後も有料・無料にかかわらずいろいろな企画を用意してほしい。
- ・町田市内には、博物館（体験型の科学館等）が少ない。
- ・夏の小学校プールの長期開放や、音楽・美術のワークショップなど文化・芸術教育の充実、“本物”に気軽にふれるチャンスを与えてほしい。

■学童保育クラブの充実

- ・働きたい人も学童を利用できると助かる。
- ・3年生の途中で学童を退会したが、学校のある平日は留守番の時間が短いので一人でも心配ないが、長期の夏休みがどうなるか不安なので、夏休みだけの利用があると助かる。
- ・学童は6年生まで、長期休暇中は、普段利用していない子ども達も利用できるようにしてほしい。また、様々な環境の子ども達が放課後に一緒に過ごせるよう、親が働いていなくても利用できるようにしてほしい。
- ・低学年1～3年ぐらいまでは希望があればすべて入れる仕組みになればいいと思う。
- ・学童保育を1日だけなど一時預かりができるようにしてほしい。中学校の保護者会などの用事が小学生の帰宅時間にかかっていることが多く、一時預かりがあれば出席できるのと思うことが、年の離れた兄弟がいると度々思う。
- ・学童保育クラブに看護師がいると、ケガや発熱時等の対応をしてくれて親としても安心するし、インフルエンザなど集団内で流行しやすい疾患の早期発見にもつながる。
- ・学童での“おやつ”が、いつもおせんべい、クッキーなど袋菓子なのがイヤです（衛生的なので良いかとも思いますが）。ホットケーキやドーナツ、やきそばなど、手作りで腹の足しになるようなものを希望する。

- ・学童保育クラブの特別保育利用申請を毎月提出する方式を簡易化してほしい。
- ・特別保育利用料も昨年までのように口座引き落としにしていただけると助かる。
- ・幼稚園の預かり保育（チケット制で1時間単位）や前日までに申し込み可能など、現行の学童保育クラブ入会システムとは別に、他のシステムも必要だと思う。
- ・就労していない保護者にとって、放課後の預け先がないのが不便。通院や介護などもあるので、単発で受け入れてくれる学童のような施設があると助かる。
- ・学童保育クラブの入会要件に満たないため、長期休暇中はパートの勤務日数を減らしたりファミリー・サポート・センターの援助会員に預けたりしなければならず、不便を感じている。
- ・学童保育クラブのスペースが狭い。
- ・長期休みに学童で給食をやってほしい。
- ・学童で英語や音楽（楽器など）、スポーツや料理など色々な体験ができると良い。
- ・ひとり親家庭の場合、急用ができた時の預け先が限定していたり（条件等）して利用しづらい。学童保育の延長時間が19時まででは残業等した場合には迎えに間に合わないことがあるので、いつもあわてて行くことが多い。
- ・育児休業中でも学童保育クラブを利用できるようにしてほしい。
- ・学童保育クラブの入会人数に対し、部屋が狭くトイレも少なく快適ではない。人数に応じた設備に改善してほしい。
- ・学童保育クラブのPTAは、働いている母親にとって負担である。行事も、先生と児童だけでできる範囲の内容にし、保護者はその日1日だけの手伝い程度にしたら良いと思う。
- ・愛の手帳が発行されない軽度障害で、一人で留守番させるのには不安な発達障害の子も学童で高学年まで利用できるようにしてほしい。
- ・保育園、学童クラブともに日祝が休みなので、日祝も開所してほしい。
- ・小学4～6年生が通える学童保育に代わる場所がほしい。
- ・学童に入会させたが、環境の悪さ、職員のレベルの低さにがっかりした。喜んで通っていたのは半月程、今では毎回“行きたくない”と泣くようになり、半休や時間休を使って子どもが下校するまでに帰宅するようにしている。職員のレベルを上げてほしい。
- ・学童に通わせてよかったと思う反面、帰宅してから宿題等に取りかかるので、学童にいる間に勉強の時間も設けてほしい。
- ・学童保育クラブは、パート、フルタイムに応じてそれぞれの対応ができるとより良いと思う。
- ・町田市内の学童は、運営する法人によって運営方針が随分違うので、平準化すべき。

■まちとも

- ・学童を利用していなくても、帰宅せずそのまま子どもを預ってくれる場が必要。
- ・まちともがある学校とない学校があるのは不平等。すべての小学校にまちともをつくるべき。
- ・放課後にまちともで遊ぶのも日数が限られているので、コミュニティセンターで遊ぶこともあるが、夏休みなどに飲食禁止のため、弁当を食べることもできず不便さを感じている。「使ったらきれいに片付ける」などの公共でのルールを学ばせながら、上手に利用できる施設がもう少し近隣にあると良い。
- ・まちともだけでなく、平日の放課後学校の校庭で遊べるよう開放してもらいたい。
- ・まちともは、終了時間が早すぎてあまり利用できていない。
- ・学童保育クラブ以外に、放課後や夏期休暇中も利用できるまちともなどの更なる充実を図ってほしい。誰もが利用でき、天候に関わらず校内（図書室など）の利用もでき、さらに習い事との連携がとれればありがたい。
- ・まちとも内でできる遊びを増やしてほしい。遊びの制限（学童優先など）が多く、子どもが利用しながらない。安心してボール遊びなどができる環境を整えてほしい。
- ・まちともが実施されているが、雨の日は中止になり、不便が残る。
- ・まちともは、利用が週一回しかない上に体育館の利用ができないことに不便さを感じる。

■保育園、幼稚園

- ・働いていなくても、急用で子どもを預ってもらえる所があったら助かる。

- ・保育園が増えたりするのも歓迎されることかもしれないが、今ある幼稚園の預かり保育も活用し、その補助をしてもいいのではないか。保育園の方が安いからと、安易に利用している人もいる。幼稚園との差が（料金の）大きい気がする。
- ・4月入園以外でも保育園に入りやすくしてほしい。
- ・保育園に同時に2人入っていると2人目は半額ですが、上の子が小学生になると関係なくなる。2人目であることは同じなので何歳の兄弟がいても2人目は半額、3人目以降は無料にしてほしい。
- ・正社員でなくてもパート・アルバイトで同じ勤務形態・環境で働いている方は多いのに正社員優先で保育園入園が決まるのはおかしい。パートで働きたくても保育園に預けられず経済的にも困っている家庭は多い。
- ・保育園は収入に応じての金額を支払い入所するが、園による教育方針や環境が違いすぎる。
- ・1歳児になってしまうと保育園に入れるのが大変なので、1歳児の受け入れ枠が広がると良い。
- ・現在、下の子を一時保育でなんとかしている状態なため、週3日までしか働けない。1～6歳でも途中入園から週5で保育園に預けられるようになると良い。
- ・市立幼稚園があれば、高い保育料を払って私立に通わせずに、習い事に多く費やせたと思う。
- ・日曜や夜間保育、病児保育をより充実してほしい。
- ・申請条件はクリアしたものの、待機となり止むを得ず無認可の保育園に預けなければならない場合、市の助成を充実していただけると、利用する側も今よりは安心して働ける。
- ・幼稚園に通わせる方が出費だって多いので、幼稚園も優遇してほしい。
- ・幼稚園が子ども園になるように、幼保一体を進めてほしい。

■特別保育、ファミリー・サポート・センター

- ・一時保育も月極が一杯でダメと言われ、使えないことが多すぎる。登録しなくとも利用できる一時保育があればよい。
- ・低学年の一時保育のようなものがあると本当に助かる。
- ・子どもが病気になった時に必ず預けられる場所がほしい。
- ・ファミリー・サポート・センターをもっと気軽に利用できるよう登録方法を簡単にしてほしい。

■障がい児支援

- ・障がい児を育てながら働く母親が増えているので、支援してほしい。
- ・障がい児の教育、保育について、将来社会で働くことを目標に療育活動を親子で頑張っているが、放課後、健常の子どもたちと遊ぶことができず、児童デイサービスなどを利用しているが、予約がとれなかったり、利用したい方がいる現状に対して、施設が足りないのではと感じている。
- ・すみれ教室に通っていたが、年少～年長フォローの時、下の子を別室で預かってもらいたかった。
- ・特別支援学校の拡充と専門の知識を持った教師の増員。
- ・学童を利用していないが、母親に障がいがあるので何らかの病気等になった場合、高学年でも学童に行けるような仕組みがあると良い。

■子どもセンター

- ・小山小・小山中央小・小山ヶ丘小どこの小学校も大規模学校。安心して子ども達が過ごせる子どもセンターを作ってください。
- ・学童が終了した後（4年生以降）、家以外に行ける場所として子どもセンターがあれば良い。
- ・「ただON」みたいな場所をもっと増やしてほしい。
- ・地域に児童館や支援センターを増やしてほしい。利用できる子どもは限られるし、1番利用させたい1、2年生は1人で自転車に乗れないなど、歩いていける範囲にはないので結局利用できない。3年生から行けたとしても、元々行って遊ぶ習慣がないので行動範囲に入っていないので行かない。
- ・子どもセンターのおもちゃが壊れていたり、部品がなかったりして遊べないものがある。使えないものは処分して、新しく購入するか、ボランティアで中古を募集したりできないか。
- ・子どもセンターは9時～にしてほしい。
- ・立派な子どもセンターを少し作るよりも、小さな児童館を各学区に1か所ずつある方が、たくさん子どもたちが使える。

■学校教育

- ・小学校に子どもが多すぎてプレハブを使用しているが、マンションの建設を規制できないのか。新しく小学校を作ってもプレハブではどうか。
- ・共働きの場合、学校のPTA活動は負担になる。平日の昼間に時間がとれることを前提にした活動も多く、フルタイムで働く保護者にどう都合をつけろというのか疑問に感じる。
- ・小学校のレベルに差があると聞いたことがある。全体的にレベルを上げて塾へ行かなくても良いようにしてほしい。
- ・小学校でも授業に遅れ気味の子どもへ補習をして理解を進められるようにしてあげても良いと思う。
- ・教師の質をもっと上げてほしい。研修等を増やし、先生がどんな研修を修了したのか、どんなステップアップをしたのか公表してほしい（学校に先生紹介の掲示板などを作り、そこにそれぞれの経歴、経験を掲示したり、市のホームページで公表するなど）。
- ・町田市は学力が低いと聞いているので、鐘の時間（夕方5時30分）を見直し、自宅学習時間を増やすようにしたらどうか。
- ・月に何回かの土曜日に授業があってもよい気がする。
- ・学校の教育環境をレベルアップするためには、先生任せでなく、地域の力、とくに母親（父親）の協力、ボランティア的な活動が不可欠。母親が働ける環境というよりも、母親がわが子、または地域の子どものために時間を費やせる環境が必要ではないかと思う。
- ・幼稚園には預かり保育があるが、小学校には一時保育のようなものがないのが残念。
- ・2年生まで1クラス35人学級になっているが、全学年を通して1クラス30人学級を目指してもらいたい。
- ・学校の放課後に行われるような課外活動があれば良いと思う。

■学校の設備

- ・全校クーラーの設備をつけてほしい。
- ・防犯設備の充実、古い校舎の改修、水道・トイレなどの衛生面に留意してほしい。
- ・土日祝日に（施設利用がない場合）学校のグラウンドを開放してほしい。
- ・学校・児童館に駐車場を設置してほしい。
- ・放課後、校庭開放を毎日行ってほしい。

■学区

- ・小学校の学区がおかしい。普通は小学校を中心に考えると思うが、町田市では近い小学校に行けず、学区も入り混じっていて改善してほしい。
- ・学区が広すぎる。登下校時の事故や事件、子どもへの負担が心配。

■医療体制

- ・夜間、休日の医療体制を充実してほしい。
- ・救急の対応が良くない。そのため横浜市の救急病院へ行くことが多い。
- ・市民病院の対応の悪さ、準夜急患の電話が全くつながらないなど、小児救急を充実してほしい。
- ・祝日などの当番医をもう少し増やしてくれるとありがたい。

■子どもの安全確保

- ・4年生になったら学童を利用できなくなるが、通学路が危険すぎるので、子どもが一人で歩けるようにしてほしい。
- ・「子ども110番の家」があるが、実際に子ども達は「子ども110番の家」を知っているのか。子ども達がいざという時に使いやすいうように、子ども達に使い方を説明してほしい。
- ・東日本大震災のような大規模災害が発生したとき、両親は帰宅困難者となり、近くにそんな非常時に頼める近親者もないので、小学校、学童を含めて大規模災害時に親が仕事で不在の間、子どもが非難できる場所を設定してほしい。
- ・通学路になっている道路（歩道）、交差点の整備を見直してほしい、ガードレール、標識を目立つようにしてほしい。

- ・下校時、友人宅への行き帰り、変質者に連れていかれないか等、常に心配している。個人で携帯電話を持たせたりしているが、その助成などがあるとありがたい。

■公共施設

- ・市内の図書館は利用しづらい。町田駅の図書館のみ充実しているが、その他は開館時間等、改善の余地があるのではないかな。
- ・児童館・図書館（公園）が遠すぎて利用するのが難しい。
- ・市民センターなどで子どもの体操教室などを行ってもらえるとありがたい。
- ・図書館は、南大沢（八王子市）か橋本（相模原市）に行かなければならない。駅近くに市民センターなどで勉強したり、集まることができる場所があると助かる。
- ・鶴間会館など地域の施設をもっと活用し、放課後の子ども達の遊び場にできたらと思う。

■所得制限、経済的支援、医療費助成

- ・所得制限の上限を緩和してほしい。ギリギリで上限にかかり補助を受けられず、不公平感を感じる。子育ては社会全体で支えるべきではないかな。
- ・全ての子どもは公平であるべきであり、子どもに関する給付や免除制度に親の所得制限を設けるべきではない。
- ・母子家庭の子どもが大学に進学する時に借りられる母子福祉資金について、母親名義で借りるため、2人目は利用できるかわからないと窓口で言われた。2人目も利用できるよう、早急に制度を見直してほしい。
- ・子どもが増えるほど負担も多い。双子等サポートのお知らせなどはたくさん来たが、実際は金額も高く利用しづらかった。
- ・所得が少ない家庭への手当を増やしてほしい。
- ・子どもが2人以上いる家庭への手当を所得制限なしで行ってほしい。高校へ行くにも3人同じようにと思うと私立はとても無理で、塾だって3人行かせるのはとても大変。働きたくても子どもの年齢が離れているとなかなか難しい。
- ・小学校低学年の兄弟がいる場合、2人目、3人目の保育園保育料の軽減、減額してほしい。年齢の離れた兄弟がいる家庭への支援が弱い。
- ・子どもを出産するため仕事を辞めてしまうと、働きたいと思っても仕事に復帰しづらい。幼稚園に入園したが、保育園と比べると保育料も高い。幼稚園に入る人への助成をもう少し多くしてもらえると助かる。
- ・児童手当を支給されるより、義務教育にかかる費用全て無料になる方が良い（給食費、教材費など）。
- ・所得に関係なく児童手当を支給していただきたい。もしくは所得に関係なく、医療費助成していただきたい。
- ・小・中学生まで医療費を無料にすべき。

■情報提供

- ・私立に通っていると、まちとも、地域子ども教室等を知らず、利用できるかもわからないので、情報を提供してほしい。
- ・学童保育も育児休業制度も情報を得られず、利用する際にどこに相談してよいかわからなかったりする。もっと情報を提供してほしい。
- ・子育て支援で行政のサポートがもっと身近に感じられるといいのだが、残念ながらあまり感じられないし、情報も少ない。公共・民間、また営利団体か否かの別なく、情報が一覧できるサイトや広報誌などがあると良いと思う。

■相談支援

- ・子どもが保育園（年長）に通園している時、うつ病で入院した。それ以後もうつ病で通院して、ほぼ寝たきり。両親の協力もあるが、看護師で収入が減り、生活も苦しい。こういう相談は、どこに相談したら良いか知りたい。
- ・子育てに関して不安や心配を抱えている親が、相談できるセンターを増やしてほしい。

- ・いじめに関する相談窓口を周知してほしい。親も子どもにどんなアドバイスをしたら良いか悩む。

■地域における子育て支援

- ・登下校時に見守ってくれる大人があちこちで立ってくれるだけで親としては安心。
- ・地域の中高年齢層が、共働き世帯、子育て世帯を支援する仕組みづくりに取り組んでほしい。
- ・元気な高齢者が日本の文化や経験したことなどを教えられる場所があれば、高齢者も生きがいを持って良い。

■交通環境の整備

- ・車道を走る時に危険を感じるので、道路に自転車道を整備してほしい。
- ・多摩モノレールやこどもの国線の延伸（多摩センター～町田、こどもの国～鶴川）。

■子育てしやすい職場環境づくり

- ・子どもがいても働きやすい雇用環境がもっと多くの企業にあると思う。
- ・育児休業の給付制度は、パートタイマーで雇用保険に加入させてもらえないので取得することができない。パートタイマーでも育児休業の給付を受けられたら、出産しやすくなる。学校や子供会などの役員を引き受けたり、保護者会などに参加したり、子どもが病気で休んだりなど、母親が休みを取らざるを得ない現状で、フルタイムで働きたくてもパートタイマーを選択しなくてはならない人も多いと思う。パートでも育児休業の給付制度を利用しやすくなってほしいと思う。
- ・母となる女性が子育てに無理のない範囲で仕事をしやすい、雇用形態（短時間、子が病気時の休み等）や社会の雰囲気づくりを望む。
- ・仕事と子育ての両立に職場の男性の理解が得られず辛い思いをすることも多かった。社会において、男性の意識改革を進めないと保育園などの環境、インフラ整備だけでは、子育てしやすい社会とはいえない。
- ・職場の子育て支援制度を利用するためには、職場の理解が必要となる。3歳まで育児休業を取得したいが、3年間も実務から離れた後の復職には不安があり、取得する人はいない。そんな中、短時間勤務制度は、働きながら子育てがしやすい制度だと思う。

資料

使用した調査票

町田市から「子育てに関するニーズ調査」

いただいた回答は、『子ども・子育て支援事業計画』に反映します。

アンケートにご協力をお願いします。

日頃より、町田市政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
 「子ども・子育て支援法」などの関連3法に基づく、新たな子ども・子育て支援制度が、平成27年4月から本格施行される予定です。幼児期の学校教育や保育をはじめとする、さまざまな子ども・子育て支援の充実が図られます。

町田市は、この新しい制度に関する5年間を一期とする『町田市子ども・子育て支援事業計画』を策定し、平成27年4月以降、子どもに関わる施設やサービスを「どのくらい」、「どのように」、「いつまでに」整備・実施していくかを定める必要があります。

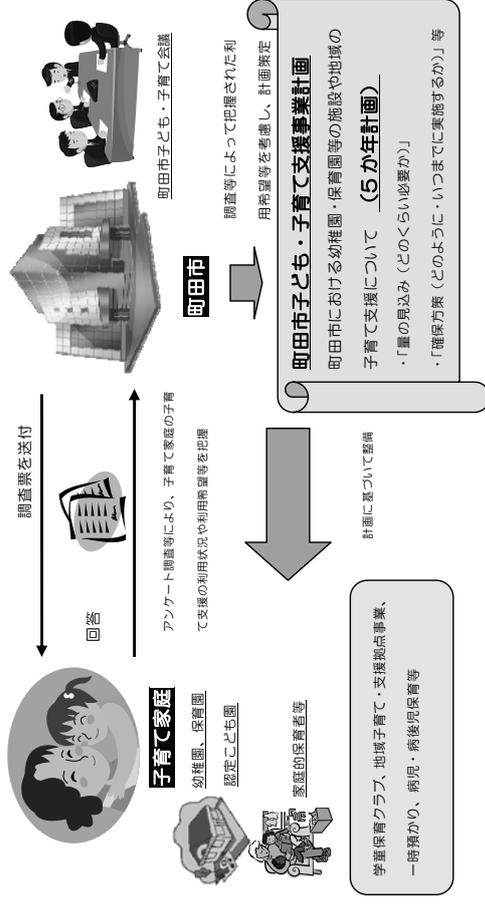
そこで、子育て家庭の皆様から、子ども・子育て支援のための施設やサービスの利用について、現状やご希望をお聞かせいただくために、アンケート調査を実施することとしました。

このアンケートは、今後の町田市における子ども・子育て支援のあり方を決めるために欠かせない、重要な資料となります。何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年1月

町田市長 石阪 丈一

いただいた回答は町田市の子育て支援の充実に活かされます。



【このアンケート調査について】

- ◆ この調査は、市内にお住まいの小学校就学前のお子さん（平成19年4月2日～平成25年11月30日生まれ）の中から、無作為に約3,000人を選ばせていただき、その保護者の皆様にご協力をお願いしています。
- ◆ ご返送いただいた調査票は、町田市及び委託業者（株式会社日本能率協会総合研究所）のみが、厳重に情報を管理し、漏えい・紛失等のないよう適切に取り扱います。また、ご回答いただいた内容を調査目的以外に使用することは一切ありません。
- ◆ ご回答いただいた方が特定されることはありません。また、ご回答いただいた内容は、実際の施設やサービスの利用の可否などに影響することはありません。

【ご回答にあたってのお願い】

- ◆ 特にごとわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さんについてご記入ください**。
- ◆ アンケートは、お子さんの保護者の方がご記入ください。また、無記名ですので、**氏名・住所の記入の必要はありません**。
- ◆ 黒または青のボールペン、濃い鉛筆等ではっきりとご記入ください。
- ◆ ご回答は、選択肢の番号に○をつけていただく場合と、に数字などを記入していただく場合があります。数字については、右詰めでご記入ください。
- ◆ 質問によって、○をつける数字を「1つ」「いくつでも」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある（ ）内に、具体的な内容を記入してください。
- ◆ 数字で時間をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）で記入してください。
- ◆ ご家族の状況等によって、お答えいただく設問は異なります。矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。

ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、**1月28日（火）**までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くのポスト投函してください。

この調査について、ご不明な点やご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。
 町田市 子ども生活部 子ども総務課（担当：鈴木・加藤）
 電話：042-724-2876 ファクス：050-3101-8377

最初に、あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問1 お住まいの住所を町名でご記入ください。(記入例:相原町、旭町1丁目)

() () 丁目

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数をご記入ください。2人以上の場合、末のお子さんの生年月月もご記入ください。

きょうだいい数 人 末子の生年月 平成 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

1 母 親 2 父 親 3 その他 () (→問6へ進む)

→問4で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

1 配偶者がいる 2 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

1 父母ともに 3 主に父親 5 その他
2 主に母親 4 主に祖父母 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 あて名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた(どこ)ですか。お子さんから見た関係でお答えください。(〇はいくつでも)

1 母 親 4 幼稚園 7 その他
2 父 親 5 認可保育園 ()
3 祖父母 6 認定こども園

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。(〇はいくつでも)

1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる } (→問8-2へ進む)
5 友人・知人がいる
6 いずれもない (→問9へ進む)

→問8で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます
問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっていることをどのように感じていますか。(〇はいくつでも)

1 祖父母等の親族に安心して子どもをみてもらえる
2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4 親として、負担をかけていることが心苦しい
5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6 その他 ()

→問8で「3」または「4」とお答えの方にうかがいます

問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっていることをどのように感じていますか。(〇はいくつでも)

1 友人・知人に安心して子どもをみてもらえる
2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4 親として、負担をかけていることが心苦しい
5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6 その他 ()

問9 あなたは、子育てについて気軽に相談できる人がいますか(または場所はありますか)。(〇は1つ)

1 いる/ある 2 いない/ない (→問10へ進む)

→問9で「1 いる/ある」にお答えの方にうかがいます

問9-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

1 祖父母等の親族 6 健康課や保健所
2 友人や知人 7 幼稚園
3 近所の人 8 民生委員・児童委員
4 子ども家庭支援センター 9 かかりつけの医師
5 地域子育てセンターや認可保育園 10 その他 ()

※地域子育てセンターとは、育児についての相談を受け、子育てを支援しているところです。
※健康課とは、保健師や助産師等の専門スタッフによる母子の健康に関する相談を受けている部署です。

問10 子育てをする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

()
()
()
()
()
()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問11 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。また、併せて「→」の就労日数・時間を記入してください。

(1) 母親【父子家庭は記入不要】(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- 2 フルタイムで、現在産休・育児・介護休暇中
- 3 パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)
- 4 パートタイム・アルバイト等で、現在産休・育児・介護休暇中
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない } (→問13へ進む)
- 6 これまでに就労したことがない }

① 1週当たり平均就労日数 日

② 1日当たり平均就労時間 時間

③ 家を出る時間 時 帰宅時間 時 ※24時間制で記入

(2) 父親【母子家庭は記入不要】(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- 2 フルタイムで、現在産休・介護休暇中
- 3 パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)
- 4 パートタイム・アルバイト等で、現在産休・介護休暇中
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない } (→問13へ進む)
- 6 これまでに就労したことがない }

① 1週当たり平均就労日数 日

② 1日当たり平均就労時間 時間

③ 家を出る時間 時 帰宅時間 時 ※24時間制で記入

[問12は、問11の(1)または(2)で「3」「4」(パートタイム・アルバイト等で就労している)とお答えの方にうかがいます。該当しない方は問13へお進みください。]

問12 フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親【父子家庭は記入不要】(○は1つ)

- 1 フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親【母子家庭は記入不要】(○は1つ)

- 1 フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

[問13は、問11の(1)または(2)で「5」以前は就労していたが、現在は就労していない「6」これまでに就労したことがない」とお答えの方にうかがいます。該当しない方は問14へお進みください。]

問13 就労希望はありますか。また、 内に数字をご記入いただき、併せて「→」の質問にもお答えください。

(1) 母親【父子家庭は記入不要】(○は1つ)

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 3 年より先に就労したい

①希望する就労形態に○

1 フルタイム(週5日程度、1日8時間程度就労)

2 パートタイム・アルバイト等(「1」以外)

→週 日 1日当たり 時間

(2) 父親【母子家庭は記入不要】(○は1つ)

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 3 年より先に就労したい

①希望する就労形態に○

1 フルタイム(週5日程度、1日8時間程度就労)

2 パートタイム・アルバイト等(「1」以外)

→週 日 1日当たり 時間

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など問14-1に示した事業が含まれます。

問14 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(○は1つ)

1 利用している 2 利用していない (→問14-6へ進む)

→問14で「1 利用している」とお答えの方には

問14-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。(○はいくつでも)

1 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	6 事業所内保育施設
2 幼稚園の預かり保育	7 認証保育所
3 上記1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業(定期的な利用)	8 定期利用保育事業
4 認可保育園	9 その他の認可外の保育施設
5 認定こども園	10 居宅訪問型保育(ベビーマスターなど)
6 家庭の保育者(保育ママ)	11 ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
	12 その他()

問14-2 利用している事業の決め手となった理由は何ですか。(○は2つまで)

1 自宅からの距離が近い	7 給食がある
2 教育・保育の内容や方針が合う	8 通園バスがある
3 教員・保育者の印象が良い	9 周囲の子が通っている
4 保育時間が利用希望に合う	10 やむを得なくそこを利用している
5 利用料金が適切である	11 その他()
6 利用する駅や職場からの距離が近い	

問14-3 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。時間帯は24時間制でご記入ください。

(1) 現在の利用状況

週	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> 1日当たり	<input type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> 時間帯	<input type="checkbox"/> 時～ <input type="checkbox"/> 時
---	----------------------------	--------------------------------	-----------------------------	------------------------------	--

(2) 今後の利用希望

週	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> 1日当たり	<input type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> 時間帯	<input type="checkbox"/> 時～ <input type="checkbox"/> 時
---	----------------------------	--------------------------------	-----------------------------	------------------------------	--

問14-4 現在利用している園等の場所はどちらですか。(○は1つ)

1 町田市内 2 町田市外

問14-5 現在、園等を利用されている理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 経済的な理由で就労が必要
2 生きがいとして就労し続けたい
3 育児休業が取れない、または、とりにくい
4 休職中である
5 家族・親族などを介護しなければならぬ
6 病気や障がいがある
7 学生である、または、就学したい
8 子育ての不安や負担を軽減したい
9 集団で行う教育・保育が、子どもの成長にとって望ましい
10 個別で行う教育・保育が、子どもの成長にとって望ましい
11 まわりに子どもとの世話をしてくれる人がいない
12 その他()

【次は問15へ進んでください】

《問14で「2 利用していない」とお答えの方にはうかがいます》

問14-6 現在、園等を利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3 近所の人や父母の友人・知人がみている
4 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7 利用したいが、事業の質や場所など納得できる事業がない
8 子どもがまだ小さいため(<input type="checkbox"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9 その他()

あて名のお子さんの子育て支援事業の利用状況等についてうかがいます

問16 あて名のおさんは、現在、市内の認可保育園や地域子育てセンターが実施している「子育てひろば事業」(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)を利用していますか。また、おおよその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

1 子育てひろば事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)
 1 週当たり 回 もしくは 1 か月当たり 回程度
 もしくは 1 年当たり 回程度

2 利用していない

問17 問16のような子育てひろば事業について、利用日数を増やしたい、あるいは、今は利用していないが、できれば今後利用したいと思いませんか。また、おおよその利用希望回数(頻度)を数字でご記入ください。(○は1つ)

1 利用していないが、今後利用したい
 1 週当たり 回 もしくは 1 か月当たり 回程度
 もしくは 1 年当たり 回程度

2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1 週当たり 回 もしくは 1 か月当たり 回程度
 もしくは 1 年当たり 回程度

3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
 →理由()

問18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業名	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ	1 はい	2 いいえ
【記入例】 ファミリー・サポート・センター	①	2	1	②	①	2
① 妊婦健康診査	1	2	1	2	1	2
② 健康課・保健所の相談	1	2	1	2	1	2
③ こんにちには赤ちゃん訪問	1	2	1	2	1	2
④ 市が実施する両親学級等の育児講座	1	2	1	2	1	2
⑤ 保育園の子育てひろばや、子どもセンター・子どもクラブ、学童保育クラブの子育て事業	1	2	1	2	1	2
⑥ ファミリー・サポート・センター事業	1	2	1	2	1	2
⑦ 子ども家庭支援センターの総合相談	1	2	1	2	1	2
⑧ 教育センターの教育相談	1	2	1	2	1	2
⑨ 家庭教育に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2

※妊婦健康診査とは、妊婦さんの心身の具合や胎児の育ち具合をみるため、医療機関において身体測定や血液・血圧・尿などを検査することです。この健康診査は無料で受けられ、妊娠週を提出して頂いた妊婦の方に、14回分の妊婦健康診査受診票と1回分の妊婦超音波検査受診票をお渡しているものです。

※こんにちには赤ちゃん訪問とは、保健師が子どもの生まれた家庭を訪問し、子育て情報の提供や育児・母の体調の相談等を受け、支援していくものです。

※子どもセンター・子どもクラブの子育て事業とは、施設開放や乳幼児向けのイベント等を行っているものです。

※学童保育クラブの子育て事業とは、施設を利用する小学生がいない時間帯を使って、乳幼児向けのイベント等を行っているものです。

※子ども家庭支援センターの総合相談とは、育児不安や育児負担を軽減するため、必要に応じて各種情報の提供、専門機関やサービスの紹介・調整をし、問題の解決に向けて支援するものです。

※教育センターの教育相談とは、専門のカウンセラーが小学校への就学や教育に関しての相談を受け、支援していくものです。

問19 保育園や幼稚園が実施するひろばや講座への参加に際し、市のホームページや市の発行する冊子・チラシを活用していますか。(○は1つ)

1 活用している 2 活用していない (→問20へ進む)

→「問19で「1 活用している」とお答えした方にうかがいます」
 問19-1 具体的に何で情報を得ていますか。(○はいくつでも)

- 1 市のホームページ
- 2 ほっとメールまらちだ
- 3 広報まらちだ
- 4 子育て情報誌のびっこ
- 5 親と子のあそび場情報
- 6 子育てひろばカレンダー
- 7 市が発行する各種案内チラシ
- 8 その他()

**あて名のお子さんの土曜・日曜等の教育・保育事業の利用希望について
うかがいます**

問20 あて名のお子さんについて、土曜日・日曜日、年末・年始に、定期的な教育・保育の事業の利用希望(一時的な利用は除く)がありますか。時間帯は24時間制で記入ください。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

※日曜日、年末・年始の利用には、一定の利用負担が発生します。

(1) 土曜日 (〇は1つ)

1 利用する必要はない

2 ほぼ毎週利用したい

3 月に1~2回は利用したい

利用したい時間帯

時から 時まで

(2) 日曜 (〇は1つ)

1 利用する必要はない

2 ほぼ毎週利用したい

3 月に1~2回は利用したい

利用したい時間帯

時から 時まで

(3) 年末 (12/29~12/31) (〇は1つ)

1 利用する必要はない

2 ほぼ毎年利用したい

3 利用してみたいと思う

利用したい時間帯

時から 時まで

(4) 年始 (1/1~1/3) (〇は1つ)

1 利用する必要はない

2 ほぼ毎年利用したい

3 利用してみたいと思う

利用したい時間帯

時から 時まで

→《土曜日又は日曜で、「3」とお答えの方にうかがいます》

問20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何か。(〇はいくつでも)

1 月に数回仕事が入るため

2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3 親族の介護や手伝いが必要なため

4 息抜きのため

5 その他 ()

問21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制で記入ください。なお、これらの事業の利用には一定の利用負担が発生します。

1 利用する必要はない

2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯

時から 時まで

→《問21で「3」休みの期間中、週に数日利用したいとお答えの方にうかがいます》

問21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何か。(〇はいくつでも)

1 週に数回仕事が入るため

2 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3 親族の介護や手伝いが必要なため

4 息抜きのため

5 その他 ()

あて名のお子さんの病気の対応についてうかがいます

【問22は、平日、幼稚園や保育園等を利用されている方にかかっています。該当しない方は問23へ進んでください】

問22 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育園等を利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

1 あった ()

2 なかった (→問23へ進む)

→【問22-2で「1」とお答えの方にかかっています】

問22-1 どのように対処しましたか。対処された日数もご記入ください
(半日程度は1日とカウント)。(○はいくつでも)

1	母親が休んだ	年間	日
2	父親が休んだ	年間	日
3	(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	年間	日
4	父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	年間	日
5	病児・病後児の保育を利用した	年間	日
6	ベビーシッターを利用した	年間	日
7	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間	日
8	その他 ()	年間	日

(→問22-5へ進む)

→【問22-1で「1」または「2」または「3」または「4」または「5」または「6」または「7」または「8」をお答えの方にかかっています】

問22-2 その際、病児・病後児保育を利用したいと思いましたが、利用したかった日数もご記入ください(半日程度は1日とカウント)。(○は1つ)

1 できれば利用したかった 年間 () 日

2 利用したいとは思わなかった (→問22-4へ進む)

→【問22-2で「1」とお答えの方にかかっています】

問22-3 病児・病後児保育の望ましい形態はどれですか。(○はいくつでも)

1 他の施設(例：幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業

2 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業(病児・病後児保育施設)

3 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業

4 その他 ()

【次は問23へ進んでください】

【問22-2で「2」とお答えの方にかかっています】

問22-4 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安だから

2 施設の種類や利用可能時間、日数などの利便性がよくないから

3 利用料がかかると高い

4 利用料がわからないから

5 親が仕事を休んで対応できるから

6 その他 ()

【次は問23へ進んでください】

[問22-5は、問22-1で「3」から「8」のいずれかをお答えの方にかかっています]

問22-5 その際、「できれば父親のいずれかが仕事を休んで看りたい」と思われましたか。「3」から「8」の日数のうち、仕事を休んで看たかった日数をご記入ください。(○は1つ)

1 できれば仕事を休んで看たい 年間 () 日 (→問23へ進む)

2 休んで看ることは非常に難しい

→【問22-5で「2」または「3」または「4」または「5」または「6」または「7」または「8」をお答えの方にかかっています】

問22-6 そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 子どもの看護を理由に休みがとれない

2 自営業なので休めない

3 休暇日数が足りないので休めない

4 その他 ()

**あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます**

問23 あて名のお子さんについて、親の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュ等の目的で不定期に利用している事業はありますか。1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。
(〇はいくつでも)

1	一時預かり	年間	日
2	幼稚園の預かり保育	年間	日
3	ファミリー・サポート・センター	年間	日
4	ショートステイ(宿泊保育)	年間	日
5	トワイライトステイ(夜間保育)	年間	日
6	ベビーシッター	年間	日
7	その他()	年間	日
8	利用していない		

(→問24へ進む)

※一時預かりとは、日中、家庭での保育が一時的に困難になった場合、認可保育園等で、一時的にお子さんをお預かりする事業です。

→《問23で「8」とお答えの方にうかがいます》

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1	特に利用する必要がない	6	利用料がわからない
2	利用したい預け先が地域にない	7	自分が対象者になるかどうか わからない
3	質に不安がある	8	利用方法(手続き等)がわからない
4	利便性(場所や利用可能時間・日数 など)がよくない	9	その他()
5	利用料がかかる・高い		

問24 私用やリフレッシュ、冠婚葬祭や親の病气、あるいは就労のため、あて名のお子さんの一時預かりを利用したいと思いませんか。利用したい理由ごとに利用希望の日数も(半日程度は、1日としてカウント)ご記入ください。(〇はいくつでも)

1	私用(買物、習い事等)やリフレッシュ等で利用したい	年間	日
2	冠婚葬祭や学校行事、親の病气等で利用したい	年間	日
3	不定期の就労のために利用したい	年間	日
4	その他()の理由で利用したい	年間	日
5	利用する必要はない、利用したいと思わない	年間計	日

(→問25へ進む)

→《問24で「1」~「4」のいずれかをお答えの方にうかがいます》

問24-1 不定期の一時預かりの望ましい形態はどれですか。(〇はいくつでも)

1	幼稚園・保育園等での一時預かり
2	子ども家庭支援センターや地域子育てセンターでの一時預かり
3	ファミリー・サポート・センターでの一時預かり
4	その他()

問25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病气など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはないことになりましたか(預け先が見つからなかった場合も含む)。(〇は1つ)

1	あった	2	なかった
---	-----	---	------

(→問26へ進む)

→《問25で「1」とお答えの方にうかがいます》

問25-1 そのときはどうしましたか。また、その日数をご記入ください。(〇はいくつでも)

1	親族・知人(同居者を含む)にみてもらった	年間計	泊
2	ショートステイを利用した	年間	泊
3	その他の保育サービスを利用した (認可外保育施設、ベビーシッター等)	年間	泊
4	仕方なく子どもを同行させた	年間	泊
5	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間	泊
6	その他()	年間	泊

(→問26へ進む)

→《問25-1で「1」とお答えの方にうかがいます》

問25-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。(〇は1つ)

1	非常に困難
2	どちらかというと困難
3	特に困難ではない

**あて名のお子さんか小学生になったときの
放課後の過ごし方についてうかがいます**

問26 あて名のおさんが、小学校にあがったとき、放課後(平日の授業終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。その希望日数をご記入ください。また、「学童保育クラブ」の場合は、希望する時間を24時間制で記入してください。(〇はいくつでも)

(注) 子どもセンター・子どもクラブにある学童保育クラブを利用する場合は「6」に回答

1	自宅	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
4	子どもセンター・子どもクラブ	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
5	放課後子ども教室(まちとも、地域子ども教室)	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
6	学童保育クラブ	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
				→下校時から	<input type="text"/>
					時まで
7	ファミリー・サポート・センター	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
8	その他(図書館、公園など)	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい

※「子どもセンター・子どもクラブ」とは、18歳までの青少年を対象とした施設で、子どもたちの遊び、成長、発達の出発点として様々な活動を行っています。

※「まちとも」とは、放課後に小学校の校庭や体育館を、小学生の自由な遊び場として提供する事業です。

※「地域子ども教室」とは、地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※「学童保育クラブ」とは、保護者が就労等により、屋間家庭にいない児童(市内に在住する小学校1年生から3年生)を預かり、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るところです。(利用料は、育成料・おやつ代・延長料金を含めると1人月額最大10,000円となります)

問27 あて名のおさんが、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。その希望日数をご記入ください。また、「学童保育クラブ」の場合は、利用する時間を24時間制で記入してください。(〇はいくつでも)

※だいたい先のことになります。現在お持ちのイメージでお答えください。

1	自宅	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
4	子どもセンター・子どもクラブ	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
5	放課後子ども教室(まちとも、地域子ども教室)	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
6	学童保育クラブ	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
				→下校時から	<input type="text"/>
					時まで
7	ファミリー・サポート・センター	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい
8	その他(図書館、公園など)	<input type="text"/>	週	<input type="text"/>	日くらい

※子どもセンター・子どもクラブ以外のお答えの方は問29へ進んでください
【学童保育クラブを利用する場合は「6」に回答】

→問26または問27で「6」とお答えの方にうかがいます

問28 あて名のおさんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。時間帯は24時間制で記入ください。(〇は1つ)

(1) 土曜日

1	低学年(1~3年生)の間は利用したい	<input type="text"/>	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	時まで
2	高学年(4~6年生)になっても利用したい	<input type="text"/>					
3	利用する必要はない	<input type="text"/>					

(2) 日曜・祝日

1	低学年(1~3年生)の間は利用したい	<input type="text"/>	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	時まで
2	高学年(4~6年生)になっても利用したい	<input type="text"/>					
3	利用する必要はない	<input type="text"/>					

問29 あて名のおさんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育クラブの利用希望はありますか。時間帯は24時間制で記入ください。(〇は1つ)

1	低学年(1~3年生)の間は利用したい	<input type="text"/>	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	時まで
2	高学年(4~6年生)になっても利用したい	<input type="text"/>					
3	利用する必要はない	<input type="text"/>					

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

問30 あて名のおおさんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

「2 取得した(取得中である)」場合は、取得期間をお答えください。また、「3 取得していない」場合は、その理由を下表からあらはまるものを選び番号で(いくつでも)お答えください。

母 親 (○は1つ)	父 親 (○は1つ)
1 働いていなかった	1 働いていなかった
2 取得した(取得中である) →取得期間()か月	2 取得した(取得中である) →取得期間()か月
3 取得していない その理由を下から番号を選んで記入	3 取得していない その理由を下から番号を選んで記入

(いくつでも) (いくつでも)

1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった

2 仕事が忙しかった

3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった

4 仕事に戻るのが難しそうだった

5 昇給・昇格などが遅れそうだった

6 収入減となり、経済的に苦しくなる

7 父母のいずれかが不任だった

8 保育園などに預けることができた

9 配偶者が育児休業制度を利用した

10 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてももらえるなど、制度を利用する必要がなかった

11 子育てや家事に専念するため退職した

12 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)

13 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった

14 育児休業を取得できずを知らなかった

15 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できなかったことを知らず、退職した

16 その他()

問30-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(○は1つ)

1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2 育児休業給付のみ知っていた
3 保険料免除のみ知っていた
4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

「問30-2 は、問30で「2 取得した(取得中である)」とお答えの方にうかがいます。該当しない方は問31へ進んでください。」

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母 親 (○は1つ)	父 親 (○は1つ)
1 育児休業取得後、職場に復帰した	1 育児休業取得後、職場に復帰した
2 現在も育児休業中である	2 現在も育児休業中である
3 育児休業中に退職した	3 育児休業中に退職した

【「2」とお答えの方は問30-8へ、「3」とお答えの方は問31へそれぞれ進んでください】

※(問30-2で「1」とお答えの方にうかがいます)

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度最初の保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

※年度初めての認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1」にあてはまります。また、年度初めての入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

母 親 (○は1つ)	父 親 (○は1つ)
1 年度初めの入園に合わせた タイミングだった	1 年度初めの入園に合わせた タイミングだった
2 それ以外だった → () 月復帰	2 それ以外だった → () 月復帰

問30-4 育児休業からは、「実際」におおさんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、勤務先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取り戻すことができましたか。さらに、勤務先に3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としておおさんが何歳何か月のときまで取り戻すことができましたか。数字でご記入ください。

	母 親	父 親
① 制度上の最大取得可能期間	歳	歳
② 実際の取得期間	歳	歳
③ 希望	歳	歳
④ 会社の制度が3歳まであった場合	歳	歳

【問30-5は、問30-4で実際の取得期間と希望が異なる方にうかがいます】

問30-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1)「希望」より早く復帰した方

母 親 (○はいくつでも)	父 親 (○はいくつでも)
1 希望する保育園に入るため	1 希望する保育園に入るため
2 配偶者や家族の希望があったため	2 配偶者や家族の希望があったため
3 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5 その他()	5 その他()

町田市から「子育てに関するニーズ調査」

いただいた回答は、『子ども・子育て支援事業計画』に反映します。

アンケートにご協力をお願いします。

日頃より、町田市政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
 「子ども・子育て支援法」などの関連3法に基づく、新たな子ども・子育て支援制度が、平成27年4月から本格施行される予定です。幼児期の学校教育や保育をはじめとする、さまざまな子ども・子育て支援の充実が図られます。

町田市は、この新しい制度に関する5年間を一期とする『町田市子ども・子育て支援事業計画』を策定し、平成27年4月以降、子どもに関わる施設やサービスを「どのくらい」、「どのように」、「いつまでに」整備・実施していくかを定める必要があります。

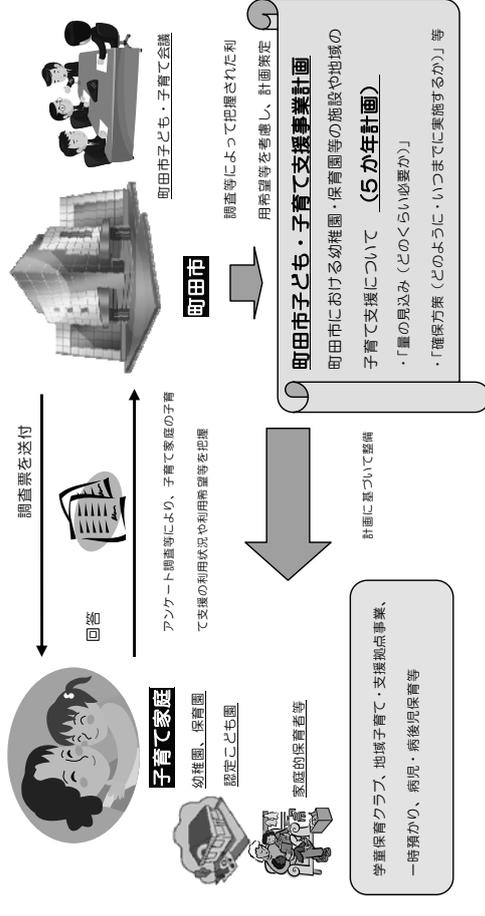
そこで、子育て家庭の皆様から、子ども・子育て支援のための施設やサービスの利用について、現状やご希望をお聞かせいただくために、アンケート調査を実施することとしました。

このアンケートは、今後の町田市における子ども・子育て支援のあり方を決めるために欠かせない、重要な資料となります。何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年1月

町田市長 石阪 丈一

いただいた回答は町田市の子育て支援の充実に活かされます。



【このアンケート調査について】

- ◆ この調査は、市内にお住まいの小学1年生から3年生のお子さん（平成16年4月2日～平成19年4月1日生まれ）の中から、無作為に約2,000人を選ばせていただき、その保護者の皆様にご協力をお願いしています。
- ◆ ご返送いただいた調査票は、町田市及び委託業者（株式会社日本能率協会総合研究所）のみが、厳重に情報を管理し、漏えい・紛失等のないよう適切に取り扱います。また、ご回答いただいた内容を調査目的以外に使用することは一切ありません。
- ◆ ご回答いただいた方が特定されることはありません。また、ご回答いただいた内容は、実際の施設やサービスの利用の可否などに影響することはありません。

【ご回答にあたってのお願い】

- ◆ 特にごとわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。**
- ◆ アンケートは、お子さんの保護者の方がご記入ください。また、無記名ですので、**氏名・住所の記入の必要はありません。**
- ◆ 黒または青のボールペン、濃い鉛筆等ではっきりとご記入ください。
- ◆ ご回答は、選択肢の番号に○をつけていただく場合と、に数字などを記入していただく場合があります。数字については、右詰めでご記入ください。
- ◆ 質問によって、○をつける数字を「1つ」「いくつでも」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある（ ）内に、具体的な内容を記入してください。
- ◆ 数字で時間をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）で記入してください。
- ◆ ご家族の状況等によって、お答えいただく設問は異なります。矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。

ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、**1月28日（火）**までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、お近くのポスト投函してください。

この調査について、ご不明な点やご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。
 町田市 子ども生活部 子ども総務課（担当：鈴木・加藤）
 電話：042-724-2876 ファクス：050-3101-8377

最初に、あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問1 お住まいの住所を町名でご記入ください。(記入例:相原町、旭町1丁目)

() () 丁目

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんの兄弟や姉妹は何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。(〇は1つ)

1 1人 2 2人 3 3人 4 4人以上

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。(〇は1つ)

1 母親 2 父親 3 その他 () (→問6へ進む)

→《問4で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます》

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

1 配偶者がいる 2 配偶者はいない

問6 子育てを協力してくれる方はいますか。(概ね30分以内で行き来できる範囲)
(〇は1つ)

1 いる → その方と ①同居している ②同居していない
2 いない

あて名のお子さんの保護者の就労状況等についてうかがいます

問7 あて名のお子さんの保護者の就労状況等についてお答えください。

(1) 母親【父子家庭は記入不要】(〇はいくつでも)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- 2 フルタイムで、現在産休・育児・介護休業中
- 3 パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)
- 4 パートタイム・アルバイト等で、現在産休・育児・介護休業中
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまでに就労したことがない (→問9へ進む)

① 1週当たり平均就労日数 日 日曜日の勤務日数 日

② 1日当たり平均就労時間 時間

③ 家を出る時間 時 帰宅時間 時 ※24時間制で記入

④ 通勤時間 片道 時間 分 ※自営や居宅内就労は「0分」

(2) 父親【母子家庭は記入不要】(〇はいくつでも)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- 2 フルタイムで、現在産休・介護休業中
- 3 パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)
- 4 パートタイム・アルバイト等で、現在産休・介護休業中
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまでに就労したことがない (→問9へ進む)

① 1週当たり平均就労日数 日 日曜日の勤務日数 日

② 1日当たり平均就労時間 時間

③ 家を出る時間 時 帰宅時間 時 ※24時間制で記入

④ 通勤時間 片道 時間 分 ※自営や居宅内就労は「0分」

[問8は、問7の(1)または(2)で「3」「4」(パートタイム・アルバイト等で就労している)とお答えの方にうかがいます。該当しない方は問10へお進みください。]

問8 フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親【父子家庭は記入不要】(○は1つ)

- 1 フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親【母子家庭は記入不要】(○は1つ)

- 1 フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

[問9は、問7の(1)または(2)で「5」「6」とお答えの方にうかがいます。該当しない方は問10へお進みください。]

問9 就労希望はありますか。また、内に数字をご記入いただき、併せて「→」の質問にもお答えください。

(1) 母親【父子家庭は記入不要】(○は1つ)

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 3 年より先に就労したい

①希望する就労形態に○

- 1 フルタイム(週5日程度、1日8時間程度就労)
- 2 パートタイム・アルバイト等(「1」以外)
→週 日 1日当たり 時間

(2) 父親【母子家庭は記入不要】(○は1つ)

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 3 年より先に就労したい

①希望する就労形態に○

- 1 フルタイム(週5日程度、1日8時間程度就労)
- 2 パートタイム・アルバイト等(「1」以外)
→週 日 1日当たり 時間

★学童保育クラブについて

保護者が就労等により、風間家庭にいない児童をあずかり、適切な遊びと生活の場を提供する事業です。保護者が安心して就労でき、また児童が健やかに育つことを目指しています。

対象は町田市内に在住する小学校1年生から3年生です。ただし、障がいのある児童の場合は、6年生までが対象です。

開所日

・月曜日から土曜日 ※日曜日、国民の祝日、年末年始はお休みです。

保育時間

- ・授業のある日は、下校時から午後6時まで
 - ・土曜日、学校休業日は午前8時30分から午後6時まで
- ※朝や夕方に保育時間を延長した特別保育も実施しています。

主な保育内容

①生活指導	児童が社会の一員として生活する上で必要な、基本的な生活習慣、規律、道徳、社会性及び保健衛生等の知識を身につけるよう指導しています。
②余暇指導	児童が自主的で自由な活動ができる環境を整え、集団生活や遊びを通じて社会性及び創造性を養い、心身とも発達していただけるよう指導しています。
③おやつ提供	毎日15時ごろにおやつを提供しています。
④行事の実施	入会式や新入生歓迎会、季節に応じた行事などを実施しています。

問10 学童保育クラブを知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っている
- 2 知らない

問11 小学校低学年(1~3年生)のお子さんに学童保育クラブは必要だと思いますか。

(○は3つまで)

- 1 保護者が安心して働くためには必要だと思う
- 2 児童の健全な育成のためには必要だと思う
- 3 保護者にとっては必要だと思うが、行くかどうかは子どもが決めるべきだと思う
- 4 お子さんをみてもらえる親族・知人がいれば、必要ないと思う
- 5 学童保育クラブではなく、放課後に誰でも利用できる居場所が必要だと思う
- 6 その他()

問12 小学校高学年(4~6年生)のお子さんに学童保育クラブは必要だと思いますか。

(○は3つまで)

- 1 保護者が安心して働くためには必要だと思う
- 2 児童の健全な育成のためには必要だと思う
- 3 保護者にとっては必要だと思うが、行くかどうかは子どもが決めるべきだと思う
- 4 お子さんをみてもらえる親族・知人がいれば、必要ないと思う
- 5 学童保育クラブではなく、放課後に誰でも利用できる居場所が必要だと思う
- 6 その他()

問13 お子さんを学童保育クラブに預けるにあたって、大切なことは何だと思えますか。学童保育クラブを利用したことがない方は、「もし預けるなら」という視点でお答えください。
(〇は3つまで)

- | | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 保護者が留守の間、子どもが事故や犯罪に巻き込まれずに安全に過ごすこと |
| 2 | 子どもが一人で不安にならずに安心して過ごすこと |
| 3 | 大勢の友だちをつくって、遊べること |
| 4 | けがや病気などにもすぐに対処できるよう、大人がしっかりと見守ること |
| 5 | 信頼して預けることができる大人がいること |
| 6 | 保護者の代わりに生活習慣や社会性が身につくように指導してもらうこと |
| 7 | 宿題や勉強を促してもらうこと |
| 8 | 子どもにとっても、楽しく過ごせる場所であること |
| 9 | おやつが食べられること |
| 10 | その他 () |

あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

問14 あて名のお子さんは、現在の放課後(平日の授業終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。その日教をご記入ください。また、「学童保育クラブ」の場合は、利用している時間を24時間制で記入してください。(〇はいくつでも)

1	自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3	習い事(水泳、そろばん、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4	子どもセンター・子どもクラブ	週	<input type="text"/>	日くらい
5	まちとも、地域子ども教室※	週	<input type="text"/>	日くらい
6	学童保育クラブ	週	<input type="text"/>	日くらい
() クラブ → 下校時から <input type="text"/> 時まで				
7	ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8	その他(図書館、公園など)	週	<input type="text"/>	日くらい

※「子どもセンター・子どもクラブ」、「まちとも・地域子ども教室」については19ページの参考資料をご覧ください。

問15 あて名のお子さんが、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。その希望日教をご記入ください。また、「学童保育クラブ」の場合は、利用する時間帯を24時間制で記入してください。(〇はいくつでも)

1	自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3	習い事(水泳、そろばん、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4	子どもセンター・子どもクラブ※	週	<input type="text"/>	日くらい
5	まちとも、地域子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
6	学童保育クラブ	週	<input type="text"/>	日くらい
→ 下校時から <input type="text"/> 時まで				
<input type="text"/> 年生まで利用したい				
7	ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8	その他(図書館、公園など)	週	<input type="text"/>	日くらい

※「子どもセンター・子どもクラブ」、「まちとも・地域子ども教室」については18ページの参考資料をご覧ください。

→「問16は、問14または問15で「6 学童保育クラブ」とお答えの方にかかっています。」

問16 あて名のお子さんについて、土曜日に学童保育クラブを利用していますか。また、日曜日・祝日や、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育クラブの利用希望はありますか。時間帯は24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日 (○は1つ)

1 利用している	利用している時間帯	<input type="text"/> 時から	<input type="text"/> 時まで
2 高学年 (4~6年生) になっても利用したい	利用したい時間帯	<input type="text"/> 時から	<input type="text"/> 時まで
3 利用していない		<input type="text"/> 年生まで利用したい	

(2) 日曜日・祝日 (○は1つ)

1 利用したい	利用している時間帯	<input type="text"/> 時から	<input type="text"/> 時まで
2 高学年 (4~6年生) になっても利用したい	利用したい時間帯	<input type="text"/> 時から	<input type="text"/> 時まで
3 利用する必要はない		<input type="text"/> 年生まで利用したい	

(3) 夏休み・冬休み (○は1つ)

1 利用している	利用している時間帯	<input type="text"/> 時から	<input type="text"/> 時まで
2 高学年 (4~6年生) になっても利用したい	利用したい時間帯	<input type="text"/> 時から	<input type="text"/> 時まで
3 利用していない		<input type="text"/> 年生まで利用したい	

「問17~問19は、問14または問15で「6 学童保育クラブ」を選択しなかった方にかかっています。該当しない方は問20 へお進みください。」

問17 学童保育クラブを利用していない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1 必要がないから	5 知らなかったから
2 利用したいが要件を満たさないから	6 その他 ()
3 利用料金が安いから	
4 ひとりで過ごせるようにしたいから	

→「問17で「1」とお答えの方にかかっています」

問17-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 保護者が家にいるから	
2 面倒を見てくれる人がいるから	
3 習い事に行かせるから	
4 留守番できるから	
→ ①1人で留守番できる	
②兄弟や姉妹と留守番できる (兄弟・姉妹の年齢 <input type="text"/> 歳)	
5 近くに1人で過ごせる施設があるから	
6 その他 ()	

問18 小学校高学年 (4~6年生) になったときの学童保育クラブの利用を希望していない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1 必要がないから	4 その他 ()
2 利用料金が安いから	
3 ひとりで過ごせるようにしたいから	

→「問18で「1」とお答えの方におたずねします」

問18-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 保護者が家にいるから	
2 面倒を見てくれる人がいるから	
3 習い事に行かせるから	
4 留守番できるから	
→ ①1人で留守番できる	
②兄弟や姉妹と留守番できる (兄弟・姉妹の年齢 <input type="text"/> 歳)	
5 近くに1人で過ごせる施設があるから	
6 その他 ()	

問19 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育クラブの利用希望はありますか。時間帯は24時間制でご記入ください。(○はいくつでも)

1 現在、利用したい	利用したい時間帯	<input type="text"/> 時から	<input type="text"/> 時まで
2 高学年 (4~6年生) になっても利用したい	利用したい時間帯	<input type="text"/> 時から	<input type="text"/> 時まで
3 利用する必要はない		<input type="text"/> 年生まで利用したい	

学童保育クラブについてうかがいます

※ここからの設問は、4ページの「学童保育クラブについて」を参考にすべての方に向かっています。

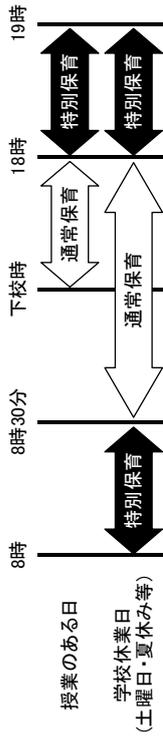
問20 学童保育クラブの開所日数について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(Oは1つ)

- 1 多いと思う
 - 2 適切だと思う (日曜日等も開所してほしい)
 - 3 少ないと思う (日曜日等も開所してほしい)
- ※学童保育クラブの開所日は月曜日から土曜日です。夏休みや冬休みなどの長期休業期間も開所しています。ただし、日曜日、祝日、及び年末年始はお休みです。
- 問21 平日(授業のある日)の学童保育クラブの開所時間について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(Oは1つ)
- 1 長いと思う
 - 2 適切だと思う () 時までが適切だと思う
 - 3 短いと思う

問22 学校休業日の学童保育クラブの開所時間について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(Oは1つ)

- 1 長いと思う
- 2 適切だと思う
- 3 短いと思う () 時からが適切だと思う または () 時までが適切だと思う

※学童保育クラブの開所時間(朝や夕方に保育時間を延長した特別保育も実施しています)



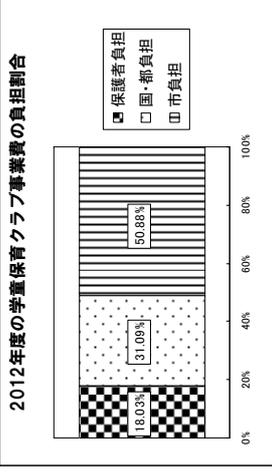
問23 町田市の育成料(利用料金)について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(Oは1つ)

- 1 妥当だと思う (→問24へ進む)
- 2 もっと安くても良い
- 3 もっと高くても良い
- 4 低学年を高くしても良い
- 5 高学年を高くしても良い
- 6 所得に応じて負担する額を決めた方が良い ()
- 7 減額・免除の対象を広げた方が良い () (→問24へ進む)
- 8 その他 ()

※学童保育クラブの利用料金は1人あたり月額6,000円です。特別保育(延長保育)を利用する場合は、1人月額500円(ただし、1ヶ月2,000円を上限)が別にかります。また、おやつ代(月額1,500円から2,000円)が別に必要です。

※以下の世帯は育成料が減額・免除になります。ただし、特別保育の利用料やおやつ代は対象外です。

- ・生活保護を受けている……………全額免除
- ・市民税が非課税……………全額免除
- ・市民税が均等割のみ課税されている……………半額に減額
- ・同一世帯で2人以上入会している……………2人目以降半額に減額



- 学童保育クラブを運営する経費は、保護者からの育成料、国や都からの補助金、町田市の支出によってまかなわれています。
- 保護者の負担割合は、事業費全体の約18%となっています。

→問23で「2」~「5」とお答えの方に向かっています
問23-1 どのくらいの金額が妥当だと思いますか。

月額 () 円
その他 ()

問24 町田市の学童保育クラブに入会するための要件について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(Oは1つ)

- 1 適切だと思う (→問25へ進む)
- 2 厳しいと思う
- 3 ゆるいと思う (→問24-2へ進む)

※入会するためには保護者が以下の要件に該当している必要があります。

- ① 居宅外または居宅内の就労に従事している場合
- ② 保護者が就労に必要な技術等の習得を目的として通学している場合
就労や授業の日数が日曜日を除く週3日以上もしくは月12日以上あり、かつ、帰宅時間が15時30分を過ぎる必要があります(居宅内の場合は、一日の就労時間が5時間以上が必要)。
- ③ 負傷、疾病、障がい等により児童を適切に保護することができない場合
- ④ 同居の家族を常時介護し、または看護しているため、児童を適切に保護することができない場合

→《問24で「2」とお答えの方にうかがいます》
 問 24-1 厳しいと思う理由をお答えください。(Oはいくつでも)

1 入会に必要な就労日数が多すぎると思う
 → (週) 日以上が適切だと思う

2 入会に必要な帰宅時間が遅すぎると思う
 → (時 分以降が適切だと思う)

3 その他 ()

【次は問 25へ進んでください】

《問24で「3」とお答えの方にうかがいます》
 問 24-2 ゆるいと思う理由をお答えください。(Oはいくつでも)

1 入会に必要な就労日数が少なすぎると思う
 → (週) 日以上が適切だと思う

2 入会に必要な帰宅時間が早すぎると思う
 → (時 分以降が適切だと思う)

3 その他 ()

【ここからの設問は、現在、学童保育クラブを利用している方のみにかかっています。学童保育クラブを利用していない方は問33へお進みください。】

問25 あて名のお子さんの通っている学童保育クラブに配置されている指導員の数は十分だと思いませんか。(Oは1つ)

1 適切に配置されていると思う 3 少ないと思う

2 多いと思う

問26 学童保育クラブで働く指導員に大切なことは何だと思いませんか。(Oは3つまで)

1 幼稚園や学校教諭などの資格を持っていること

2 子どもや保護者一人ひとりと信頼関係が結ぶこと

3 どの子どもに対しても公平な態度で接すること

4 子どもの安全や健康にしっかり気を配ること

5 子どもに生活習慣や社会性が身につくように指導できること

6 遊びや体験活動における特技を持っていること

7 子どもたちの意欲を引き出し、子ども主体の活動を支えられること

8 宿題や勉強の面倒をみることに
 9 その他 ()

問27 あて名のお子さんが学童保育クラブで快適に過ごすために必要なことは何だと思いませんか。(Oは3つまで)

1 十分な広さの育成室

2 屋外で遊べる広いスペース (校庭、学校の体育館、学童保育クラブの庭等)

3 横になって休むことができるスペース

4 衛生的なトイレや手洗い場

5 豊富な図書や遊具

6 大勢の反たち
 7 その他 ()

問28 学童保育クラブの入会にあたっては、お子さんが通っている小学校の学区にあるクラブに通うこととなります。学区外のクラブに通わせたいと思いませんか。(Oは1つ)

1 通わせたい

2 通わせたくない (→問29へ進む)

→《問28で「1」とお答えの方におたずねします》

問 28-1 学区外のクラブに通わせたい理由は何か。(Oは1つ)

1 より自宅に近いクラブがあるから

2 保護者の通勤経路に通わせたいクラブがあるから

3 現在通っているクラブに不満があるから
 → 不満な理由 ()

4 その他 ()

問29 町田市では、学童保育クラブに入会するための要件はすべての家庭・児童で共通ですが、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(Oはいくつでも)

1 今のままで良い

2 ひとり親家庭は要件がゆるくても良い

3 優先順位を低い学年ほど高くしても良い

4 祖父母等と同居している場合は、祖父母等に保護者と同等の要件を必要としても良い

5 その他 ()

問30 町田市では、学童保育クラブを利用することができる日数に制限を設けていませんが、あなたのお考えに最も近いものを答えください。(○は1つ)

- 1 子育てにともなう心理的及び肉体的負担の軽減のために、いつでも利用できる方が良い
- 2 利用料が月額なので、制限なく利用できる方が良い
- 3 保護者が休みの日は利用できないこととした方が良い
- 4 その他 ()

問31 町田市では、毎年度定める受付期間内に申し込んだ方は、入会要件を満たしていれば誰でも学童保育クラブに入会することが可能ですが、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

- 1 今のままで良い
- 2 期間までに仕事が決まらないうちにもあるので、(→問32へ進む)
受付期間後も必ず受け入れてほしい
- 3 人数が増えすぎると施設が狭くなり保育環境が悪化するるので、定員を決めた方が良い
- 4 指導員の目が届かなくなることがあるので、定員を決めた方が良い
- 5 その他 () (→問32へ進む)

※入会の受付期間は、入会する前年度の1月中旬に1週間程度設けています。

→問31で「3」または「4」とお答えの方へうかがいます

問31-1 具体的にどうすれば良いと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 低学年を優先して決める
- 2 入会の必要条件を点数にして決める
- 3 施設の大きさに合わせて入会できる人数を決める
- 4 その他 ()

問32 学童保育クラブにあたら助かるサービスは何だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 学童保育クラブから自宅までの送迎
- 2 夜間や学校休業日の給食の提供
- 3 英語を始めとした学習サービス
- 4 医療機関との連携
- 5 一日単位のスポット利用
- 6 その他 ()

※学童保育クラブに関する質問はここで終了です。

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

問33 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。「2 取得した(取得中である)」場合は、取得期間をお答えください。また、「3 取得していない」場合は、その理由を下表からあらはまるものを選び番号で(いくつでも)お答えください。

母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1 働いていなかった	1 働いていなかった
2 取得した(取得中である) → 取得期間 () か月	2 取得した(取得中である) → 取得期間 () か月
3 取得していない	3 取得していない
その理由を下から番号を選んで記入	その理由を下から番号を選んで記入

(いくつでも) (いくつでも)

- 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2 仕事が忙しかった
- 3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- 4 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7 父母のいずれかが不存だった
- 8 保育園などに預けることができた
- 9 配偶者が育児休業制度を利用した
- 10 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてももらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 11 子育てや家事に専念するため退職した
- 12 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 13 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 14 育児休業を取得できることを知らなかった
- 15 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できなかった
- 16 その他 ()

問33-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(○は1つ)

- 1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2 育児休業給付のみ知っていた
- 3 保険料免除のみ知っていた
- 4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

【問 33-2 は、問 33 で「2 取得した(取得中である)」とお答えの方にうかがいます。該当しない方は問 34 へお進みください。】

問 33-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母親 (○はいくつでも)	父親 (○はいくつでも)
1 育児休業取得後、職場に復帰した	1 育児休業取得後、職場に復帰した
2 現在も育児休業中である	2 現在も育児休業中である
3 育児休業中に退職した	3 育児休業中に退職した

【「2」とお答えの方は問 33-8 へ、「3」とお答えの方は問 34 へそれぞれお進みください】

※【問 33-2 で「1」とお答えの方にうかがいます】

問 33-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度最初の保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

※年度初めての認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1」にあてはまります。また、年度初めての入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

母親 (○はいくつ)	父親 (○はいくつ)
1 年度初めの入園に合わせた タイミングだった	1 年度初めの入園に合わせた タイミングだった
2 それ以外だった → () 月復帰	2 それ以外だった → () 月復帰

問 33-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、勤務先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取り戻したかどうか。さらに、勤務先に3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてお子さんが何歳何か月のときまで取り戻したかどうか。数字でご記入ください。

	母親	父親
① 制度上の最大取得可能期間	歳	歳
② 実際の取得期間	歳	歳
③ 希望	歳	歳
④ 会社の制度が3歳まであった場合	歳	歳

【問 33-5 は、問 33-4 で実際の取得期間と希望が異なる方にうかがいます】

問 33-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何か。

(1) 「希望」より早く復帰した方

母親 (○はいくつでも)	父親 (○はいくつでも)
1 希望する保育園に入るため	1 希望する保育園に入るため
2 配偶者や家族の希望があったため	2 配偶者や家族の希望があったため
3 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5 その他 ()	5 その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方

母親 (○はいくつでも)	父親 (○はいくつでも)
1 希望する保育園に入れなかったため	1 希望する保育園に入れなかったため
2 自分や子どもなどの体調が悪くなかったため	2 自分や子どもなどの体調が悪くなかったため
3 配偶者や家族の希望があったため	3 配偶者や家族の希望があったため
4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5 子どもをみてくれる人がいなかったため	5 子どもをみてくれる人がいなかったため
6 その他 ()	6 その他 ()

【問 33-6 は、問 33-2 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます】

問 33-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

母親 (○はいくつでも)	父親 (○はいくつでも)
1 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もとも と短時間勤務だった)	1 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もとも と短時間勤務だった)
2 利用した	2 利用した
3 利用したが、利用しなかった (利用できなかった)	3 利用したが、利用しなかった (利用できなかった)

【「1」または「2」とお答えの方は問 34 へ進んでください】

※【問 33-6 で「3」とお答えの方にうかがいます】

問 33-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何か。

(1) 母親 (○はいくつでも)

- 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 仕事が多忙だった
- 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
- 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
- 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 子育てや家事に専念するため退職した
- 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)
- 短時間勤務制度を利用できなかった
- その他 ()

(2) 父親 (○はいくつでも)

- 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 仕事が多忙だった
- 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
- 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
- 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 子育てや家事に専念するため退職した
- 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)
- 短時間勤務制度を利用できなかった
- その他 ()

町田市子ども・子育て支援事業計画策定 のためのアンケート調査報告書

2014年（平成26年）3月発行

発行 町田市

編集 町田市子ども生活部子ども総務課

〒194-8520 町田市森野 2-2-22

☎042-724-2876（直通） FAX 050-3101-8377

町田市のホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>
